

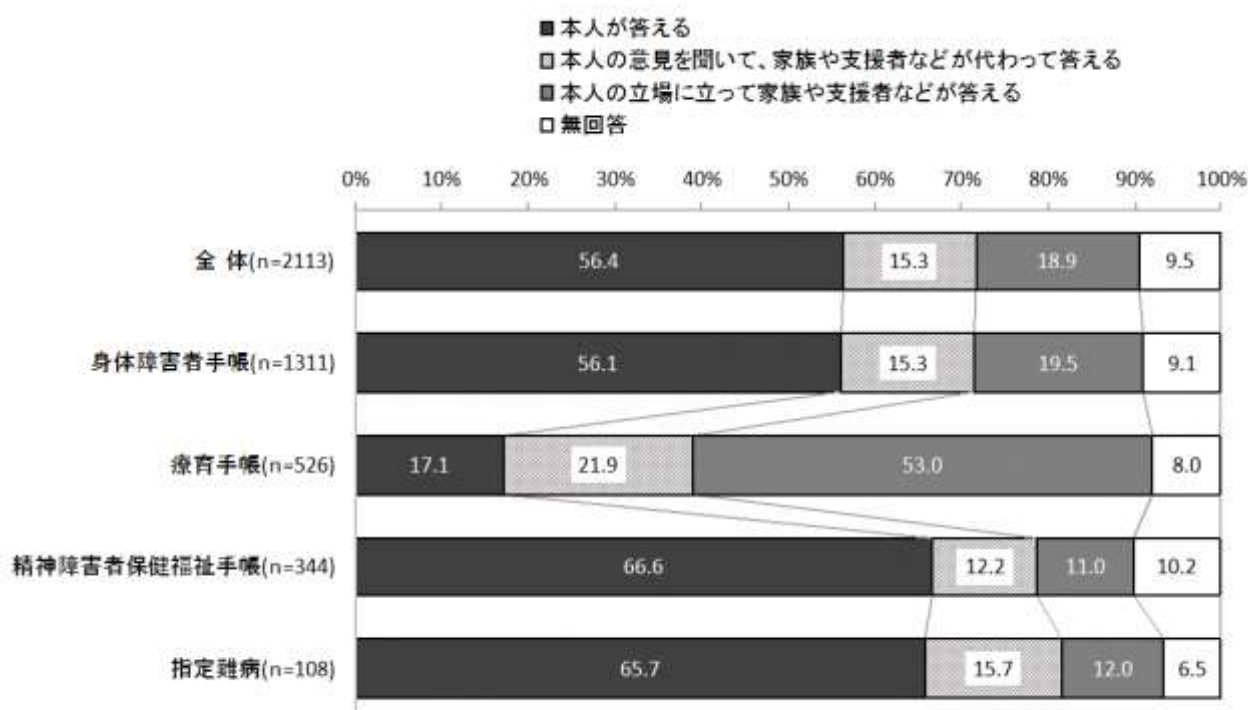
i 障がいのある人の調査結果

1. 属性・障がいについて

(1) 調査票回答者

問1 調査票をお答えになる方はどなたですか。(○は1つ)

本人からの回答が全体の56.4%を占めている。身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者においては「本人が答える」がおよそ6割を占めているが、療育手帳所有者については「家族や支援者などが回答」が53.0%と最も高い。

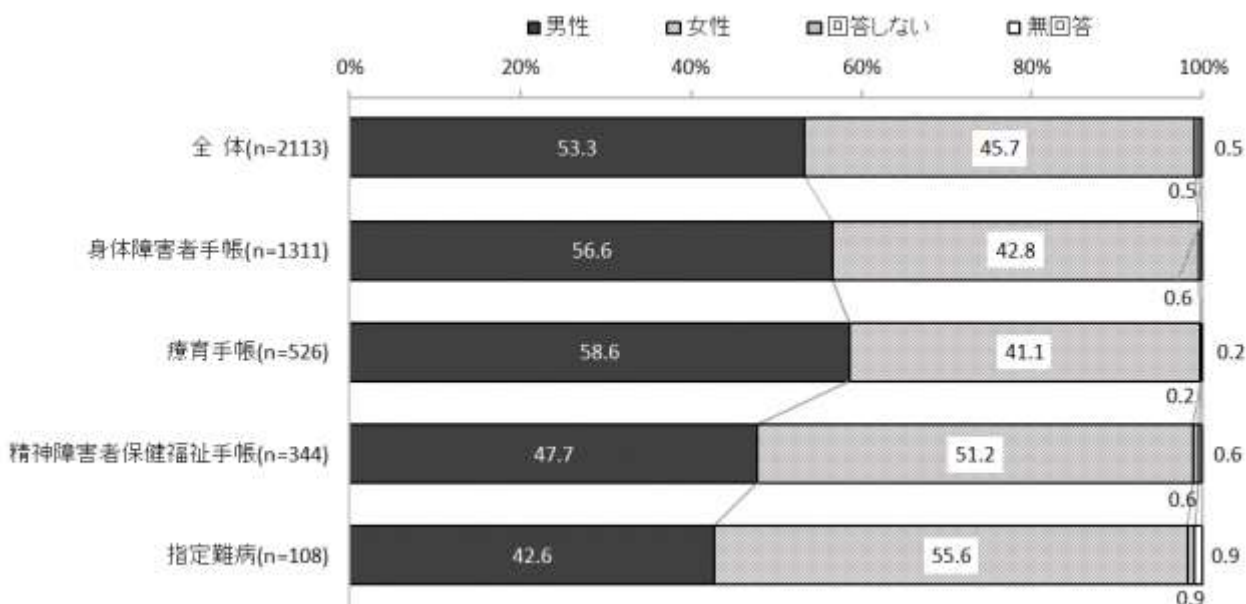


(2) 対象者本人の属性

問 2 はじめにご本人のことについて、お伺いします。

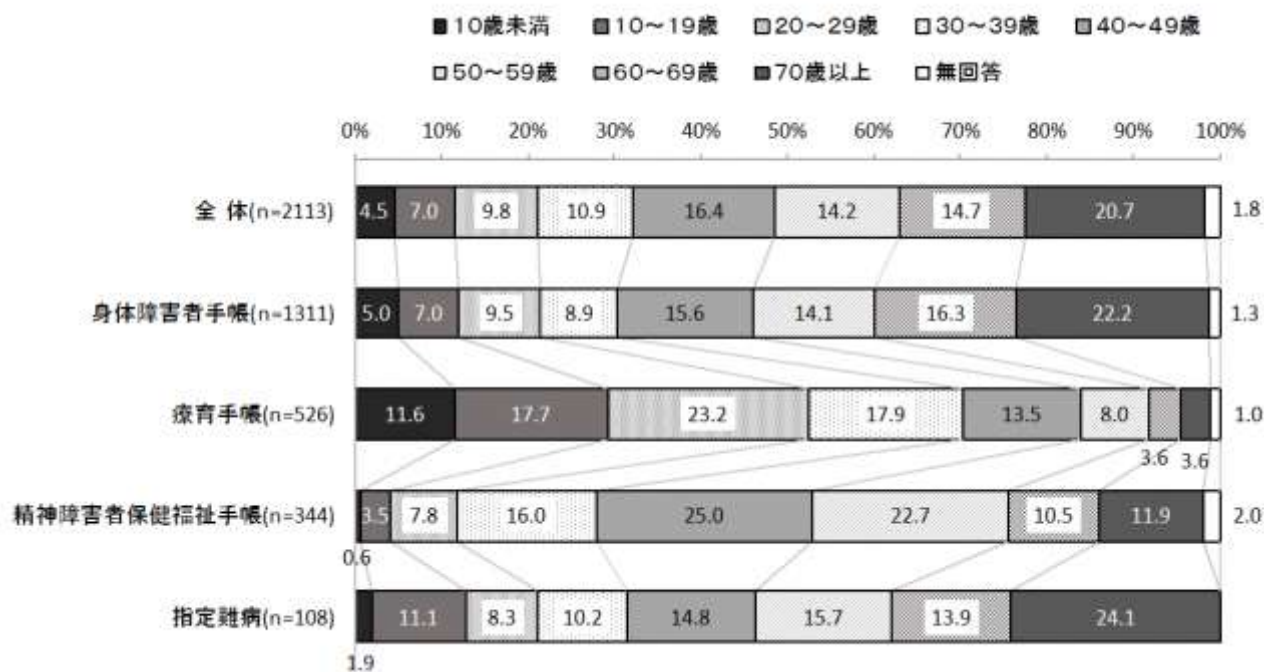
【性別】

全体では、「男性」53.3%、「女性」45.7%とやや男性の割合が高くなっている。



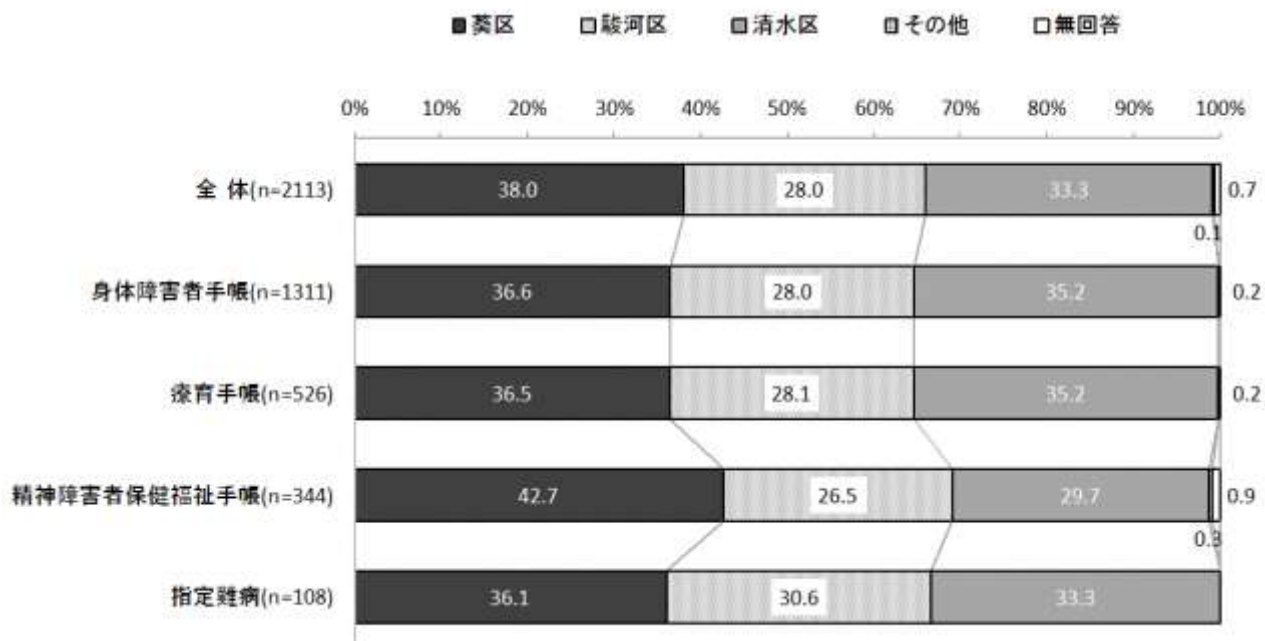
【年齢】

身体障害者手帳所有者及び精神障害者保健福祉手帳所有者では10代から70代以上まで幅広い年代が回答している。療育手帳所有者においては10代以下が約3割を占めている。指定難病者は、「70代以上」が2割台とやや高い割合となっている。



【居住地】

全体では「葵区」38.0%、「駿河区」28.0%、「清水区」33.3%の構成比となっている。

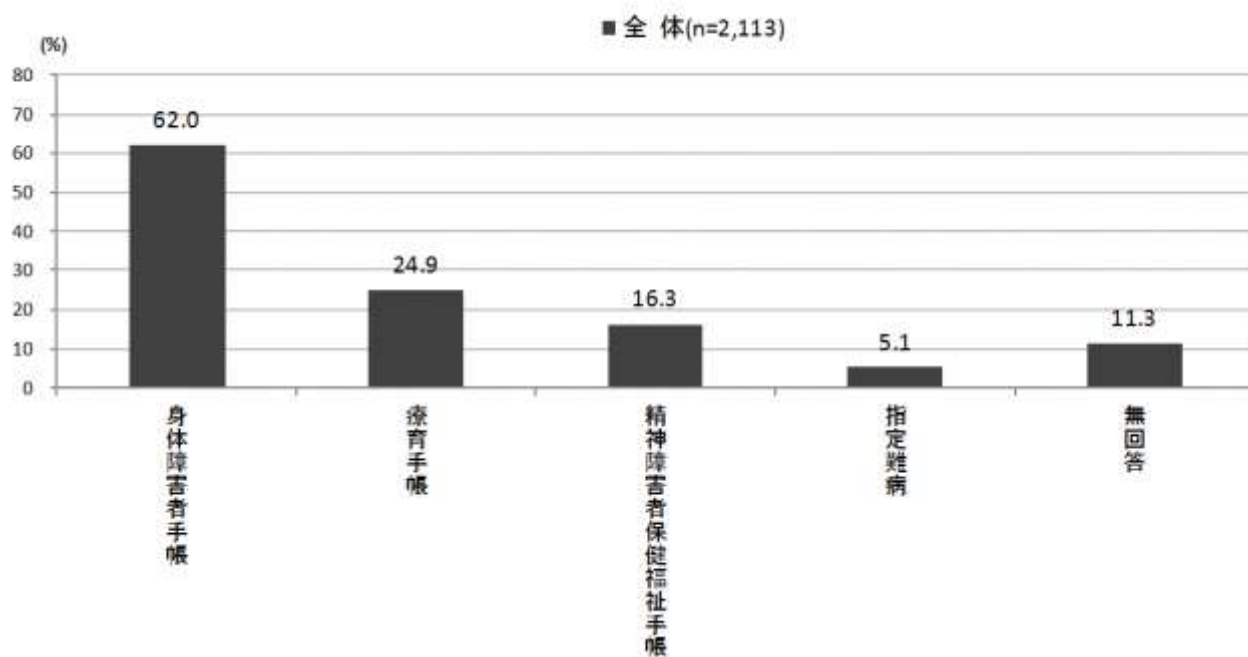


(その他) 藤枝市 1 件

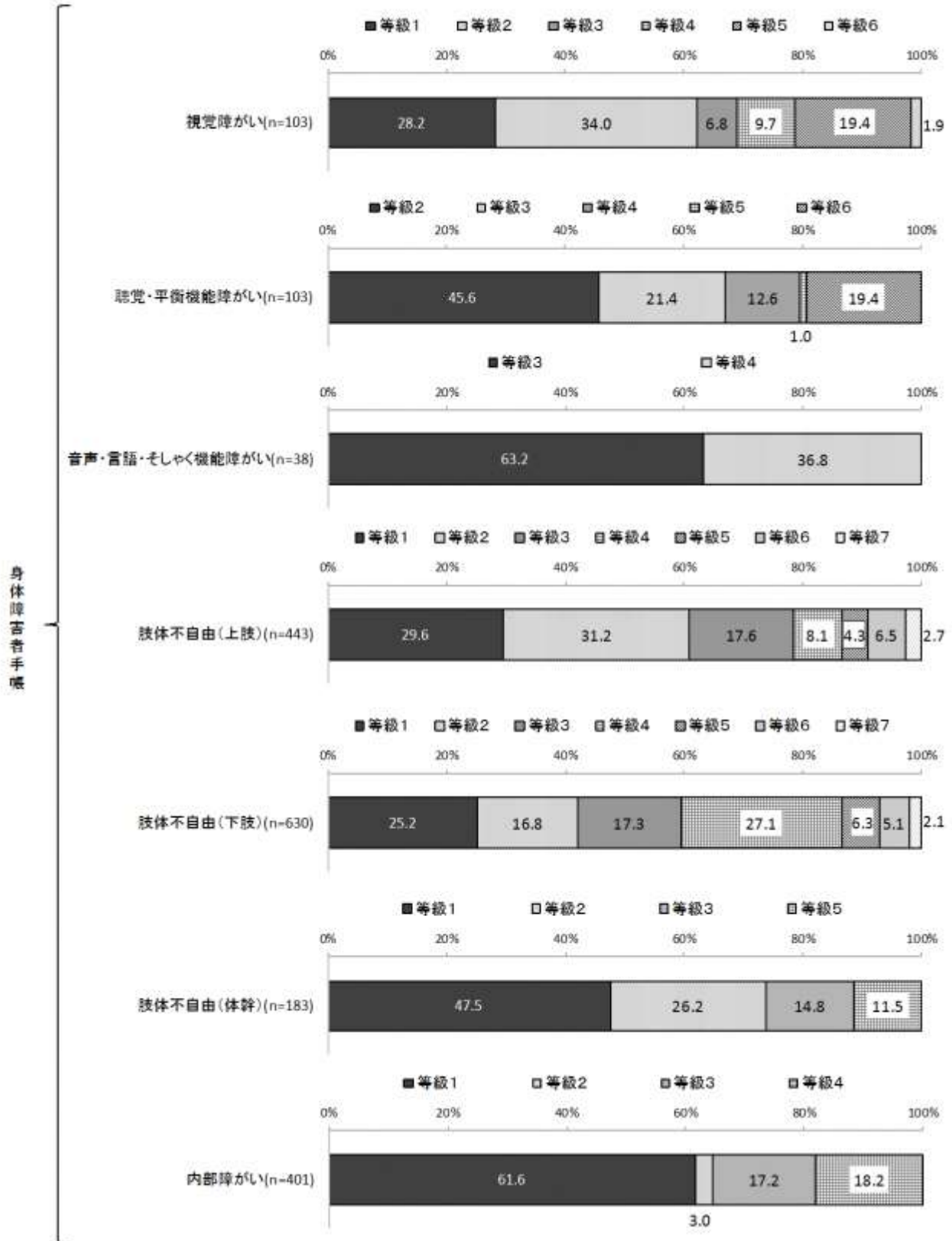
(3)手帳の種類

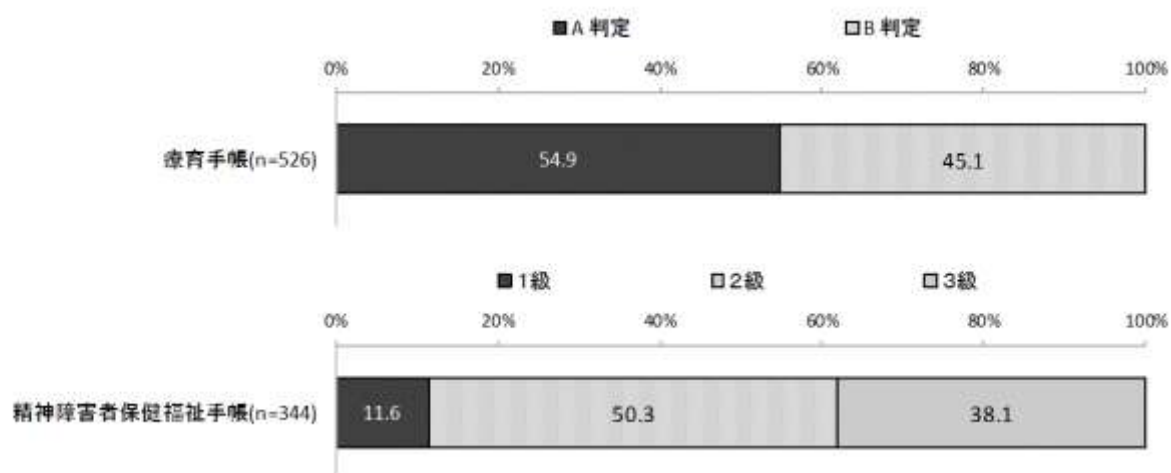
問3 あなたの手帳の種類と程度を教えてください。

「身体障害者手帳」を所有している人は62.0%、「療育手帳」は24.9%、「精神障害者保健福祉手帳」は16.3%、「指定難病」は5.1%となっている。



<手帳の種類別の程度（等級・判定）>

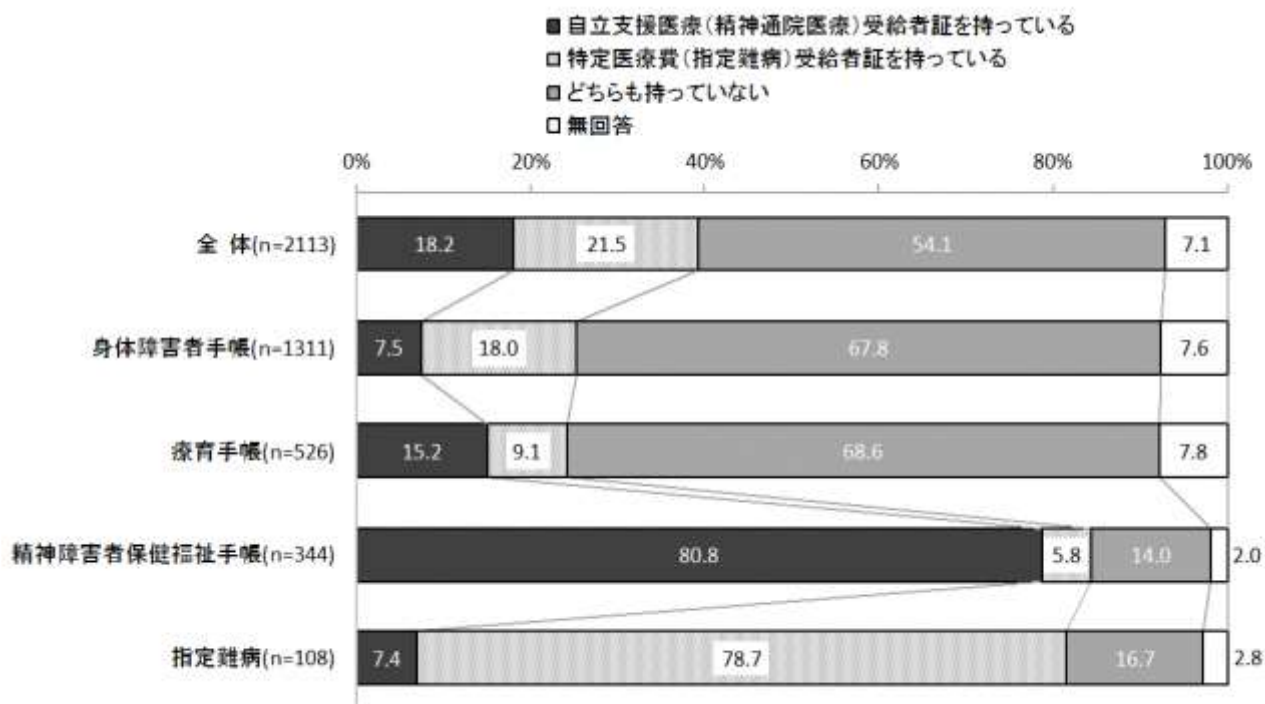




(4) 自立支援医療受給者証・特定医療費受給者証の有無

問 4 次の中から、あなたがお持ちのものをお答えください。(○はいくつでも)

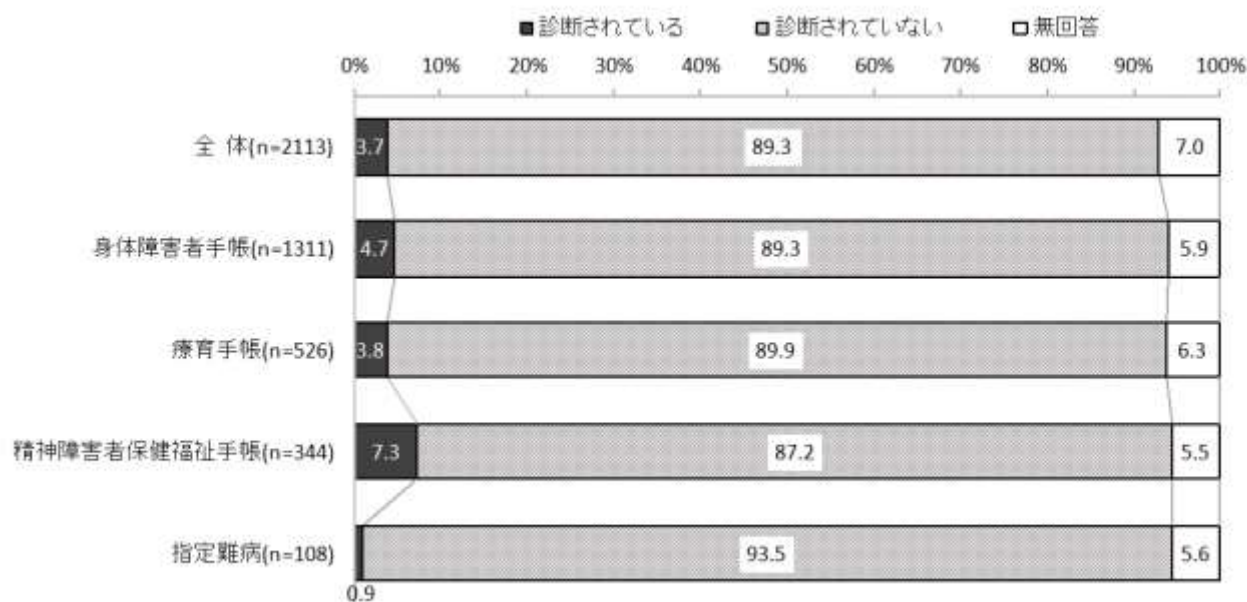
「自立支援医療受給者証」を持っている人は、全体の18.2%。身体障害者手帳所有者では7.5%、療育手帳所有者は15.2%、精神障害者保健福祉手帳所有者は80.8%、指定難病者は7.4%となっている。



(5) 高次脳機能障害の診断

問 5 あなたは、高次脳機能障害と診断されていますか。(○は1つ)

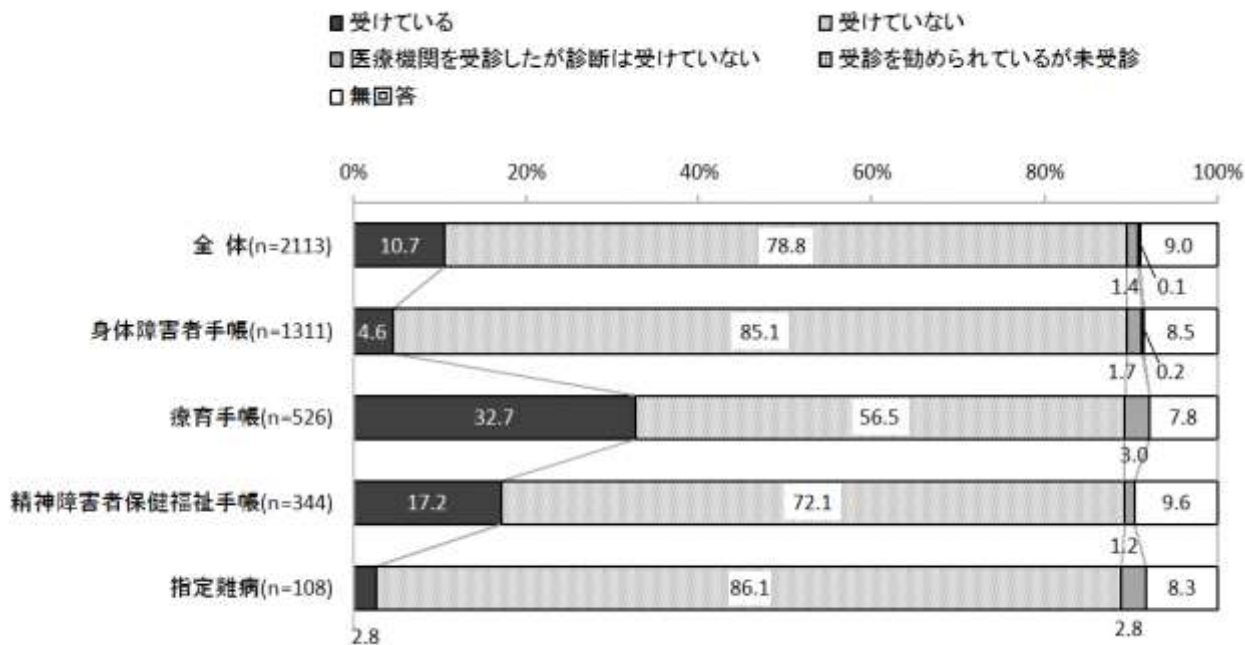
高次脳機能障害と「診断されている」は、全体の3.7%となっている。精神障害者保健福祉手帳所有者は7.3%と他と比べてやや高くなっている。



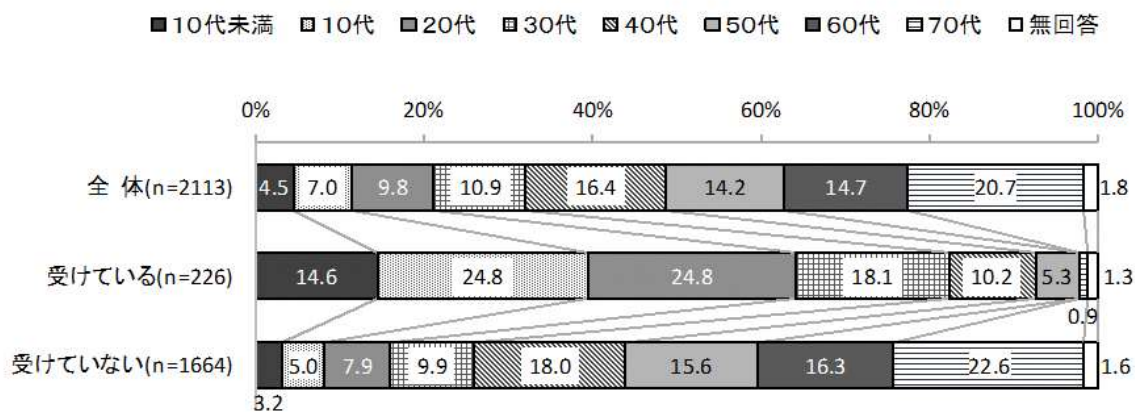
(6) 発達障がいの診断状況

問 6 発達障がいの診断を受けていますか。(○は 1 つ)

発達障がいの診断を「受けている」人は、全体の 10.7%。療育手帳所有者では 32.7%となっている。

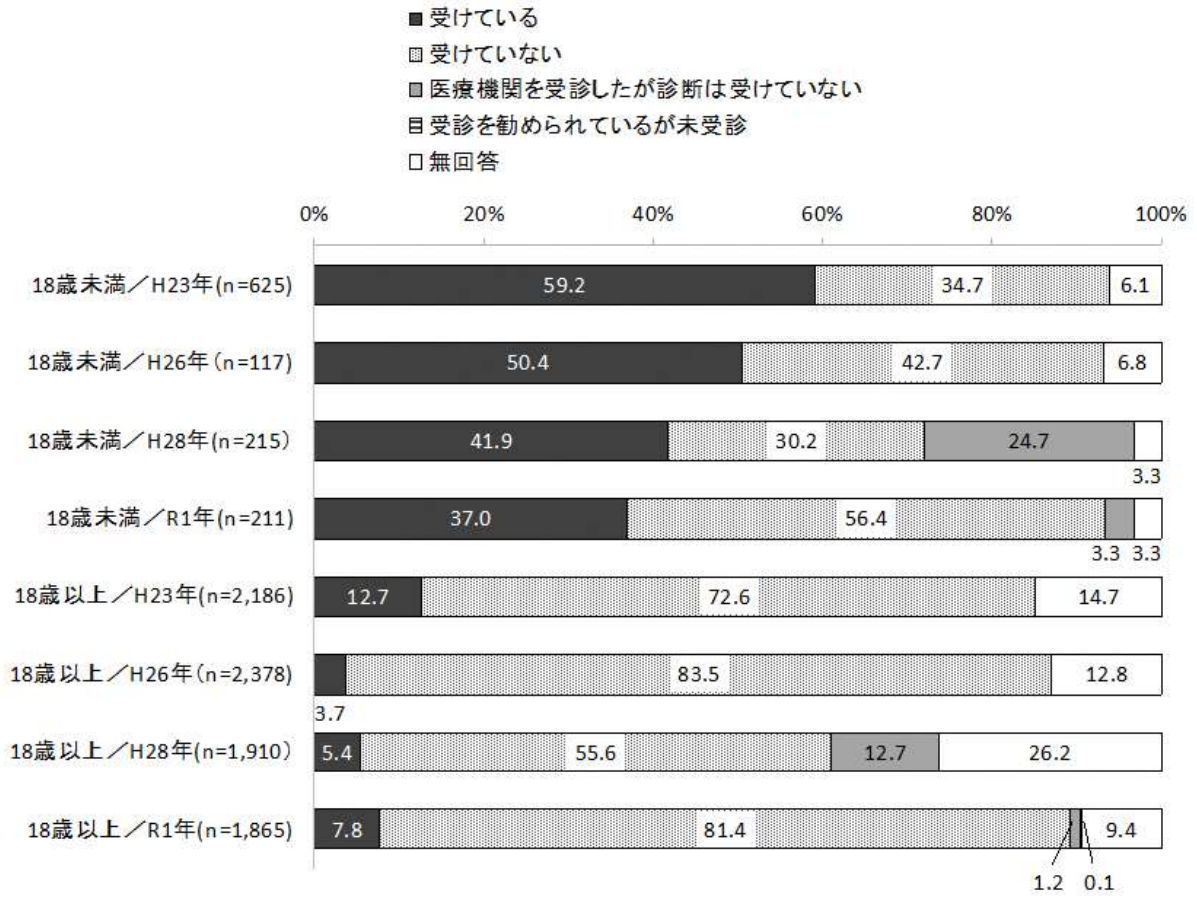


<発達障がいの診断状況別>



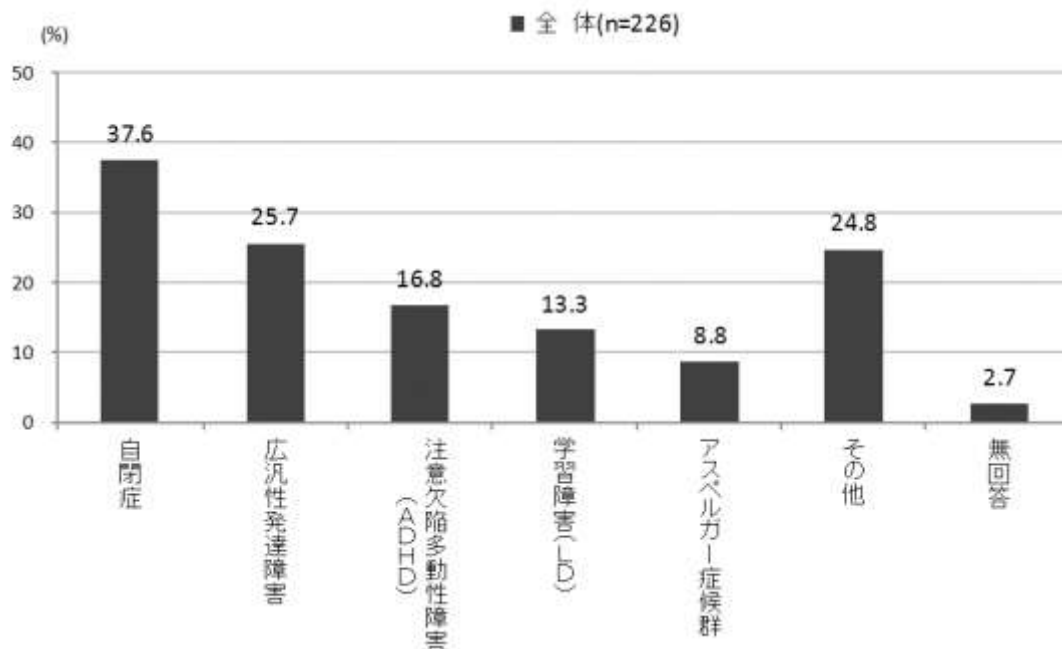
<経年変化>

18歳未満は、過去の調査結果と比較すると、発達障がいの診断を「受けている」人の割合は年を追うごとに低くなっている。



付問① その診断名をお答えください。(○はいくつでも)

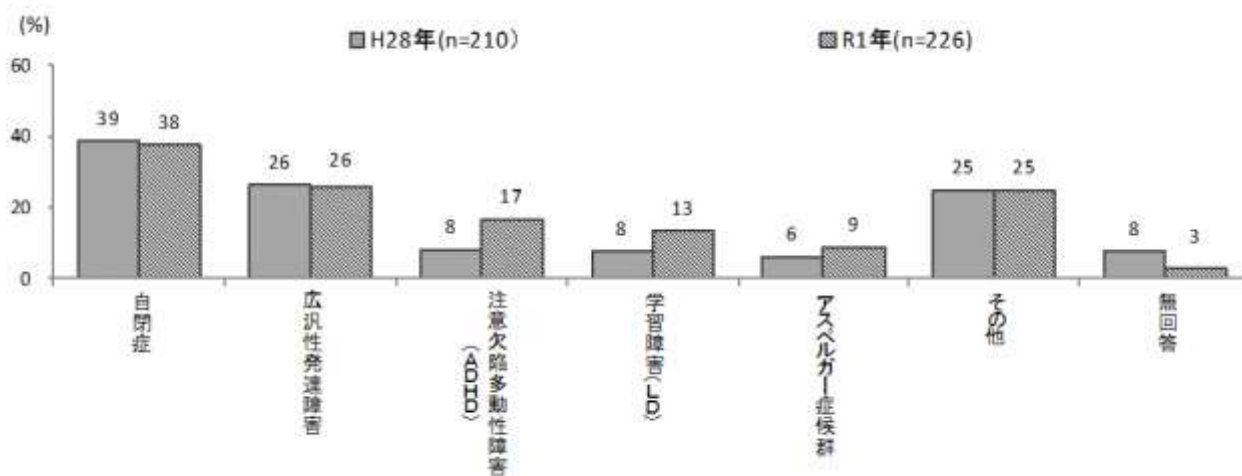
「受けている」と回答した人に診断名をたずねたところ、「自閉症」が最も高く、37.6%。次いで「広汎性発達障害」25.7%となっている。



(その他)

知的障害(13件)/発達障害(7件)/ダウン症(5件)/精神遅滞(3件)/自閉スペクトラム症(2件)/統合失調症(2件)/21トリソミー/ADD/ウィリアムズ症候群/うつ病/コルネリアデランゲ症候群/てんかん/吸入/骨粗しょう症/自閉的傾向/場面緘黙症/精神運動発達遅滞/双極性障害/洞不全/認知症/脳梗塞/脳障害有/脳性まひ/1~5 全て言われた事があるが確定とまでいかない/具体的な診断名は言われていない

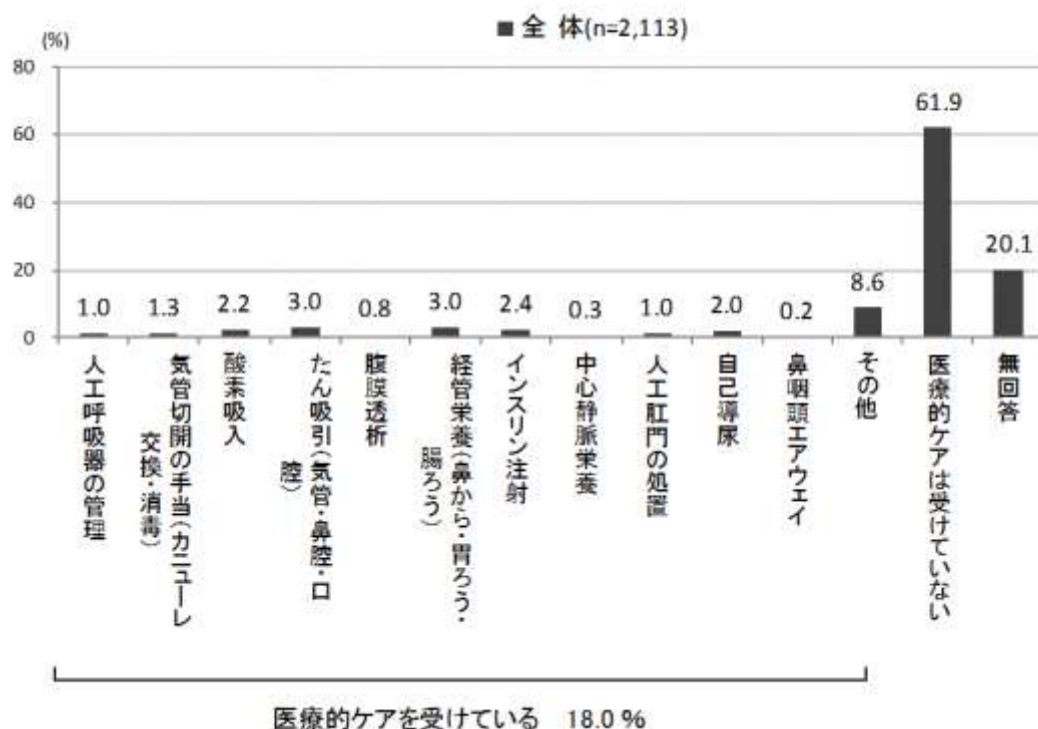
<経年変化>



(7) 医療的ケアの有無

問7 あなたは、日常的に医療的ケアを受けていますか。(〇はいくつでも)

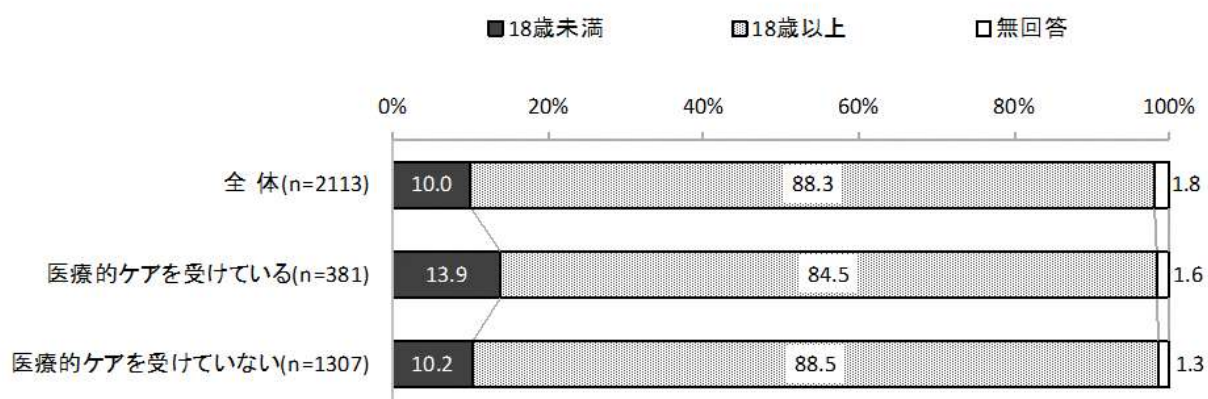
全体の18.0%が何らかの医療的ケアを受けている。



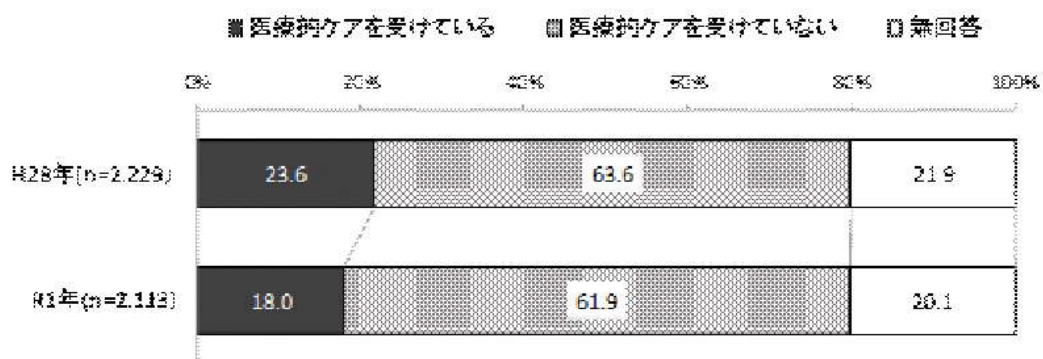
(その他)

人工透析(47件)/投薬(22件)/リハビリテーション(13件)/ペースメーカー(5件)/導尿(4件)/CPAP(2件)/ICD植込み(2件)/血圧管理(2件)/人工内耳(2件)/成長ホルモン注射(2件)/精神科受診(2件)/排便(2件)/VPシャント/カウンセリング/カファリスト、排たん管理/シャントバルブ/ジョクソウ/タンの吸引/バルーンカテーテル交換/ヒュミラ自己注射/フォーレ/リュウマチの為、シュミレの注射を受けている/化学療法(アクテムラ)/口腔ケア/高血圧、ペースメーカー検査/高血圧、高脂血症/自己注射(アポカイン)/重度心身障害者医療費助成金受給者証/診療所/身体不安定/腎臓機能/穿頭血腫洗浄硬膜下ドレナージ術/総合自律神経失調症/大腸/腸内洗浄/定期検診/定期的な点滴治療/投薬、装具着用/動静脈瘤/脳外科、精神科通院/排尿、排便、入浴/皮膚科と口腔外科/病気治療中/左膝にヒアルロン酸/分子標的治療/訪問介護/毎月男性ホルモン(病院で)、每晚:成長ホルモン(自分で)/免疫抑制療法/卵巣がん、1年に1回/両心室ペースメーカー CRT-D/緑内障、糖尿病/喘息のため吸入/膀胱ろう/(1年前、胃ろう)、今おかゆ/2週間に1回アトピー性皮膚炎の注射/6ヶ月に1度プラリア注射/DBSの埋め込み手術/インスリンではないが、糖尿病でビクトーザの注射をしている。/年1回のMRI・薬の処方・3ヶ月に1度の血液検査/半年に1回の割合で主治医に診てもらっている(レントゲン等)/6月と12月年二回静岡市立清水病院に診察に行きます。CT、血液検査、下腹部CT。日常毎日朝6時、昼14時、一日2回お小水を便器に捨てます。1日に1,500ml、平均朝1,000ml、昼500ml、腎臓の管が大腸を切った管に入り、袋の丸い管に入り、丸いまわりはテープで止めます。1mの長さのビニールの筒で30cmの大きい袋に入ります。大きい袋は歩行器の枠にくくりつけます。丸い穴は大腸の出ている物にかぶせ、まわりをテープで止めます。長さ15cm幅8cmの袋は上は大腸につけ大きい袋に、下は1mのビニールの管につけます。30cmの袋は月に一回替えます。ウロガードの30cmの袋、お腹の小さな袋は1週間に2回(月・金)お風呂に入り、取ってごみ箱に捨てます/全部10種/日常的ではない/受けてなし

<医療的ケアの有無別>



<経年変化>

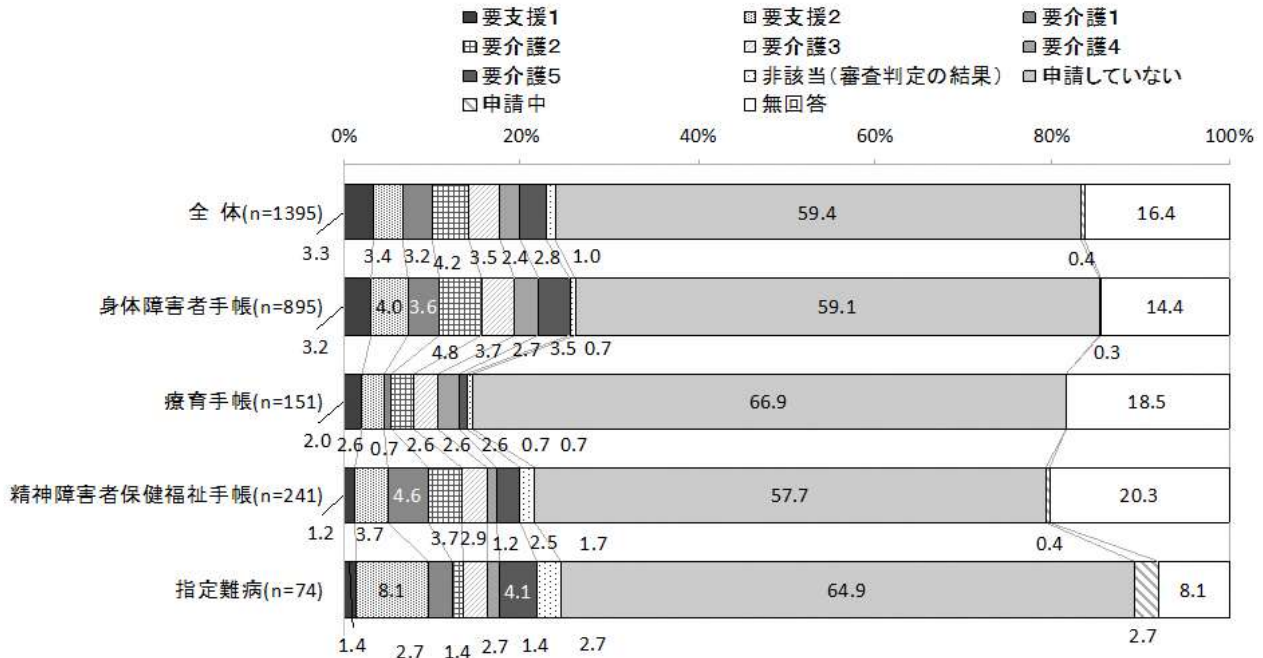


(8) 介護保険の要介護度

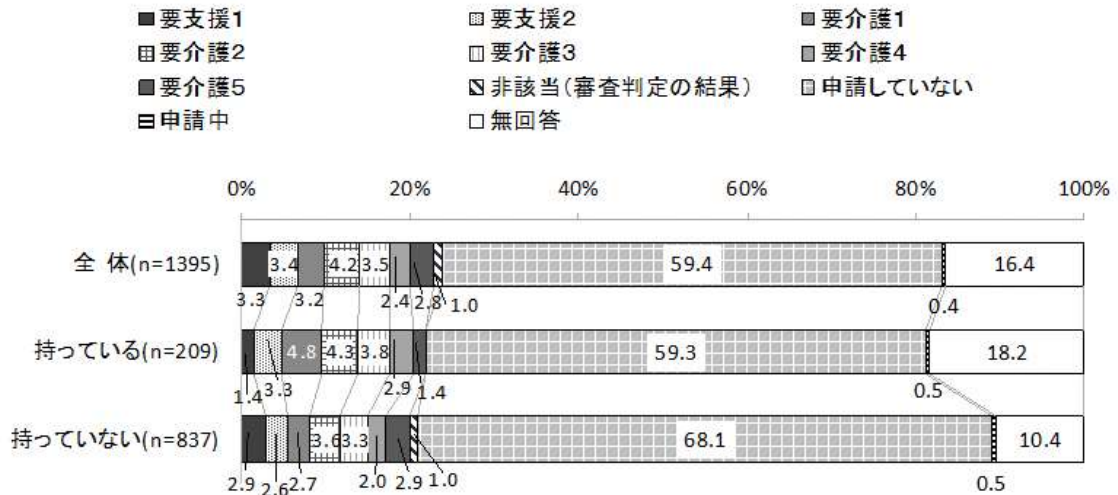
(ご本人が40歳以上の方にお伺いします)

問8 介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている方は、要介護度をお答えください。(○は1つ)

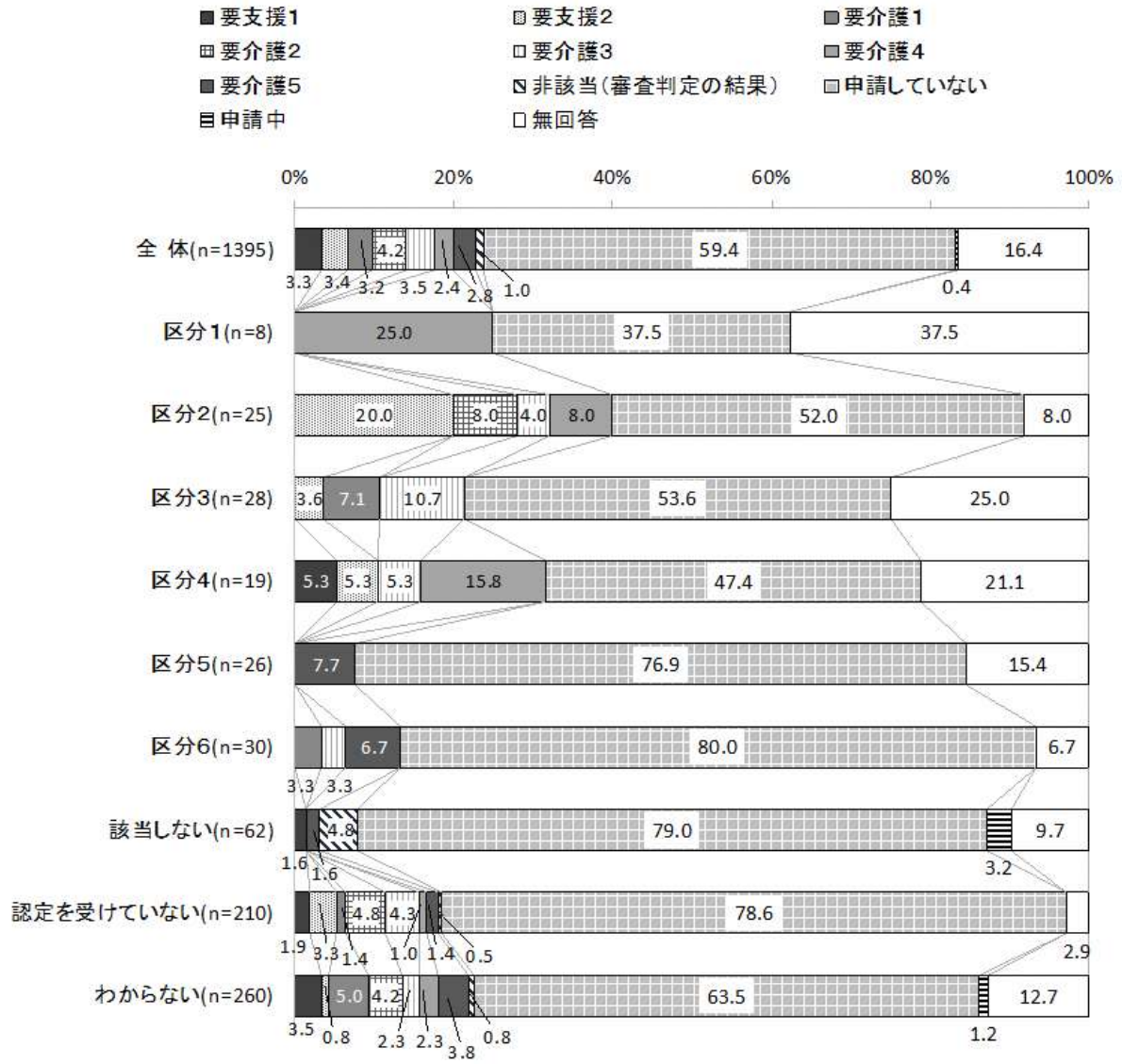
「要支援」の認定を受けているのは全体の6.7%。「要介護」は16.1%。



<障害福祉サービス受給者証の所有別>



<障害支援区分別>



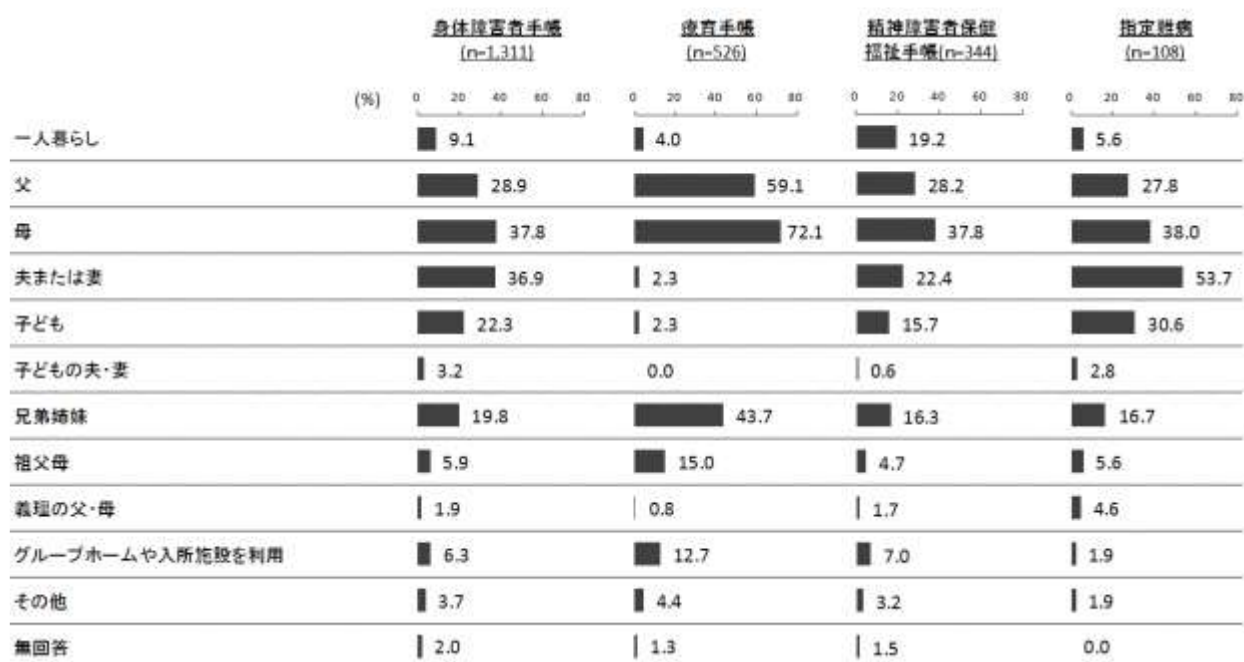
2. 家族や支援者について

(1) 同居者

問9 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

身体障害者手帳所有者では「母」と並んで「夫または妻」との同居率が高く、指定難病者では「夫または妻」との同居率が特に高くなっている。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者では「父」「母」と同居している人の割合が高い。

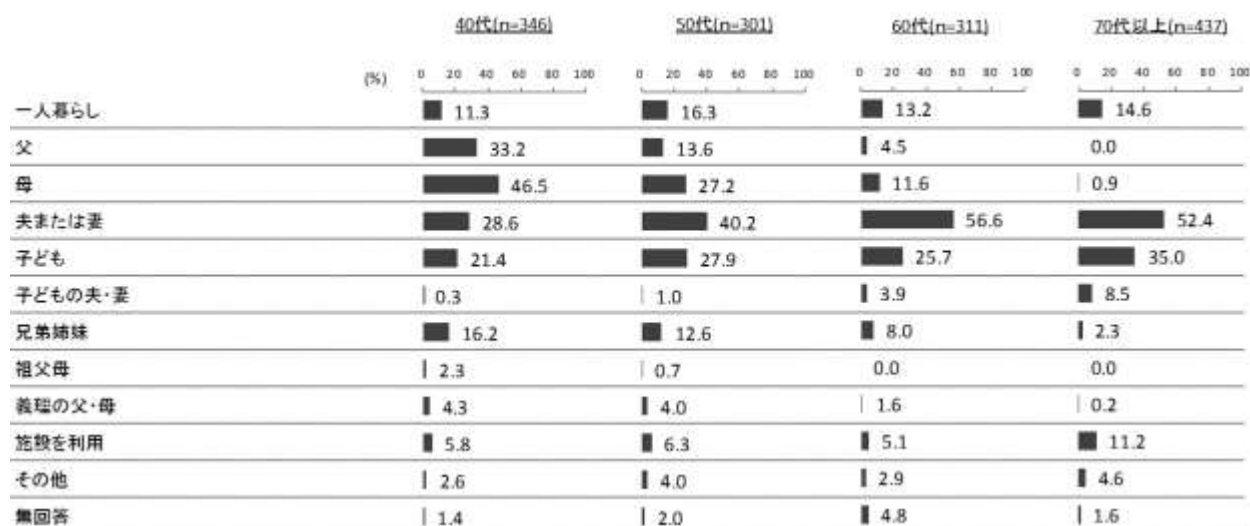
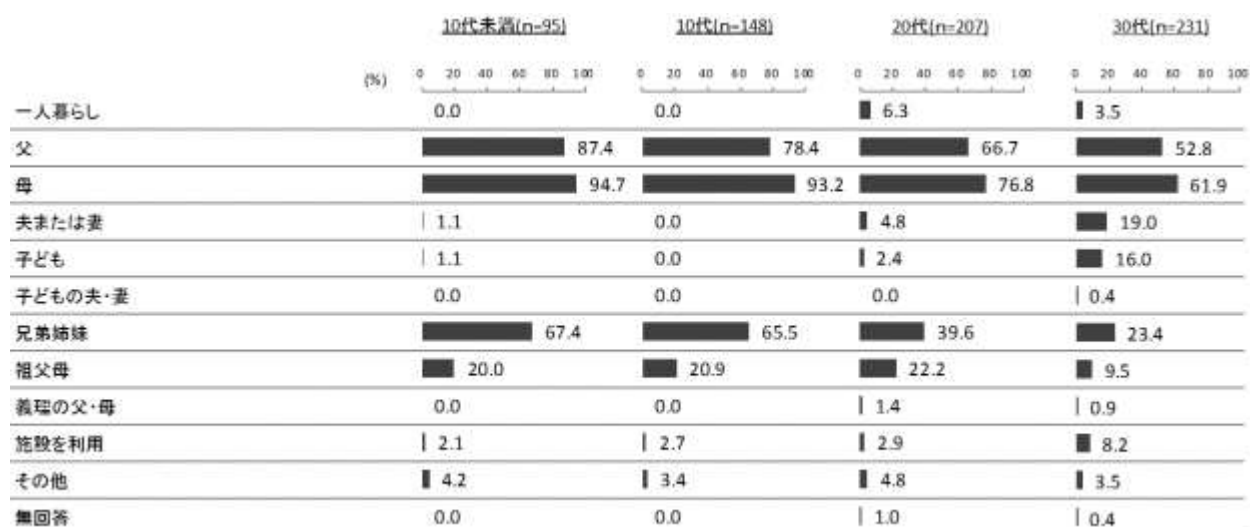
年齢別では10代以下では「母」が9割以上と高く、20代から30代でも「母」が6～7割台、「父」が5～6割と、30代以下では親と同居している割合が高い。



(その他)

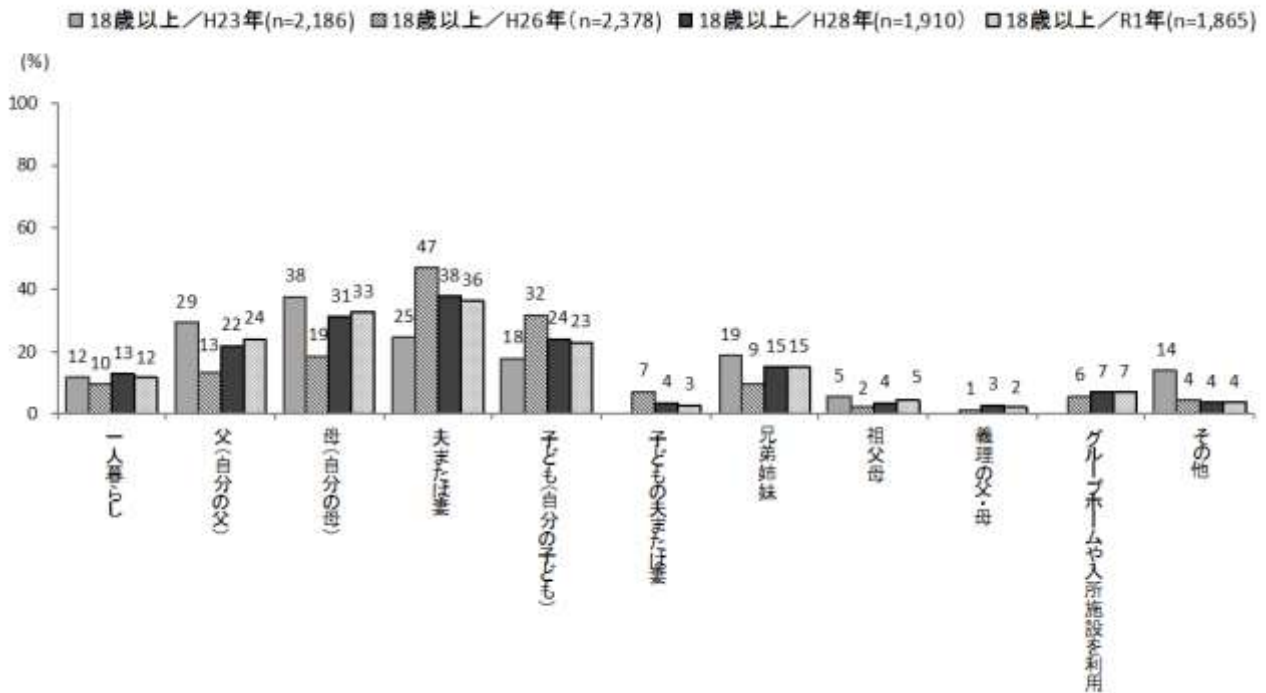
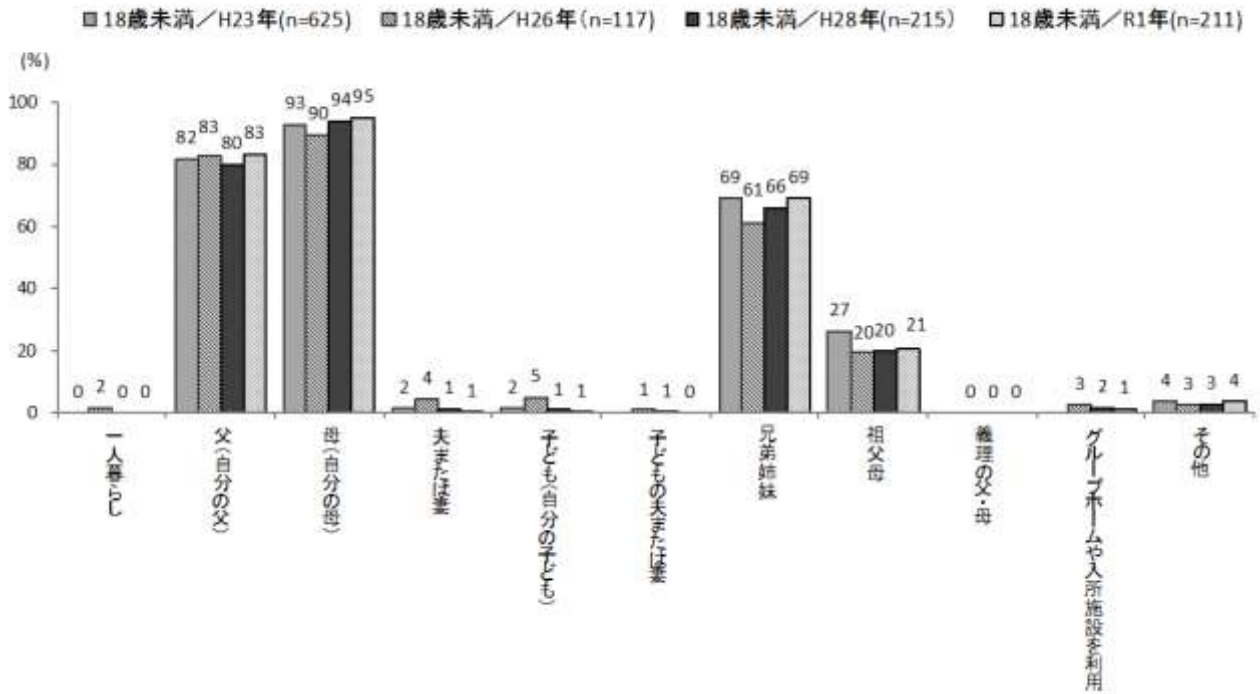
孫(12件)/入院中(11件)/伯母(3件)/甥(2件)/義弟(2件)/叔父(2件)/彼女(2件)/妹家族(2件)/姪(2件)/パートナー/義理の姉、甥/兄夫婦と/元夫/交際相手/姉の実家/姉の夫、姉の子2人/修道院/叔母/淑母/出張先の寮/親戚/曾祖母/息子夫婦と孫・孫・義兄/知人/内縁の妻/友人、義父/介護老人保健施設/有料老人ホーム/子供、帰りたくても帰ってこれない状態/一時帰宅時はご両親/犬1匹/猫/自分が介助できなくなった時に親身になって支援してくれる人を見つけることが出来るか不安

<年齢別>



<経年変化>

平成 26 年・28 年の調査結果と比較すると、18 歳以上においては「夫または妻」「子ども」と同居している人の割合が低くなっており、「父」「母」の割合が高くなっている。

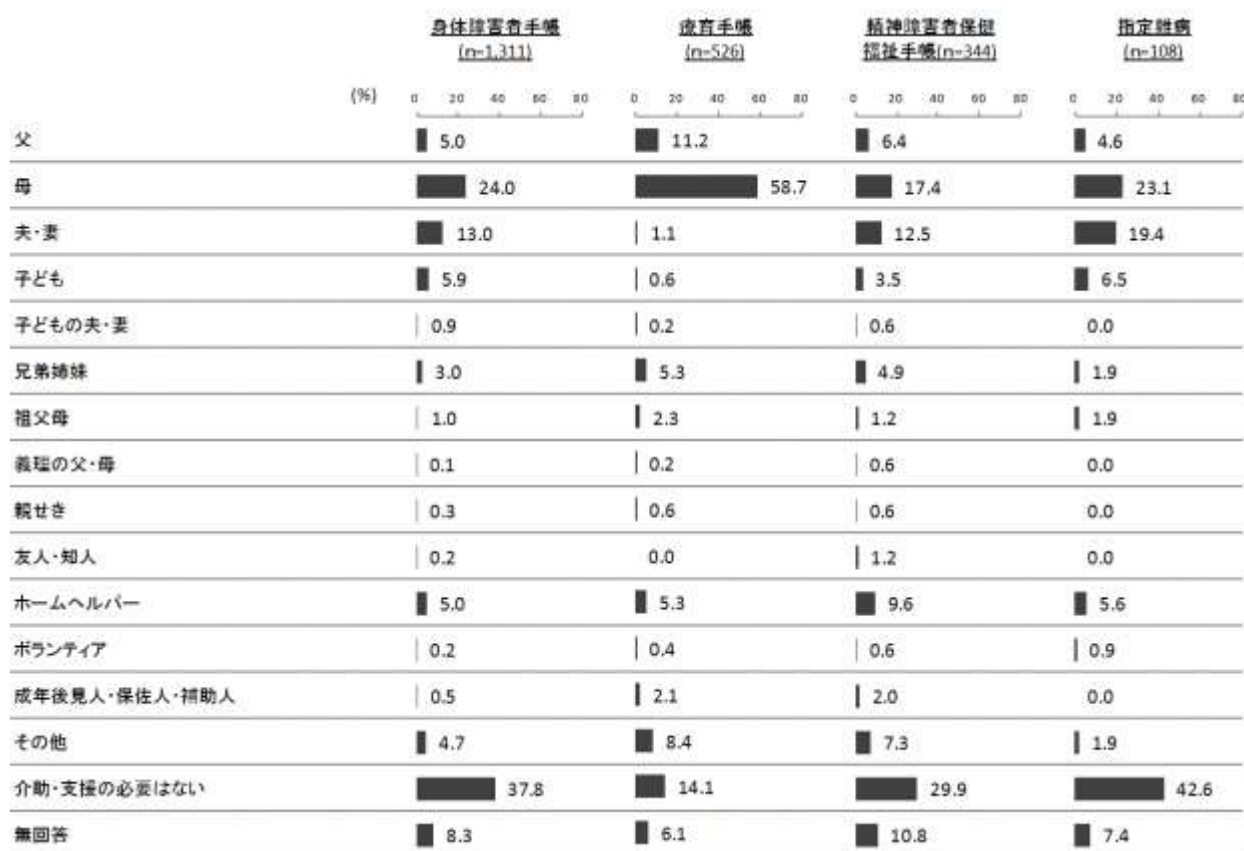


(2) 主な介助者

問 10 あなたは、普段の生活で介助又は支援を必要としていますか。
 介助又は支援が必要な方は、主な介助者又は支援者は誰ですか。(○は1つ)

身体障害者手帳所有者については「介助・支援の必要はない」が37.8%を占めているが、介助者・支援者（以下「介助者」）としては「母」が24.0%と最も高い。療育手帳所有者では「母」が58.7%と最も高い。精神障害者保健福祉手帳所有者では「介助の必要はない」が29.9%となっているが、介助者としては「母」が17.4%となっている。指定難病では「介助の必要はない」は42.6%となっている。

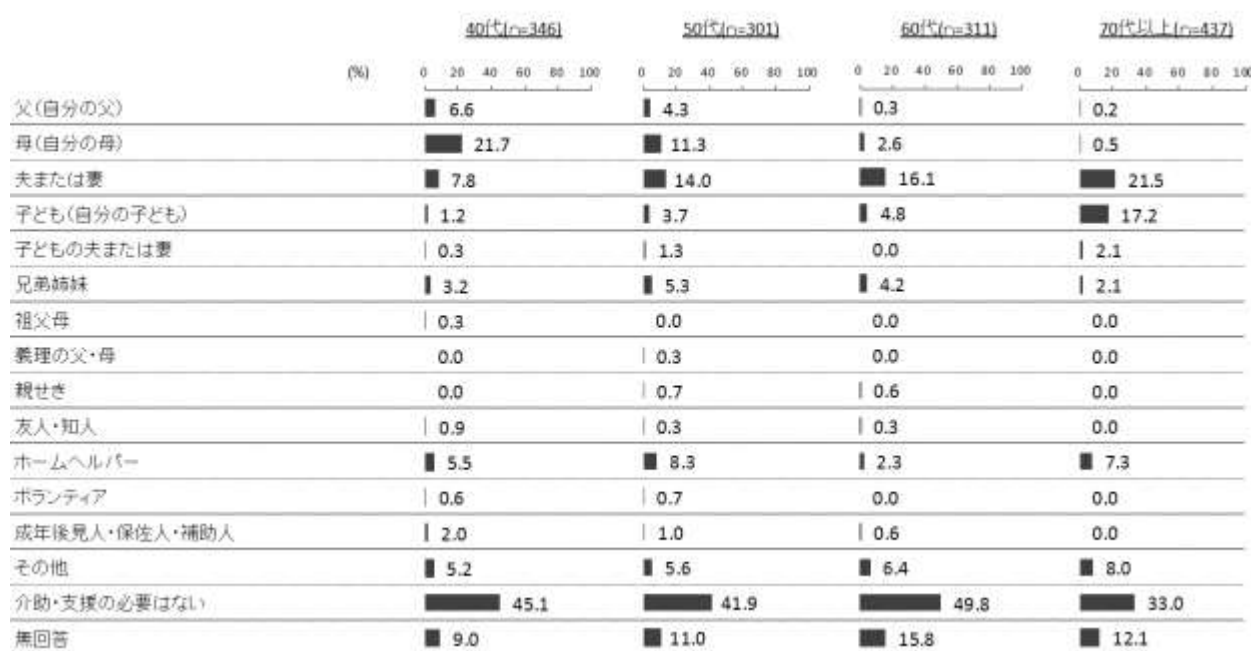
年齢別で見ると、40代以下では「母」の割合が高く、50代以上になると「夫・妻」が高くなっている。



(その他)

施設職員(62件)/入院中(7件)/訪問看護師(5件)/生活保護(3件)/デイサービス(3件)/G-STEP/医療機関の方/見守り/権利擁護センター/市の担当者/時と場合による/修道院の仲間/書類などの読みや記入/常識ない人多い/世話人/生活支援員/通訳介助者/発作時のみ支援要/福祉事業/保健師/その日の体調によって介助が必要な日もある/ヘルパーは断られてしまいました/普段の生活では介助は不要だが、時々重症になると入院している/必要だが自力で頑張っている/13番を受けたいと思ってる/高齢のため不安。足腰が衰えて杖を使用(ふらつきが多い)重い物は持てなく掃除等大変。70才より杖使用

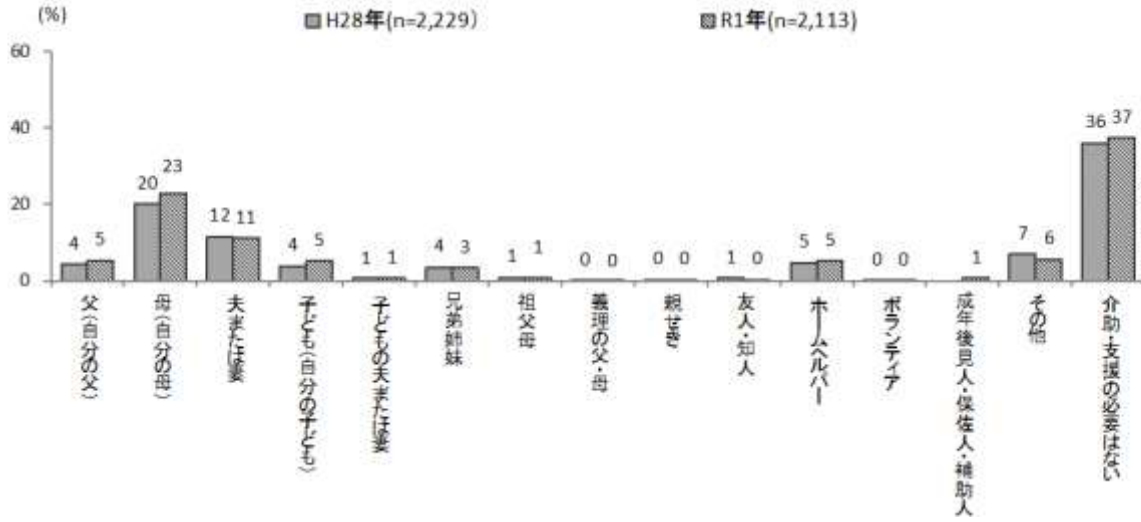
<年齢別>



<経年変化>

平成 28 年の調査結果と比較すると、「介助・支援の必要はない」が微増した一方で、「母」も増加している。

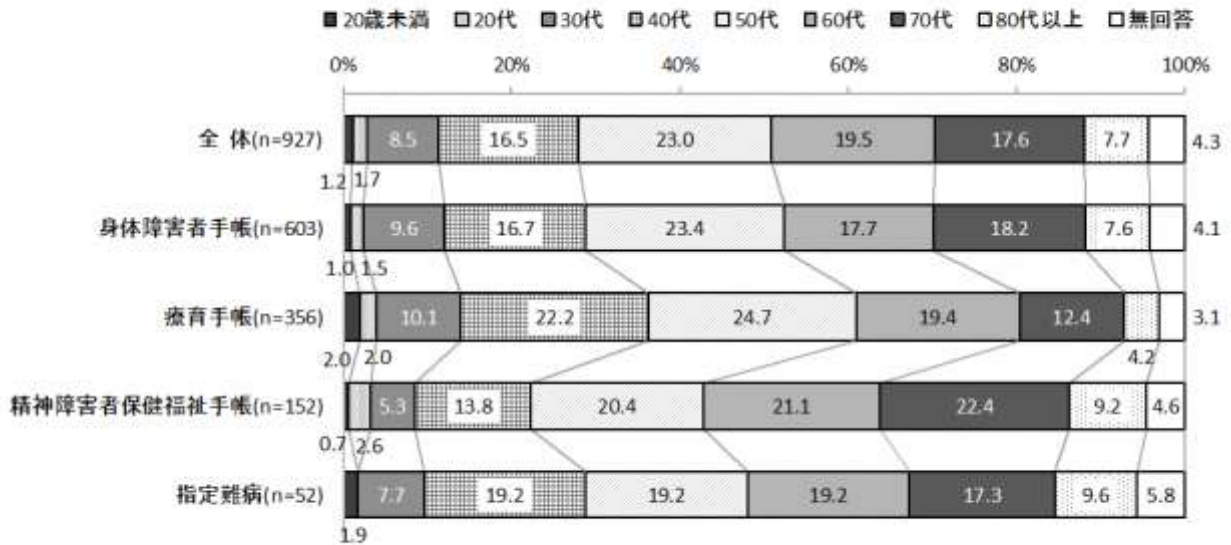
※ 「成年後見人・保佐人・補助人」は令和元年調査より新設。



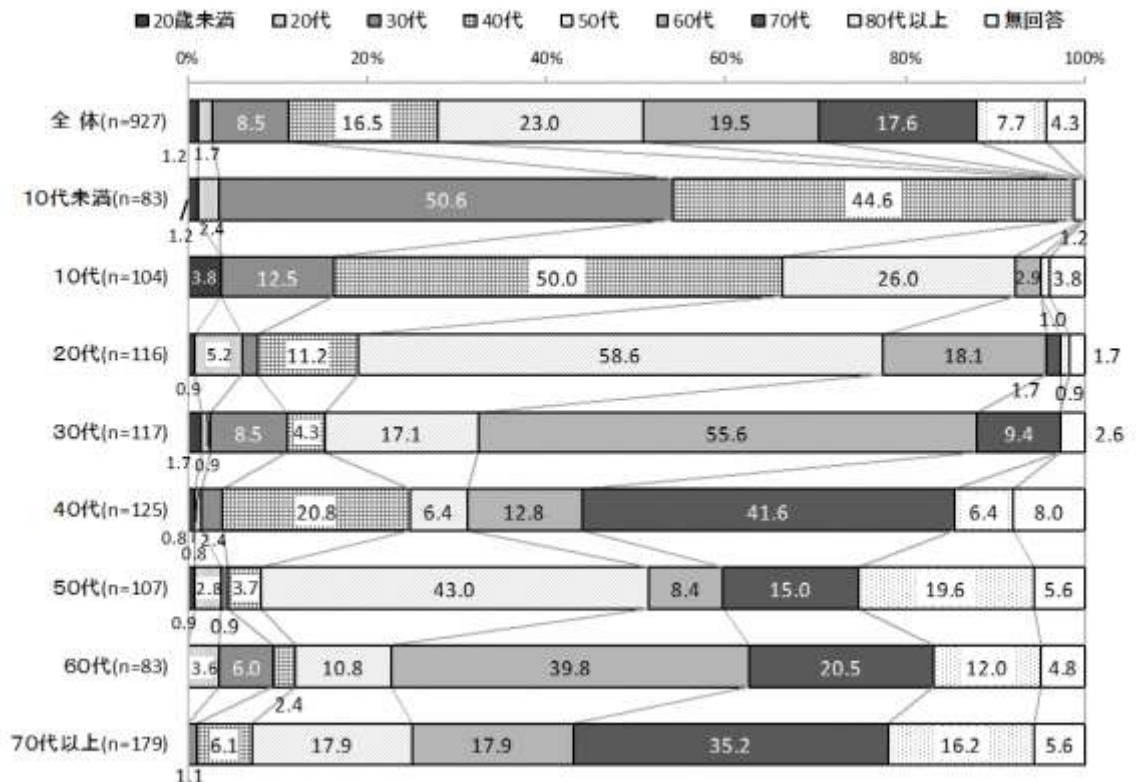
付問① (介助・支援をしている方にお伺いします)
 主な介助者又は支援者の年齢はいくつですか。(○は1つ)

主な介助者の年齢としては、精神障害者保健福祉手帳所有者で60代以上が5割を占めている。療育手帳所有者については「50代」が24.7%と最も高い。

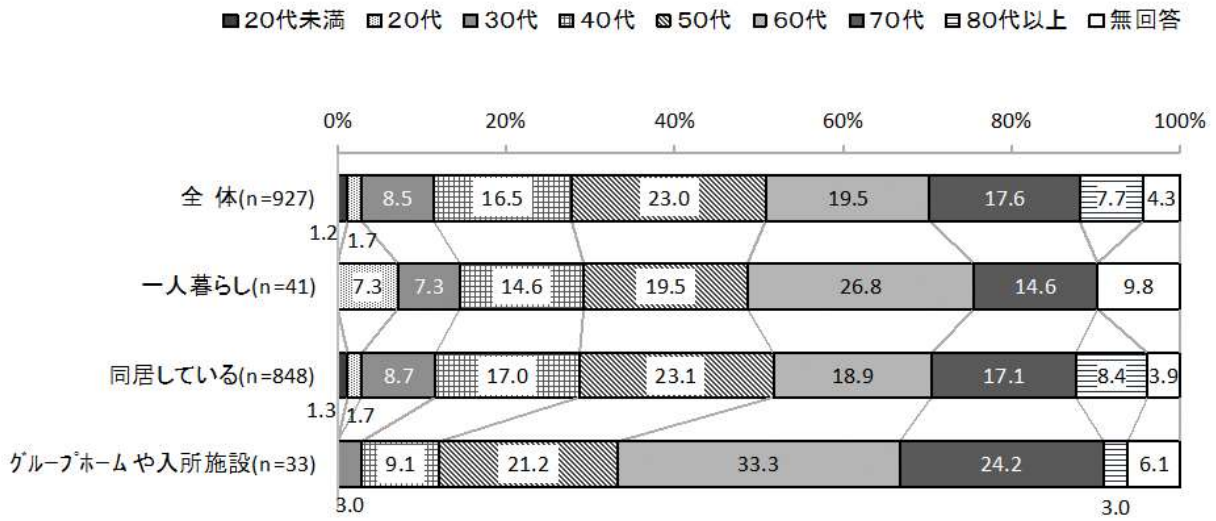
年齢別で見ると、40代以下では主な介助者が「母」であるため、20代では50代の介助者が、30代では60代の介助者の割合が高くなっている。50代以上になると、主な介助者は「夫・妻」となるため、介助者は同年代である割合が高い。



<年齢別>

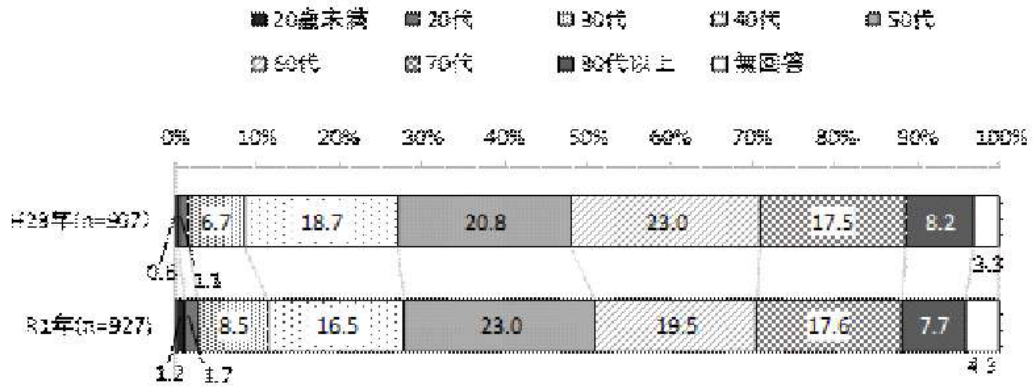


<同居の状況別>



<経年変化>

平成 28 年の調査結果と同様の結果となっている。



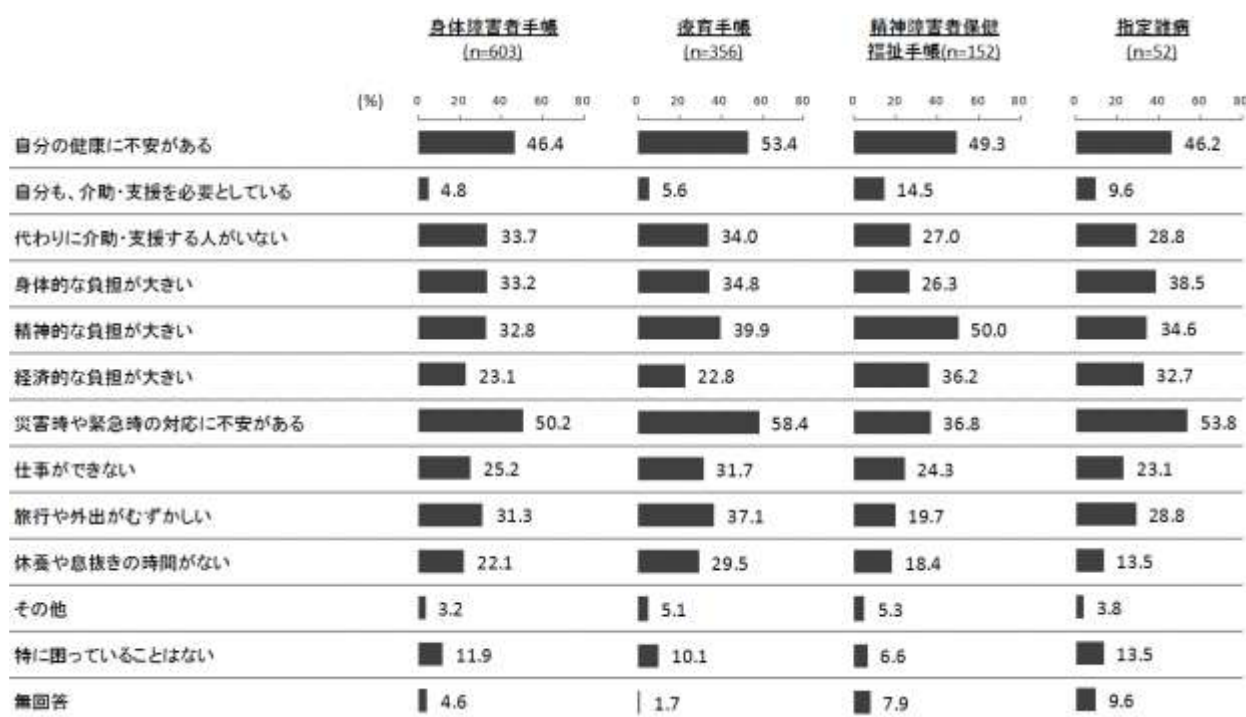
付問② (介助・支援をしている方にお伺いします)
 介助・支援をしていて困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

介助・支援をする上で困っていることは、身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者では「災害時や緊急時の対応に不安」が5割を越し、最も高い割合となっている。精神障害者保健福祉手帳所有者においては「精神的な負担が大きい」が50.0%でトップ。また、4者ともに「自分の健康に不安」が2番目に高い項目となっている。そのほか、「代わりに介助する人がいない」「身体的な負担が大きい」などの数値も高くなっている。

対象者の年齢別でみると、10代未満の障がい者を介助している人では「仕事ができない」が「災害時や緊急時の対応」と並んでトップとなっている。

また、日常的に医療ケアを受けている障がい者を介助している人については、全般的に「災害時や緊急時の対応」、「代わりに介助する人がいない」、「自分の健康」に不安を抱えている人が高くなっている。

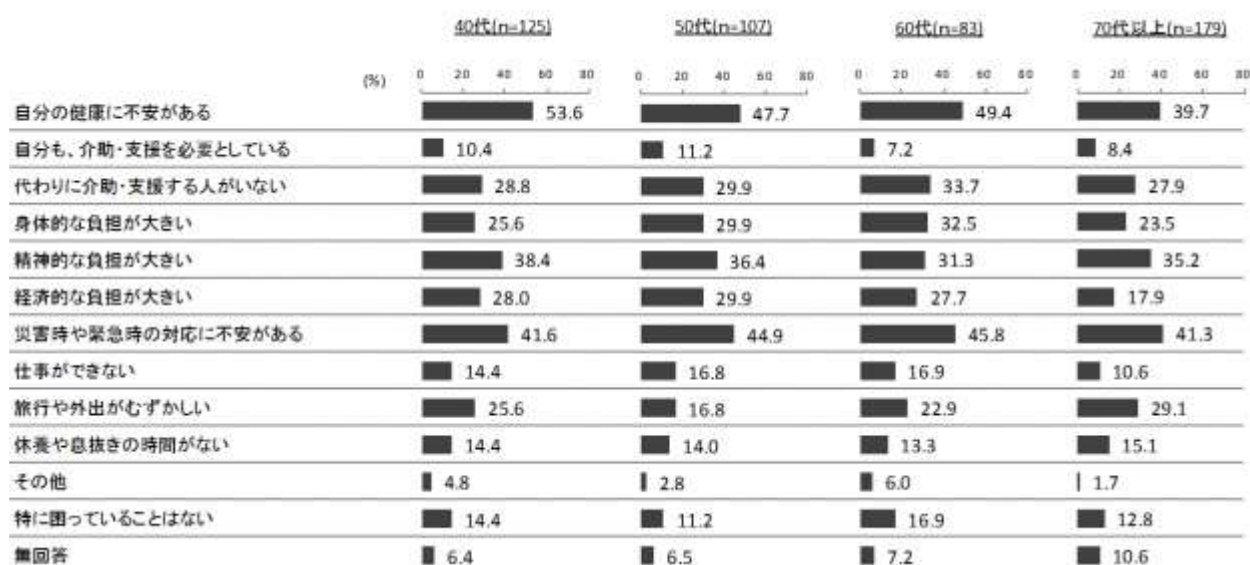
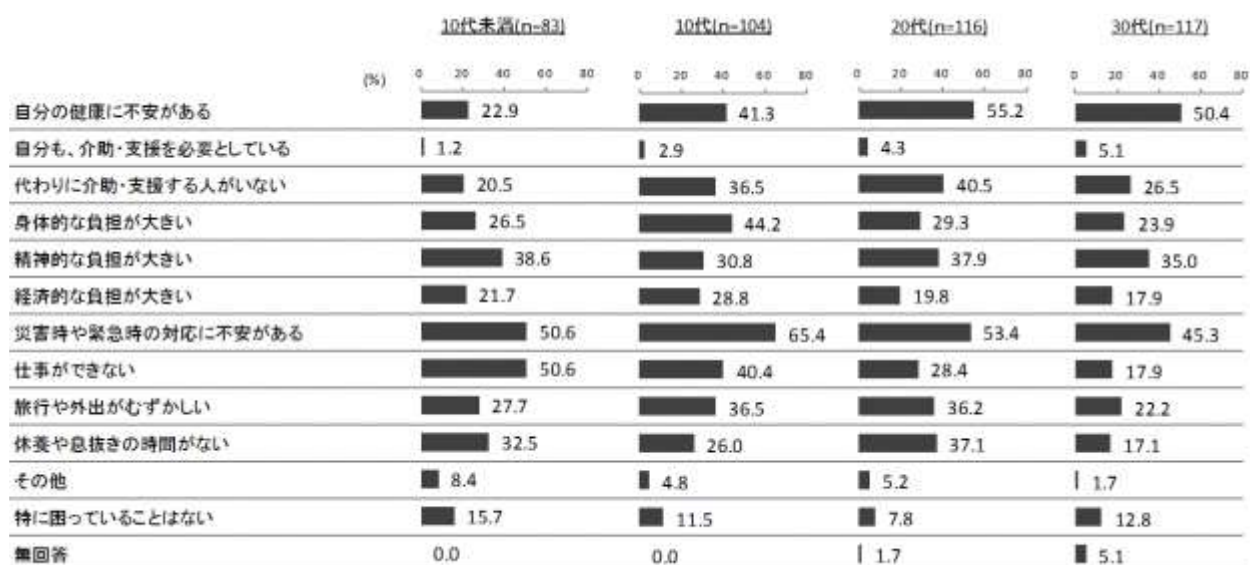
介助者の年齢別でみると、年齢にかかわらず「災害時や緊急時の対応」は高い。そのほか、「自分の健康に不安がある」は、年代が上がるほど高くなり、特に70代以上で高い数値となっている。



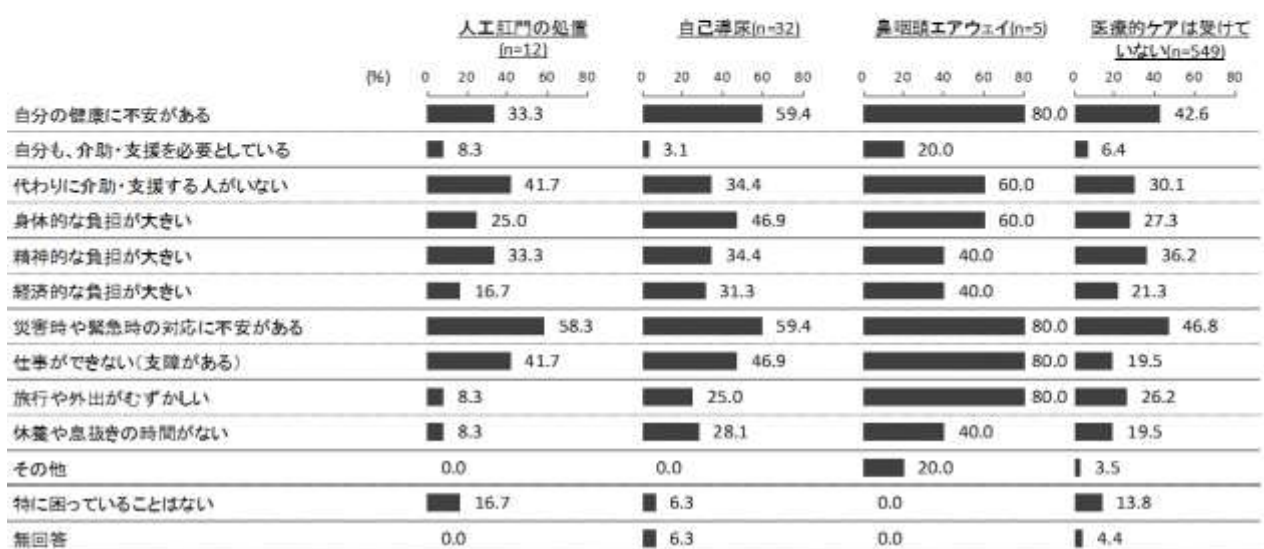
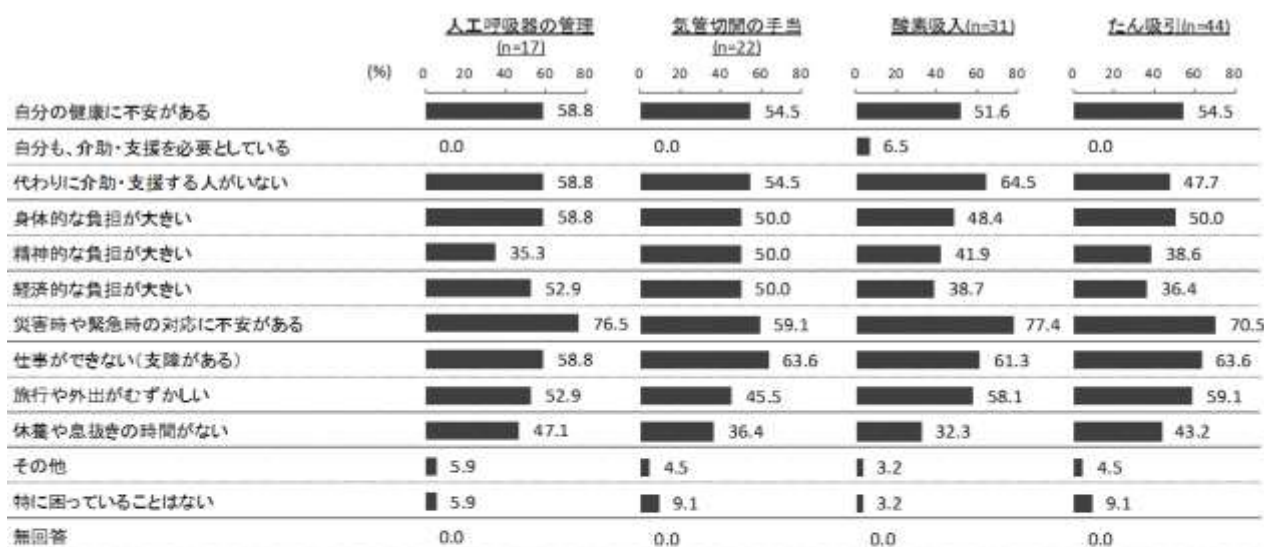
(その他)

将来の不安(12件)/施設職員(2件)/1泊して外出することが出来ない/できる範囲のことをしている/みんな言うことを聞いてくれない/家中の家具・家電・設備を壊される/学習支援の場がない/言っていることがわからない/左の手、足がしびれて感覚がわからない/妻障がい1級、ペースメーカー/子供への負担がかかっている/支援ヘルパーの不足、特に男性を支援するヘルパーが少ない/施設入所/自治会への参加が出来ない/授産所の帰途、のりかえ場所で立ち続け、帰り時間が遅くなり、翌日の生活に支障が起きないように声掛けをするのに疲れてしまう/常時一緒にいることが出来ない。仕事があるため。/人に任せたい気持ちもあるが、気持ちを伝えられない子供をどこまで親身にみてるのか…。日によって人も違う。心配/長時間1人には出来ない事/通学に送り迎えを必要としている/特に母睡眠ほしい/二次障害で人前で言葉が出ない(母親とは話す)/認知傾向と思われる言動が増えている/犯罪行為があるため/父母ともに介護を要する/別々に暮らしている為、いざという時にすぐにつけかけができない/保育園で無視をしないで/保育場所(本人にあった保育園、幼稚園)を探すことが難しい。そういう情報をもっと欲しい/毎日の投薬、食事等介助全般/目が離せない日常/嚥下障害、構語障害があり、食事の世話や意思の疎通が他の人に出来ない

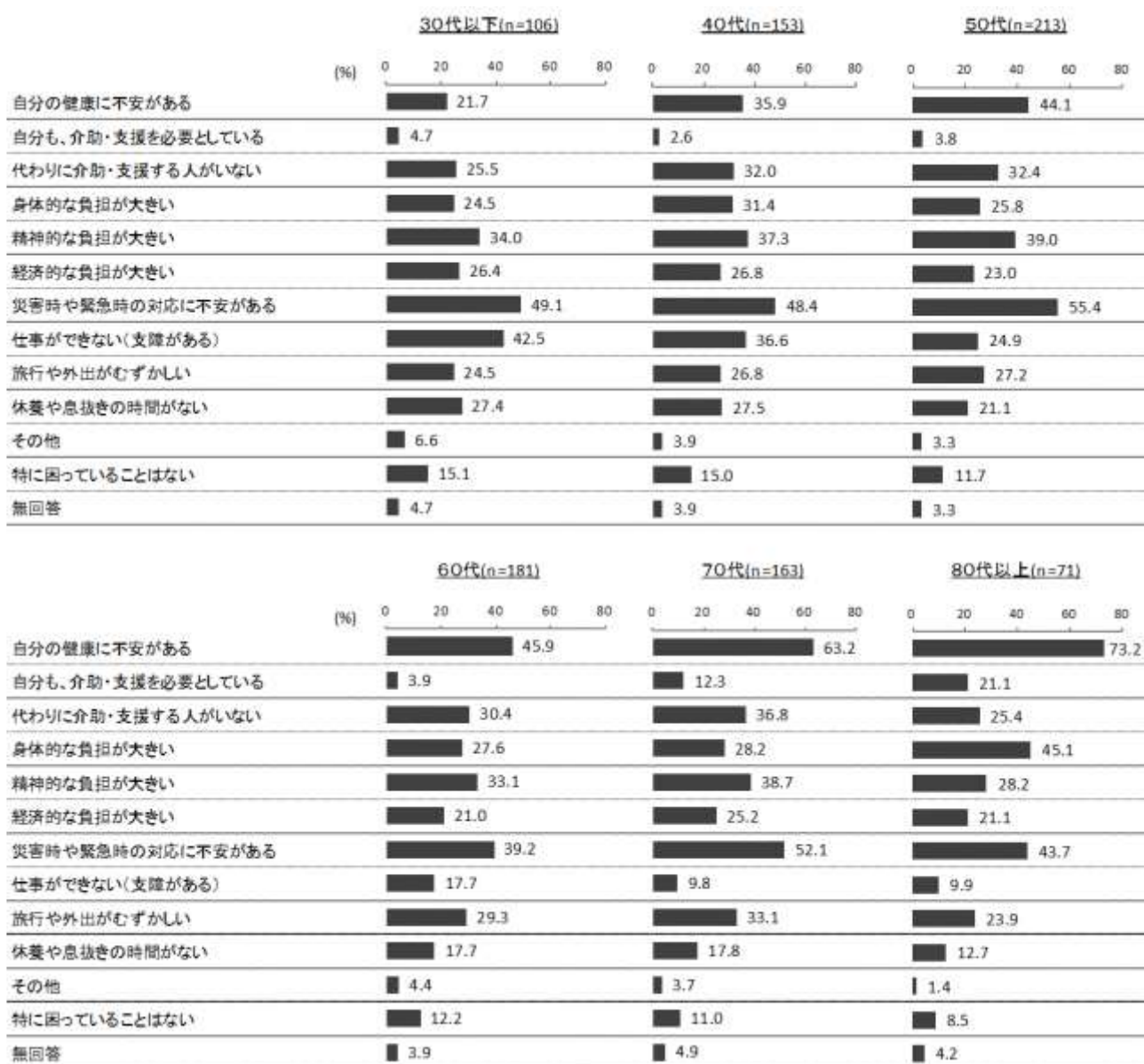
<年齢別>



<日常的に受けている医療ケア別> ※「その他」省略



<主な介助者の年齢別>



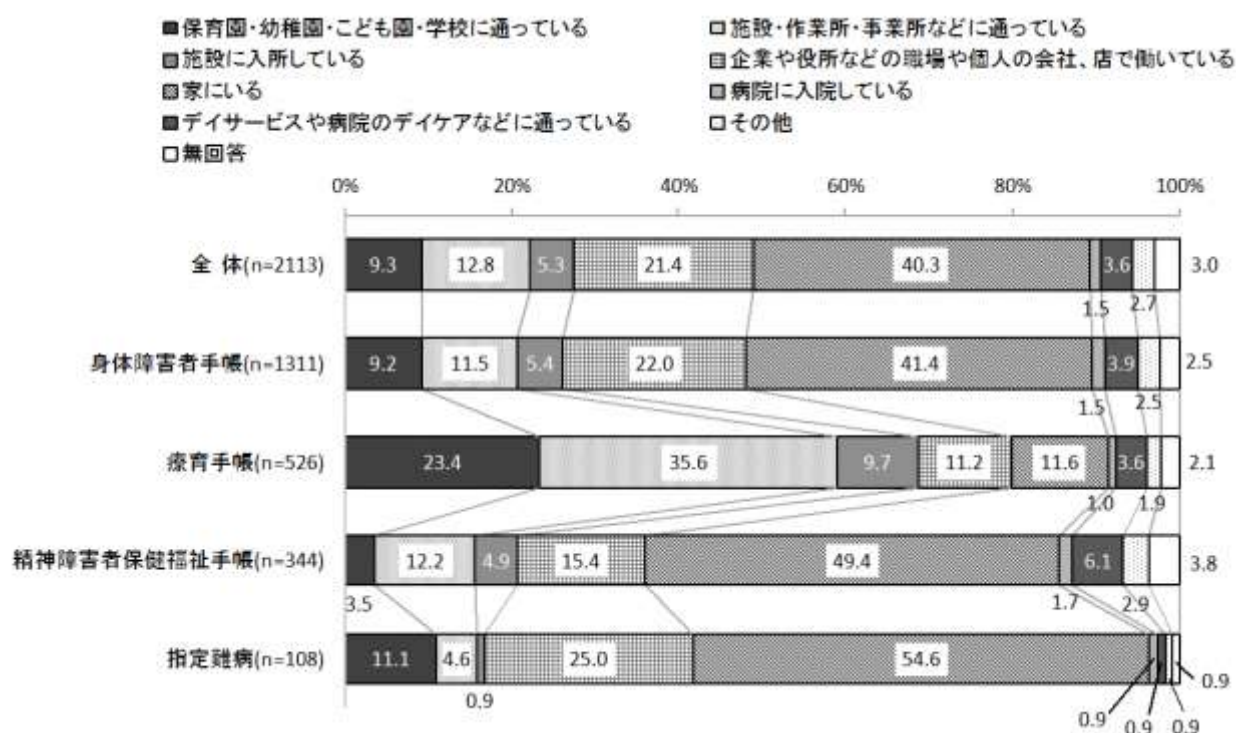
3. 日常生活について

(1) 日中の過ごし方

問 11 あなたは、日中は主にどこで過ごしていますか。(○は1つ)

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者は、「家にいる」が最も高く、いずれも4~5割を占めている。次いで「職場や会社、店」の割合が高い。療育手帳所有者では「施設・作業所・事業所など」35.6%、「保育園・幼稚園・こども園・学校」23.4%の順に高い。

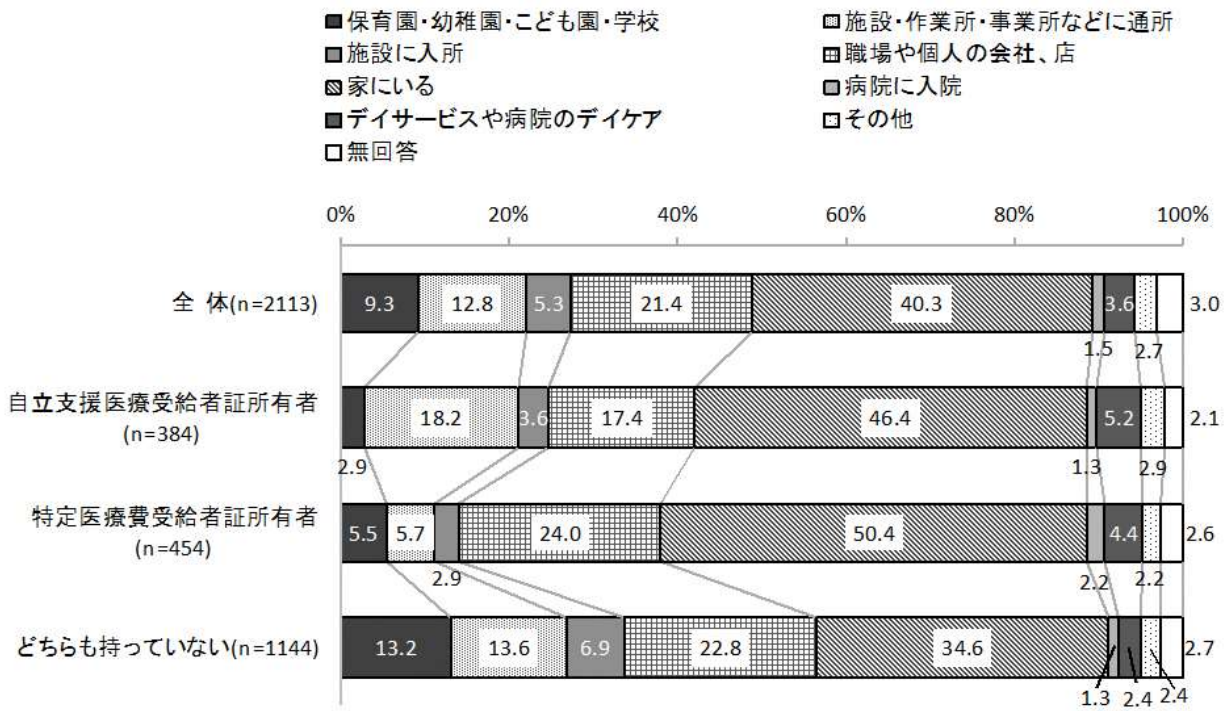
受給者証有無別でみると、特定医療費受給者証所有者は「家にいる」が50.4%と高くなっている。



(その他)

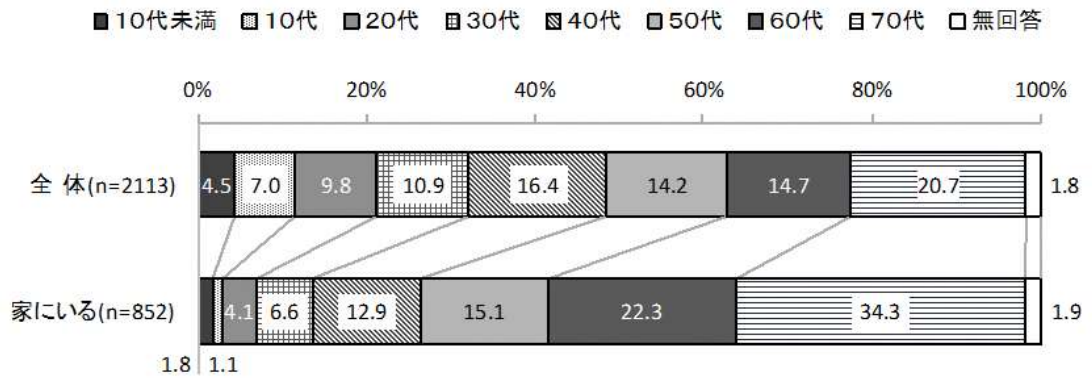
職場(21件)/農作業(5件)/散歩(4件)/家にいる(3件)/週3回病院(3件)/児童発達支援センター(2件)/こころのケアセンターへ通院/ショートステイ/フリーランス/ホームの自宅/医療型施設/家、S形、通所リハビリ/求職中/午前中はスポーツジム/在宅勤務をしている/自分の部屋/自立型施設と家の両方/就労移行支援/修道院/週一度のリハビリ通院/生活支援センター/特養老人施設/妹の家にいる/1週間に3日、1日3.5hのスーパーの仕事をして居ます/1週間に4日働いているので後の3日は家にいる/3日間は機能訓練・デイサービス、その他は家/会社が廃業になり訓練施設に通うことになっている/自由。白の動ける範囲で過ごしている/週3日午前中施設、半分は家にいる/出来るだけ運動をするように心掛けています/晴天時は運動療法・ウォーキング・自転車・他運動(鉄棒)/祖父母の家を外出/二日に一日透析。一日は軽作業/日本民謡の指導している。六チーム(シニア)/買い物等に車で出掛ける

<受給者証有無別>



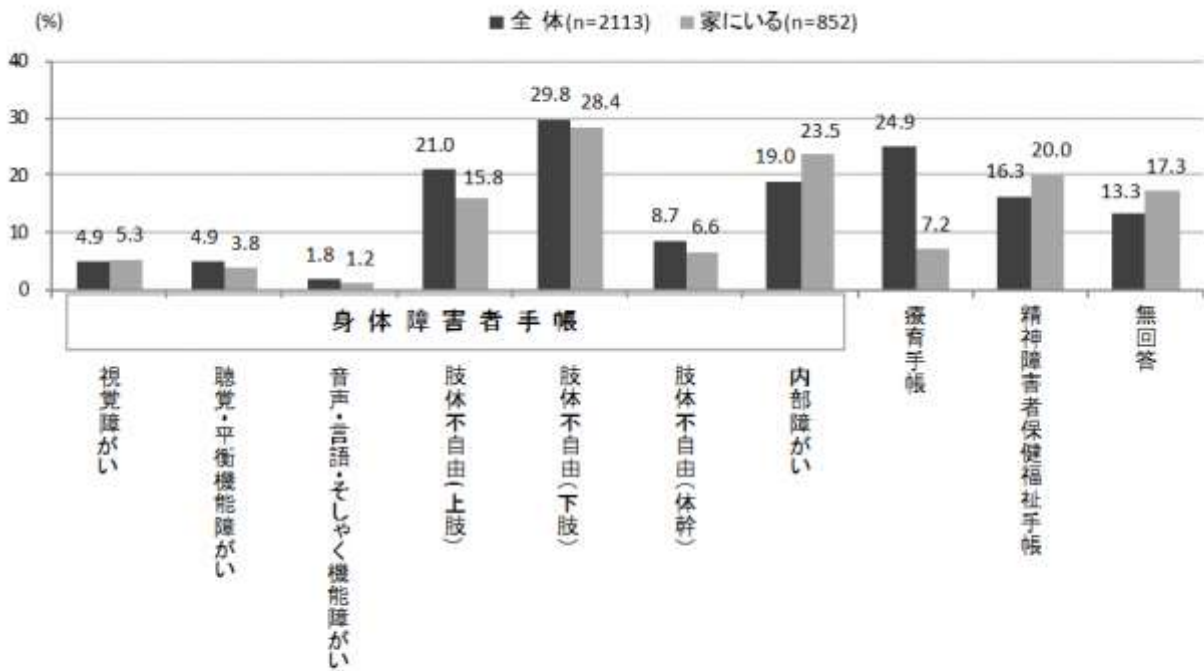
<「家にいる」と回答した人の年代構成>

日中「家にいる」人の年代構成は、60代以上で5割以上を占めている。



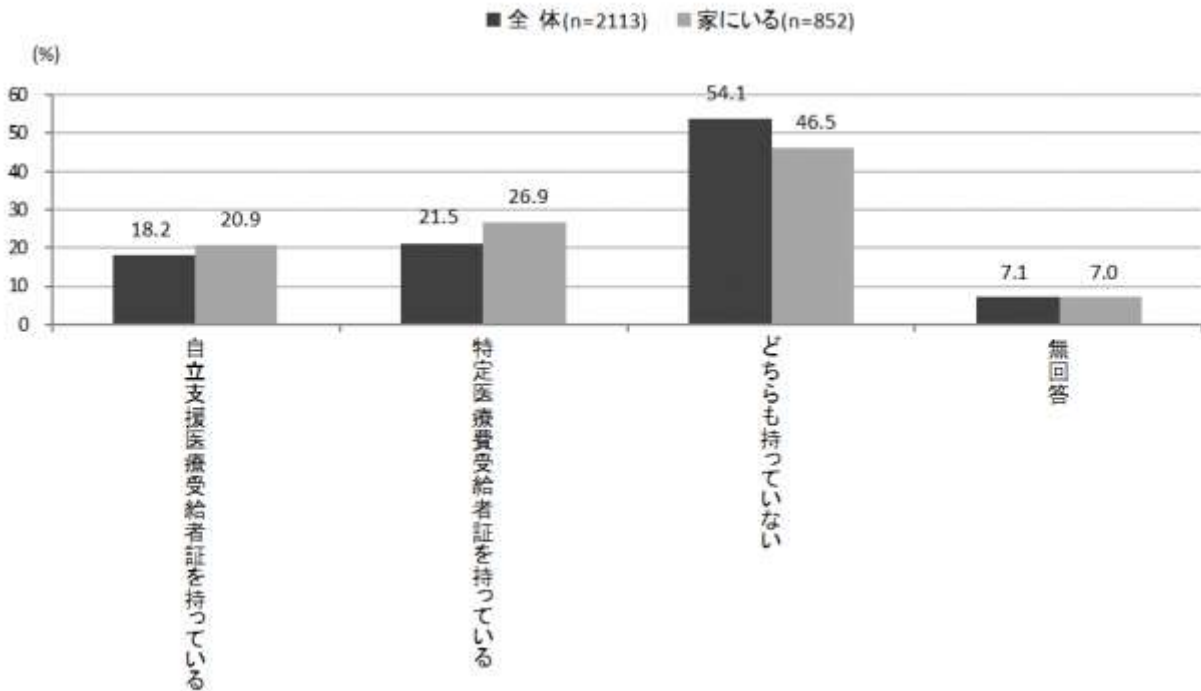
＜「家にいる」と回答した人の所有する手帳の種類＞

「家にいる」人では、療育手帳を持っている割合が全体より著しく低い。



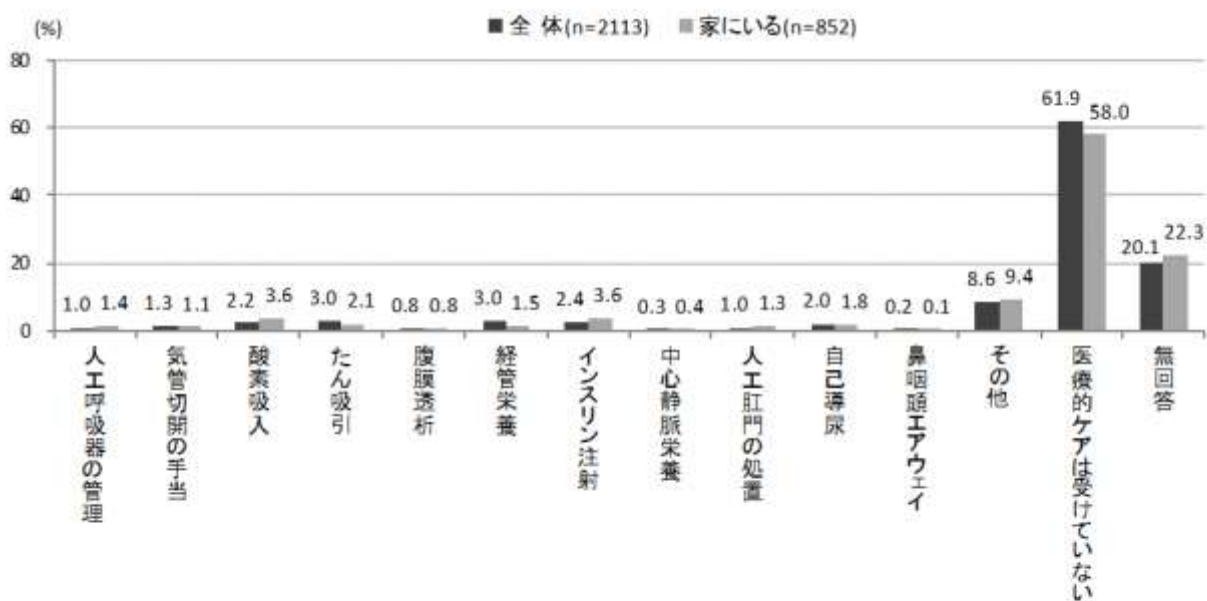
＜「家にいる」と回答した人の受給者証の所有状況＞

「家にいる」人では、いずれかの受給者証を持っている割合が全体よりやや高くなっている。



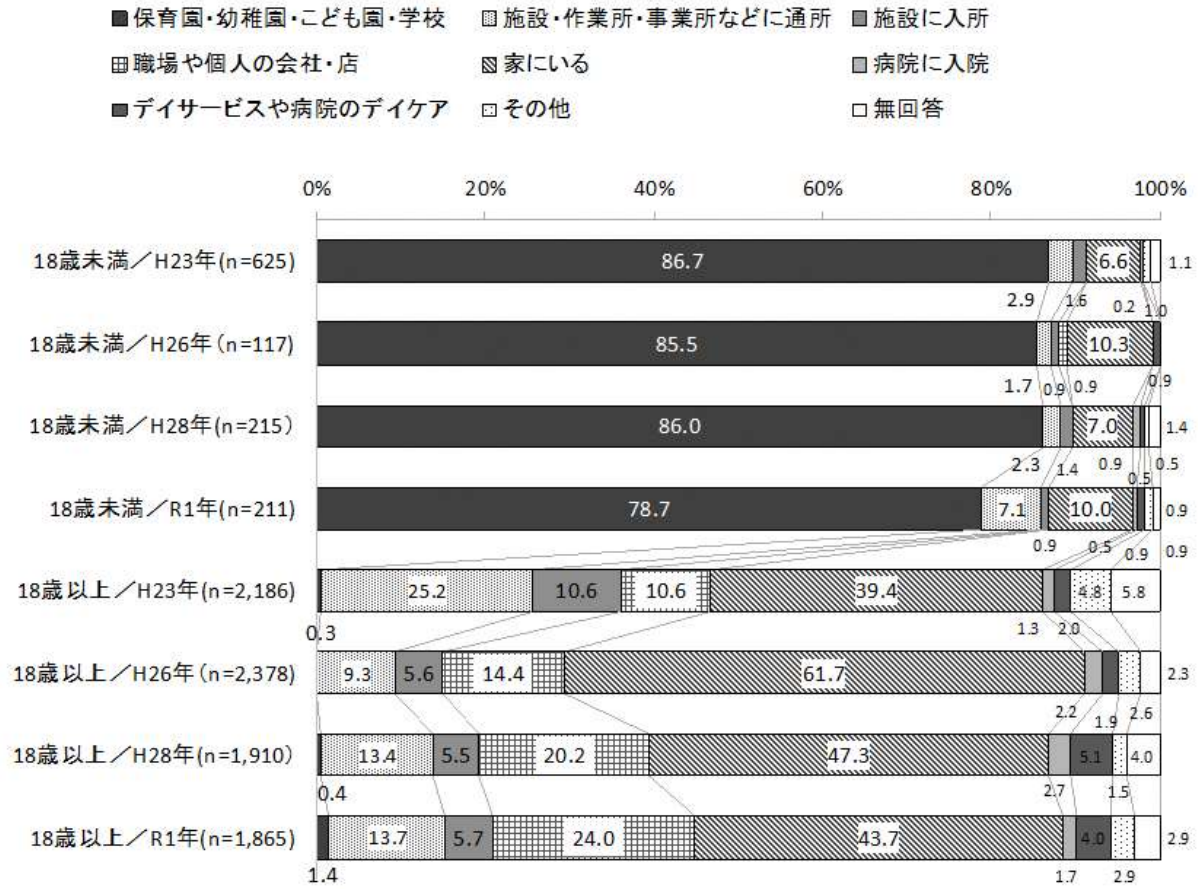
＜「家にいる」と回答した人の日常的に受けている医療的ケア＞

「家にいる」人では、「医療的ケアは受けていない」との回答がやや低くなっている。



<経年変化>

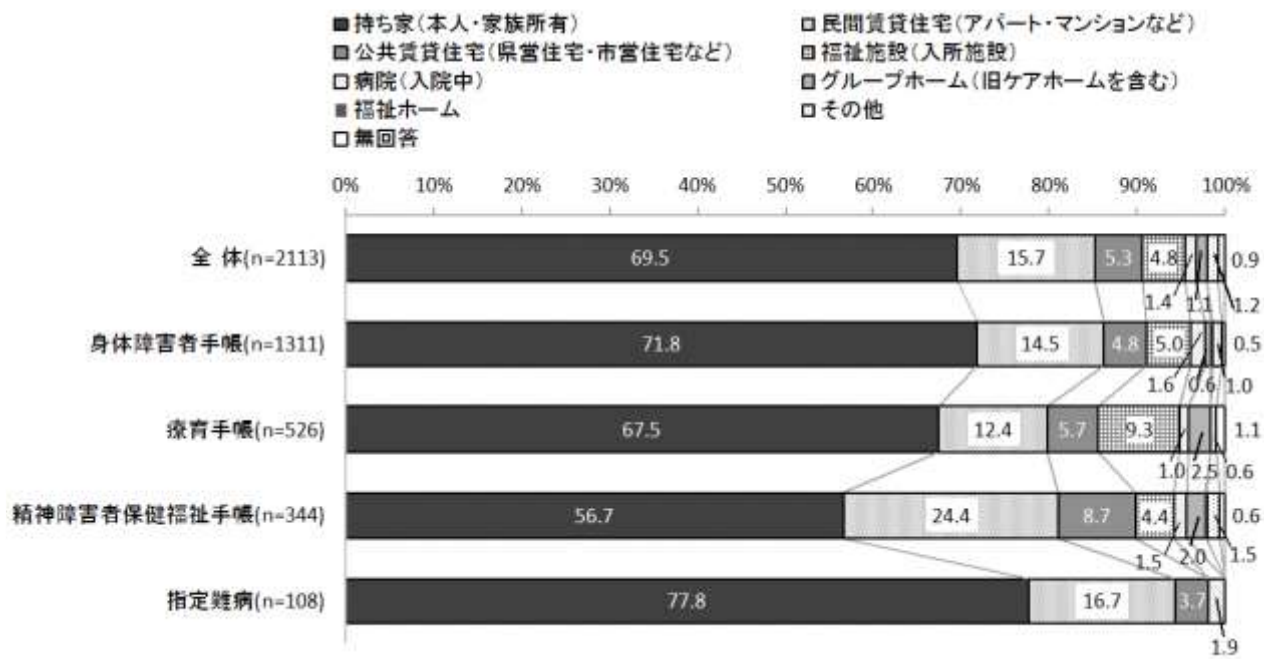
過去の調査結果と比較すると、18歳以上において「職場や個人の会社・店」の割合が年々高くなってきている。



(2) 住まいの種類

問 12 あなたの現在のお住まいの種類はどれですか。(○は1つ)

全体の69.5%が「持ち家」に住んでいる。「民営の借家」「公営の借家」と合わせて自宅に住んでいる人がおよそ9割となっている。



(その他)

社宅(3件)/親戚の家(3件)/有料老人ホーム(2件)/家族所有のマンション賃貸/官舎/寺の中の住居/自立型施設と家の両方/実母の家/借家・一戸建/修道院/職員宿舎/貸家/単身赴任中(アパート)/友人の家

(3) 日常生活の悩み

問 13 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

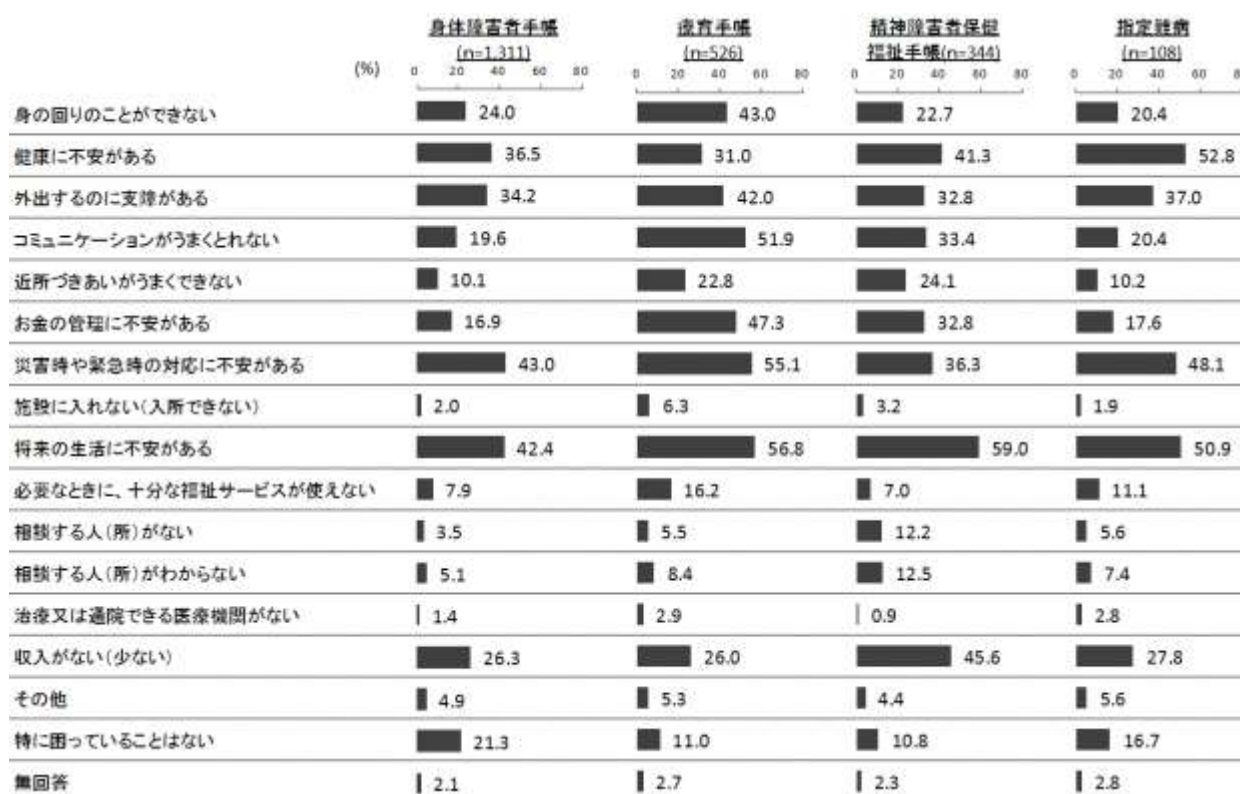
身体障害者手帳所有者においては、「災害時や緊急時の対応に不安」が 43.0%でトップ。次いで「将来の生活に不安」が 42.4%と僅差で続き、「健康に不安」38.5%、「外出に支障」34.2%の順。療育手帳所有者では、「将来の生活に不安」が 56.8%でトップ。次いで「災害時や緊急時の対応に不安」が 55.1%、「コミュニケーションがうまくとれない」が 51.9%。精神障害者保健福祉手帳所有者では「将来の生活に不安」が 59.0%でトップ。次いで「収入がない」が 45.6%、「健康に不安がある」が 41.3%。指定難病者では、「健康に不安がある」が 52.8%でトップ。次いで「将来の生活に不安」が 50.9%、「災害時や緊急時の対応に不安」が 48.1%。

年齢別でみると、30代以下においては「将来の生活に不安」が5割以上と高い。40代以上になると年齢を追うごとに「将来の生活に不安」は低くなり、「健康に不安」の数値が高くなる傾向にある。また、「災害時や緊急時の対応に不安」は年齢を問わず高い数値となっている。

「自立支援医療受給者証」の所有者についてみると、「将来の生活に不安」が高く 62.5%となっている。

発達障がいの診断名別でみると、全般的に「コミュニケーションがうまくとれない」が高くなっている。

また、日常的に受けている医療ケア別では、医療的ケアを受けていない人で各数値が低い傾向となっている。



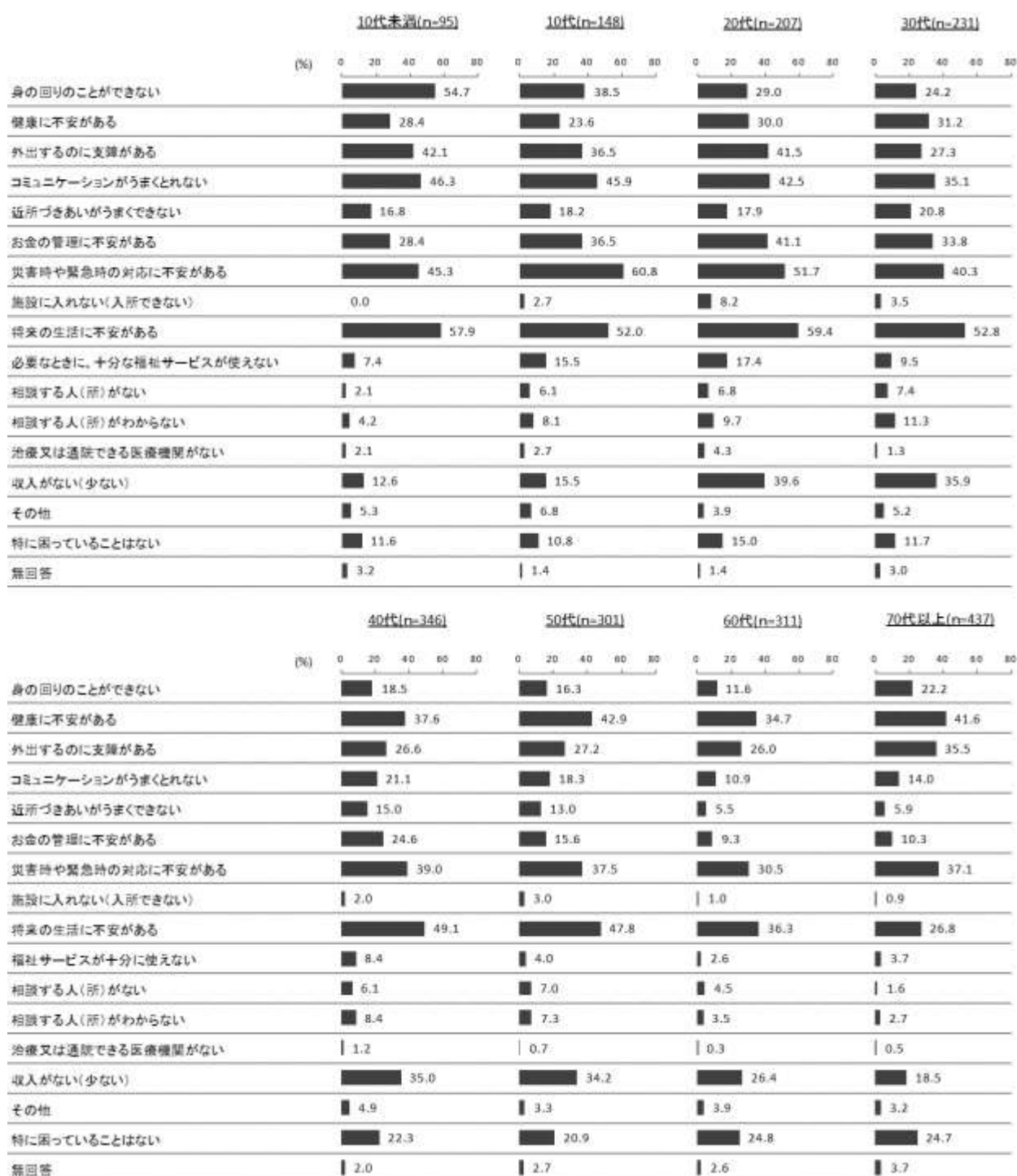
(その他)

- ・ 交通の便での不安(3件)
- ・ 収入なし(2件)
- ・ 1人では外出できない
- ・ 5の近所づきあいは、普段外出できないのでない
- ・ アトピー性皮膚炎
- ・ ども病院を卒業した後の受診に不安がある
- ・ ヘルパー不足
- ・ 意思の疎通が出来ない(会話)
- ・ 意識がない(植物状態)
- ・ 医療費控除が少ない

Ⅱ 調査結果

- ・一人では何もできない
- ・家が傷んでいるが、自分で直せなくて困っている
- ・介助者の負担
- ・外出、買物、通院、自室の掃除、エアコン、針を使うこと
- ・外出が不安でできない
- ・急な入院に対応してもらえない病院が少ない
- ・急な病状悪化で病院に行けない・手段がない
- ・近所の買い物をする所で、嫌な顔される。注意される(本人何もしていないのに)
- ・苦手とするご利用者多数・トラブルも起こりやすい
- ・公立校の為、和式のトイレで足が大変で使えない(洋式のみ)階段など転びやすい
- ・高齢の親の介護、日常生活支援
- ・腰・ひざ痛で階段が大変
- ・今は良いがいずれ独居になった時、人工関節なので、支障が出てくるかが心配
- ・困っている事がわからない
- ・差別をあらゆる所でうける事
- ・妻が知的障害などあるので、いざとなるといざという時に頼るのは自分しかない
- ・妻の厚生年金がもらえない
- ・在宅介護があるので長時間外出できない。友人等と食事できない
- ・子供が犯罪行為に巻き込まれている
- ・市県民税、畑、田の所得税が払うのが大変と言われています
- ・視力が弱い
- ・視力障害がある為公共の掲示板や案内板などの識別が難しい
- ・字が書けない
- ・自営なので大変でも働かないと生活出来ない事
- ・自転車に乗れない
- ・自由に外出させてもらえない
- ・周囲になぜ体調が悪くてできないのか伝わらない
- ・就職しにくい
- ・住居が姉の家族と同居中だが、部屋が狭く、同居に支障がある
- ・住宅内の段差などが大変になってきた
- ・所有地の保全管理(除草等)
- ・将来一人になって入院時の保証人
- ・将来親がいなくなった時への心配
- ・障がい児が通える習い事が少ない＝将来の余暇活動の練習が出来ない
- ・職場の理解を得ること
- ・心臓病なので職場で倒れたときが一番不安です
- ・人工内耳装用器具(消耗品、修理代等)価格が高いため将来的に不安
- ・正座が出来ない
- ・生活保護が安すぎて生活できない
- ・専門医が遠方にしかない
- ・全く困る感覚は無い
- ・全介護のため、今は家族がやってくれているが基本にも自分ではできない→家族がいなければ何もできない
- ・体が弱く、よく体調こわして休みがち。しかも長引く
- ・体調が悪い時、子どもの面倒を夜間や休日などみてほしい
- ・遅い時間に人工透析してくれる施設が少ない
- ・長い距離を歩けない(車椅子使用移動時)学校の課外行事が大変
- ・同行援護にいろいろ問題がある。行く所によっては、同行してもらえない事
- ・日中職場のため、近付き合いがほぼない
- ・認知症による物忘れ
- ・年中ふらふらする(薬をもらっているが血流が悪いためか)(睡眠中、痰のどに詰まって困る。死にかけたことが2回ある。)(歩行能力が衰えてきている。少ししか歩けない。)(手にさわる物に頼って歩く。てすり等)(血圧が上がると息苦しくなるので薬を飲んでる。)
- ・年齢がおさな過ぎてよくわからない
- ・平日、日中仕事をしているが、平日の夜や土日に通院できる病院がない
- ・保育園での親子競技に参加できない
- ・歩行(長時間での)
- ・補装具が一足しかないので修理の時に困る
- ・妹、手伝ってもらう
- ・夢や目標がない
- ・目耳が片方悪い、足のしびれがあっても認めて貰えない
- ・薬が手持ちにない時
- ・予約や連絡を取る時、電話でしか手段がない場合(FAX 持っていません)
- ・様々な手続きが不得手
- ・理解するだけの知能を持ち合わせていません
- ・両親の介護の為職をなくす
- ・嚥下障害の為、外食が出来ず(ミキサー食)病院等も昼食にかかる大変。常にとろみ飲料を持ち歩かなくてはならない。構語障害があり、口で何か伝えられない
- ・膀胱切除手術を受け代用膀胱の為、排尿に苦労すると、特に夜間は尿漏れがひどく3回はトイレに行く。寝不足になりがちで困っている

<年齢別>



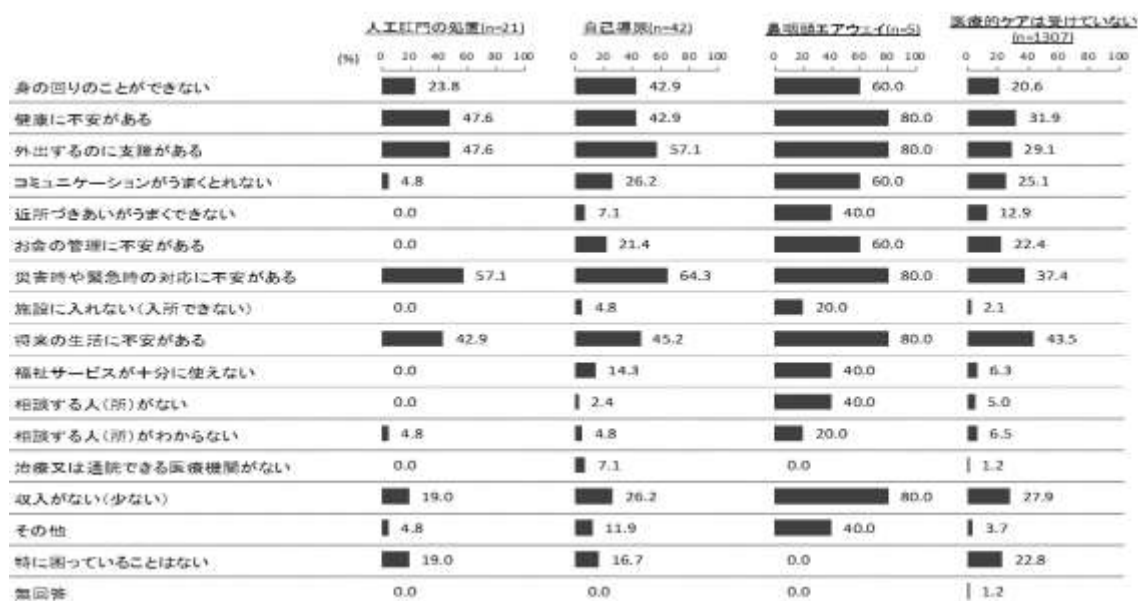
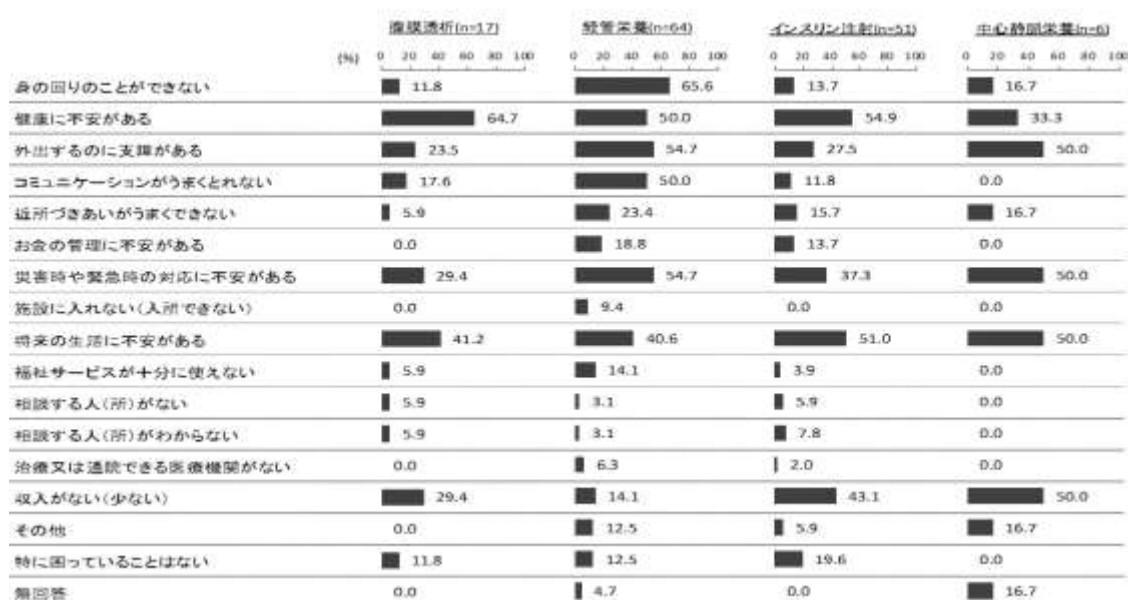
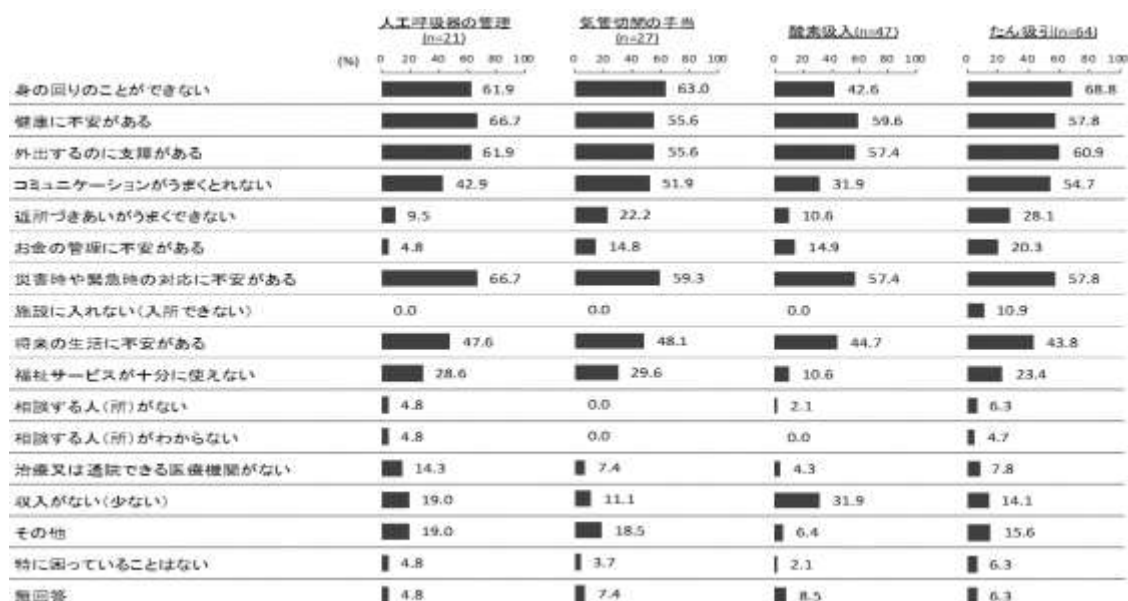
<受給者証有無別>



＜発達障がいの診断名別＞



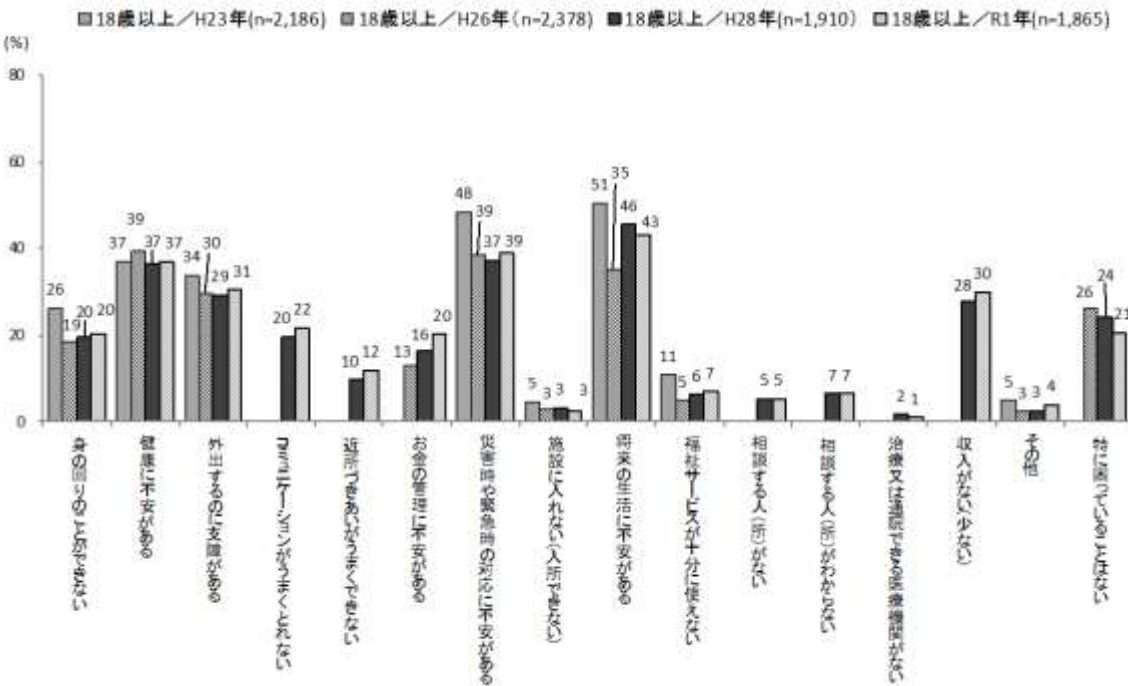
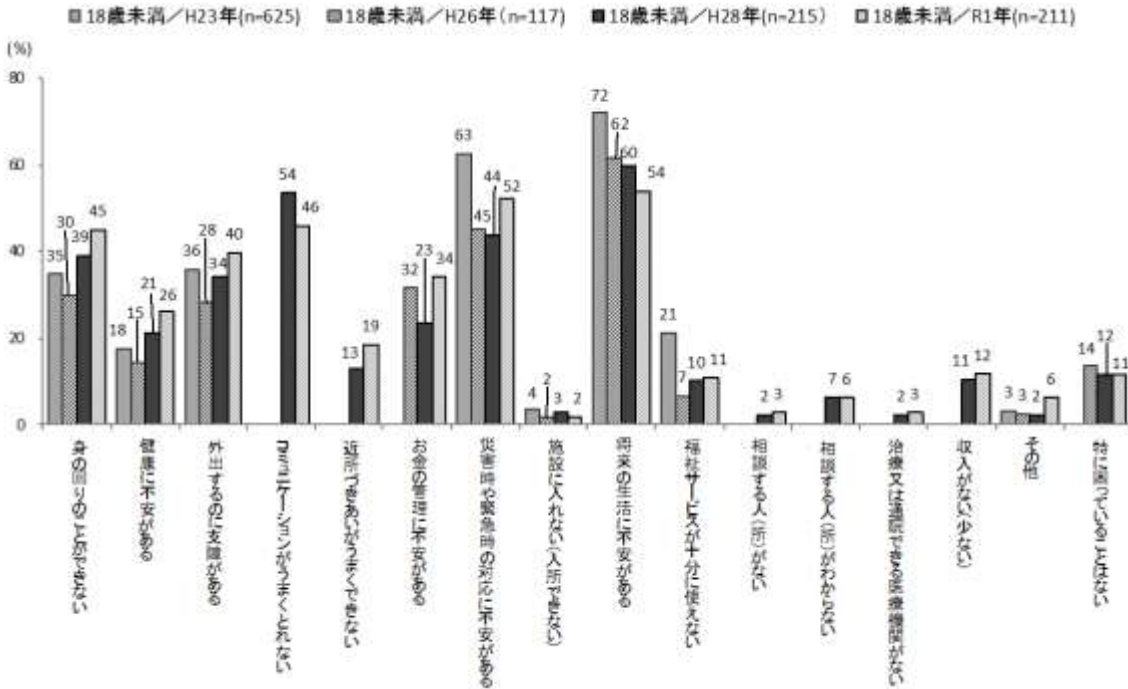
<日常的に受けている医療ケア別>※「その他」省略



<経年変化>

過去の調査結果と比較すると、18歳未満において「将来の生活に不安がある」の数値が年々低くなっており、「身の回りのことができない」「外出に支障」「健康に不安」などで数値が高くなる傾向となっている。18歳以上においては大きな変化はみられない。

※「コミュニケーションがうまくとれない」「近所づきあいがうまくできない」「相談する人(所)がない」「相談する人(所)がわからない」「治療または通院できる医療機関がない」「収入がない」は平成23年・平成26年度調査では選択肢に含まれていない。「お金の管理に不安がある」「特に困っていることはない」は平成23年調査では選択肢に含まれていない。



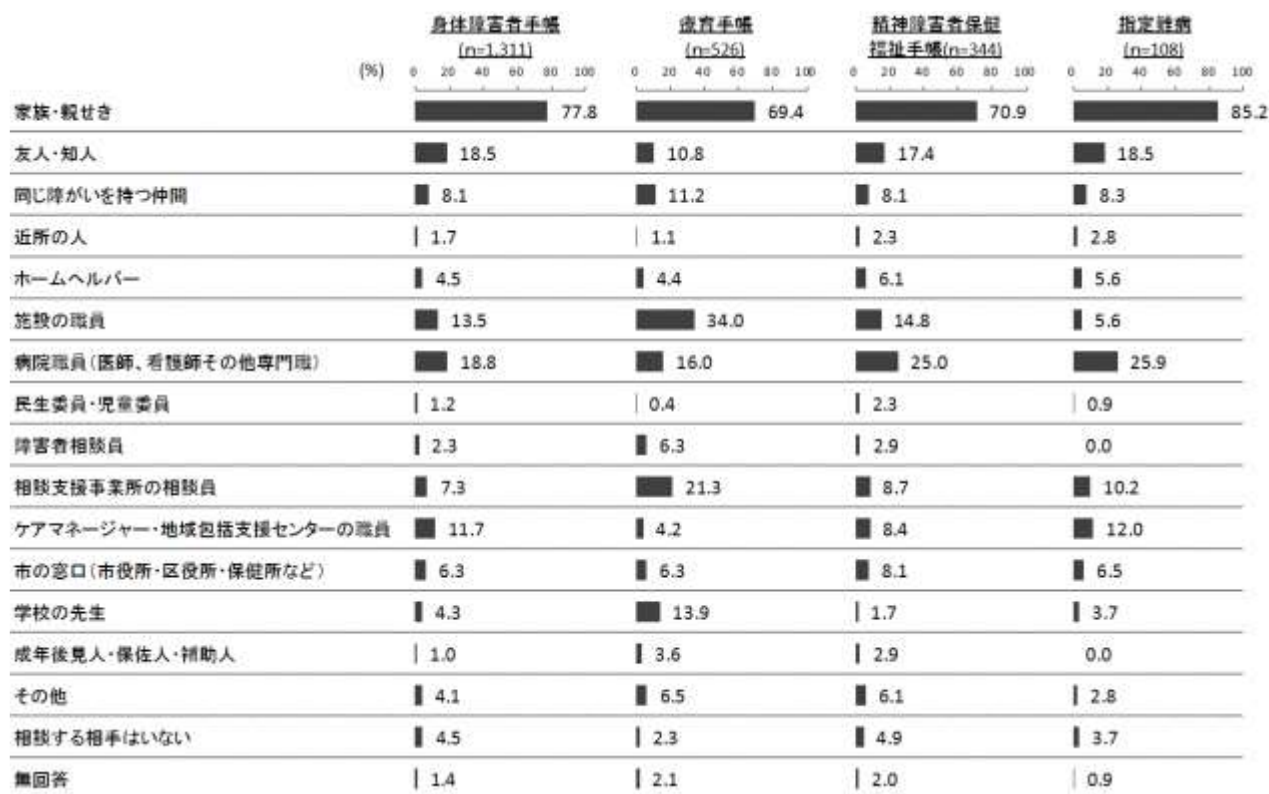
(4) 困ったときの相談先

問 14 あなたは、困った時は誰(どこ)に相談していますか。(〇はいくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれにおいても、「家族・親せき」が最も高い。また、身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者においては、「病院職員」が「家族・親せき」に次いで高く、2割程度となっている。療育手帳所有者では「施設職員」が34.0%と高い。

年齢別でみると、いずれの年代も「家族・親せき」が最も高くなっている。また、「病院職員」も年代を問わず高い。10歳未満及び10代では「学校の先生」に相談する割合も高くなっている。

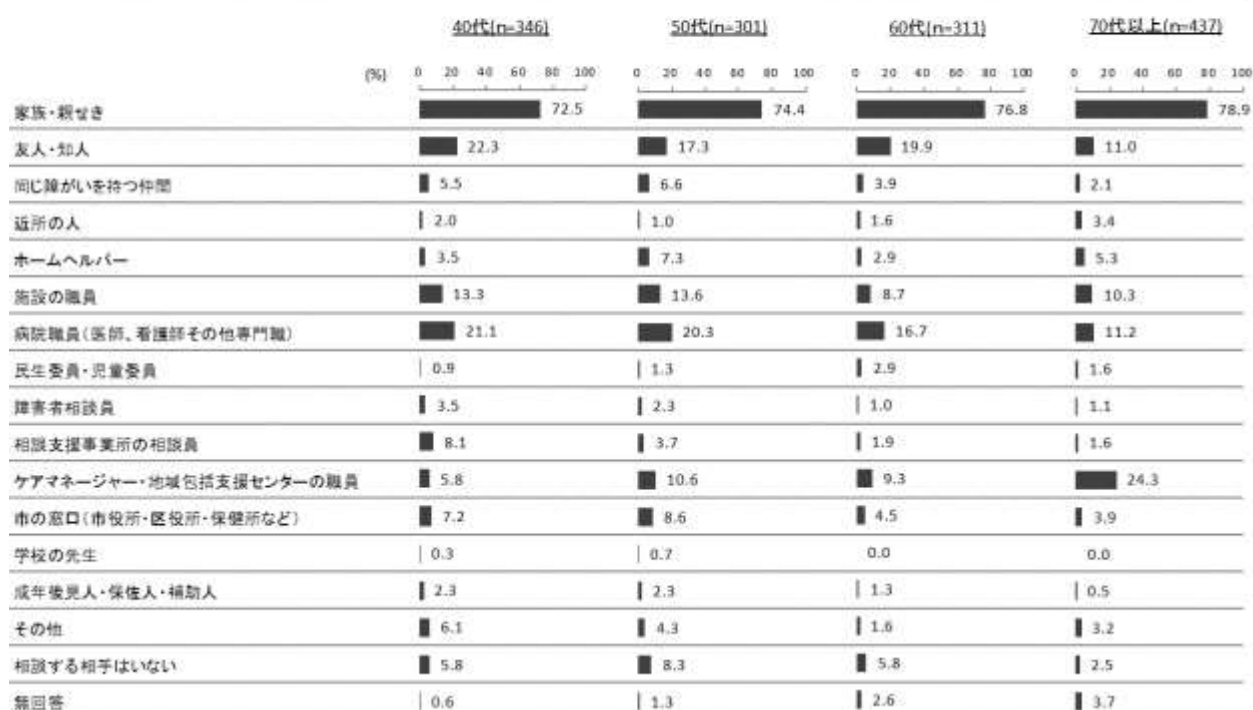
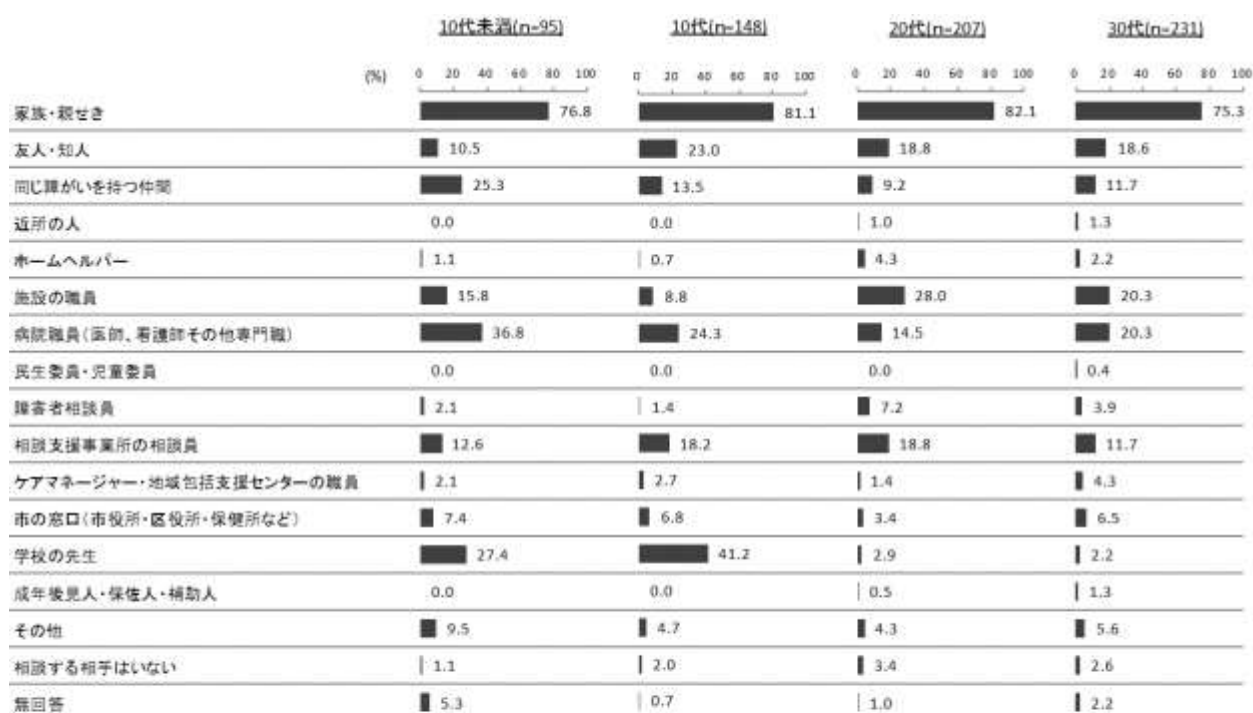
同居状況別では、一人暮らしの人は「家族・親せき」が61.8%と同居している人と比較して低く、「相談する相手はいない」が9.2%でやや高めになっている。グループホームや入所施設を利用している人では「施設の職員」が76.1%と最も高くなっている。



(その他)

話せないなど相談できない(13件)/職場の人(6件)/放課後デイサービス(5件)/リハビリの先生(4件)/訪問看護師(4件)/インターネット(3件)/困ったと理解できない(3件)/パートナー(2件)/精神科の先生(2件)/ケースワーカー/ジョブコーチ等仕事関係の支援者/なごやか/議員、行政書士、キャリアコンサルタント/元職場の人/役所担当者/薬剤師、会社の上司/在宅医師、訪看/児童発達支援所の先生方/自分がケアマネジャー/障がい者就業・生活支援センター/障害者協会等、弁護士会・司法書士会等々。書物から関連した相談所のTELなどを調べる/身元引受人の会社職員/相談員/知り合いのクリスチャンの人/電話・心の医療センター/同居している仲間/日常生活支援事業/病院のケースワーカー/保健師・電話相談/補装具の交付の申請手続きが非常に使いづらい。障害によってすぐに無くてはならないものがすぐに手に入らない。実質自己負担で購入することになってしまう/自分でなんとかする/自力で調べる/相談しない/今は困った時はないが、将来困った時

<年齢別>



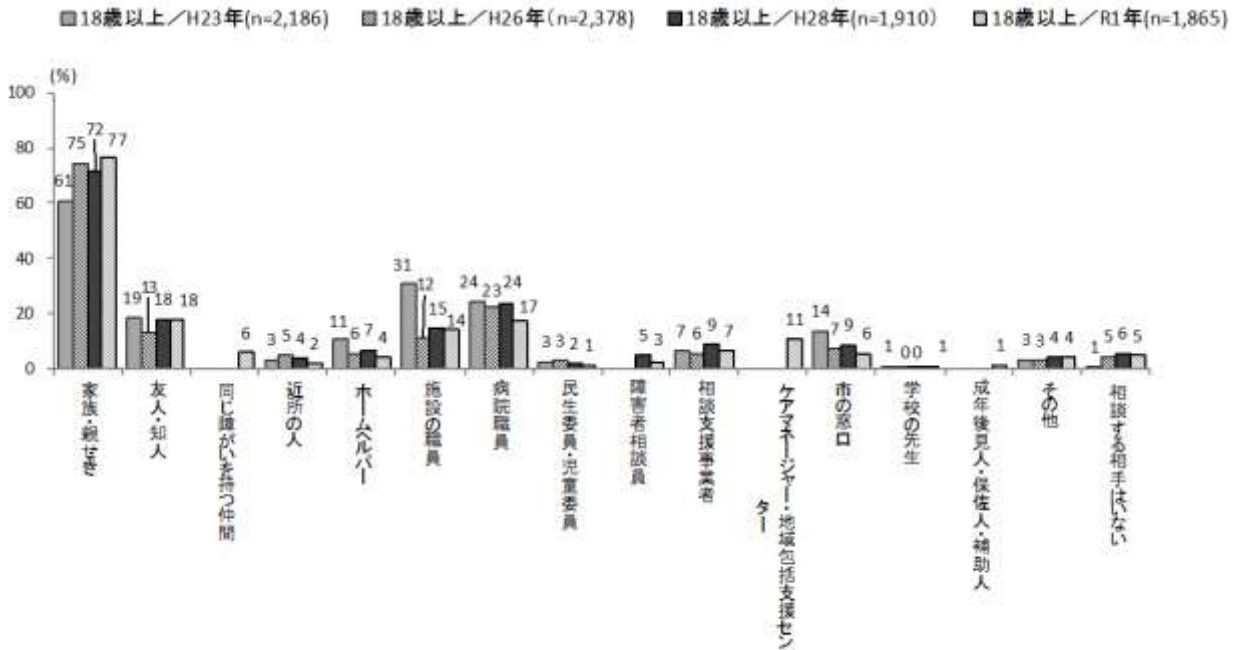
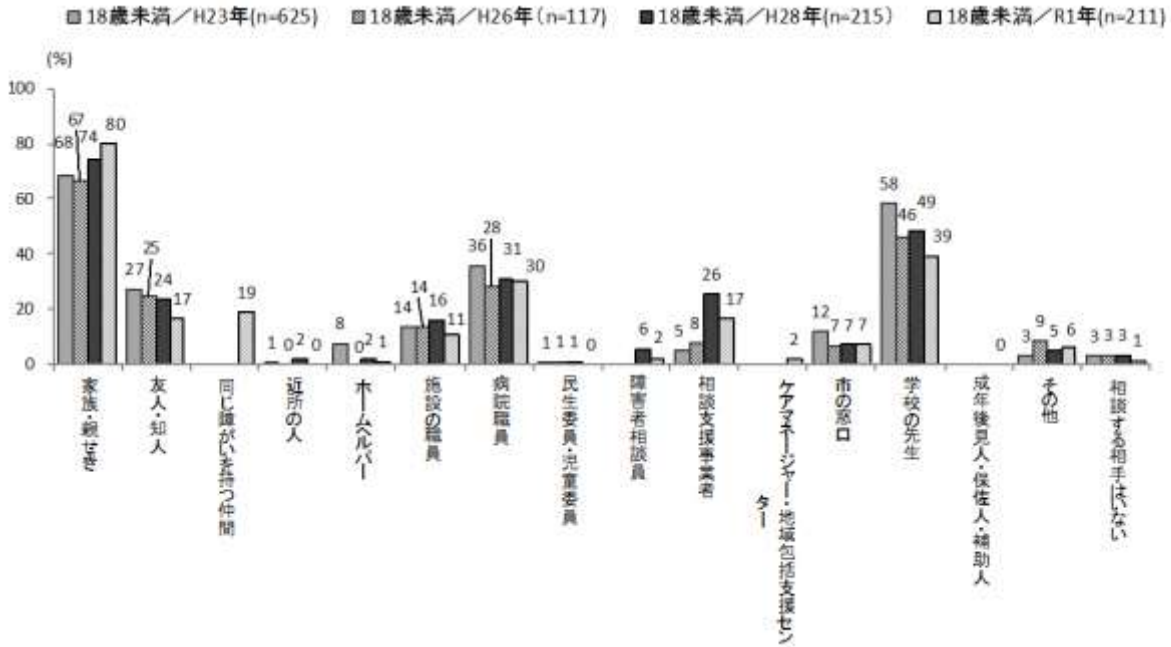
<同居状況別>



<経年変化>

過去の調査結果と比べると、「家族・親せき」の割合が年々高くなる傾向があり、「学校の先生」や「友人・知人」は低くなる傾向にある。

※「同じ障がいを持つ仲間」「ケアマネジャー・地域包括支援センターの職員」「成年後見人・保佐人・補助人」は平成23年・平成26年・平成28年調査では選択肢に含まれていない。「障害者相談員」は平成23年・平成26年調査では選択肢に含まれていない。



(5) 福祉サービスに関する情報源

問 15 あなたは日頃、福祉サービスに関する情報を何から知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

身体障害者手帳所有者、指定難病者では、「広報しずおか」がトップ。身体障害者手帳所有者では「新聞・雑誌」「テレビ・ラジオ」などのマスメディアから情報を収集する人が高くなっている。療育手帳所有者については「施設、作業所、事業所など」が 28.5%と高く、次いで「家族・親せき」24.9%、「相談支援事業所」22.2%となっている。精神障害者保健福祉手帳所有者では「医療機関」が 25.6%で高く、次いで「家族・親せき」「広報しずおか」と続くほか、「情報を手に入れる方法がない・わからない」がやや高い。

年齢別においては、40代以上では「広報しずおか」が最も高くなっているが、10代未満では「医療機関」、10代から30代では「家族・親せき」がトップとなっている。

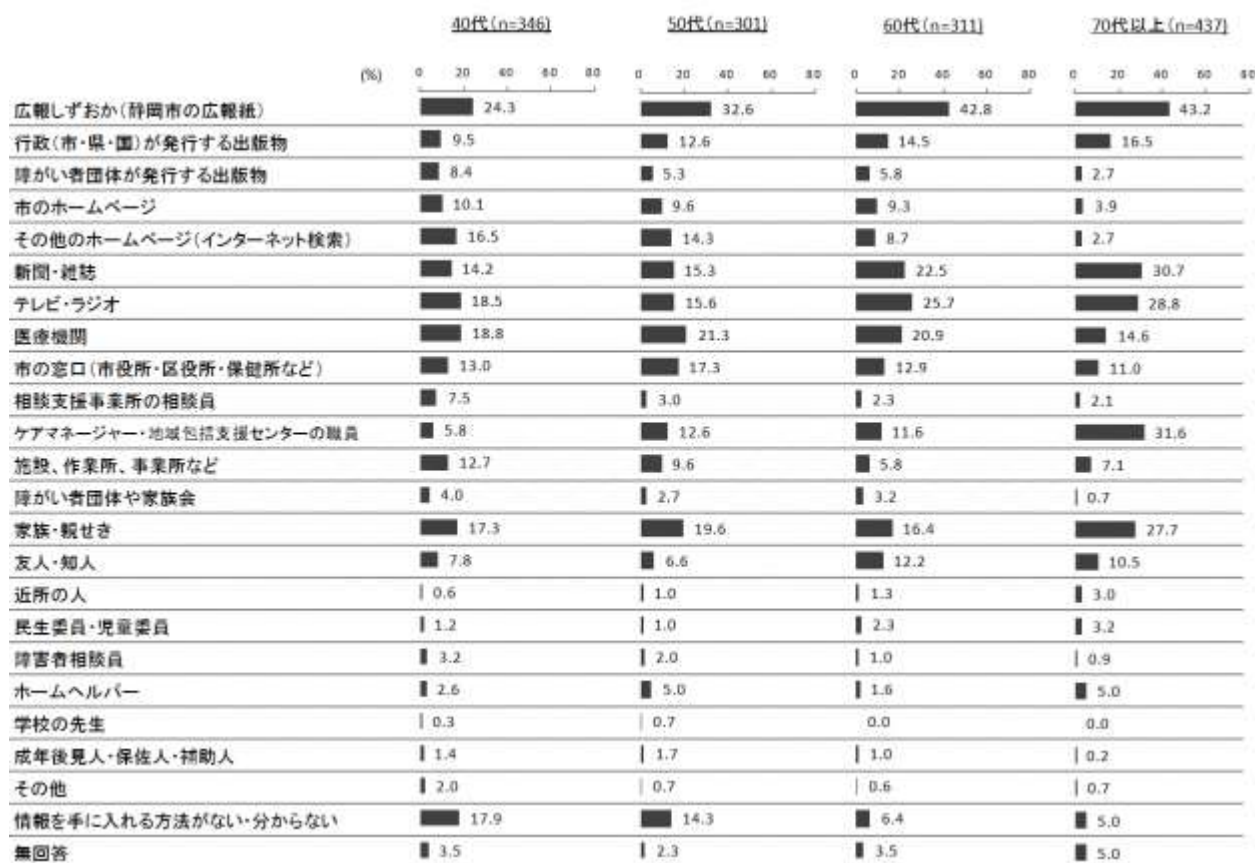
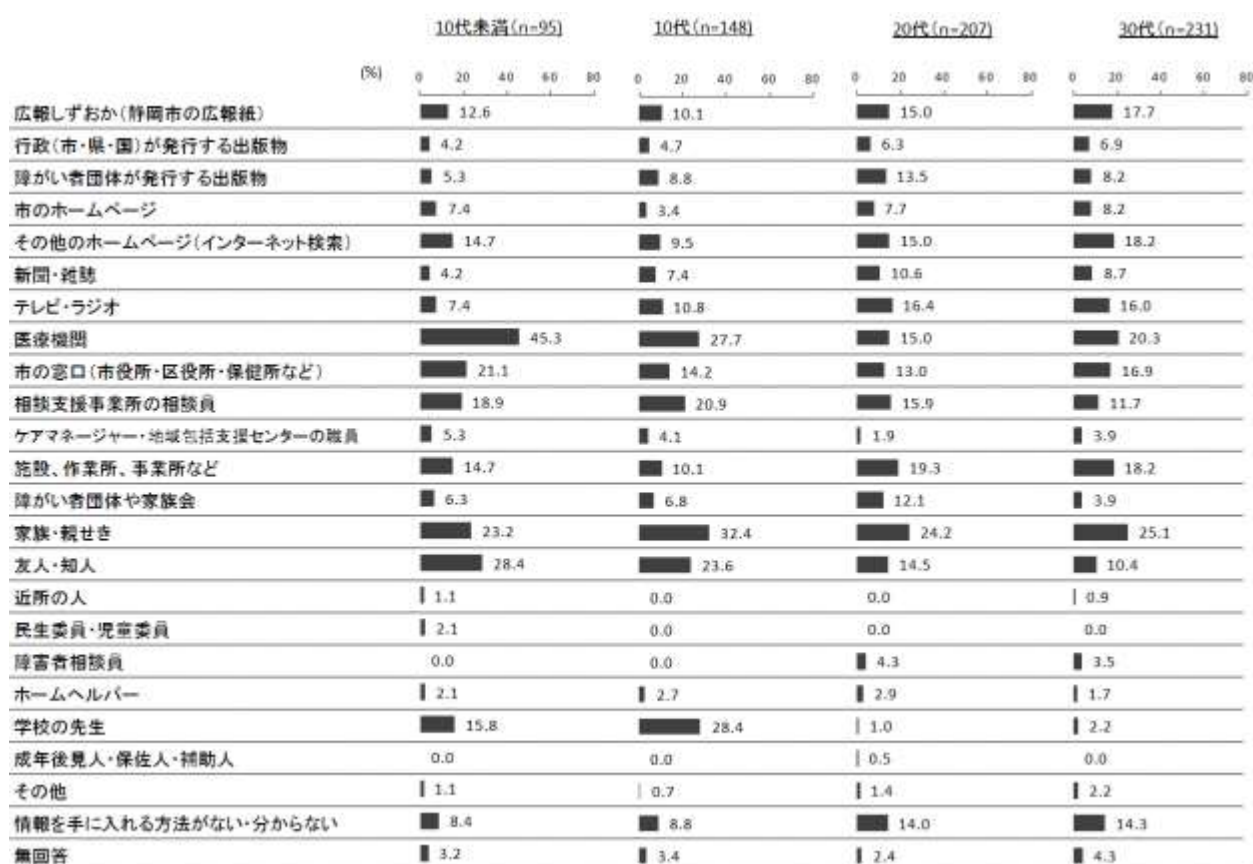
同居状況別では、一人暮らしの人と同居している人では「広報しずおか」がトップ、グループホームや入所施設利用者では「施設、作業所、事業所など」がトップで過半数となっている。



(その他)

情報を手に入れる必要がない(4件)/あまりよく知らない/あらゆる書物/サークル活動の仲間/ハンディキャップの先生/リタリコ/気にしていない/市スポーツ施設(プール)/支援学校、先輩保護者/施設職員/自宅に市から情報が有る時/職場 特養で働いているので/電車など公共交通機関の中吊り広告/不便の時に市まで行く/全てやってもらっている

<年齢別>



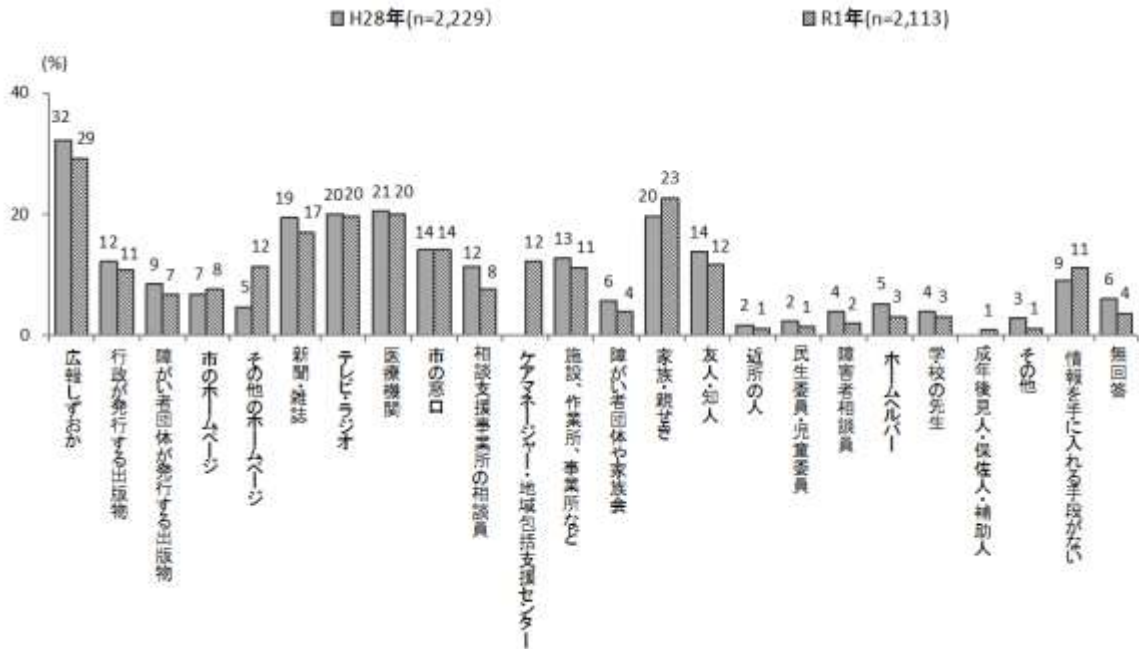
<同居状況別>



<経年変化>

平成 28 年の調査結果と比べると、大きな変化はみられない。

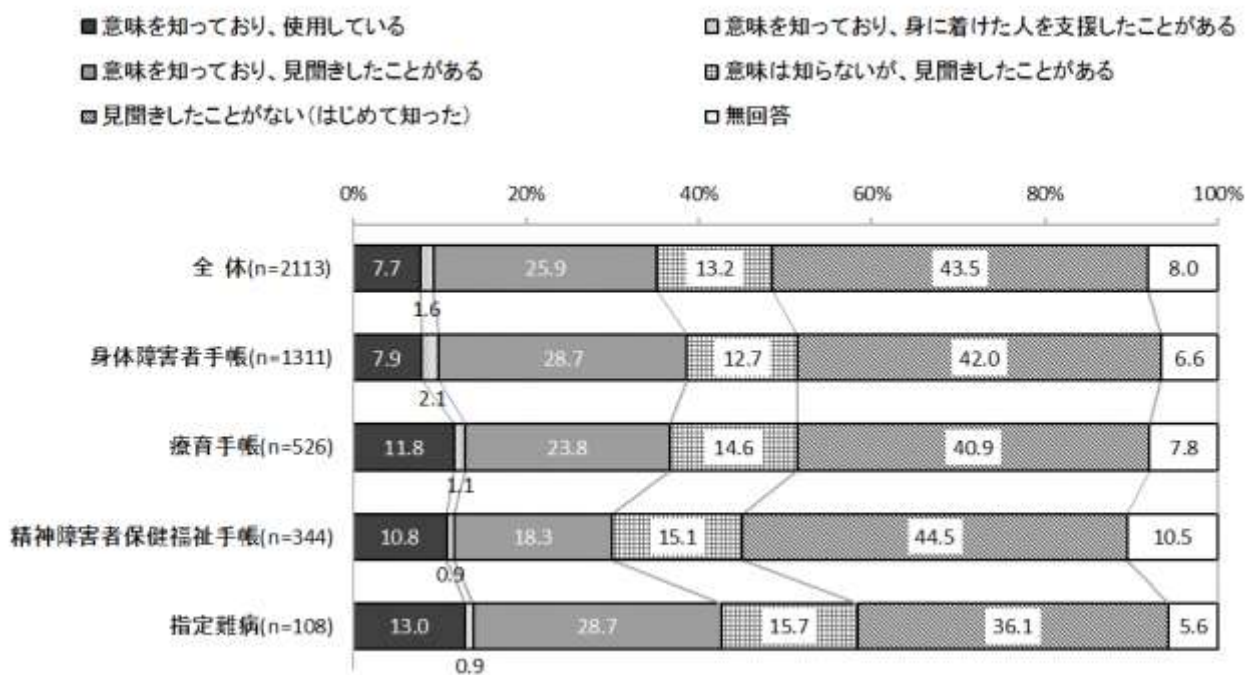
※「ケアマネジャー・地域包括支援センターの職員」「成年後見人・保佐人・補助人」は平成 28 年調査では選択肢に含まれていない。



(6) ヘルプマークの認知

問 16 あなたは、「ヘルプマーク」(35ページ参照)を知っていますか。(○は1つ)

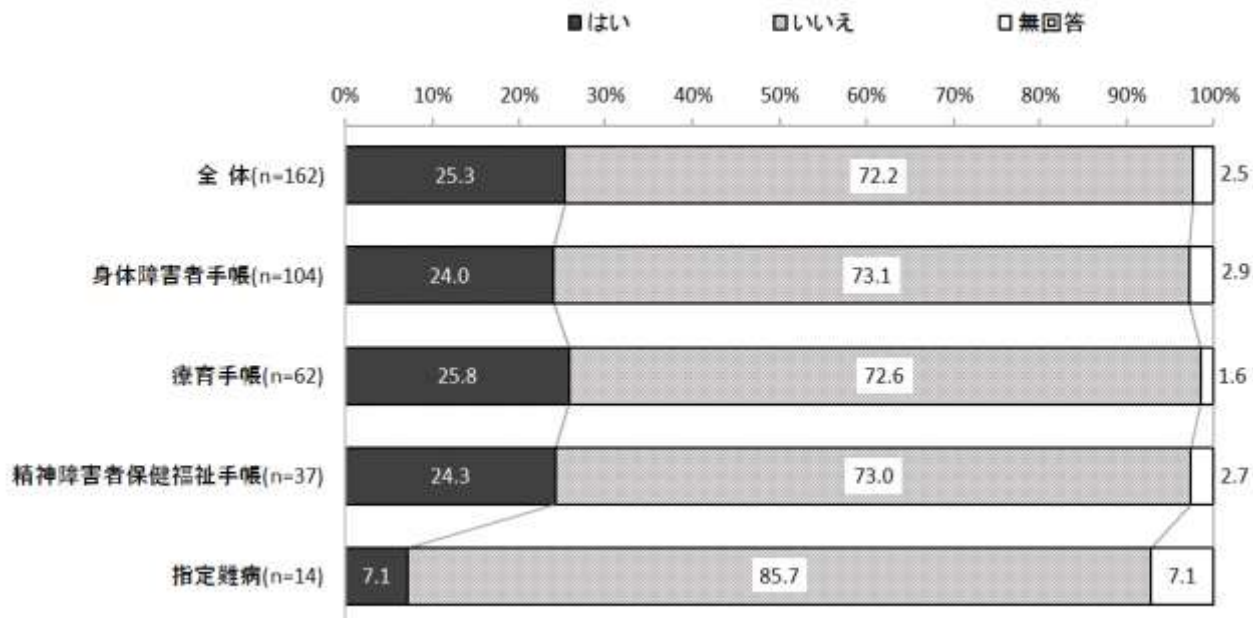
「見聞きしたことがない」が手帳の種別に関わらずトップでおよそ4割を占めている。指定難病者では、「意味を知っており、使用している」が13.0%とやや高く、「見聞きしたことがない」は36.1%と低めとなっている。



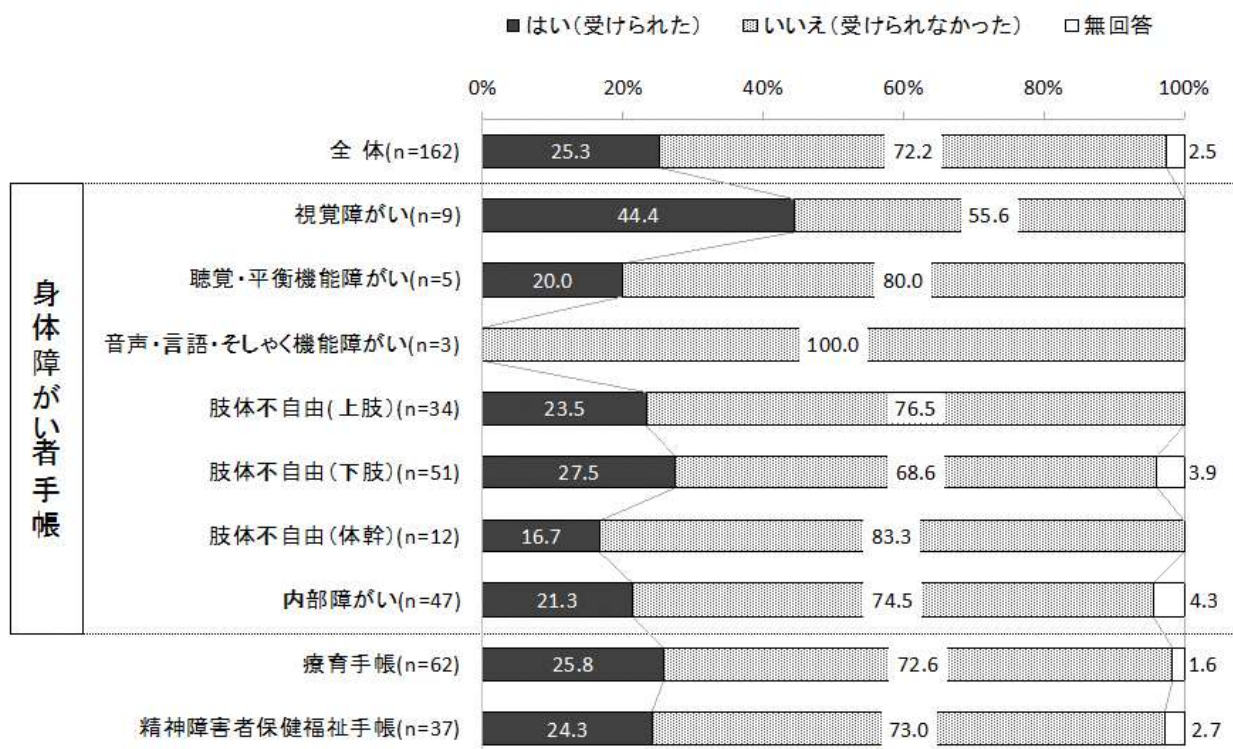
(問 16 で「1 意味を知っており、使用している」と答えた方にお伺いします)
 付問① ヘルプマークを身に着けているときに支援を受けることができましたか。(○は1つ)

「はい(支援を受けられた)」と回答したのは全体の 25.3%で、7 割以上が支援を受けられていない。サンプル数が少ないため参考程度ではあるが、指定難病者は特に「はい」が 1 割未満と低い。

障がいの詳細でみると、各サンプル数が少ないためやはり参考程度ではあるが、視覚障がいのある人で「はい」との回答が高い。

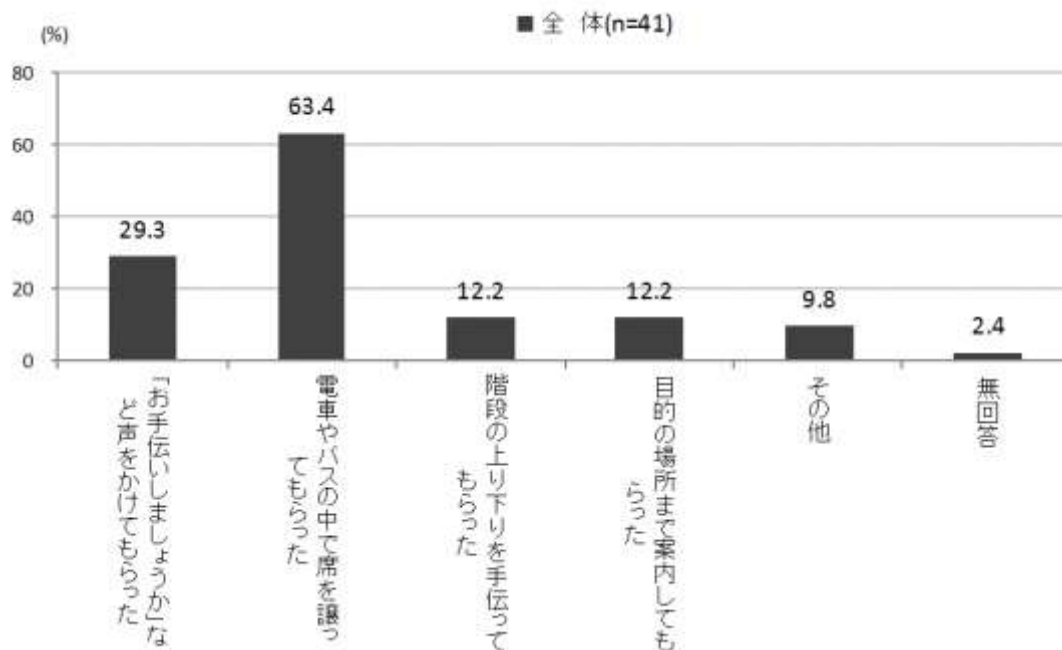


<手帳の種類(詳細)別>



(不問①で「1 はい」と答えた方にお伺いします)
 付問② どんな支援を受けることができましたか。(〇はいくつでも)

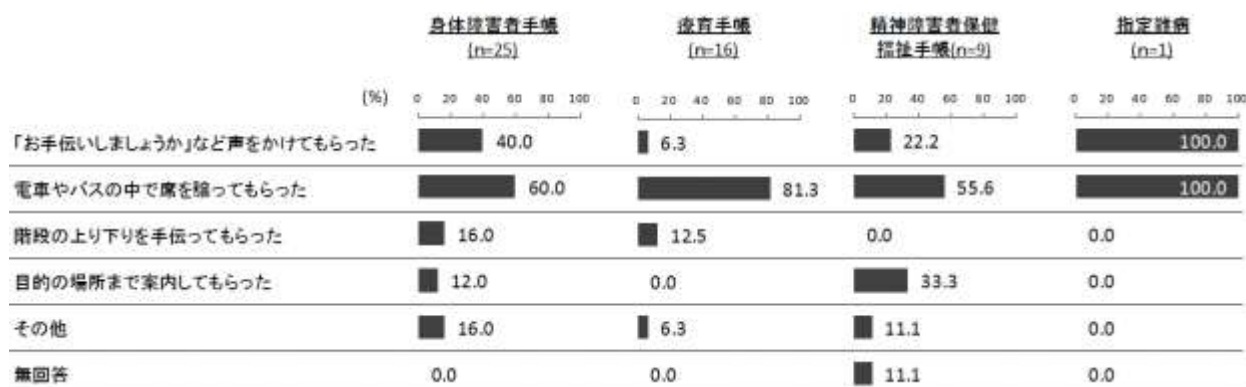
受けた支援の内容では「電車やバスの中で席を譲ってもらった」が63.4%で最も高かった。



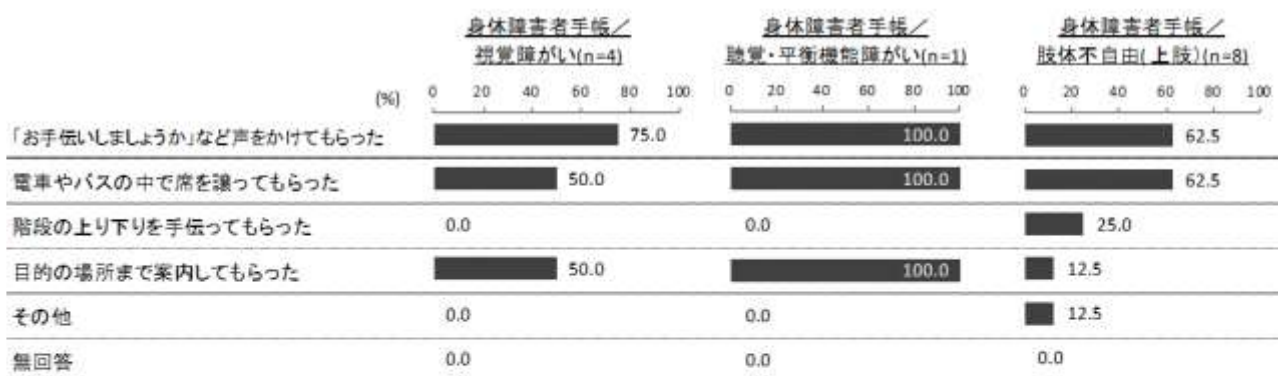
(その他)

優先席にいても咎められない/外へ出ないのでなし/レジで品物を袋に入れてもらった/階段等、気をつけて下さいと心遣いをいただいた

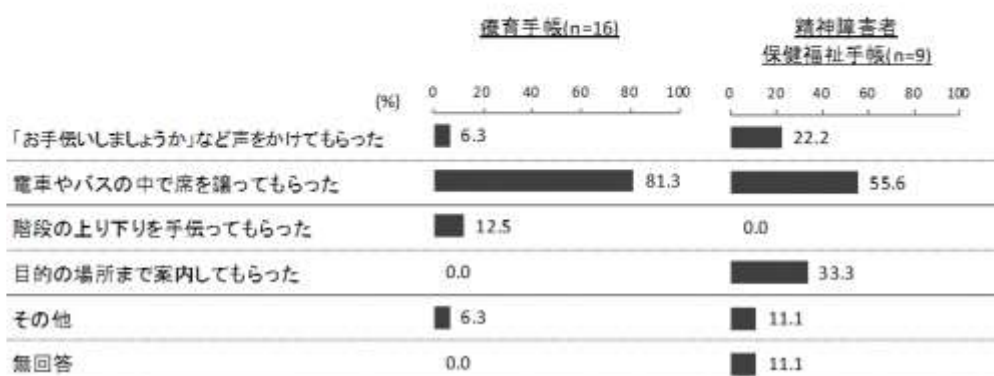
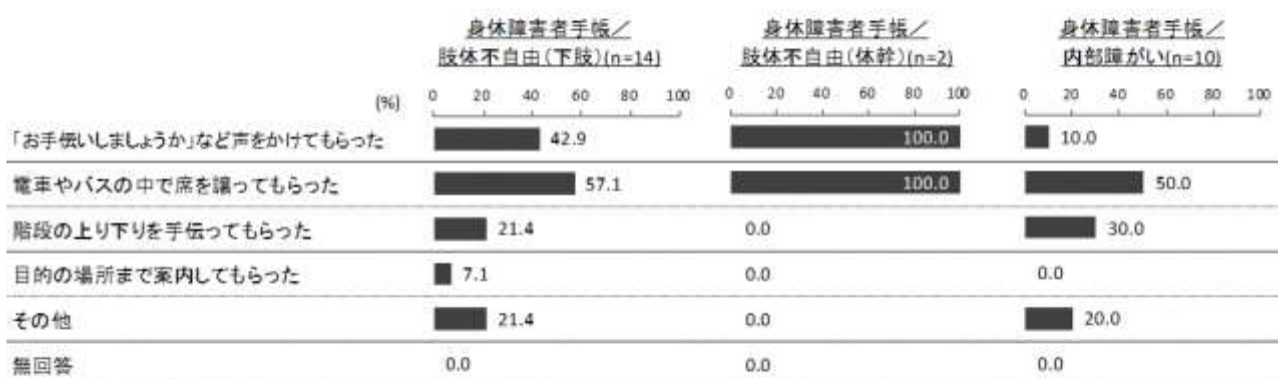
<手帳の種類(詳細)別>



<主な介助者の年齢別>



※「身体障害者手帳/音声・言語・そしゃく機能障がい」は件数0のため省略

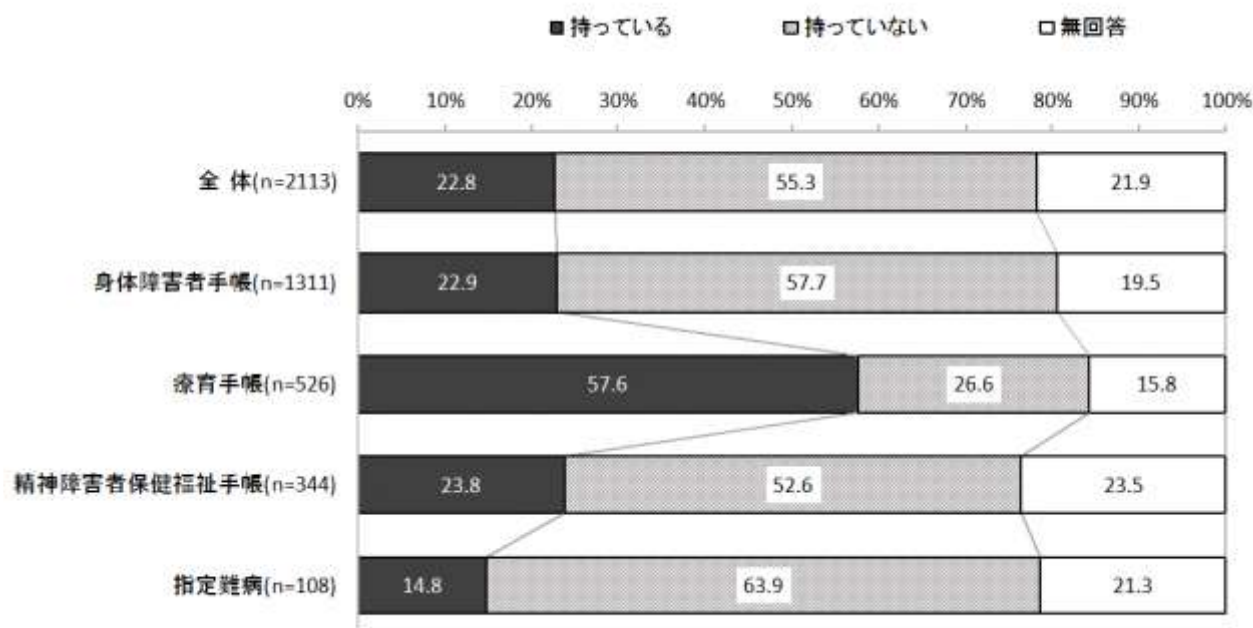


4. 障害福祉サービス等の利用について

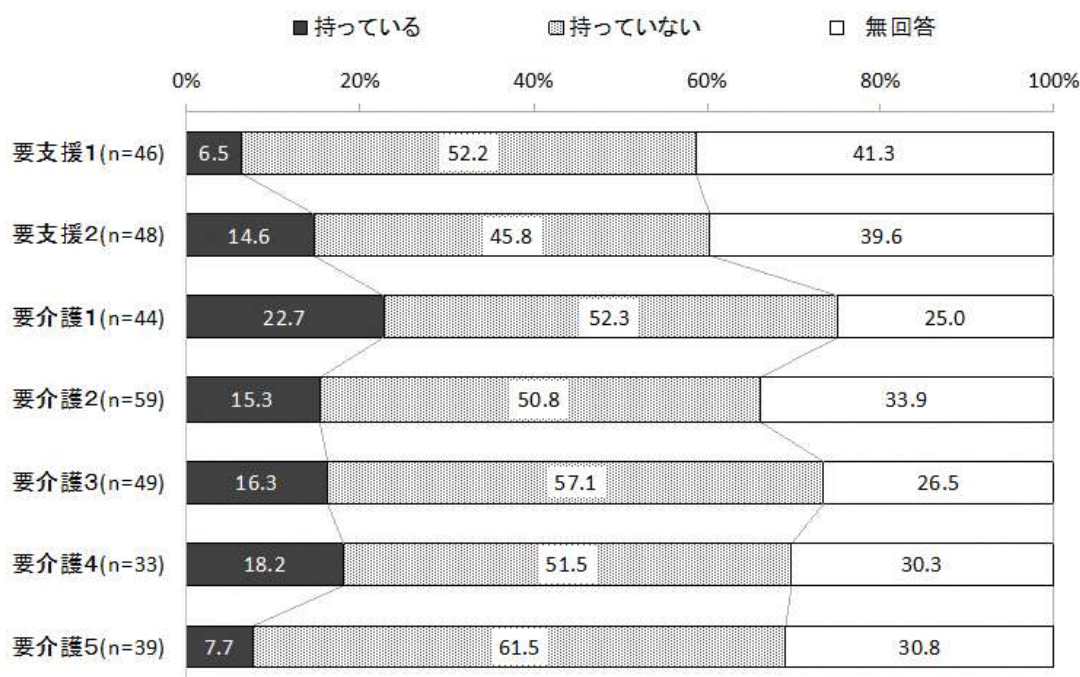
(1) 受給者証の有無

問 17 あなたの現在の障害福祉サービス等の利用状況をお伺いします。
 (1)-1 障害福祉サービス受給者証をお持ちですか。

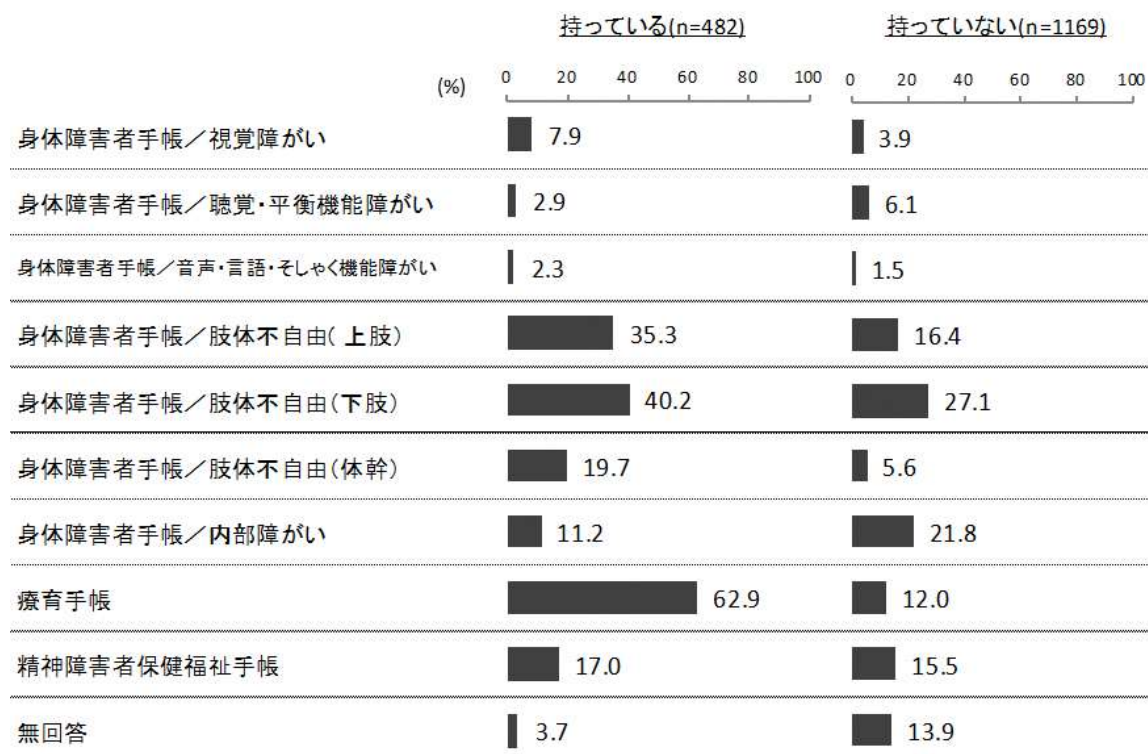
障害福祉サービス受給者証所有者は、全体の 22.8%となっている。療育手帳所有者については、所有者が6割弱を占めている。



<要支援・要介護認定の有無別>

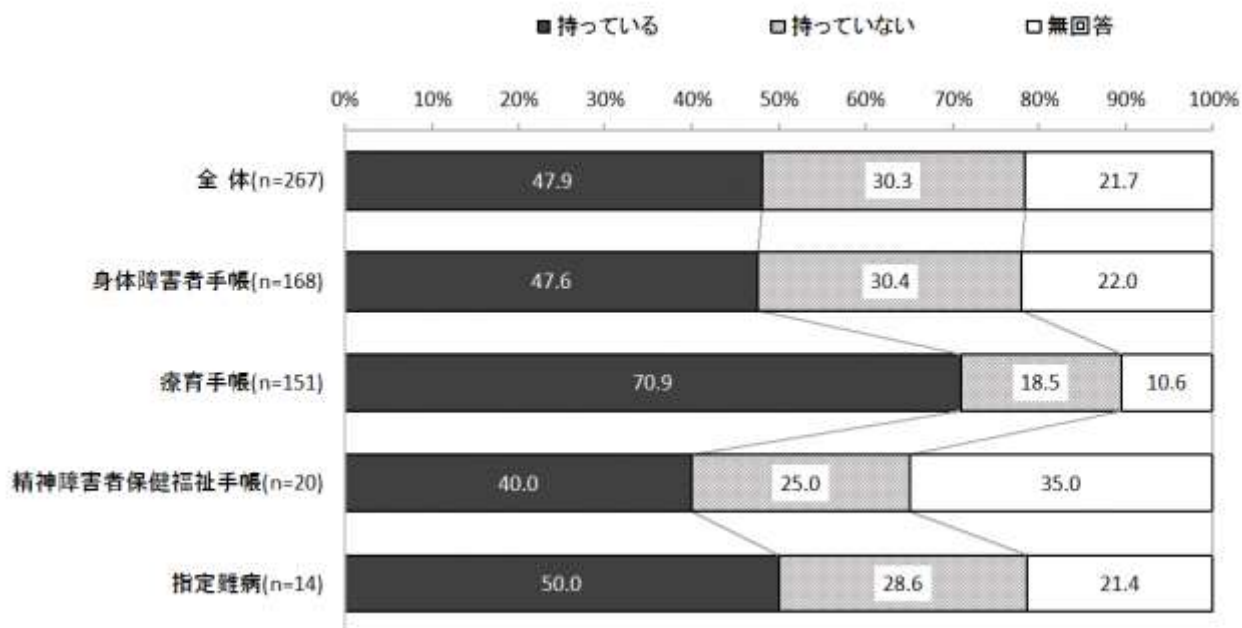


<障害福祉サービス受給者証の有無別 障害者手帳の種類（詳細）>



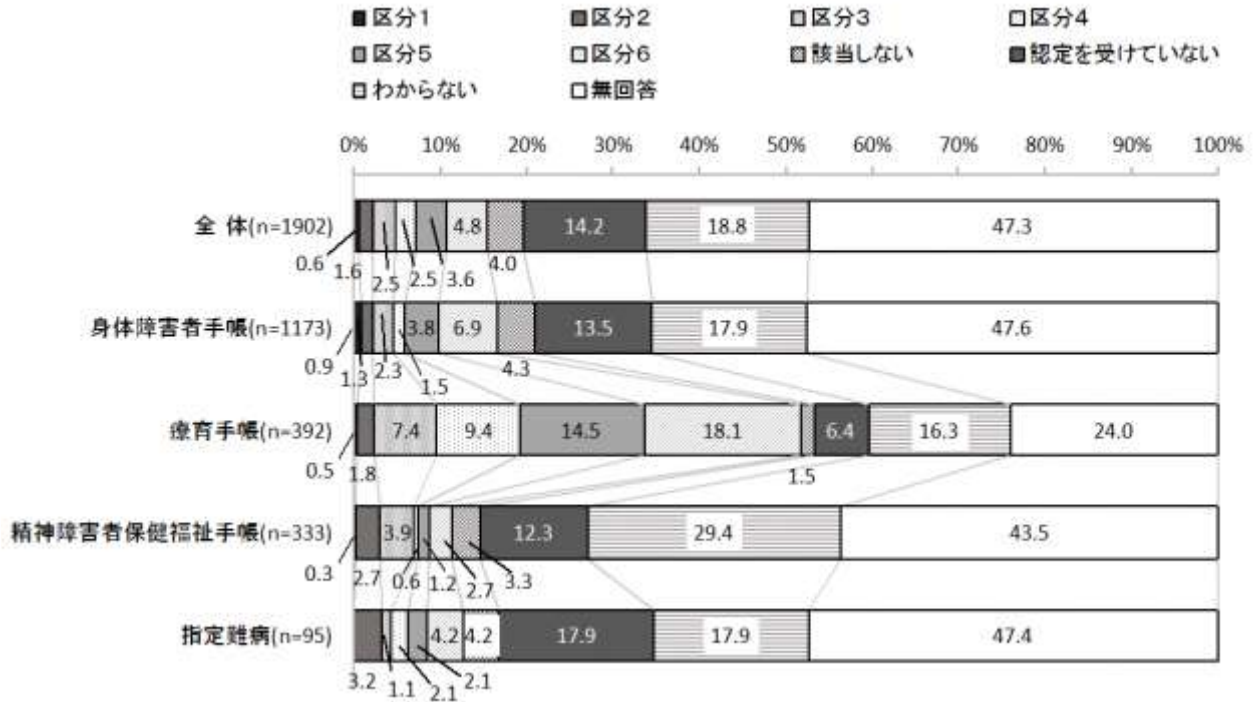
問 17 あなたの現在の障害福祉サービス等の利用状況をお伺いします。
 (1)-2 通所受給者証をお持ちですか。(高校3年生以下の方のみお答えください)

通所受給者証所有者は、全体では47.9%となっている。療育手帳所有者については7割を占めている。



問 17 あなたの現在の障害福祉サービス等の利用状況をお伺いします。
 (1)-3 障害支援区分をお答えください。(18歳以上の方のみ)

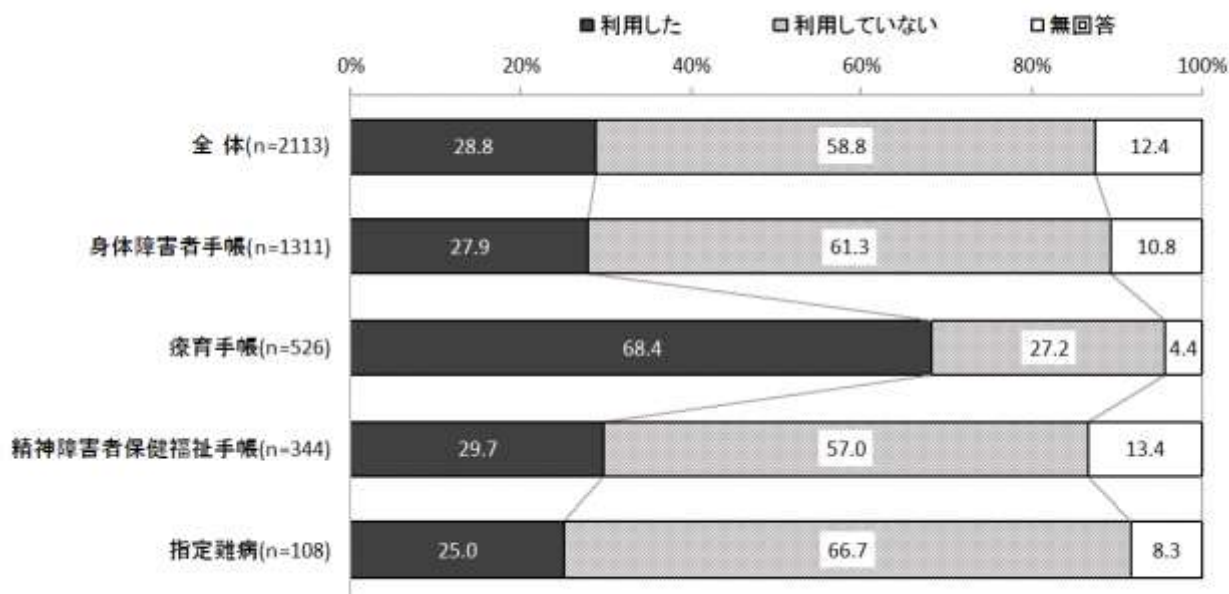
認定を受けている人は、全体の2割未満。療育手帳所有者については認定を受けている人で5割を占めている。



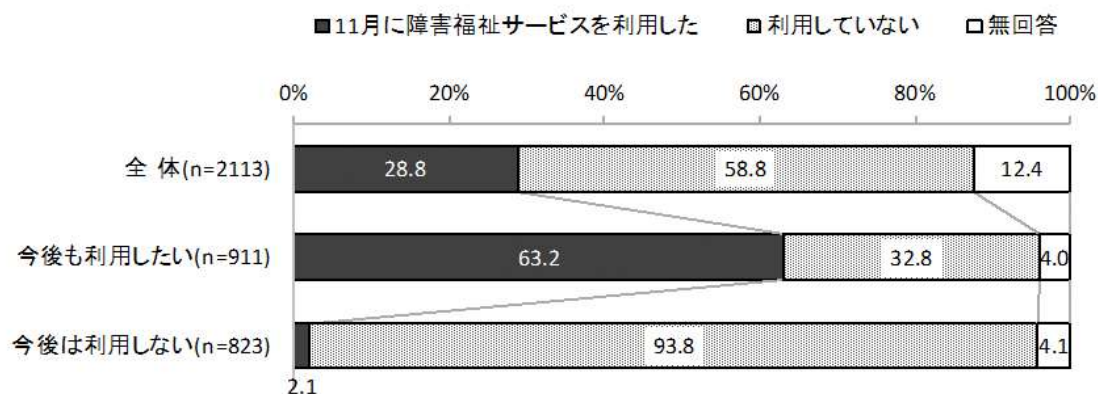
(2) 福祉サービスの利用状況

問 17 あなたの現在の障害福祉サービス等の利用状況をお伺いします。
 (2) あなたは、令和元年 11 月に障害福祉サービス等を利用しましたか。(○は 1 つ)

利用した人は、全体の 3 割未満。療育手帳所有者については 7 割近くが「利用した」と回答している。

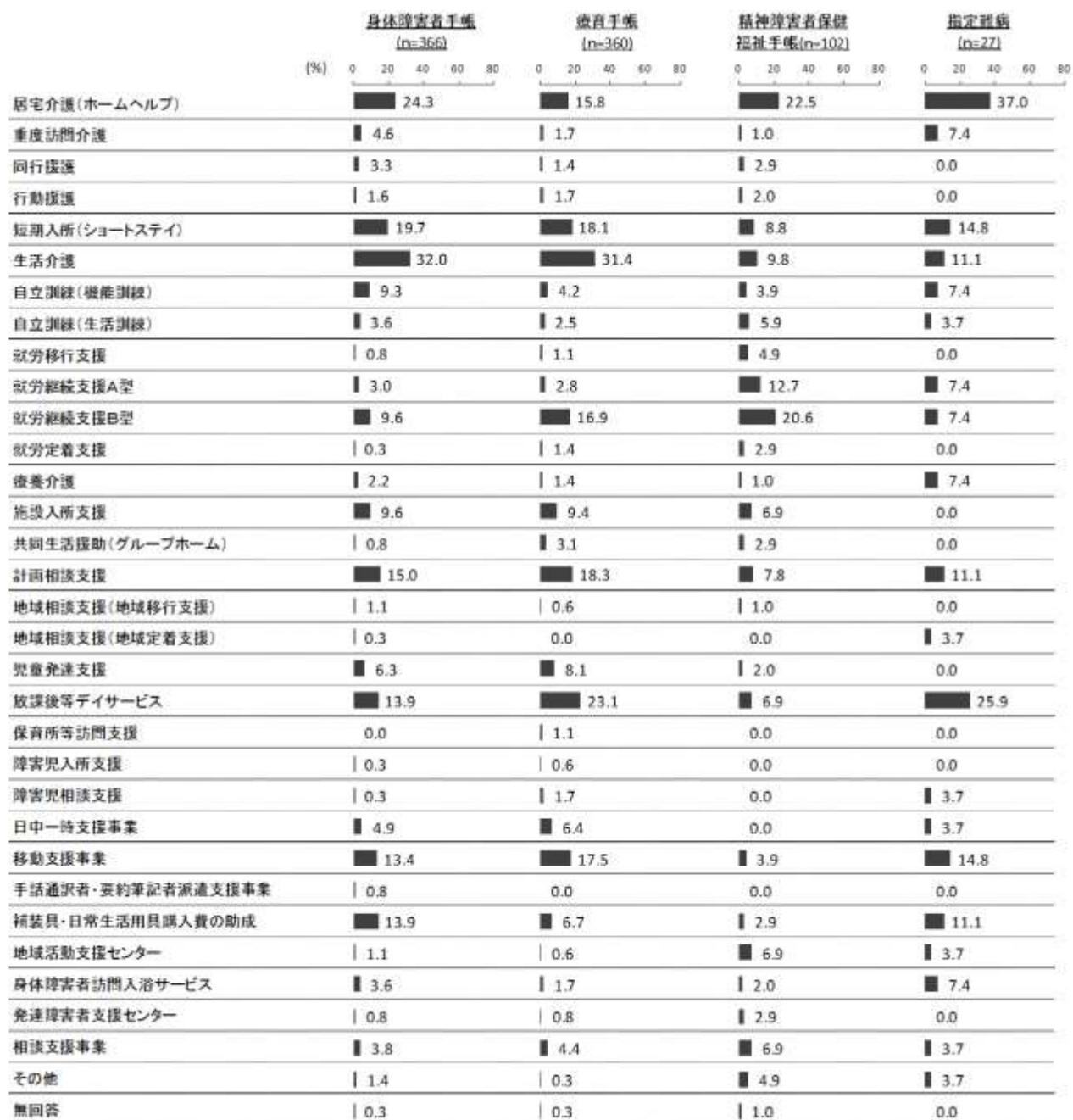


<今後の利用意向別 令和元年 11 月の障害福祉サービスの利用状況>



(問 17(2)で「1 利用した」と回答した方にお伺いします)
付問① 利用したサービスをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

身体障害者手帳所有者において、「生活介護」が 32.0%と最も高い。次いで「居宅介護」24.3%、「短期入所」19.7%と続く。療育手帳所有者では「生活介護」の 31.4%に次いで、「放課後等デイサービス」が 23.1%と高い。精神障害者保健福祉手帳所有者では「居宅介護」が 22.5%、「就労継続支援B型」が 20.6%となっている。指定難病者については、「居宅介護」が最も高く、「放課後等デイサービス」も高くなっている。



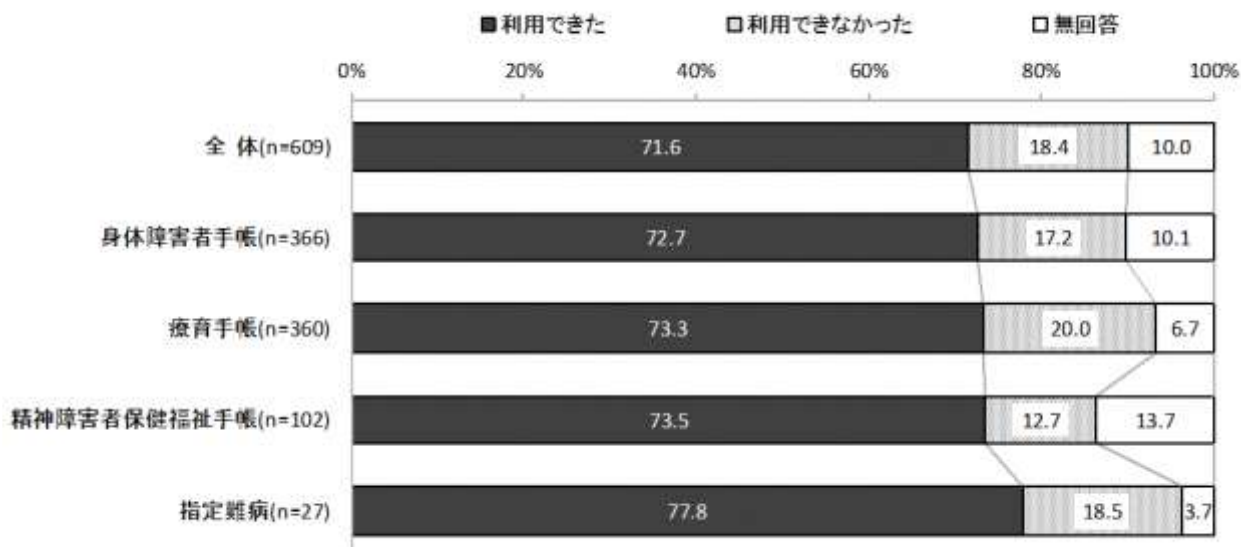
(その他)

通訳介助/任意入院/デーサービスに週 2 回お世話になっています/タクシー 割引/補装具/施設入所中/タクシー券/妹、親戚のお姉さん/知っているだけで詳しい事は知らない

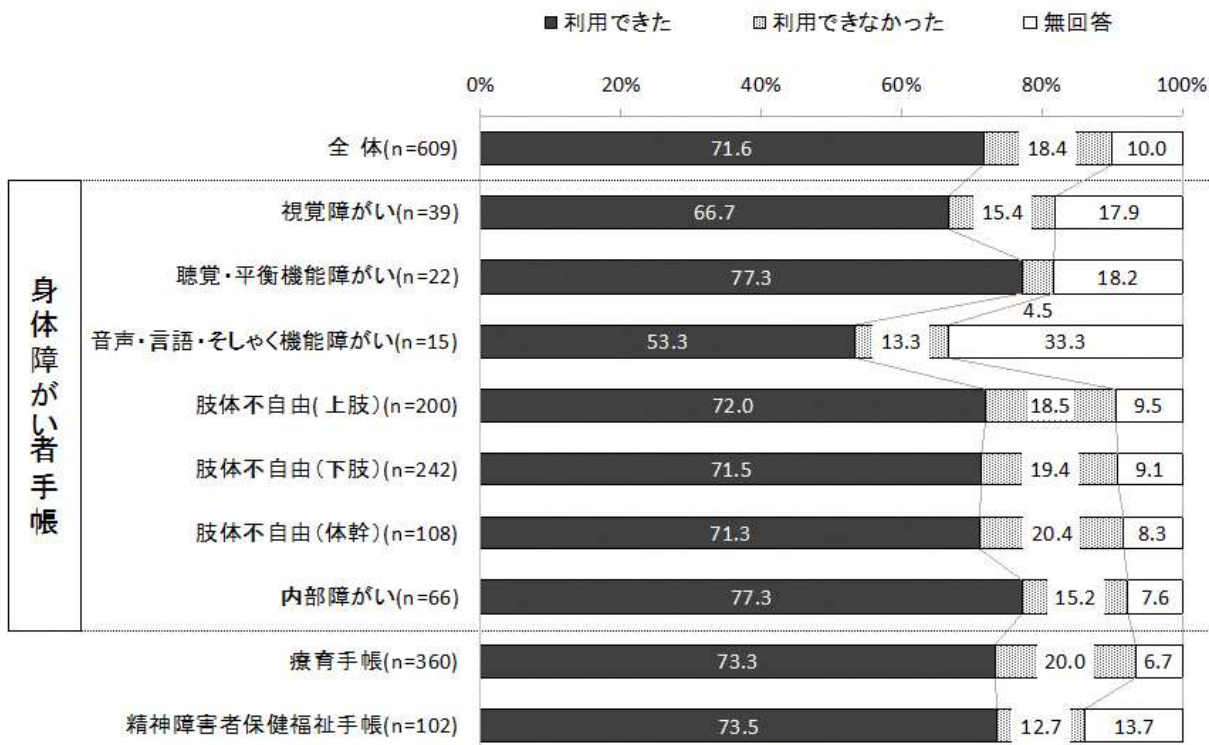
(3) 福祉サービスの利用実態

(問 17(2)で「1 利用した」と回答した方にお伺いします)
 問 18 支給決定(契約)どおり利用できましたか。(○は1つ)

「利用できた」が7割台を占めている。

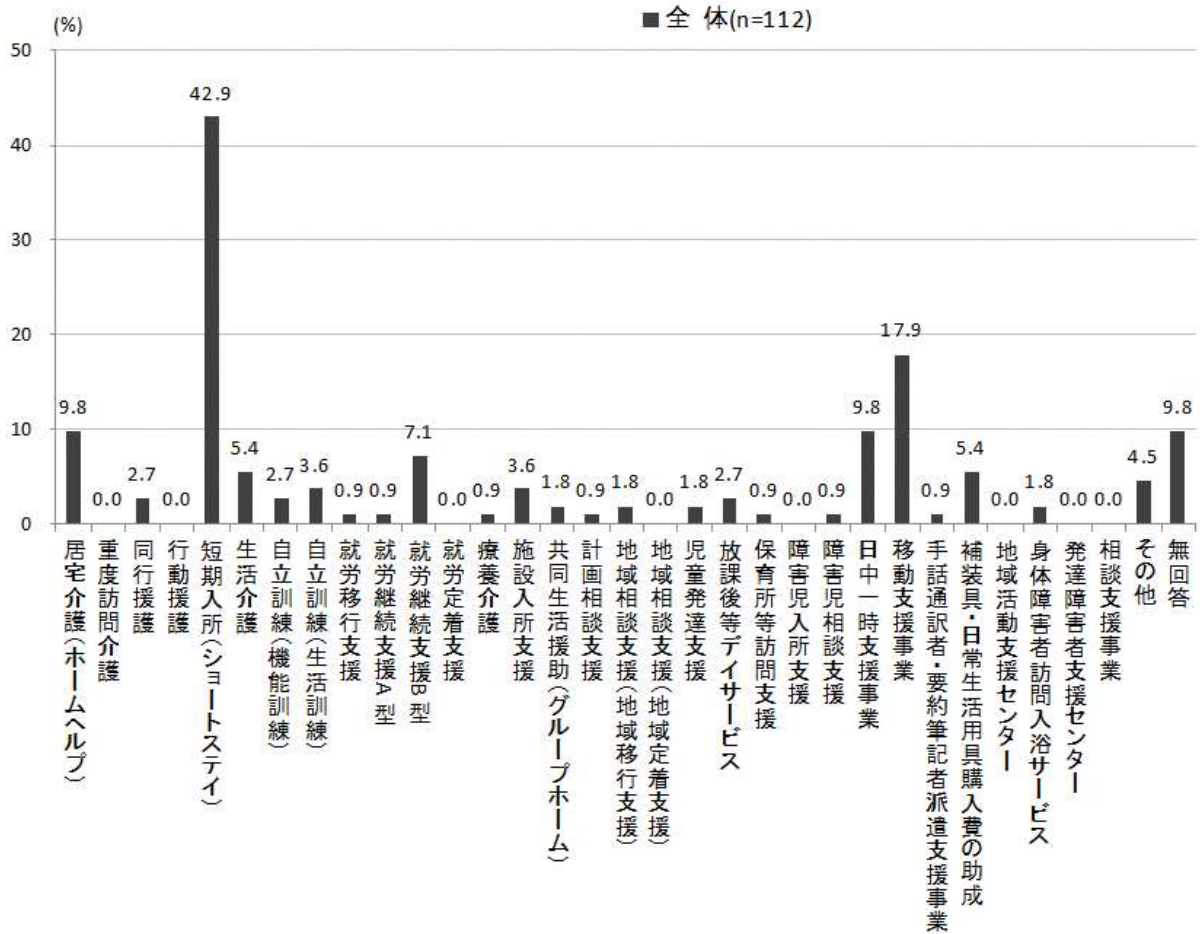


<障害者手帳の種類(詳細)別>



(問 18 で「2 利用できなかった」と回答した方にお伺いします)
 付問① 支給決定(契約)どおり利用できなかったのは、どのサービスですか。
 (ご本人・支援者の判断で利用しなかったものを除き、あてはまるもの全てに○)

利用できなかったサービスでは「短期入所」が 42.9%で特に高い。



(その他)

区役所/事業所が同行援護をやめたため/福祉用具貸与事業/全部、妹

<手帳の種類(詳細)別>

単位%、()内実数

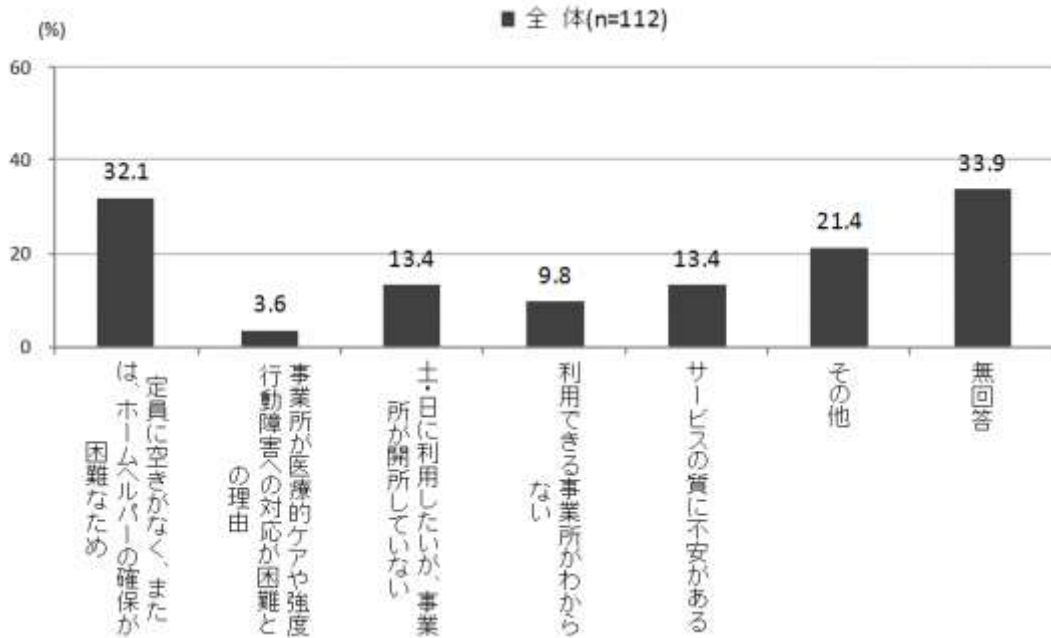
		居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問 介護	同行援護	行動援護	短期入所 (ショート ステイ)	生活介護	自立訓練 (機能訓 練)	自立訓練 (生活訓 練)	就労移行 支援	就労継続 支援A型	就労継続 支援B型
全体	(112)	9.8	0.0	2.7	0.0	42.9	5.4	2.7	3.6	0.9	0.9	7.1
身体障害者手帳	視覚障がい	(6)	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚・平衡機能障がい	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	音声・言語・そしゃく機能障がい	(2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由(上肢)	(37)	10.8	0.0	2.7	0.0	54.1	5.4	2.7	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由(下肢)	(47)	10.6	0.0	2.1	0.0	53.2	6.4	2.1	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由(体幹)	(22)	9.1	0.0	0.0	0.0	63.6	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0
	内部障がい	(10)	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
療育手帳	(72)	6.9	0.0	1.4	0.0	58.3	2.8	1.4	2.8	0.0	0.0	4.2
精神障害者保健福祉手帳	(13)	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	7.7	7.7	15.4

		就労定着 支援	療養介護	施設入所 支援	共同生活 援助(グ ループホーム)	計画相談 支援	地域相談 支援(地域 移行支援)	地域相談 支援(地域 定着支援)	児童発達 支援	放課後等 デイサー ビス	保育所等 訪問支援	障害児入 所支援
全体	(112)	0.0	0.9	3.6	1.8	0.9	1.8	0.0	1.8	2.7	0.9	0.0
身体障害者手帳	視覚障がい	(6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	聴覚・平衡機能障がい	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	音声・言語・そしゃく機能障がい	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由(上肢)	(37)	0.0	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由(下肢)	(47)	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0
	肢体不自由(体幹)	(22)	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	内部障がい	(10)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
療育手帳	(72)	0.0	1.4	2.8	2.8	0.0	1.4	0.0	2.8	2.8	1.4	0.0
精神障害者保健福祉手帳	(13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	

		障害児相 談支援	日中一時 支援事業	移動支援 事業	手話通訳 者・要約筆 記者派遣 支援事業	補装具・日 常生活用 具購入費 の助成	地域活動 支援セン ター	身体障害 者訪問入 浴サービ ス	発達障害 者支援セ ンター	相談支援 事業	その他	無回答	
全体	(112)	0.9	9.8	17.9	0.9	5.4	0.0	1.8	0.0	0.0	4.5	9.8	
身体障害者手帳	視覚障がい	(6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	
	聴覚・平衡機能障がい	(1)	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	肢体不自由(上肢)	(37)	0.0	16.2	24.3	0.0	8.1	0.0	2.7	0.0	0.0	8.1	2.7
	肢体不自由(下肢)	(47)	0.0	14.9	25.5	0.0	10.6	0.0	2.1	0.0	0.0	4.3	2.1
	肢体不自由(体幹)	(22)	0.0	13.6	22.7	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	4.5
	内部障がい	(10)	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
療育手帳	(72)	1.4	13.9	25.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	
精神障害者保健福祉手帳	(13)	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	30.8	

(問 18 で「2 利用できなかった」と回答した方にお伺いします)
 付問② 支給決定(契約)どおり利用できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

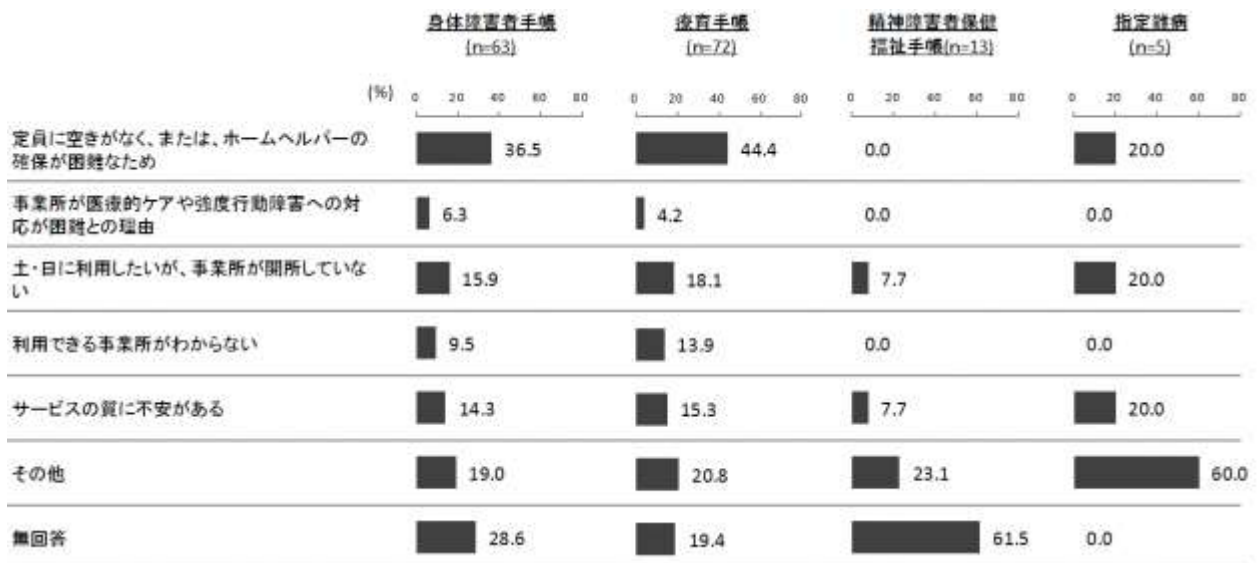
各サービスを利用できなかった理由は、「定員に空きがなく、またはホームヘルパーの確保が困難なため」が 32.1% で高かった。



(その他)

本人の体調や相性に不安(3件)/入院中(2件)/必要がなかった(2件)/ショートステイの日数を少なくした。事業所の空きが少ない/ショートステイの予約の仕方が不便でうまくとれなかった、日中一時は使える所がよく分からない/ヘルパー不足/安倍川より西の為、医ケア重心で事業所がない/介護保険を利用している為、利用できないそうだとケアマネに言われた/学校の授業が6時間になる事が増え、行ける時間が少なくなった/■■■■■■で介護放棄された/施設(生活介護)が少ない/事業所が同行支援をやめてしまったため/時給が安すぎて無理なんで、A型に行こうと思いましたが、1日、6時間以上、学校に行かなくてはならず、体調的に、1日、2、3時間が、体力的に限界なので、必要なスキルを見につけるだけの授業にしてくれれば、いいのになと思いました/自分を甘やかすと身体は動かなくなる。時間はかかっても自分でやる。1度で出来る事もあり。忘れること多々ある/親との共同生活の為。親が見守る事が出来る為/他の月には利用した。毎月是利用していない/短期入所は、本人の生活・健康面・精神面の安定を得てからと見合わせていた為。就Bは職員の対応が悪く、通所不能になり、長期欠席中のため(無視や、しつこい説教(嫌味)、工賃の無断の減額、必要な支援を得られないなど)/土・日の利用は人数(定員)がオーバーして断られる/日が合わない/補装具の買うのに手続きが大変。病院に行って書いてもらえだの云うので面倒/眠りが浅いため、なかなか受け入れてもらえない/予約を断られ、その後母が心配になり利用出来なくなった(前回利用施設で困ったので)

<手帳の種類別>



<手帳の種類（詳細）別>



<利用できなかったサービス別>

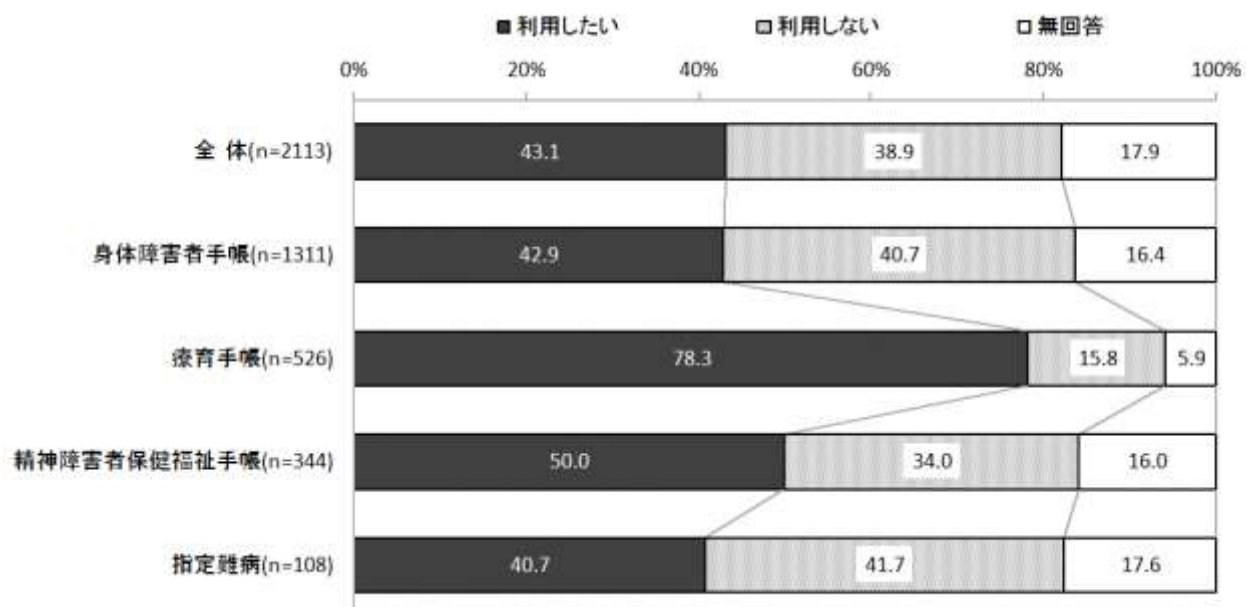
単位%、()内実数

		定員に空 きがなく、 または、 ホームヘルパーの 確保が困 難なため	事業所が 医療的ケ アや強度 行動障害 への対応 が困難と の理由	土・日に利 用したい が、事業 所が開所 していない	利用でき る事業所 がわから ない	サービス の質に不 安がある	その他	無回答
全体	(112)	32.1	3.6	13.4	9.8	13.4	21.4	33.9
居宅介護(ホームヘルプ)	(11)	18.2	0.0	18.2	18.2	9.1	9.1	63.6
重度訪問介護	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同行援護	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
行動援護	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所(ショートステイ)	(48)	45.8	6.3	16.7	16.7	22.9	25.0	10.4
生活介護	(6)	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	83.3
自立訓練(機能訓練)	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
自立訓練(生活訓練)	(4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0
就労移行支援	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
就労継続支援A型	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
就労継続支援B型	(8)	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	62.5
就労定着支援	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
療養介護	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
施設入所支援	(4)	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
共同生活援助(グループホーム)	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計画相談支援	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
地域相談支援(地域移行支援)	(2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
地域相談支援(地域定着支援)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援	(2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
放課後等デイサービス	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
保育所等訪問支援	(1)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児入所支援	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児相談支援	(1)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日中一時支援事業	(11)	54.5	0.0	54.5	18.2	45.5	27.3	0.0
移動支援事業	(20)	70.0	10.0	30.0	15.0	20.0	10.0	0.0
手話通訳者・要約筆記者派遣支援事業	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
補装具・日常生活用具購入費の助成	(6)	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	66.7
地域活動支援センター	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
身体障害者訪問入浴サービス	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
発達障害者支援センター	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談支援事業	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	(5)	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0

(4) 福祉サービスの今後の利用意向

問 19 障害福祉サービス等について、今後の利用をお伺いします。(○は1つ)

療育手帳所有者の利用意向率は、約8割となっている。身体障害者手帳所有者、指定難病者の利用意向は4割、精神障害者保健福祉手帳所有者5割となっている。

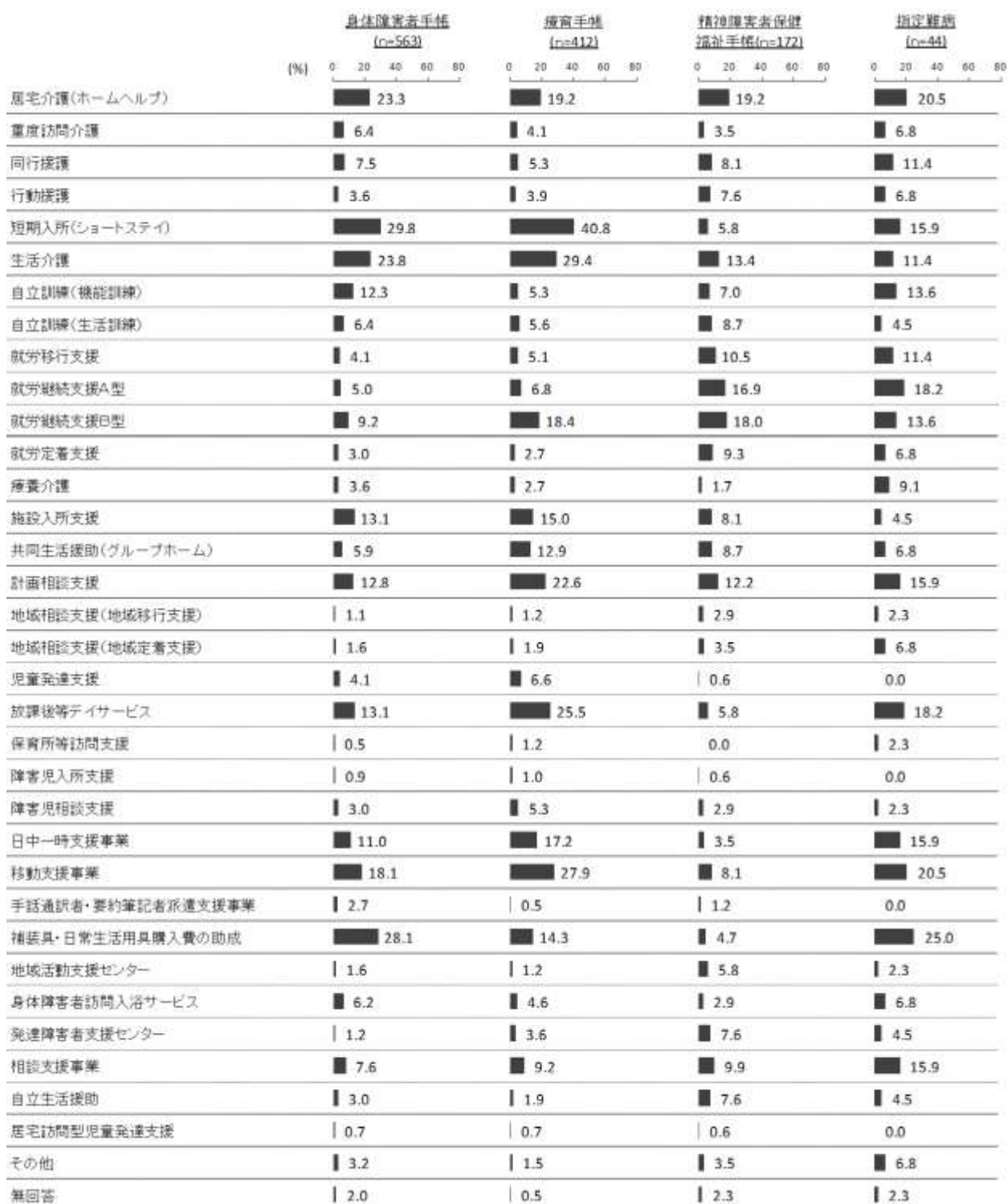


(問 19 で「1 利用したい」と回答した方にお伺いします。)

付問① 利用したい障害福祉サービス等をお答えください。

(○はいくつでも。現在利用しているサービスを使い続けたい場合も、○をつけてください。)

身体障害者手帳所有者は、「短期入所」29.8%と、「補装具・日常生活用具購入費の助成」が28.1%と高くなっている。療育手帳所有者は「短期入所」が40.8%と最も高い。精神障害者保健福祉手帳所有者は「居宅介護」が高い。指定難病者は「補装具・日常生活用具購入費の助成」「居宅介護」「移動支援事業」が高くなっている。



(その他)

利用できるサービスがわからない(3件)/将来的に利用したい(2件)/タクシー1割引/医療のリハビリの訪問リハビリ訓練/育児ヘルパー、訪問看護師の往診/介護予防体操/介護老人保健施設/金銭援助/差別相談をしてくれるところ。差別した側を指導してくれるサービス/支援学校や放課後デイサービスで学べないような家事・入浴のやり方の支援や、一人暮らしの練習できる仮宿舎があれば良いと思う/施設に入所しているが、順番が来なくて入所出来ません(1年経ちました)/収入について/障害者用の車の駐車マーク/自宅から遠い病院に通う時の通院支援があると非常に助かります。バスで何時間もかけて通院するのは、体力的に限界ですので/自分の病気に対する情報を知りたい(例えば、食べて良い物悪い物他、病院では教えてくれない)/自立した生活をするためのすべてがサービスに直結してほしい/車いすの作成/手続きを在宅でできるようにしてほしい。健常児はわざわざ市役所になんて行かなくてもサービスを受けられるのに、何で大変な子供達が毎年毎年行かないとサービスを切られてしまうのですか?その度に仕事を休んで、時間の都合つけて、本当になぜ障害児だけ?と思います/手話はなかなか覚えられないのが、相手方の手話が画面に出る器具・開発あれば持ちたい。補聴器は全然役に立ちません/今は不明

5. 地域での生活について

(1) 同居者の支援がなくなった場合や独居の将来の不安

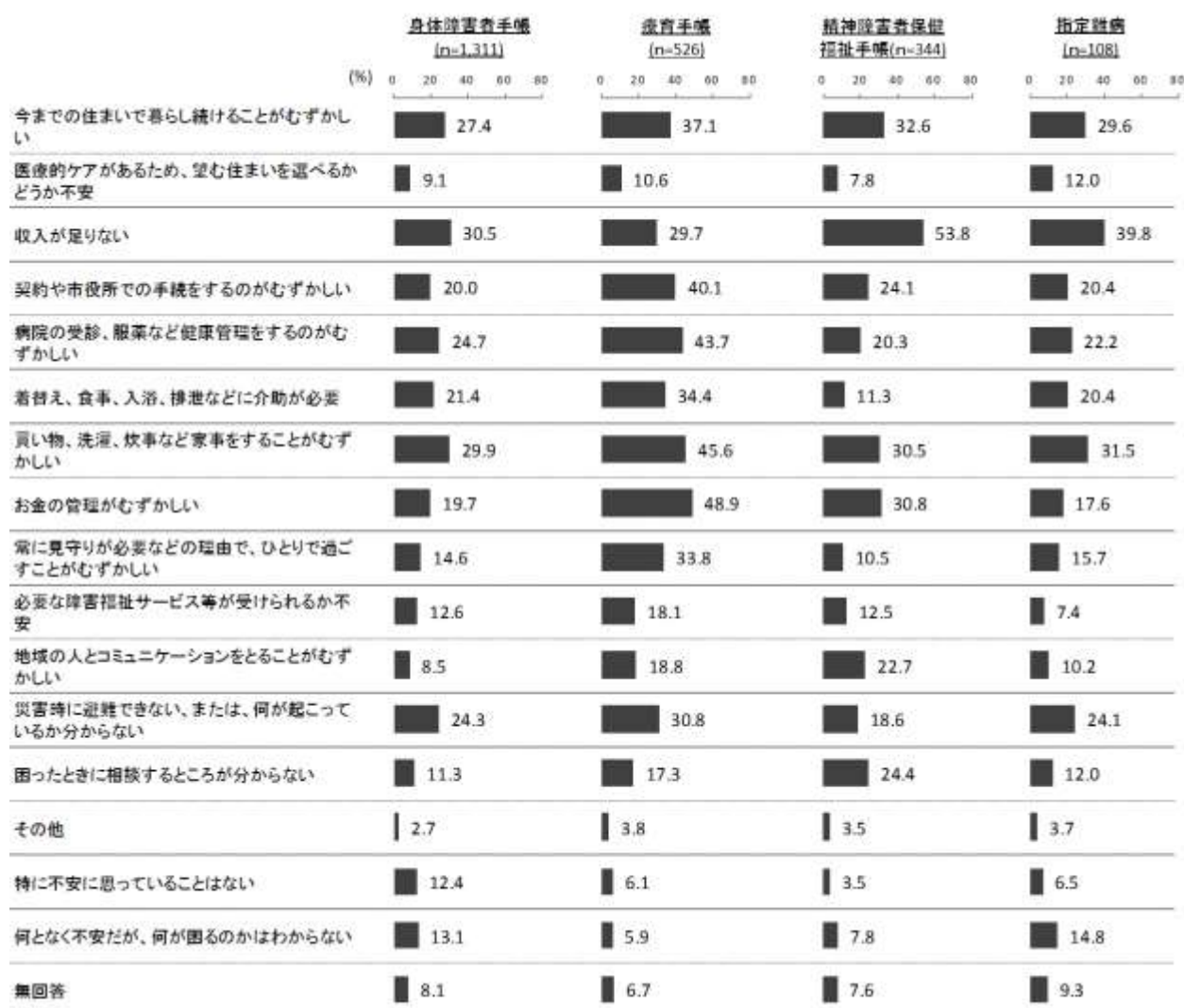
問 20 もしも、現在、一緒に暮らしている方と、将来、離れなくてはならなくなったときや一緒に暮らしている方の支援が受けられなくなったときに、不安なことはありますか。また、現在、一人暮らしをされている方は、将来、不安なことはありますか。（○は優先順位の高いものを5つまで）

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者は「収入が足りない」が最も高い。療養手帳所有者では「お金の管理がむずかしい」が48.9%と最も高い。

年齢別で見ると、30代から60代で「収入が足りない」が最も高く、10代未満では「着替え、食事、入浴、排泄などに介助が必要」、10代では「買い物、選択、炊事など家事をすることがむずかしい」がトップとなっている。

自立支援医療受給者証所有者は、「収入が足りない」が52.3%と特に高い。

同居状況別では、一人暮らしの人と同居している人では「収入が足りない」が最も高く、グループホームや入所施設を利用している人では「着替え、食事、入浴、排泄などに介助が必要」が高く、「収入が足りない」は低い。



(その他)

将来の生活に不安(7件)/交通手段が不安(6件)/人との対面・対応の心配(6件)/全てが不安(6件)/施設入所中(3件)/一人では生活できない(2件)/災害時の不安(2件)/(自己判断)・災害時の避難決定と長引いた避難生活の時・家のリフォームの相談できるところが少ない/1年に1度くらい遠出してみたい。トイレの心配とバス・電車の乗り降り/50才の男の子なので、1人で便所に行けなくなった時に辛いのでケアマネジャーさんに相談して施設に入るようにする/インターネットを使用するときなど常識を外れてしまうことがある/ずっと施設生活が長く、将来青年後見人も考えている/リストラにあいかかっている。障害があったり、すぐ入院したりで、クビにするにはもってこいの条件がそろっている。女性だし年増だし、社会ではもう、いらぬものとされている現状/医療制度、20歳以降もおそらく一生薬を飲み続けるため、成人後の制度保障が気になる/一人暮らしで、強制参加の町内清掃や組長ができない/家が農家なので自分一人では農業は続けられないし、広い自宅の管理も難しい/現在施設入所は満杯のため行きたい施設に入れるわけではない/今は特に不安はありませんがこの先はどうなるかわからないので心配です/差別をあらゆる所で受けるのでそれにとまなう事/子供の世話/施設に入りたくない。今の自宅で暮らしたい/施設入所支援を受けることができるのか不安/自分の身体の健康管理への関心が薄いため、一人になったら何があっても「まあいっか」で済ませてしまいそう/人工内耳を外していると聴こえない。睡眠の際など/難聴ですが、健常者って身近に障害者がいないと理解が得られないと思う/発作が起きた時、一時的な意識障害・記憶障害などから戻るまで不安。ペースメーカーも入れていて障害が2種類あるので不安/犯罪行為に巻き込まれているため/避難所での生活が不安/福祉事務所に相談しに行く/5つもない/0歳児の為、今は判断できない

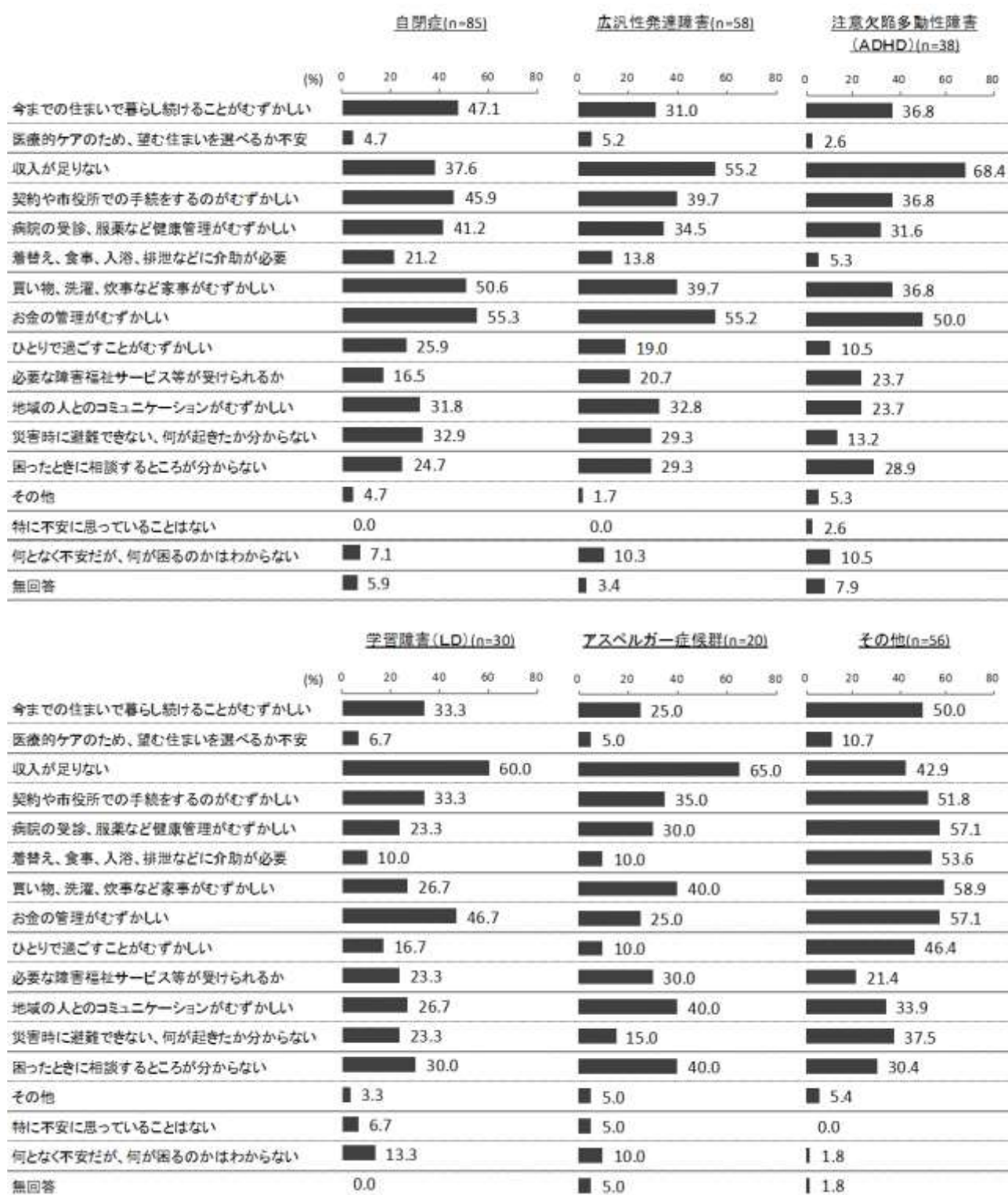
<年齢別>



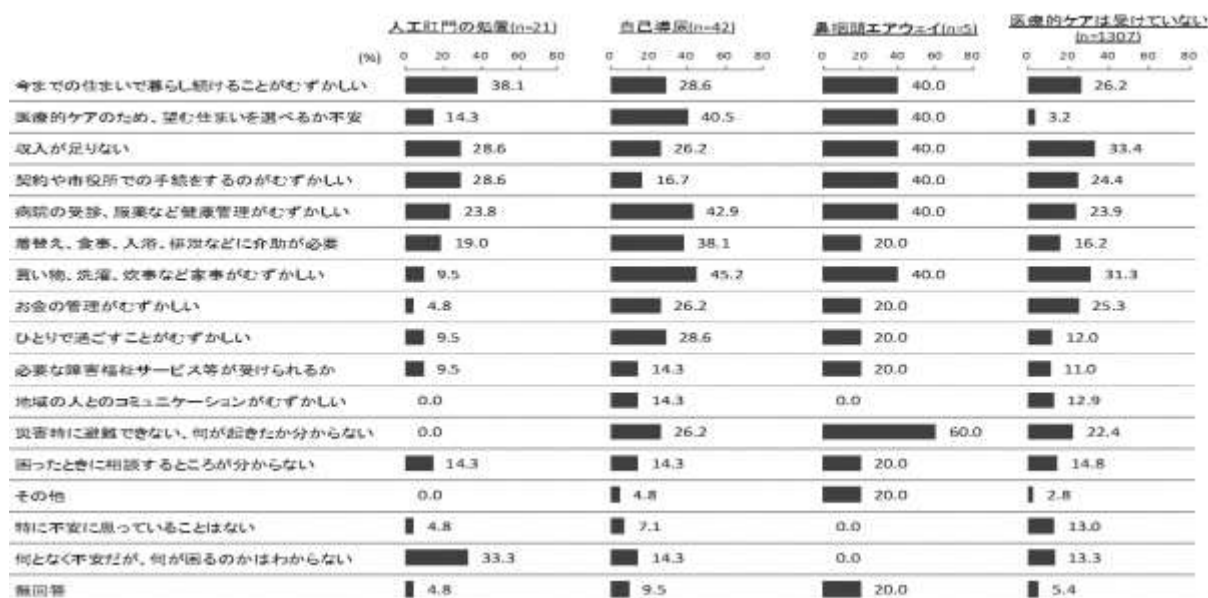
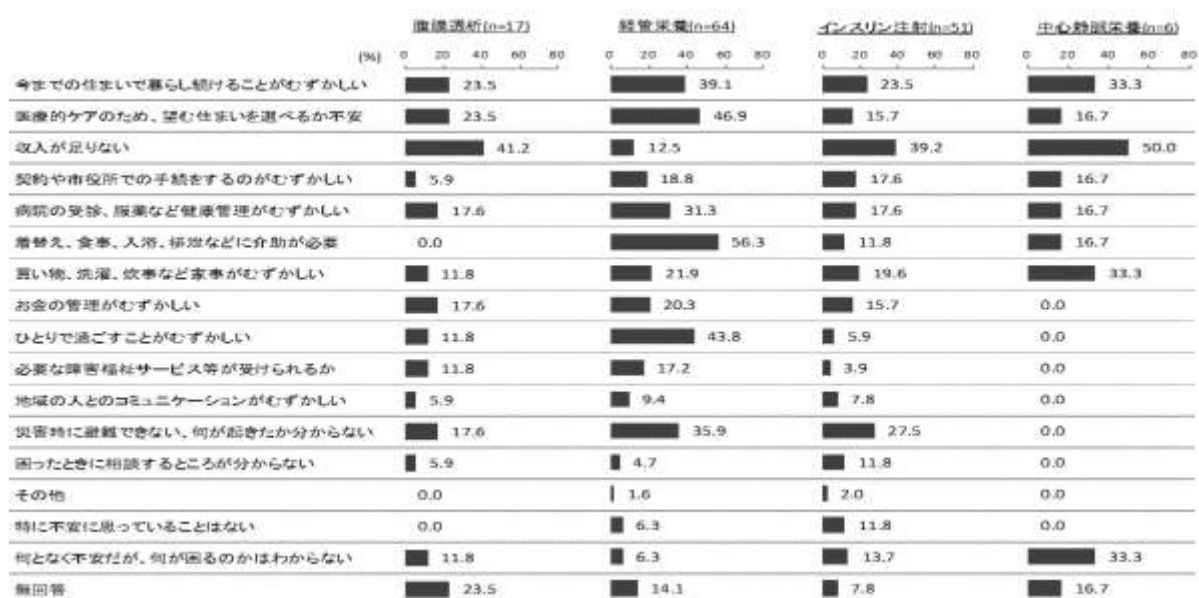
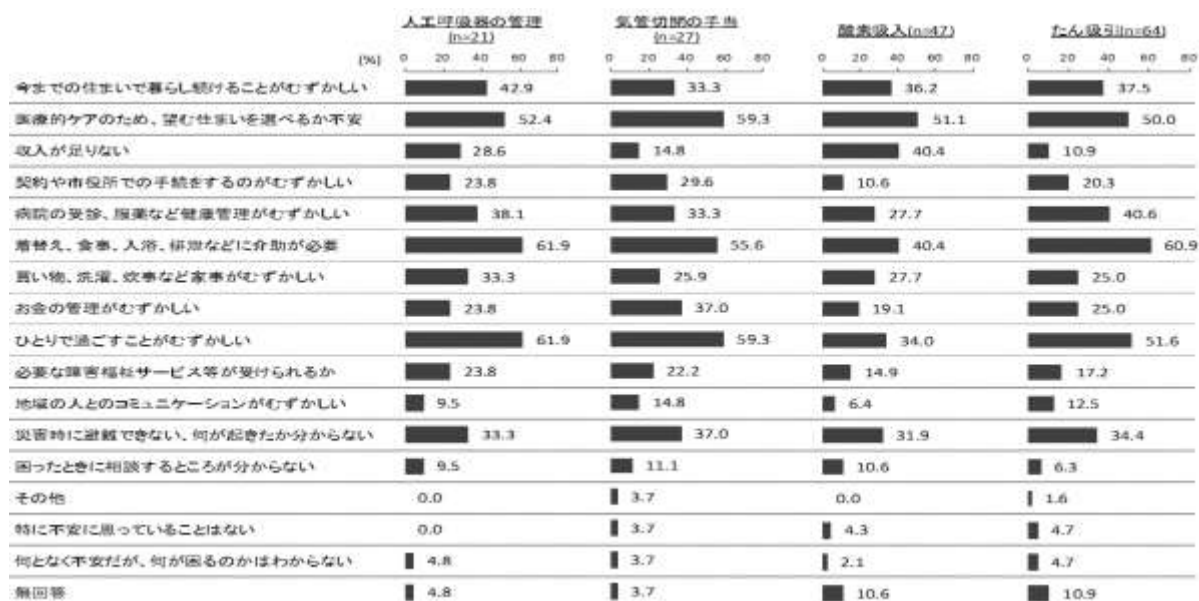
<受給者証有無別>



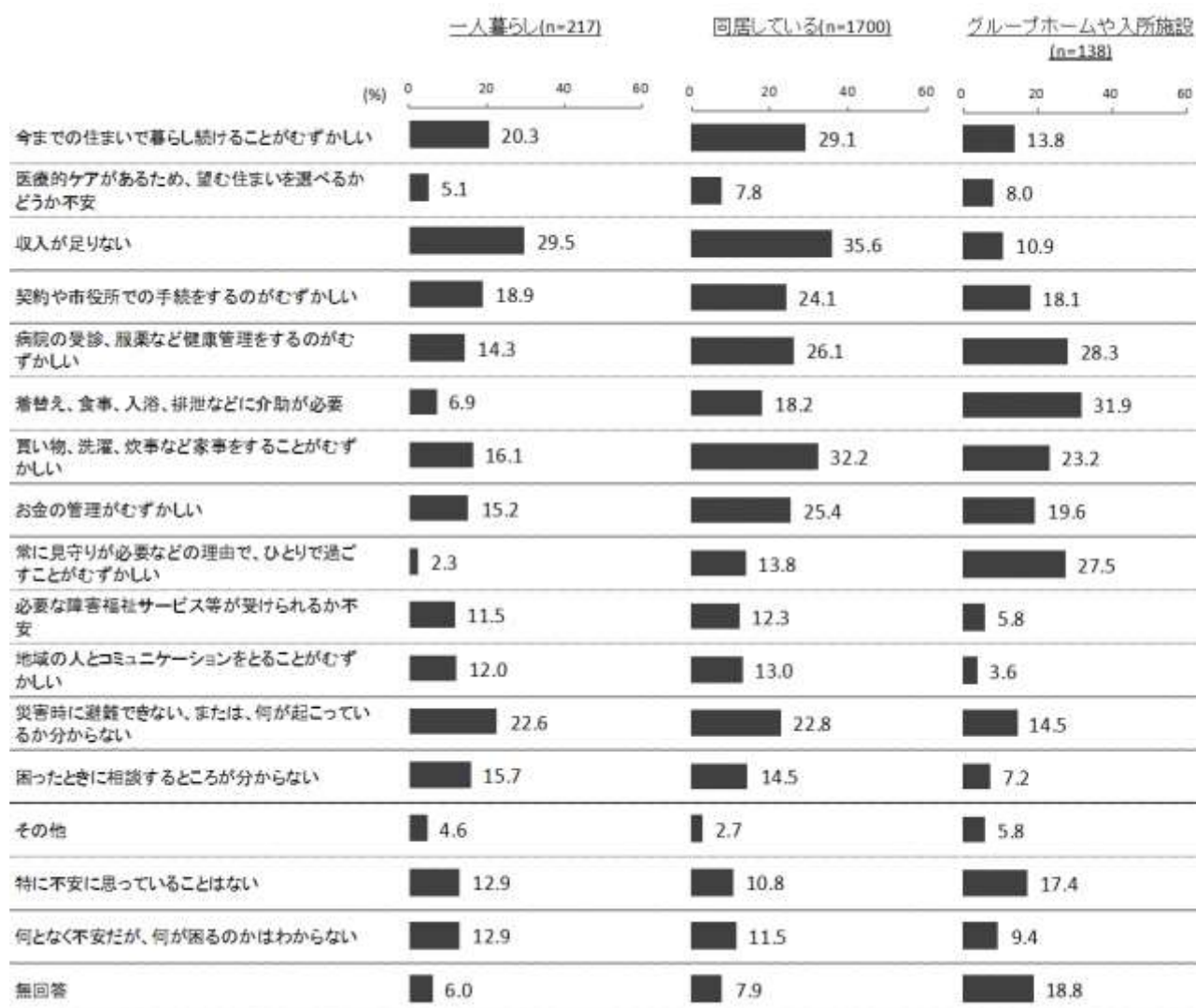
<発達障がいの診断名別>



<日常的に受けている医療ケア別>※「その他」省略



<同居状況別>



<主な介助者・支援者の年齢別>

単位%、()内実数

	無回答	何となく不安だが、何が困るのかはわからない	特に不安に思っていることはない	その他	困ったときに相談するところが分からない	災害時に避難できない、または、何が起きているか分からない	地域の人とコミュニケーションをとることがむずかしい	必要な障害福祉サービス等が受けられるか不安	常に見守りが必要などの理由で、ひとりで過ごすことがむずかしい	お金の管理がむずかしい	買い物、洗濯、炊事など家事をするのがむずかしい	着替え、食事、入浴、排泄などに介助が必要	病院の受診、服薬など健康管理をするのがむずかしい	契約や市役所での手続きをするのがむずかしい	収入が足りない	医療的ケアがあるため、望む住まいを選べるかどうか不安	今までの住まいで暮らし続けることがむずかしい
全体 (927)		6.7	2.3	4.1	16.3	34.6	16.0	15.2	25.7	37.5	49.2	32.9	39.5	35.6	34.7	10.0	39.2
20代未満 (11)	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	45.5	18.2	9.1	9.1	63.6	45.5	9.1	27.3	18.2	54.5	0.0	36.4
20代 (16)	18.8	12.5	6.3	0.0	12.5	18.8	18.8	31.3	12.5	31.3	37.5	18.8	12.5	12.5	18.8	12.5	25.0
30代 (79)	6.3	15.2	3.8	5.1	20.3	45.6	17.7	19.0	30.4	32.9	39.2	39.2	31.6	40.5	27.8	13.9	34.2
40代 (153)	5.9	10.5	1.3	2.6	17.0	39.2	13.7	12.4	32.7	35.9	49.0	35.3	35.3	33.3	39.9	13.1	43.1
50代 (213)	7.5	4.7	1.4	3.8	17.8	38.0	18.3	19.7	28.2	42.3	52.1	33.8	45.5	41.3	40.4	10.3	35.2
60代 (181)	6.1	3.3	2.8	3.9	16.0	32.6	17.1	12.2	22.7	47.5	53.6	30.9	44.8	42.0	36.5	6.6	40.9
70代 (163)	11.0	3.1	1.2	2.5	12.3	30.1	14.1	14.1	25.2	32.5	49.1	34.4	39.9	28.2	28.2	11.0	42.3
80代以上 (71)	5.6	8.5	2.8	7.0	14.1	28.2	14.1	14.1	15.5	23.9	47.9	26.8	36.6	36.6	35.2	4.2	43.7

<日常生活で困っていること別>

単位%、()内実数

	今までの住まいで暮らし続けることがむずかしい	医療的ケアがあるため、望む住まいを選べるかどうか不安	収入が足りない	契約や市役所での手続をするのがむずかしい	病院の受診、服薬など健康管理をするのがむずかしい	介護が必要	着替え、食事、入浴、排泄などに介助が必要	買い物がむずかしい	お金の管理がむずかしい	ひとりで過ごすことがむずかしい	常に見守りが必要などの理由で、られるか不安	必要な障害福祉サービス等が受けられない	地域のひととコミュニケーションをとることがむずかしい	何が起きているか分からない	災害時に避難できない、または、	困ったときに相談するところが分からない	その他	特に不安に思っていることはない	はわからない	何となく不安だが、何が困るのか	無回答
全体 (2113)	26.9	7.4	33.0	22.9	24.8	17.8	30.0	23.8	13.5	11.6	12.1	21.8	14.2	3.0	11.5	11.5	8.8				
身の回りのことができない (475)	45.5	14.1	34.1	36.8	49.1	56.8	55.2	41.1	41.1	16.2	14.7	37.1	14.5	4.4	0.6	3.6	8.4				
健康に不安がある (754)	33.4	14.5	40.7	26.5	33.6	24.1	36.3	26.7	20.7	14.7	13.3	25.9	17.1	3.1	4.1	8.4	8.2				
外出するのに支障がある (662)	37.6	12.2	35.5	35.2	46.1	39.4	52.9	35.8	29.9	16.0	16.3	38.4	16.5	3.2	2.0	5.4	8.0				
コミュニケーションがうまくとれない (512)	40.6	11.1	38.9	39.6	44.5	36.5	48.8	44.7	33.8	17.6	31.3	34.8	21.1	3.7	1.8	3.3	6.4				
近所づきあいがうまくできない (265)	43.8	11.3	48.7	41.5	44.9	36.6	47.9	41.9	34.7	18.5	38.1	34.7	23.0	3.4	0.8	3.4	6.0				
お金の管理に不安がある (454)	41.4	9.7	44.1	41.2	48.2	33.7	53.7	62.3	29.3	20.0	20.9	32.4	22.5	3.1	0.9	2.4	5.1				
災害時や緊急時の対応に不安がある (847)	38.6	12.2	38.5	34.6	39.4	30.6	44.9	35.8	23.5	16.6	16.8	41.2	18.3	3.9	1.3	6.0	7.3				
施設に入れられない(入所できない) (52)	48.1	23.1	32.7	32.7	53.8	53.8	53.8	51.9	59.6	23.1	25.0	42.3	21.2	5.8	0.0	0.0	11.5				
将来の生活に不安がある (934)	40.0	10.2	49.8	31.9	33.7	24.4	41.3	35.0	20.1	18.2	18.1	29.7	22.3	4.1	1.1	6.3	5.6				
必要なときに、十分な福祉サービスが使えない (154)	48.1	20.1	44.8	37.0	46.8	45.5	50.0	48.1	44.2	35.7	21.4	44.2	24.7	7.1	0.0	1.3	4.5				
相談する人(所)がない (106)	37.7	17.0	51.9	31.1	28.3	17.0	32.1	35.8	20.8	28.3	24.5	26.4	48.1	8.5	0.9	4.7	7.5				
相談する人(所)がわからない (137)	43.8	13.9	52.6	38.7	29.2	17.5	36.5	37.2	16.8	27.7	24.1	29.2	43.8	6.6	0.7	4.4	5.1				
治療又は通院できる医療機関がない (27)	51.9	22.2	37.0	40.7	44.4	33.3	63.0	51.9	33.3	33.3	18.5	51.9	33.3	3.7	0.0	7.4	7.4				
収入が足りない(少ない) (593)	38.1	8.8	68.3	30.0	28.7	18.5	37.3	33.4	14.7	17.0	17.7	26.1	21.2	2.9	2.4	3.9	5.9				
その他 (89)	36.0	14.6	40.4	27.0	23.6	24.7	33.7	21.3	16.9	22.5	13.5	29.2	22.5	14.6	7.9	9.0	5.6				
特に困っていることはない (419)	7.4	1.2	12.2	7.2	6.2	2.9	8.8	5.7	1.9	3.1	2.6	4.1	5.3	1.4	40.6	20.3	7.9				

< 「特に不安に思っていることはない」と回答した方の手帳の種類（詳細） >

		単位 %、()内実数										
		覚 身 障 が い 害 者 手 帳 ／ 視	覚 身 障 害 者 手 帳 ／ 聴	機 能 障 害 者 手 帳 ／ 音	身 体 障 害 者 手 帳 ／ 肢	身 体 障 害 者 手 帳 ／ 肢	身 体 障 害 者 手 帳 ／ 肢	身 体 障 害 者 手 帳 ／ 肢	部 障 害 者 手 帳 ／ 内	療 育 手 帳	手 帳 精 神 障 害 者 保 健 福 祉	無 回 答
全 体	(2113)	4.9	4.9	1.8	21.0	29.8	8.7	19.0	24.9	16.3	13.3	
特に不安に思っていることはない	(243)	4.9	3.7	1.2	14.8	23.9	6.2	27.2	13.2	4.9	21.8	

< 「特に不安に思っていることはない」と回答した方の年代 >

		単位 %、()内実数								
		1 0 歳 未 満	1 0 ～ 1 9 歳	2 0 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 9 歳	7 0 歳 以 上	無 回 答
全 体	(2113)	4.5	7.0	9.8	10.9	16.4	14.2	14.7	20.7	1.8
特に不安に思っていることはない	(243)	0.4	2.9	6.2	8.2	21.0	15.6	19.8	22.2	3.7

< 「特に不安に思っていることはない」と回答した方の医療受給者証所有状況 >

		単位 %、()内実数					
		を 通 院 立 自 持 っ て い る 受 給 者 証	自 立 支 援 医 療 給 付 精 神	病 ～ 受 給 者 証 を 持 っ て 難	特 定 医 療 費 指 定 難	い ど ち ら も 持 っ て い な い	無 回 答
全 体	(2113)	18.2	21.5	54.1	7.1		
特に不安に思っていることはない	(243)	7.0	24.3	62.6	6.2		

< 「特に不安に思っていることはない」と回答した方の発達診断の診断名 >

		単位 %、()内実数						
		自閉症	広汎性発達障害	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	学習障害 (LD)	アスペルガー症候群	その他	無回答
全体	(226)	37.6	25.7	16.8	13.3	8.8	24.8	2.7
特に不安に思っていることはない	(3)	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0

< 「特に不安に思っていることはない」と回答した方の日常的に受けている医療的ケア >

		単位 %、()内実数													
		人工呼吸器の管理	気管切開の手当 (カニューレ交換・消毒)	酸素吸入	たん吸引 (気管・鼻腔・口腔)	腹膜透析	経管栄養 (鼻から・胃ろう・腸ろう)	インスリン注射	中心静脈栄養	人工肛門の処置	自己導尿	鼻咽喉エアウェイ	その他	医療的ケアは受けていない	無回答
全体	(2113)	1.0	1.3	2.2	3.0	0.8	3.0	2.4	0.3	1.0	2.0	0.2	8.6	61.9	20.1
特に不安に思っていることはない	(243)	0.0	0.4	0.8	1.2	0.0	1.6	2.5	0.0	0.4	1.2	0.0	8.6	70.0	16.5

< 「特に不安に思っていることはない」と回答した方の同居の状況 >

		単位 %、()内実数			
		一人暮らし	同居している	グループホームや入所施設	無回答
全体	(2113)	10.3	80.5	6.5	3.4
特に不安に思っていることはない	(243)	11.5	75.7	9.9	2.9

＜「特に不安に思っていることはない」と回答した方の主な介助者・支援者の年齢＞

単位%、()内実数

	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	無回答
全体 (927)	1.2	1.7	8.5	16.5	23.0	19.5	17.6	7.7	4.3
特に不安に思っていることはない (21)	0.0	4.8	14.3	9.5	14.3	23.8	9.5	9.5	14.3

＜「特に不安に思っていることはない」と回答した方の日常生活で困っていること＞

単位%、()内実数

	身の回りのことができ ない	健康に不安がある	外出するのに支障があ る	うまくとれない コミュニケーションが	近所づきあいがうまく できない	お金の管理に不安があ る	災害時や緊急時の対応 に不安がある	施設に入れない（入所 できない）	将来の生活に不安があ る	い福社サービスが使えな い	必要なときに、十分な 相談サービスが使えな い	相談する人（所）がな い	相談する人（所）がわ からない	治療又は通院できる医 療機関がない	収入がない（少ない）	その他	特に困っていることは ない	無回答
全体 (2113)	22.5	35.7	31.3	24.2	12.5	21.5	40.1	2.5	44.2	7.3	5.0	6.5	1.3	28.1	4.2	19.8	2.7	
特に不安に思っていることはない (243)	1.2	12.8	5.3	3.7	0.8	1.8	4.5	0.0	4.1	0.0	0.4	0.4	0.0	5.8	2.9	70.0	2.5	

(2) 将来の居住場所についての希望

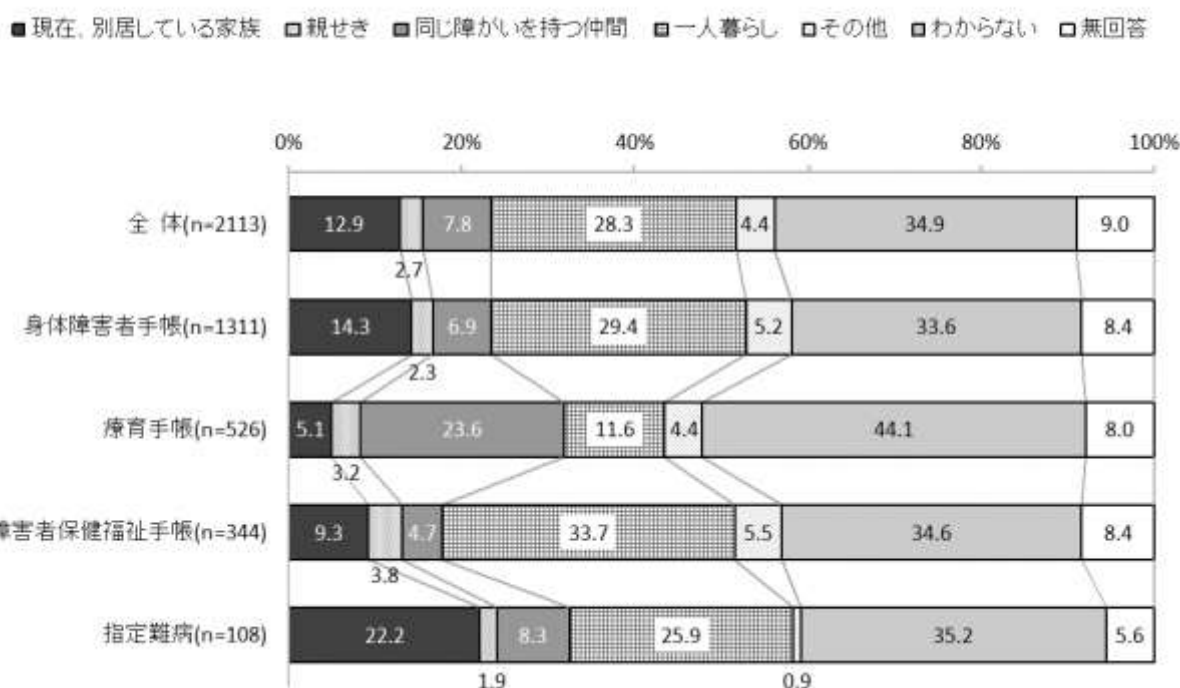
問 21 もしも、現在、一緒に暮らしている方と、将来、離れなくてはならなくなったときに、誰と、どこで暮らしたいですか。
 また、現在、一人暮らしをされている方は、将来、誰と、どこで暮らしたいですか。
 (1) 誰と暮らしたいですか(○は1つ)

いずれも「わからない」が最も高く、3～4割台を占める。身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「一人暮らし」が高く、次いで「現在、別居している家族」と続く。療育手帳所有者では、「同じ障がいを持つ仲間」が高く、次いで「一人暮らし」の順。

年齢別では、10代以下では「わからない」が過半数となっている。20代以上では「現在、別居している家族」が年齢を追うごとに高くなり、「同じ障がいを持つ仲間」は低くなっている。

現在の住まい別では、自宅で暮らしている人は「一人暮らし」が30.0%で、グループホーム利用者では「同じ障がいを持つ仲間」が18.5%と高い。

また、主な介助者・支援者の年齢別でみると、介助者・支援者が40代以下で特に「わからない」が高い傾向にある。



(続柄)

長男(29件)/娘(18件)/長女(15件)/子(14件)/母(14件)/妹(10件)/兄(8件)/姉(8件)/妻(7件)/両親(7件)/息子(4件)/弟(4件)/夫(4件)/兄弟(3件)/次女(3件)/次男(3件)/親(3件)/祖母(3件)/父(3件)/実兄(2件)/実母(2件)/祖父母(2件)/家族/姉一家/姉妹/子・姉妹/実姉/親、兄弟/身内/長女、2男/長男、家族/長男夫婦/配偶者/彼女/夫・母/父、姉、兄/父、母/父、母、妹/母、兄/母、姉/母、弟/母、妹/娘、息子/娘夫婦/友人/施設への入所/友達/犬/グループホームで現在も暮らしていて、このまま住みたい/身内がない/本人の状態から、入所しか選択肢は見つかりません

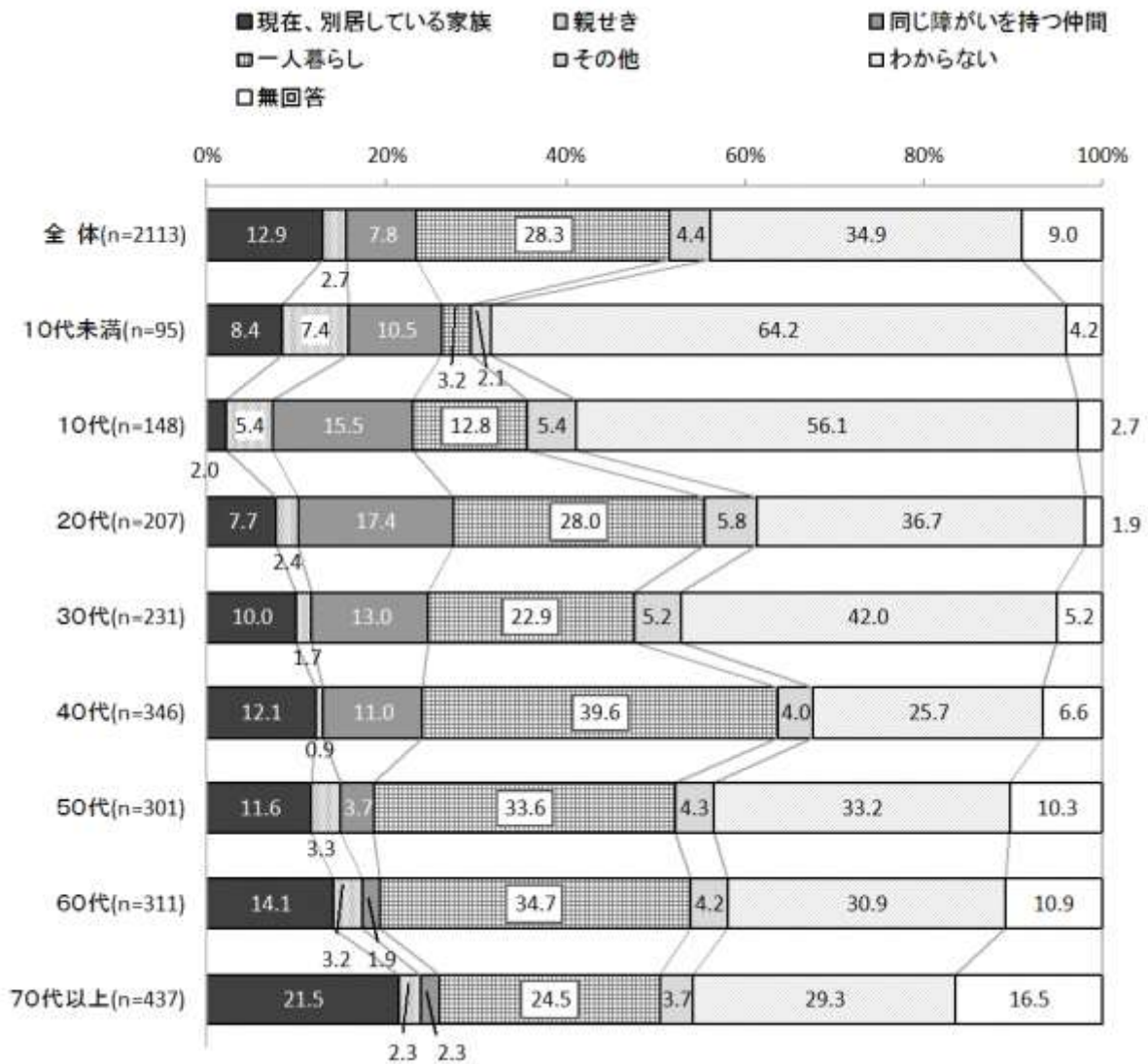
(その他)

施設の人たち(8件)/友人(6件)/子供(5件)/医療関係者(3件)/妹(3件)/アパート(2件)/グループホーム(2件)/家族(2件)/弟(2件)/同じ仲間(2

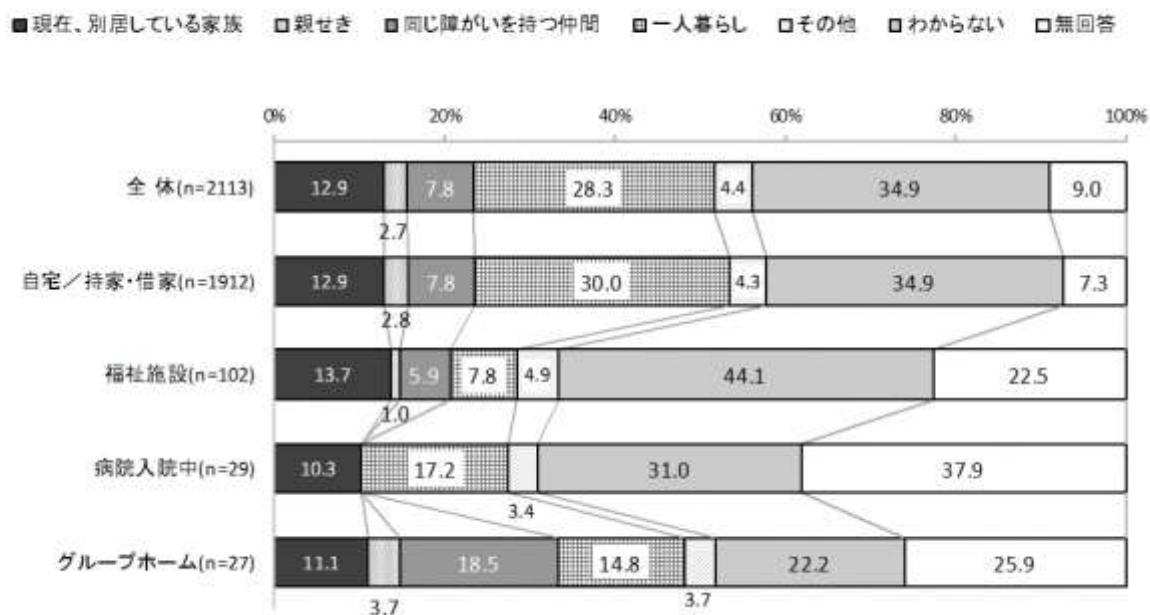
II 調査結果

件)/病院・施設(2件)/娘(2件)/1人でアメリカに戻りたい/アパート・マンション/アパートから自宅に戻る/グループホームやシェアハウス/グループホーム等/つばさ静岡/パートナー/ヘルパー/愛猫たち(現在も一緒に暮らしているが)/異性の人/医者・看護師・弁護士/一人で動けるなら動けるまで/兄/兄弟/結婚してダンナさんと暮らす/健康者の気が合う仲間/元気な時は1人でいい。認知症になった場合は主人と一緒に介護施設を希望/元夫/現在付きあっている人/好きな人/好きな人と結婚/考えたくない。さみしくなる不安になるから/再婚したい/残った家族/私を守ってくれる新しいパートナーを探します/次男と暮らしたい。自分が家族の手に負えなくなったら介護付きのアパートか施設へ行きたい/実家/実家の両親/出来れば結婚して妻と暮らしたい/新たなパートナーを探す/親、子供/親戚の家/身体障害者用のアパートに入りたい/祖父母宅/息子/息子夫婦/退院したら家族と住む/誰とは分らないが、支え合えるパートナー/中森明菜と一緒に暮らす/長男家族/長男夫婦/同居人はいない/入所施設/伴侶/犯罪行為があるため/彼氏/夫とくらしたい/夫と妻の実家/父、祖父、祖母/父か母の実家/恋人の女性

<年齢別>



<現在の住まい別>



<持っている受給者証別>

単位 %, ()内実数

	現在、別居している家族	親せき	同じ障がいを持つ仲間	一人暮らし	その他	わからない	無回答
全体 (2113)	12.9	2.7	7.8	28.3	4.4	34.9	9.0
自立支援医療受給者証所有者 (384)	8.1	3.9	7.8	34.9	5.2	31.8	8.3
特定医療費受給者証所有者 (454)	17.4	1.3	3.7	30.0	3.3	34.6	9.7
どちらも持っていない (1144)	13.5	2.8	9.4	25.8	4.1	36.5	8.0

<発達障害の診断名別>

単位 %, ()内実数

	現在、別居している家族	親せき	同じ障がいを持つ仲間	一人暮らし	その他	わからない	無回答
全体 (226)	4.9	4.4	19.5	15.5	4.0	46.9	4.9
自閉症 (85)	4.7	2.4	28.2	11.8	2.4	47.1	3.5
広汎性発達障害 (58)	5.2	6.9	10.3	19.0	3.4	53.4	1.7
注意欠陥多動性障害 (ADHD) (38)	7.9	5.3	7.9	23.7	5.3	44.7	5.3
学習障害 (LD) (30)	6.7	10.0	0.0	23.3	3.3	46.7	10.0
アスペルガー症候群 (20)	5.0	10.0	0.0	25.0	5.0	50.0	5.0
その他 (56)	1.8	5.4	26.8	10.7	5.4	42.9	7.1

<日常的に受けている医療的ケア別>

単位 %、()内実数

		現在、別居している家族	親せき	同じ障がいを持つ仲間	一人暮らし	その他	わからない	無回答
全 体	(2113)	12.9	2.7	7.8	28.3	4.4	34.9	9.0
人工呼吸器の管理	(21)	14.3	0.0	9.5	14.3	14.3	38.1	9.5
気管切開の手当	(27)	18.5	0.0	7.4	11.1	7.4	48.1	7.4
酸素吸入	(47)	27.7	2.1	8.5	19.1	8.5	27.7	6.4
たん吸引	(64)	14.1	1.6	9.4	6.3	7.8	48.4	12.5
腹膜透析	(17)	17.6	0.0	0.0	17.6	5.9	41.2	17.6
経管栄養	(64)	14.1	1.6	10.9	6.3	6.3	46.9	14.1
インスリン注射	(51)	15.7	0.0	0.0	35.3	5.9	33.3	9.8
中心静脈栄養	(6)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	33.3
人工肛門の処置	(21)	14.3	0.0	4.8	23.8	0.0	38.1	19.0
自己導尿	(42)	11.9	0.0	14.3	11.9	9.5	42.9	9.5
鼻咽喉エアウェイ	(5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
その他	(182)	18.1	1.6	12.1	28.0	5.5	26.9	7.7
医療的ケアは受けていない	(1307)	12.4	2.6	7.1	30.2	4.3	36.7	6.7

<同居の状況別>

単位 %、()内実数

		現在、別居している家族	親せき	同じ障がいを持つ仲間	一人暮らし	その他	わからない	無回答
全 体	(2113)	12.9	2.7	7.8	28.3	4.4	34.9	9.0
一人暮らし	(217)	8.3	0.9	2.3	51.6	7.8	18.9	10.1
同居している	(1700)	13.7	3.1	8.7	27.2	4.0	36.7	6.6
グループホーム や入所施設	(138)	12.3	2.2	9.4	8.0	4.3	39.1	24.6

<主な介助者・支援者の年齢別>

単位 %、()内実数

		現在、別居している家族	親せき	同じ障がいを持つ仲間	一人暮らし	その他	わからない	無回答
全 体	(927)	15.4	3.2	13.8	16.8	4.9	38.4	7.4
20代未満	(11)	0.0	18.2	27.3	0.0	9.1	45.5	0.0
20代	(16)	0.0	0.0	0.0	25.0	6.3	56.3	12.5
30代	(79)	15.2	8.9	11.4	7.6	1.3	51.9	3.8
40代	(153)	9.2	0.7	10.5	12.4	3.9	56.9	6.5
50代	(213)	19.7	2.3	16.9	19.2	5.2	32.9	3.8
60代	(181)	16.0	3.3	17.1	17.7	3.9	33.1	8.8
70代	(163)	16.6	2.5	12.9	17.8	8.0	30.7	11.7
80代以上	(71)	21.1	4.2	7.0	21.1	2.8	33.8	9.9

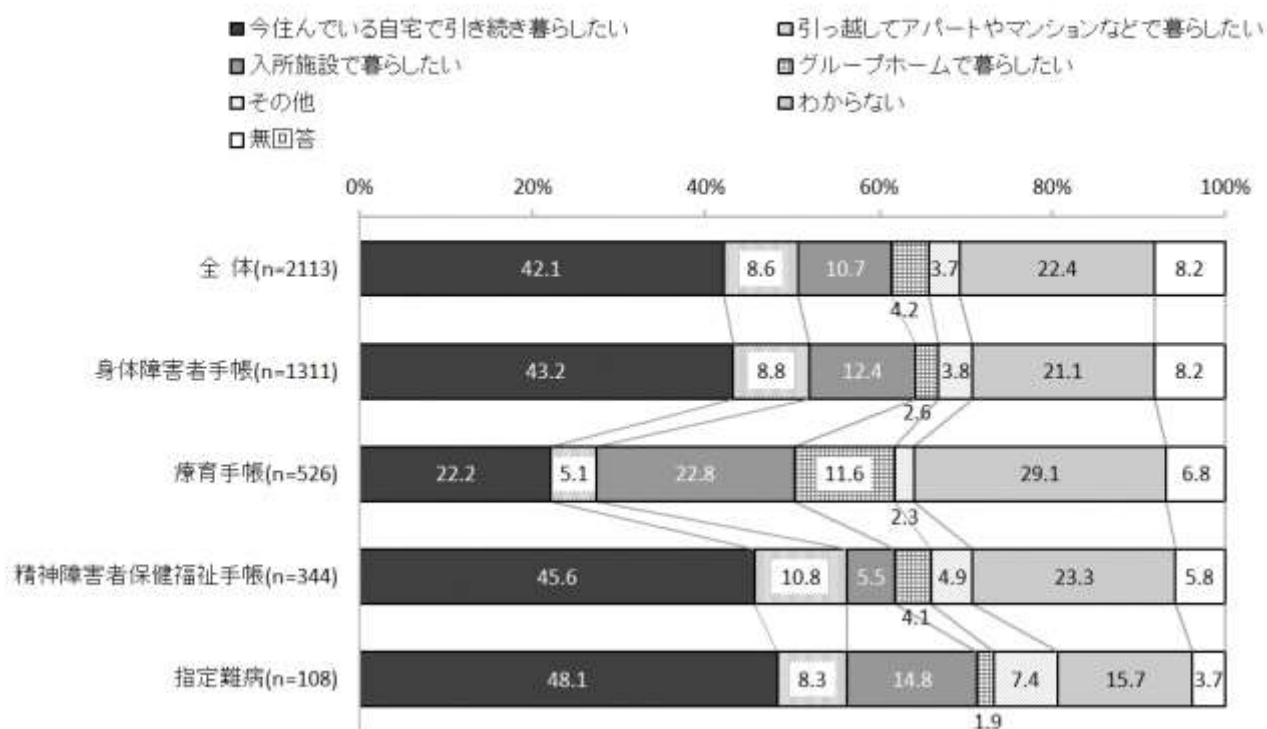
問 21 もしも、現在、一緒に暮らしている方と、将来、離れなくてはならなくなったときに、誰と、どこで暮らしたいですか。
 また、現在、一人暮らしをされている方は、将来、誰と、どこで暮らしたいですか。
 (2) どこで暮らしたいですか(○は1つ)

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「今住んでいる自宅」が最も高く、4割台となっている。療育手帳所有者では、「入所施設」と「今住んでいる自宅」がともに2割台となっており、「グループホーム」も1割。

年齢別では「今住んでいる自宅」が年齢を追うごとに高くなっている。

現在の住まい別にみると、自宅居住者は「自宅」、福祉施設入居者では「入所施設」、グループホーム居住者では「グループホーム」と、現在住んでいる場所が高い。

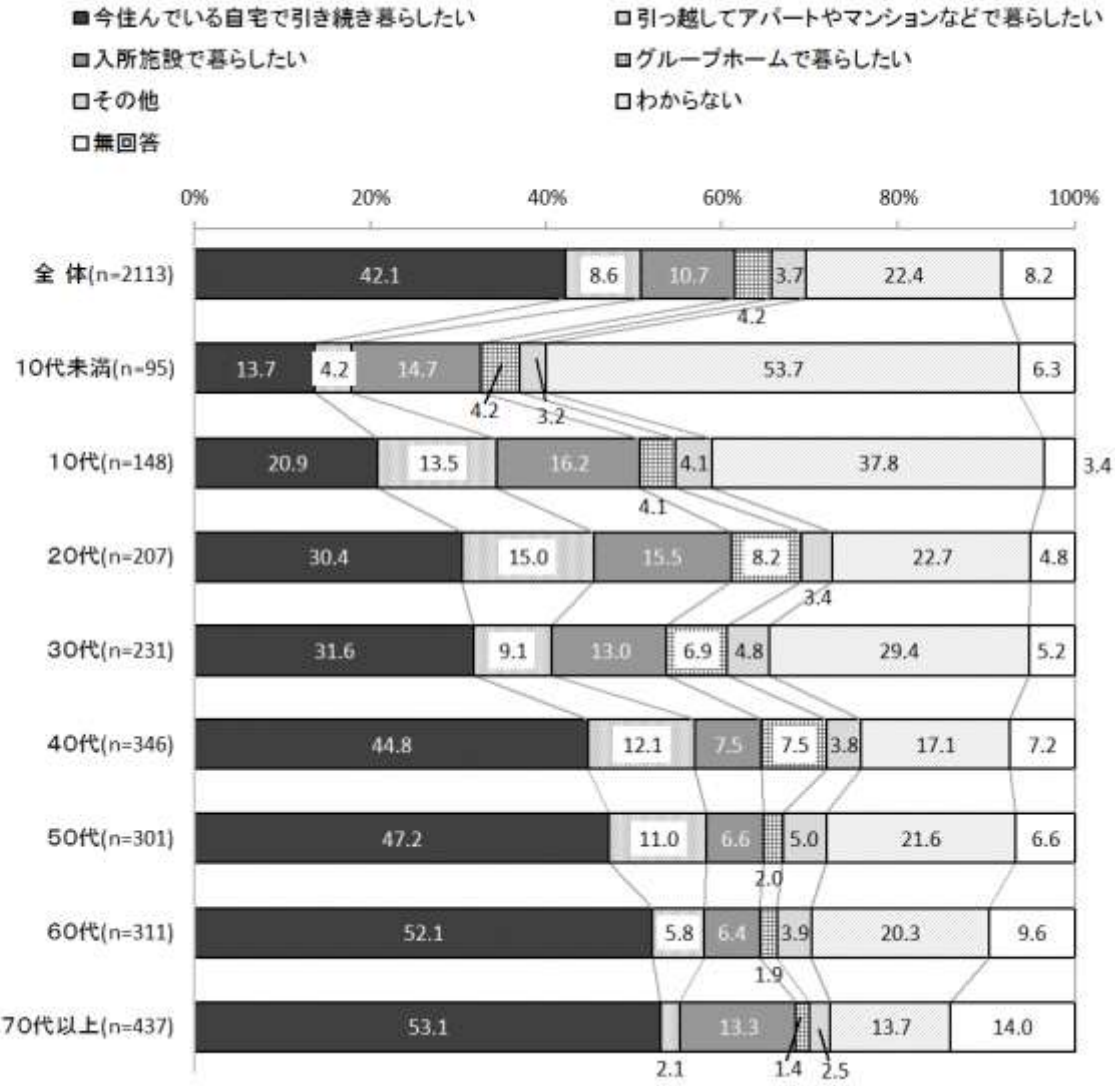
また、主な介助者・支援者の年齢別でも本人の年齢と同様に、「今住んでいる自宅」が年齢を追うごとに高くなっている。



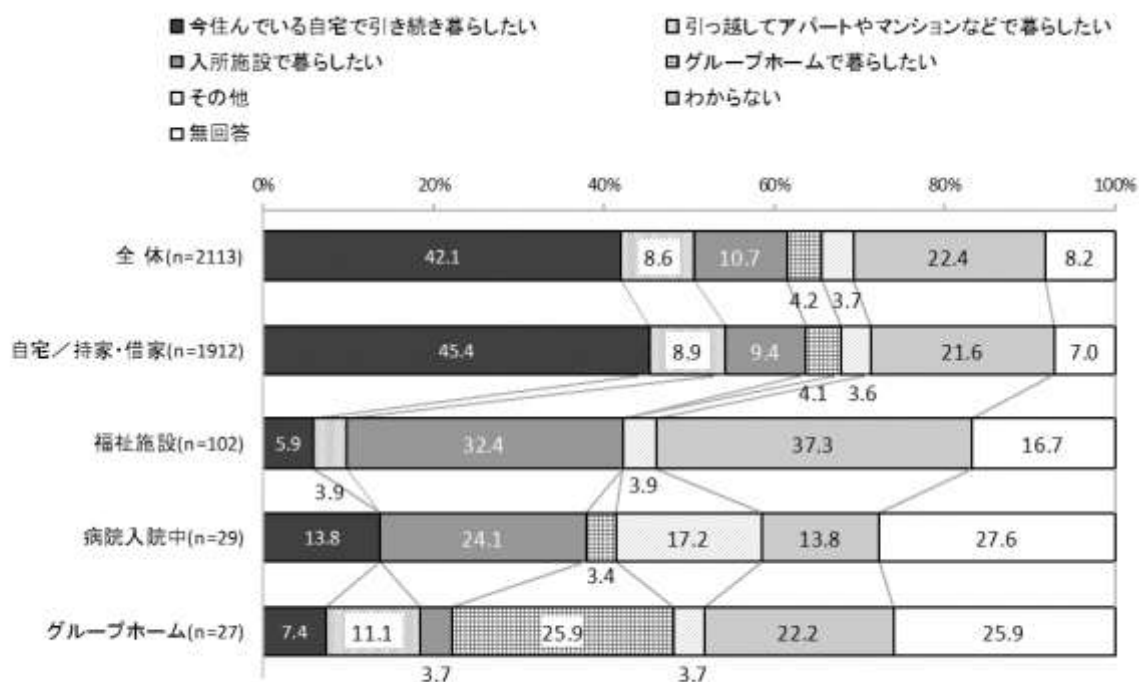
(その他)

実家(11件)/アパート・団地など(8件)/娘の家(4件)/バリアフリーの家(2件)/新しい家(2件)/息子の家(2件)/長男の家(2件)/弟の家(2件)/入院中(2件)/病院(2件)/妹の家(2件)/兄の家/兄弟の家/姉のマンション/子供の家/施設/次男の家/親戚の家/親戚の近く/母の自宅/友人宅/退院したら暮らした家に戻る/大学進学のため東京へ/第1希望は①ですが、状況から③/通院に便利な都心部/彼と一緒にいきたい/今住んでいるアパートから引っ越してちゃんとした家に住みたい(暮らしたい)/今住んでいるアパートで暮らしたい/今入院している病院(入所)/自宅で暮らしていきたいが脚が重い為2Fなので不安/心臓病をもってるけど誰かと暮らしたい/うまくいけばアメリカにも施設はありますか。永住権が切れている今は無理です。3ヵ月以内に出たり入ったりしないとダメです/グループホーム生活保護だから入れない/グループホームの近くに暮らしたい/どこでも良い/一人ではなにもできないので入所したい

<年齢別>



<現在の住まい別>



<持っている受給者証別>

単位 %, ()内実数

	今住んでいる自宅で引き続き暮らしたい	引っ越してアパートやマンションなどで暮らしたい	入所施設で暮らしたい	グループホームで暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体 (2113)	42.1	8.6	10.7	4.2	3.7	22.4	8.2
自立支援医療受給者証所有者 (384)	44.0	11.2	5.7	6.5	4.4	21.1	7.0
特定医療費受給者証所有者 (454)	48.2	8.6	9.9	1.5	4.4	18.9	8.4
どちらも持っていない (1144)	39.2	7.9	12.0	4.6	3.4	25.0	7.9

<発達障害の診断名別>

単位 %, ()内実数

	今住んでいる自宅で引き続き暮らしたい	引っ越してアパートやマンションなどで暮らしたい	入所施設で暮らしたい	グループホームで暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体 (226)	30.1	8.0	17.7	10.2	3.1	28.3	2.7
自閉症 (85)	23.5	7.1	20.0	21.2	0.0	25.9	2.4
広汎性発達障害 (58)	39.7	8.6	3.4	5.2	5.2	36.2	1.7
注意欠陥多動性障害 (ADHD) (38)	47.4	13.2	0.0	2.6	5.3	26.3	5.3
学習障害 (LD) (30)	43.3	20.0	3.3	0.0	10.0	23.3	0.0
アスペルガー症候群 (20)	55.0	20.0	0.0	0.0	5.0	20.0	0.0
その他 (56)	21.4	0.0	32.1	7.1	5.4	30.4	3.6

<日常的に受けている医療的ケア別>

単位 %、()内実数

		今住んでいる 自宅で引き続き 暮らしたい	引っ越してア パートやマン ションなどで 暮らしたい	入所施設で 暮らしたい	グループホー ムで暮らした い	その他	わからない	無回答
全 体	(2113)	42.1	8.6	10.7	4.2	3.7	22.4	8.2
人工呼吸器の管理	(21)	23.8	4.8	28.6	0.0	9.5	14.3	19.0
気管切開の手当	(27)	14.8	3.7	44.4	0.0	7.4	18.5	11.1
酸素吸入	(47)	42.6	4.3	25.5	0.0	4.3	14.9	8.5
たん吸引	(64)	17.2	1.6	35.9	0.0	6.3	21.9	17.2
腹膜透析	(17)	52.9	5.9	0.0	0.0	11.8	11.8	17.6
経管栄養	(64)	14.1	4.7	32.8	0.0	6.3	25.0	17.2
インスリン注射	(51)	51.0	7.8	2.0	0.0	5.9	21.6	11.8
中心静脈栄養	(6)	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
人工肛門の処置	(21)	23.8	14.3	14.3	4.8	0.0	23.8	19.0
自己導尿	(42)	31.0	4.8	21.4	0.0	7.1	26.2	9.5
鼻咽喉エアウェイ	(5)	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0
その他	(182)	42.3	9.9	12.6	2.7	3.3	20.3	8.8
医療的ケアは受けていない	(1307)	42.9	9.1	9.8	4.4	3.7	23.6	6.4

<同居の状況別>

単位 %、()内実数

		今住んでいる 自宅で引き続き 暮らしたい	引っ越してア パートやマン ションなどで 暮らしたい	入所施設で 暮らしたい	グループホー ムで暮らした い	その他	わからない	無回答
全 体	(2113)	42.1	8.6	10.7	4.2	3.7	22.4	8.2
一人暮らし	(217)	46.1	9.2	8.8	1.4	6.5	18.9	9.2
同居している	(1700)	45.0	8.6	9.8	4.6	3.3	22.3	6.4
グループホーム や入所施設	(138)	5.8	4.3	24.6	8.0	4.3	32.6	20.3

<主な介助者・支援者の年齢別>

単位 %、()内実数

		今住んでいる 自宅で引き続き 暮らしたい	引っ越してア パートやマン ションなどで 暮らしたい	入所施設で 暮らしたい	グループホー ムで暮らした い	その他	わからない	無回答
全 体	(927)	38.2	5.7	17.3	6.7	3.5	22.2	6.5
20代未満	(11)	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	63.6	0.0
20代	(16)	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5	31.3	12.5
30代	(79)	21.5	7.6	13.9	5.1	5.1	43.0	3.8
40代	(153)	27.5	9.8	18.3	2.6	3.9	32.0	5.9
50代	(213)	37.1	7.0	16.9	8.0	2.8	22.5	5.6
60代	(181)	39.8	4.4	19.3	11.0	2.8	14.9	7.7
70代	(163)	47.2	3.1	20.2	7.4	3.1	12.3	6.7
80代以上	(71)	54.9	1.4	12.7	4.2	4.2	14.1	8.5

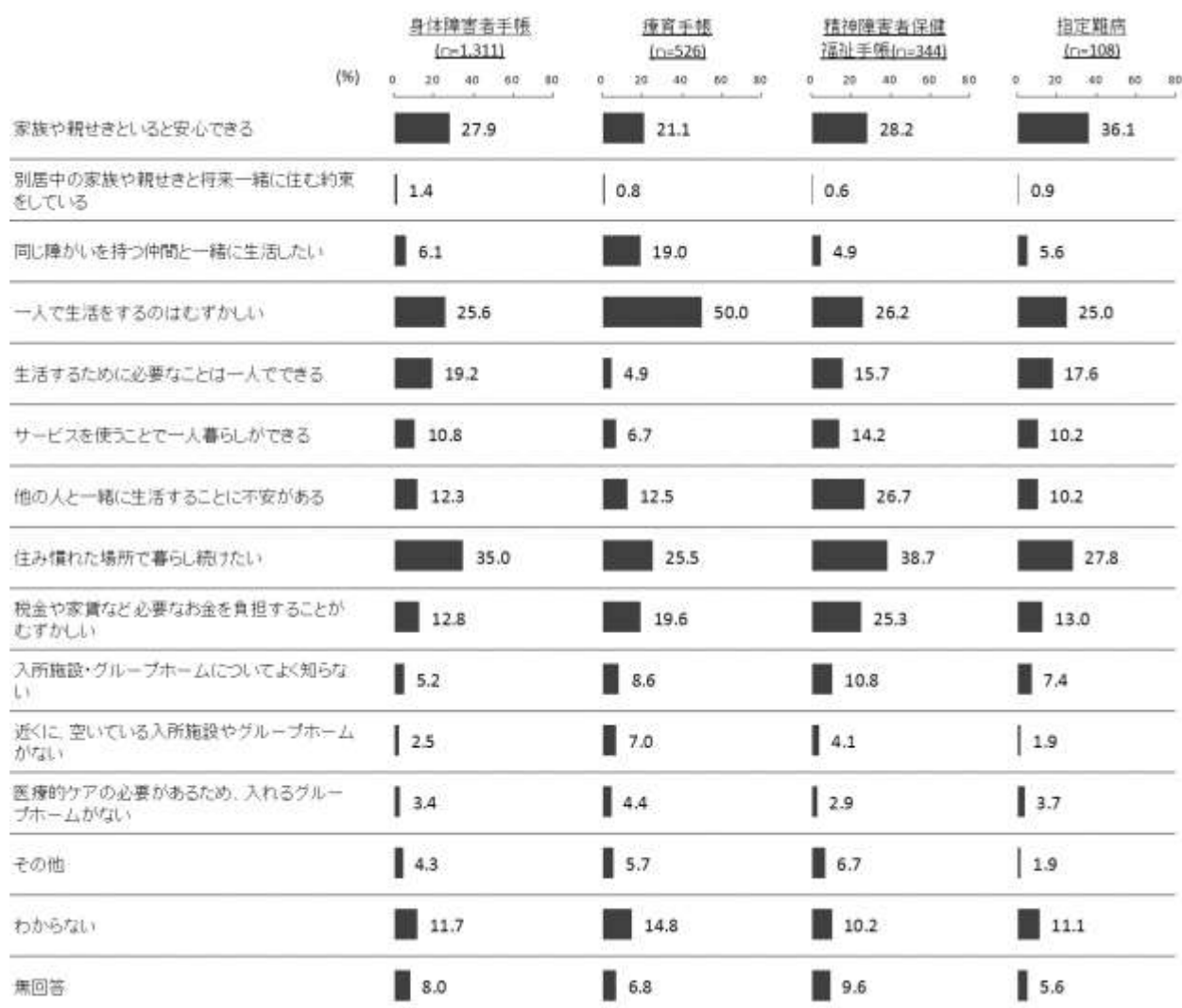
(3) 将来、一緒に暮らしたい人、居住場所を選んだ理由

問 22 問 21 の回答を選んだ理由を教えてください。(〇はいくつでも)

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者で、「住み慣れた場所で暮らし続けたい」が最も高い。指定難病者では「家族や親せきといると安心できる」に次いで「住み慣れた場所で暮らし続けたい」と続く。療育手帳所有者では「一人で生活するのはむずかしい」が最も高く、5割を占めた。

年齢別では「一人で生活するのはむずかしい」が10代の42.2%をピークとして年齢を追うごとに低下していくが、70代以上で再び増加している。「住み慣れた場所で暮らしたい」は年齢とともに高くなっている。

入所施設やグループホームで暮らしたいとの回答理由では、「一人で生活するのはむずかしい」が7割台と特に高かった。

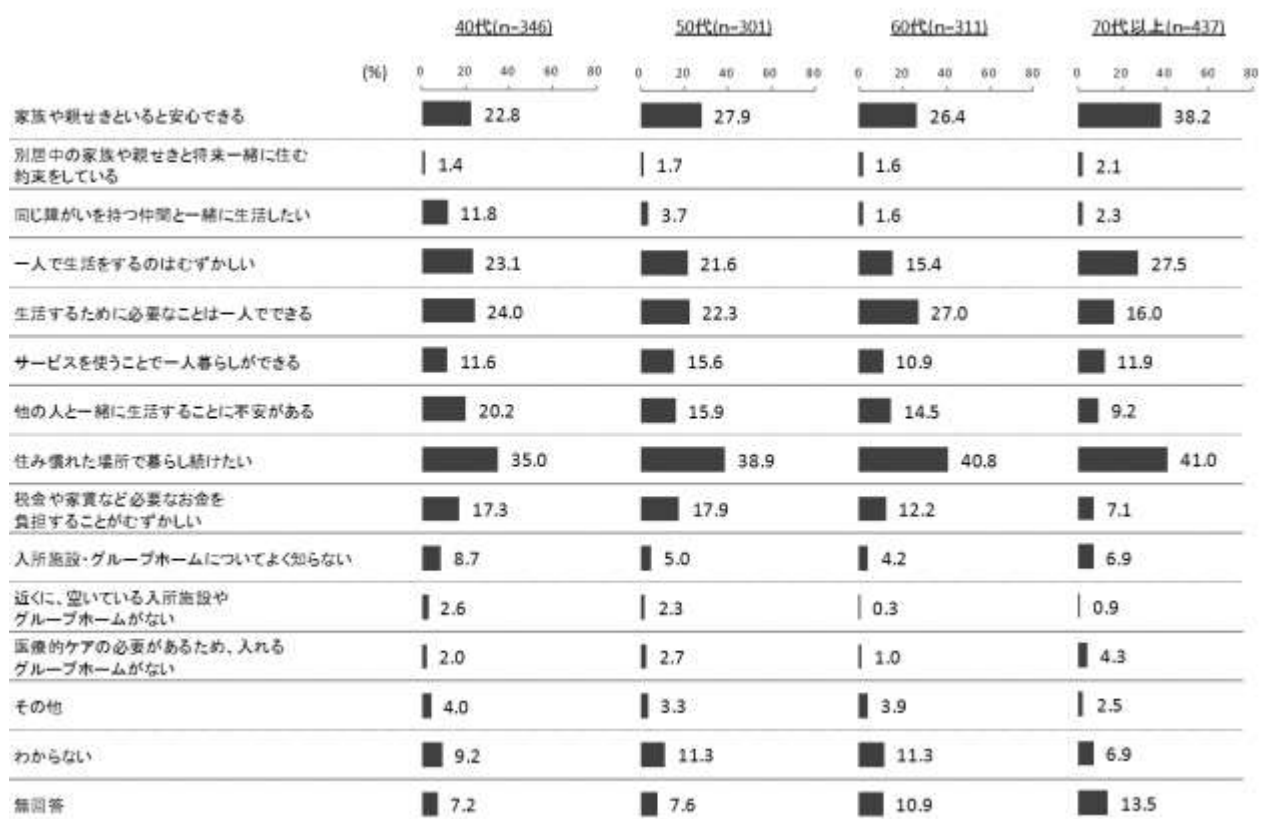
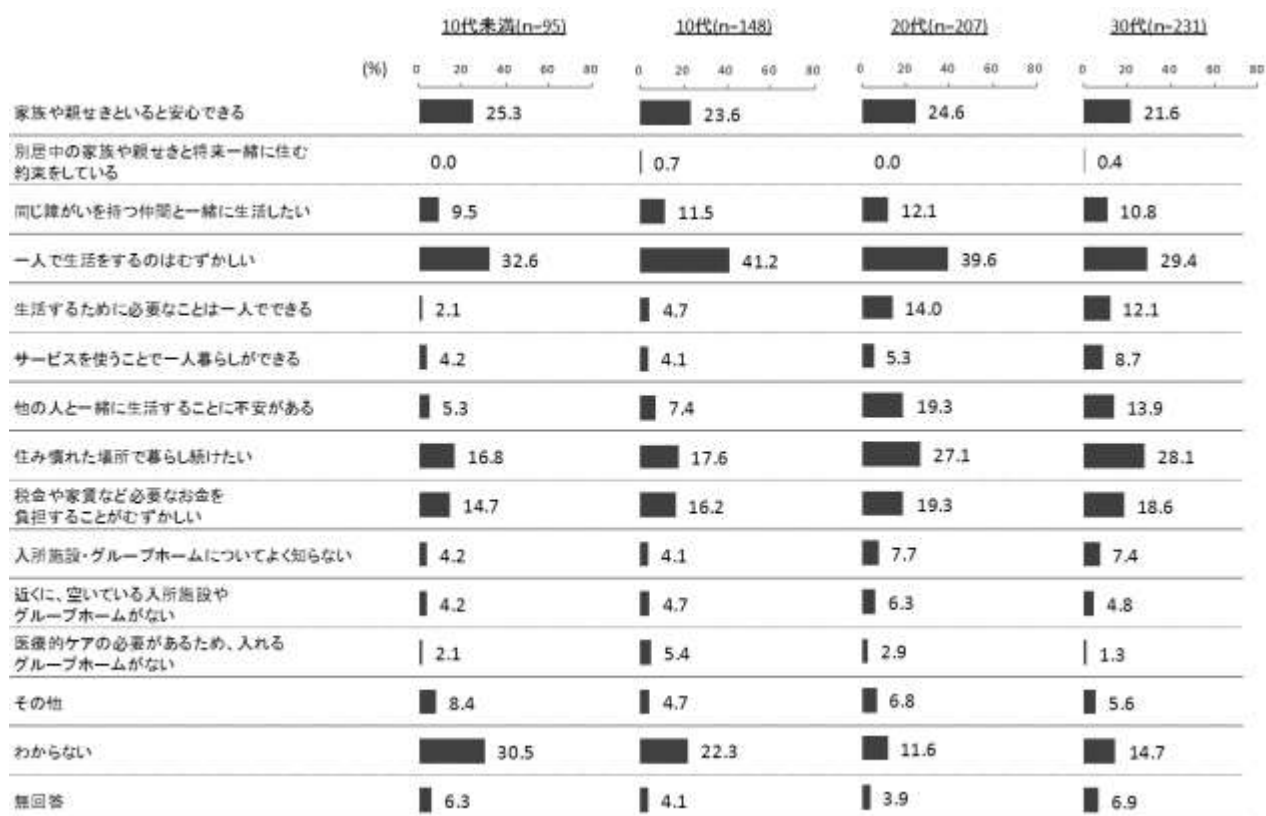


(その他)

- ・一人暮らしが安心できる(7件)
- ・将来は分からない(7件)
- ・本人の希望がわからないため(6件)
- ・施設に入ることが難しい(3件)
- ・迷惑をかけたくない(2件)

- ・ その時の状況による(2 件)
- ・ 考えた事がない(2 件)
- ・ 入所している(2 件)
- ・ 1 人だとさみしいから
- ・ アマチュア無線が出来る入所施設に入りたい
- ・ グループホームを希望するけど一緒に暮らす人たちとの相性や生活レベルについて不安がある
- ・ さみしい
- ・ まだ小学 4 年生なので、親としては理解してくれる人と結婚して幸せに生活して欲しい
- ・ 安楽死したい
- ・ 医ケアができる病院、施設でなければ難しいから
- ・ 医療的ケアはないが全介助のため入れるグループホームがない
- ・ 一時的な別居なのか、死別とかずっと一人なのかで、今の居住地にいかどうかが大いぶ変わってくる
- ・ 一人でさみしくないように
- ・ 一人でずっとは不安
- ・ 一人暮らしの為、誰と暮らしたいかという問いなので、とりあえず友人と回答
- ・ 家族と折り合いが悪いので、一緒に暮らしたくない
- ・ 介護者と自身の ADL がどれ位悪くなるか判らない
- ・ 気持ちが楽に暮らせそうなの
- ・ 気分転換に他の人と暮らしてみたい
- ・ 結婚したい
- ・ 結婚予定あり
- ・ 現在、老人介護には力を入れているが、障がい者はあまりにも GH 等施設がない
- ・ 現在の施設で落ち着いているので他は考えられない
- ・ 今使っているヘルパーさんとの移動などのサービスは継続したい
- ・ 差別を受けるので入所先が見つかるか不安
- ・ 妻に全部任せきりで自分ではなにもできなく、わからない
- ・ 姉のところが多かったら、入所やグループホーム
- ・ 支払いがあるため
- ・ 施設が苦手
- ・ 施設に不安がある
- ・ 持病の為にも自分の生活ペースを崩す＝体調に関わるので
- ・ 自分の病気の事を分かってもらえる人と暮らしたいから
- ・ 自立ができるようにしたい
- ・ 車椅子でグループホームが使えるのか不安
- ・ 収入が無い(年金なし)
- ・ 重度のため施設入所しか考えられない
- ・ 障害は不便だけどそれによって不幸になるわけではないし、生活の妨げとなるマイナス要因やストレスを除いて幸せな気持ちで暮らしていきたいと思っているから
- ・ 親の面倒で家が気になっているが、それだけをしていると私は死んでしまうのがわかります
- ・ 全介助なので医療が整っている施設へ入所したい
- ・ 他に行くところがない
- ・ 知識が有る方、理解・対策法がわかる所の方が安心
- ・ 知的重度のため、支援を受けながらでないと、一人では生活できない
- ・ 動物(猫)と一緒に住みたい
- ・ 彼が頼りになる人で親も安心しているから
- ・ 病院変更に不安がある
- ・ 病気が進行性の為、将来本人がどのような状態になっているかはわからない
- ・ 夫の家で義弟に意地悪されているので離れて暮らしたい
- ・ 暮らす場所はその時の家族の状況によると思うので
- ・ 本人の希望ですが、今の状態では難しい
- ・ 娘が一番
- ・ 娘の近くで住めればと思う
- ・ 雷が恐いため
- ・ 療育手帳を持っている人にそんなに興味がない、父の顔を見るのが大変だから
- ・ 恋人といつかは同居したい

<年齢別>



<将来誰と暮らしたいか別>

単位 %、()内実数

		家族や親せきといると安心できる	別居中の家族や親せきと将来一緒に住む約束をしている	活したい	同じ障がいを持つ仲間と一緒に生活したい	一人で生活するのはむずかしい	生活するために必要なことは一人でできる	サービスを使うことで一人暮らしができる	安がある	他の人と一緒に生活することに不安がある	住み慣れた場所で暮らし続けたい	税金や家賃など必要なお金を負担することがむずかしい	入所施設・グループホームについてよく知らない	近くに、空いている入所施設やグループホームがない	医療的ケアの必要があるため、入れるグループホームがない	その他	わからない	無回答
全体	(2113)	27.6	1.2	6.8	26.7	17.8	10.3	13.9	34.0	14.5	6.2	2.7	2.7	4.3	12.0	8.7		
現在、別居している家族	(272)	86.0	7.4	1.1	42.3	8.8	4.0	9.9	46.3	19.1	4.0	0.7	1.5	2.2	0.4	0.4		
親せき	(58)	93.1	1.7	1.7	46.6	6.9	3.4	12.1	44.8	24.1	6.9	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0		
同じ障がいを持つ仲間	(164)	5.5	0.0	63.4	76.8	2.4	4.3	5.5	15.9	25.6	7.9	8.5	4.3	3.7	2.4	0.6		
一人暮らし	(598)	10.2	0.3	0.8	7.0	45.3	23.6	24.2	44.0	12.0	5.2	2.0	1.5	3.8	4.0	3.7		
その他	(93)	33.3	0.0	11.8	43.0	10.8	15.1	11.8	28.0	20.4	3.2	7.5	5.4	22.6	1.1	6.5		
わからない	(738)	22.2	0.1	2.0	25.3	6.9	4.6	11.8	29.7	13.4	8.3	2.6	3.3	3.9	29.8	4.9		

<どこで暮らしたいか別>

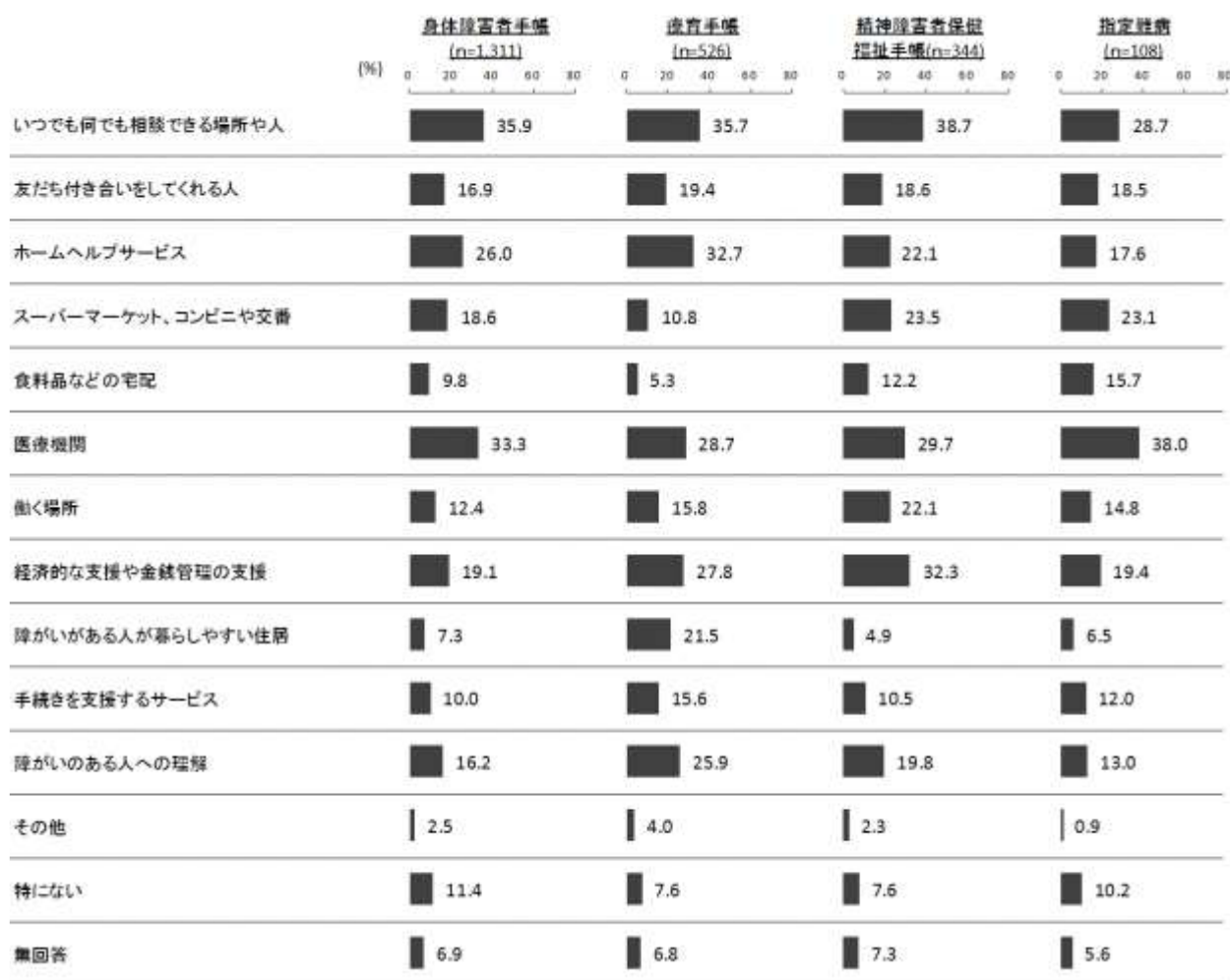
単位 %、()内実数

		家族や親せきといると安心できる	別居中の家族や親せきと将来一緒に住む約束をしている	活したい	同じ障がいを持つ仲間と一緒に生活したい	一人で生活するのはむずかしい	生活するために必要なことは一人でできる	サービスを使うことで一人暮らしができる	安がある	他の人と一緒に生活することに不安がある	住み慣れた場所で暮らし続けたい	税金や家賃など必要なお金を負担することがむずかしい	入所施設・グループホームについてよく知らない	近くに、空いている入所施設やグループホームがない	医療的ケアの必要があるため、入れるグループホームがない	その他	わからない	無回答
全体	(2113)	27.6	1.2	6.8	26.7	17.8	10.3	13.9	34.0	14.5	6.2	2.7	2.7	4.3	12.0	8.7		
今住んでいる自宅で引き続き暮らしたい	(890)	42.6	1.3	1.6	19.9	26.9	12.7	18.2	64.0	13.0	6.0	0.9	2.0	2.0	3.0	2.4		
引っ越してアパートやマンションなどで暮らしたい	(182)	19.8	0.5	4.4	8.8	40.1	17.6	22.0	12.6	18.7	6.6	3.3	0.5	7.7	7.1	3.8		
入所施設で暮らしたい	(227)	5.7	0.0	29.5	74.0	2.6	7.9	6.6	8.8	16.7	4.8	7.9	7.9	4.4	3.1	4.8		
グループホームで暮らしたい	(88)	8.0	0.0	48.9	79.5	5.7	13.6	3.4	19.3	23.9	10.2	10.2	3.4	3.4	2.3	2.3		
その他	(79)	49.4	7.6	0.0	26.6	13.9	8.9	12.7	13.9	19.0	2.5	1.3	3.8	16.5	0.0	7.6		
わからない	(474)	17.5	0.4	0.8	19.2	7.2	5.7	11.6	12.9	15.6	8.4	2.5	1.9	5.9	42.2	4.9		

(4) 地域で生活するために必要なこと

問 23 あなたは、お住まいの地域で生活するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者で「何でも相談できる場所や人」がトップ項目となっている。そのほか「医療機関」「ホームヘルプサービス」「障がいのある人への理解」「経済的な支援や金銭管理の支援」なども高く、指定難病者では「医療機関」がトップ。



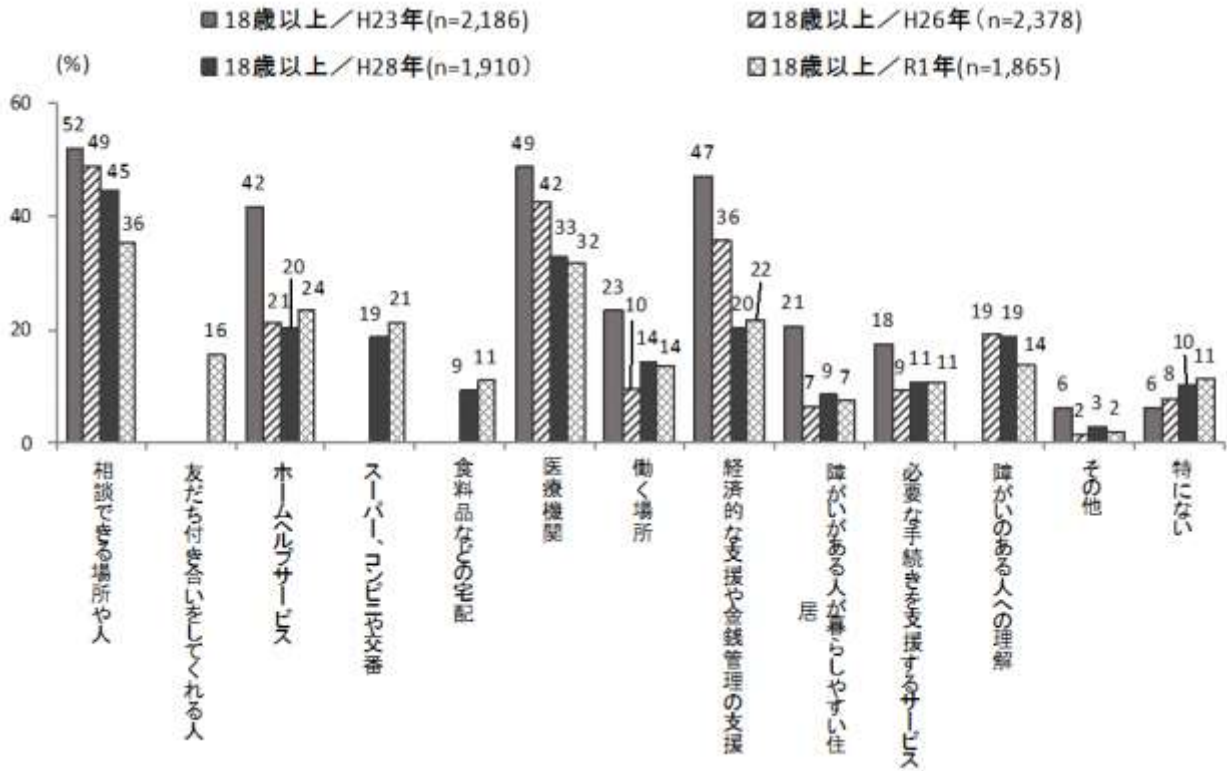
(その他)

一人で生活できない(6件)/今はよくわからない(4件)/道路の整備(2件)/IT・AIなどの利用による薬の管理や食事の管理/あいさつしたり、地域の変化を話し合える複数の世帯/いっぱいあって書けない(3,4,6~8,10)/いつまで一人で生活出来るか分からないのが不安なこと/タクシーが使える交通費の助成(現在はタクシーは使えないから)/ムリ/安楽死したい/一人で家族と静かに暮らしたい、あいさつするのもかも話しかけないでほしい/運動継続の支援/学区の小学校に支援級を作ってほしい/現在のところ、できる限り人を頼らず生活したいと思っています/現在施設に入所しているので考えてない/公共交通の利便性が良い事/今は自分の健康管理を大事にしている/施設は携帯使わせてくれない、公衆電話もない、外出させてくれないから入りたくない。まるで刑務所でした。鬼みたいな人ばかりでした。■■です/視力が弱く、片目なので視野が狭く見えにくいので、なかなか仕事が見つからない/耳が聞こえなくて/自宅のバリアフリー化が必須/社会(会社内)での内部障害(外見は健常者なので)の人への理解が皆無な所、何とかして欲しい/障害が重度なのであまり考えられない/障害の知識の向上/障害者用駐車場(※駐車車両に何処でも入手できるステッカーで対応している)(公的な表示を持つ車両でのみ駐車可してもらいたい)/全て/全ての小中学校に支援学級をつくり、小さい時からともに生活していく体制。行政が学校単位に支援級の作成を丸投げし、無責任で言い逃れをしている現在の状況では絶対に無理。そのような静岡市に住みたいと思えないし納税していることも納得できない/団地/通院の付き添いと交通手段/透析病院/病院へ/不可能に近い/平穏な生活/本人1人では考えられない/隣の人の顔も知らないくらいの地域の薄いつながりをなくすこと

<経年変化>

過去の調査結果と比較すると、「相談できる場所や人」「医療機関」の割合が低くなっている。

※平成 23 年・平成 26 年・平成 28 年調査では「友だち付き合いをしてくれる人」は選択肢に含まれていない。平成 23 年・平成 26 年調査では「食料品などの宅配」は選択肢に含まれていない。平成 23 年調査では「障がいがある人への理解」は選択肢に含まれていない。

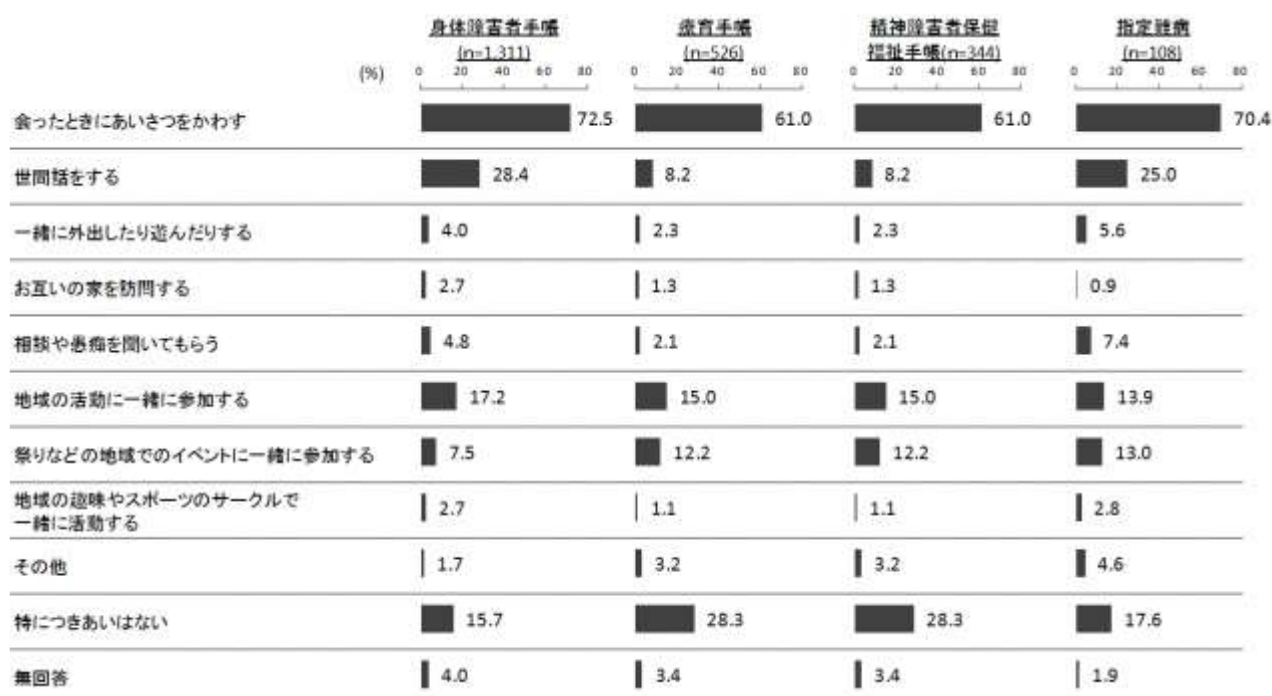


(5) 近隣・地域の人との関わり方について

問 24 あなたは、近隣・地域の人との程度のつきあいをしていますか。(〇はいくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも「会ったときにあいさつをかわす」が6割以上と高くなっている。身体障害者手帳所有者、指定難病者においては、「世間話をする」が2割以上と高いが、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者では1割に満たない。

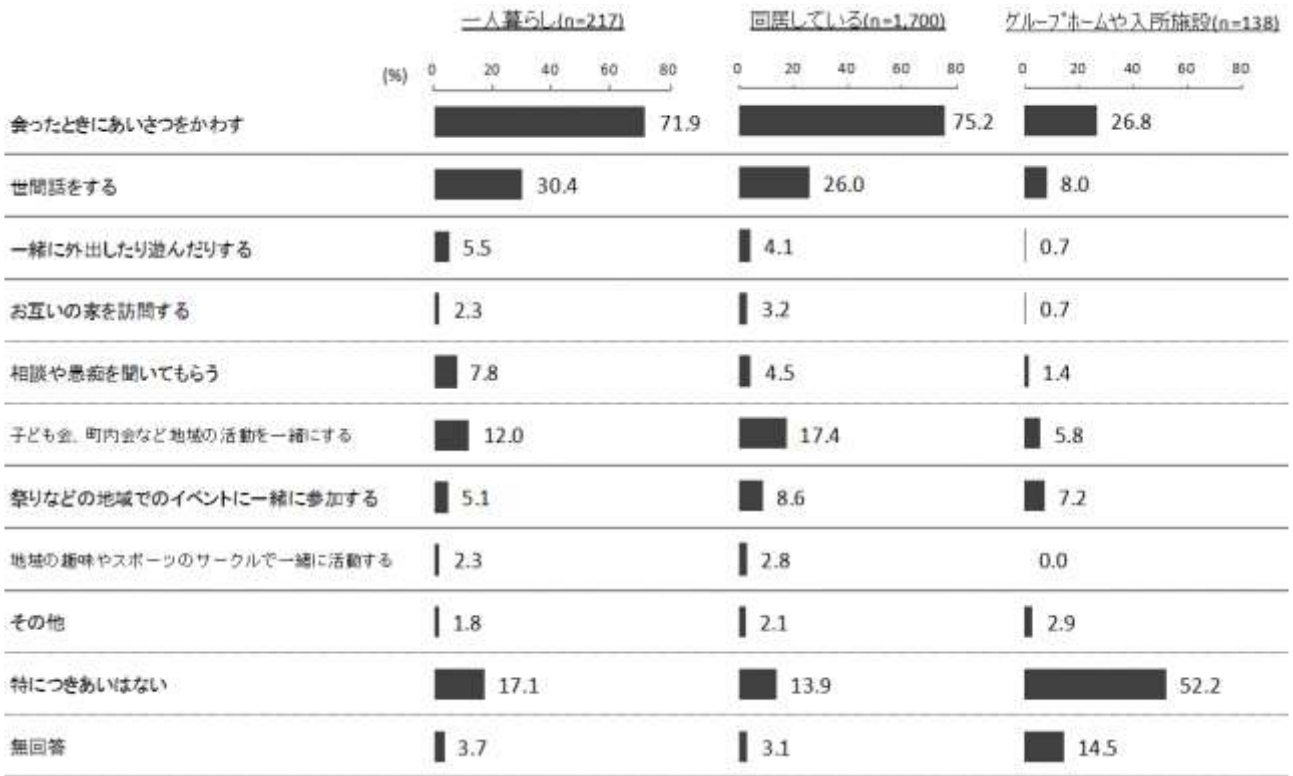
同居の状況別では、一人暮らしの人は「会ったときにあいさつをかわす」が71.9%と高くなっており、次いで「世間話をする」30.4%となっている。家族や親せきと同居している人についても「会ったときにあいさつをかわす」が75.2%と高く、次いで「世間話をする」が26.0%、「子ども会、町内会など地域の活動を一緒にする」が17.4%となっている。一方、グループホームや入所施設を利用している人では「特につきあいはない」が52.2%と高くなっている。



(その他)

つき合いができない(3件)/外出が無理(3件)/言語障害であるためできない(2件)/仕事をしていて平日日中は地元にはいないので(2件)/施設入居中(2件)/S型サービス参加/おすそ分け/なるべく話しかけられないように努力している、交流を一切持ちたくない/ムリ/安楽死したい/引っ越して半年、辺りがまだ分からない/会った時に会釈をする(向こうが無視をしている場合)/学区外の学校に行かされているので(支援級を学校が作らない為)つきあいなどあるはずもない/慣れていくと話しかけられることで少し言葉が出る程度/近所に同年代の人が少なく、63才は若い方であるとのことで自治会の交通安全員をおしつけられている/現在ディサービスを利用させていただいていますので大体上記良です/子供の頃の友達にたまに会うと話をする/自分のことをかわいがってくれる人とおみやげの交換など/車椅子なので自分では動かせないです/食べ物をもったりあげたりする/人によっては、あいさつして下さる人がいる/人工呼吸器使用で車への移動も2人でを行っています。全く呼吸器を外せないからです。近所へさえも出れません/前の自分だったら参加。今は参加はなし/地域、高齢者の会参加/仲良くしたいが、障害もつ人がいないので/町内会の活動に参加している/同じ趣味を持った人と出かける/農道の掃除/病院だけ/物々交換/友達/話しかけられたら話を

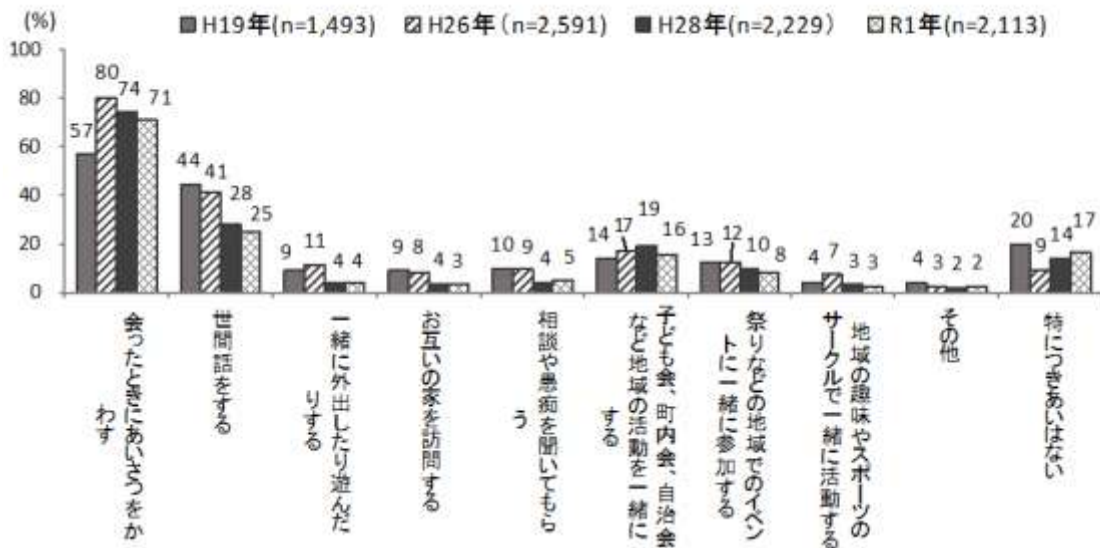
＜同居の状況別＞



＜経年変化＞

過去の調査結果と比較すると、「会ったときにあいさつをかわす」「世間話をする」は徐々に低くなっている傾向にある。

※ただし平成 19 年調査では「会ったときにあいさつをかわす」は「挨拶をする程度」で、「世間話をする」は「時々話をする」で表現されている。



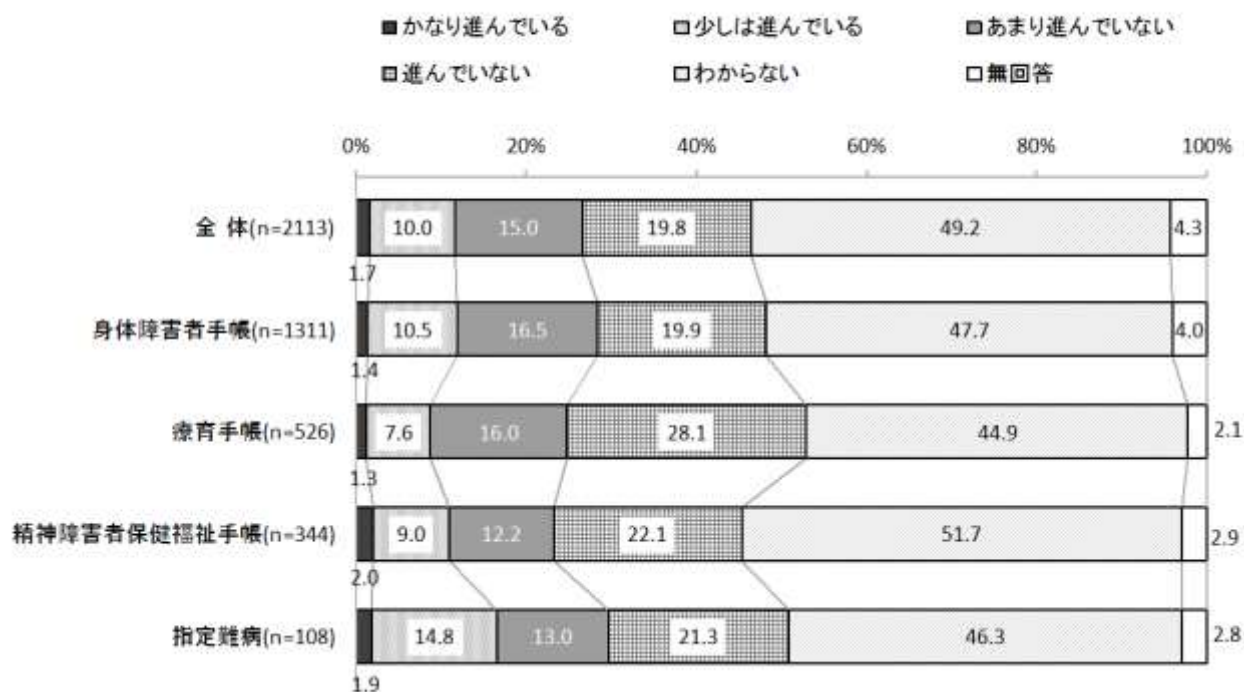
(6) 「地域における共生」の進捗状況

問 25 静岡市は、「地域における共生(障がいのある人もない人も、お互いに大切に、支え合い、地域で安心して自分らしく暮らすことができること)」ができる都市を目指しています。あなたの身近では、「地域における共生」がどの程度進んでいると思いますか。(〇は1つ)

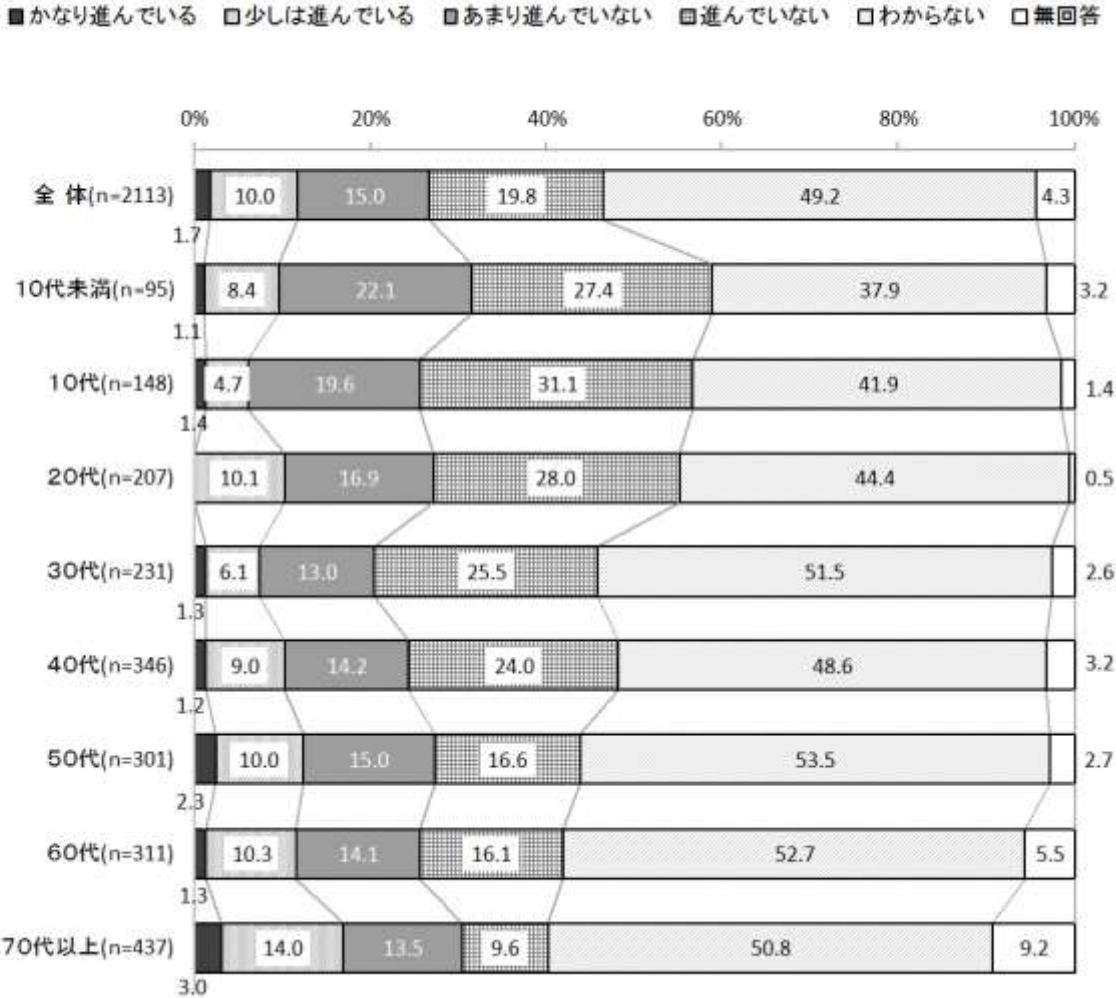
全体では、「かなり進んでいる」1.7%、「少しは進んでいる」10.0%、「あまり進んでいない」15.0%、「進んでいない」19.8%、「わからない」49.2%で、共生が進んでいると感じている人は少数派となっている。手帳の種類別・指定難病者で大きな差はみられない。

年齢別でみると、若い年齢で「あまり進んでない」「進んでいない」と感じている割合が高い。

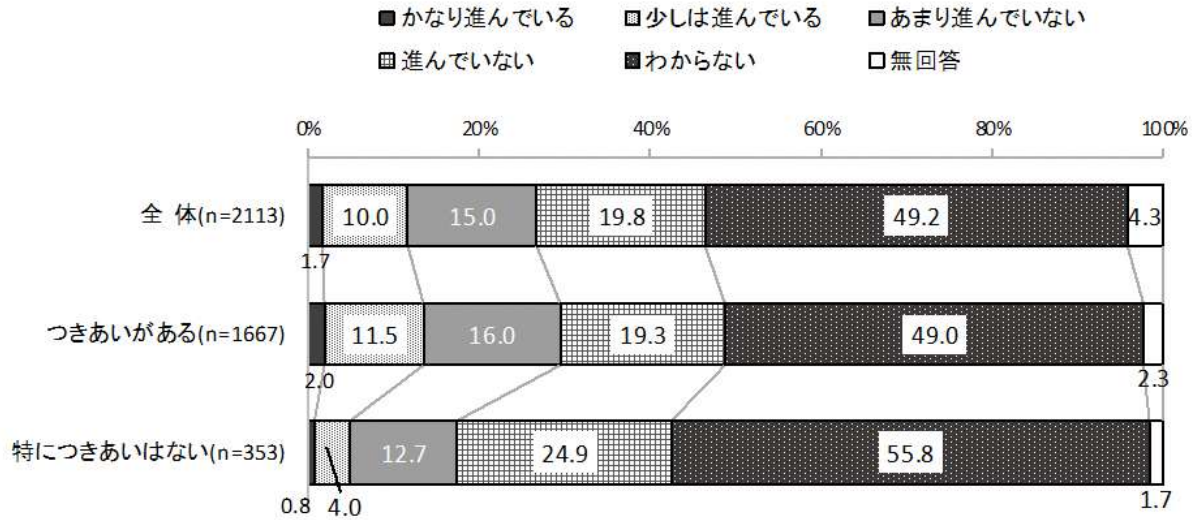
近隣・地域の人との付き合い状況別では、つきあいのない人と比べると、つきあいがあるの方が進んでいると感じている人の割合が高くなっている。



<年齢別>

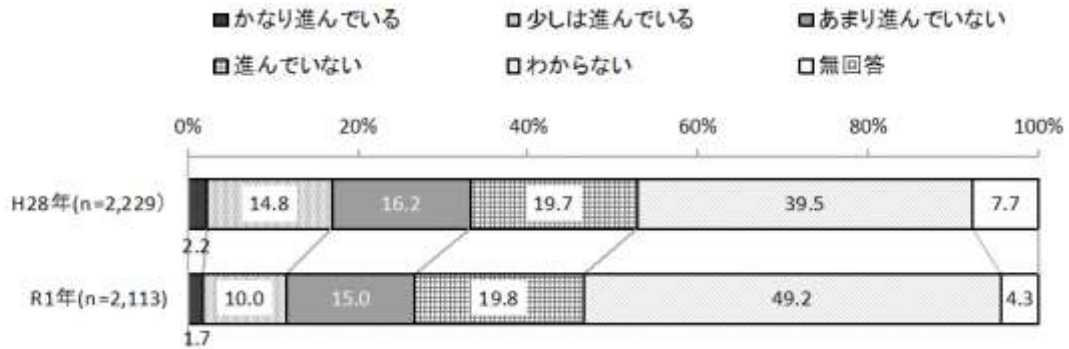


<近隣・地域の人との付き合い状況別>



<経年変化>

平成 28 年の調査結果と比較すると、「かなり進んでいる」「少しは進んでいる」ともに平成 28 年の数値より低くなっている。

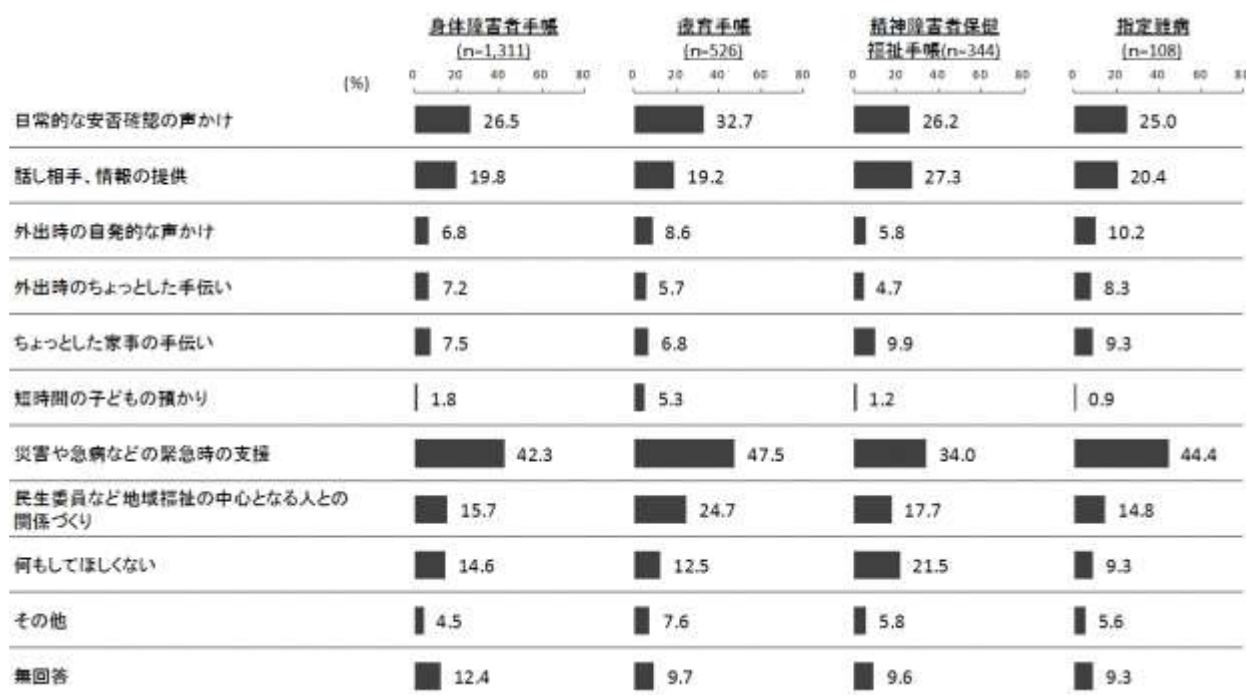


(7) 近隣・地域の人への要望

問 26 あなたは、近所・地域の人にどのようなことを支援してもらいたいですか。(〇はいくつでも)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも「災害や急病などの緊急時の支援」を求める人の割合が最も高い。「日常的な安否確認の声かけ」「話し相手」はそれぞれ2割から3割程度。精神障害者保健福祉手帳所有者では「何もしてほしくない」の割合が21.5%と、他の手帳所有者と比べてやや高くなっている。

同居の状況別では、一人暮らしをしている人よりも、家族や親せきと同居している人において「家事の手伝い」「何もしてほしくない」を除く各項目の数値が高くなっている。



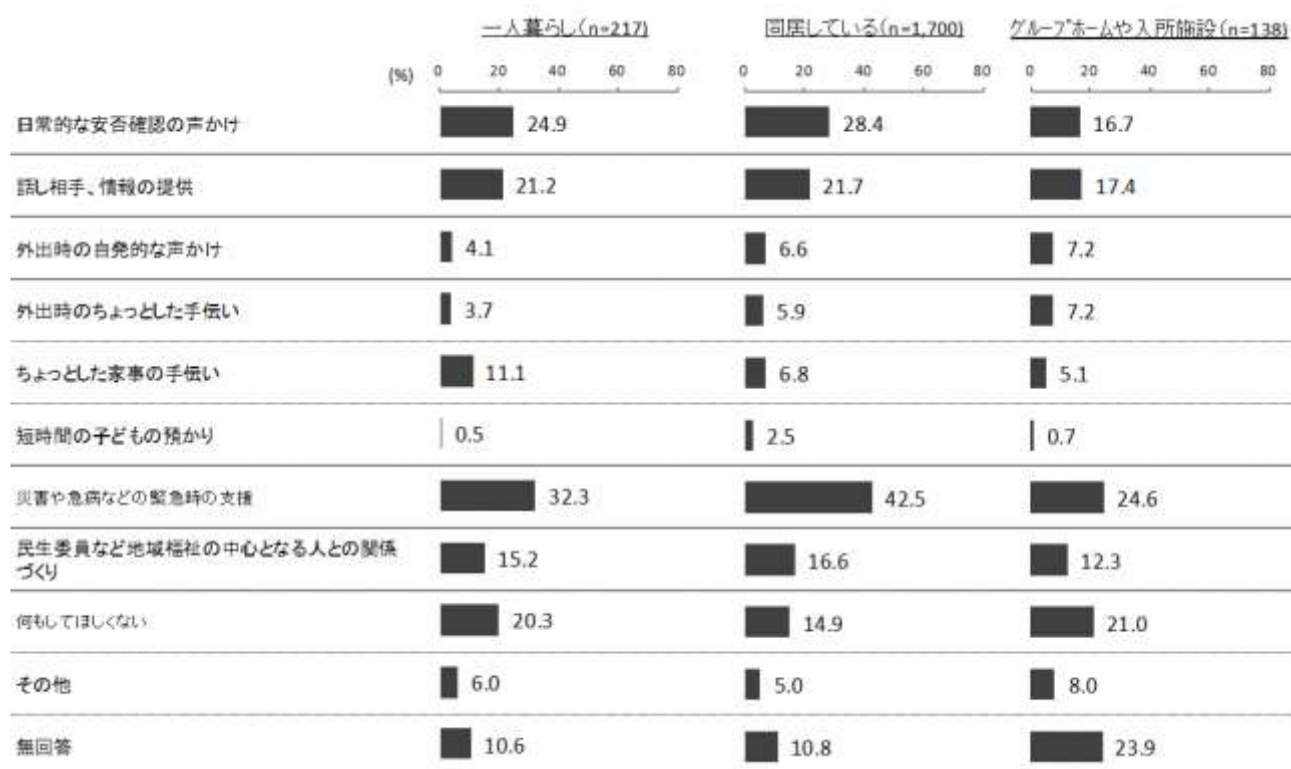
(その他)

- ・ 支援はいらないです(23 件)
- ・ 障害(者)に対する理解(15 件)
- ・ わからない(6 件)
- ・ 民生委員が来ない(5 件)
- ・ 今はない(2 件)
- ・ 施設入所の為(2 件)
- ・ 普通に接してほしい(2 件)
- ・ 1人で自立して生活できるよう全面的な支援・通院つき
- ・ 119に電話するべきだと思う。みんな私の親か、実際にはどんな人かわからないと思うので
- ・ いじめや嫌がらせをやめてほしい
- ・ ゴミ出し、ピンカン出し
- ・ ご飯などの差し入れ
- ・ そくに住んでいるということを知ってほしい
- ・ そのような考えや意識が全く分からない
- ・ その時にならないと何も言えません
- ・ どのようなことを支援してもらいたいのか、ということを定期的に話し合う場
- ・ どぶそうじ
- ・ 医療的ケアが常にあり、どう支援して欲しいのかも良く分からない。日常的に接する事がほぼ無いのでまずはそこからなのか...
- ・ 一人では無理なので
- ・ 何をしたいのかおしはかる事が出来ません
- ・ 学区内の学校に行けるよう行政に訴えるのを支援してほしい
- ・ 環境整備

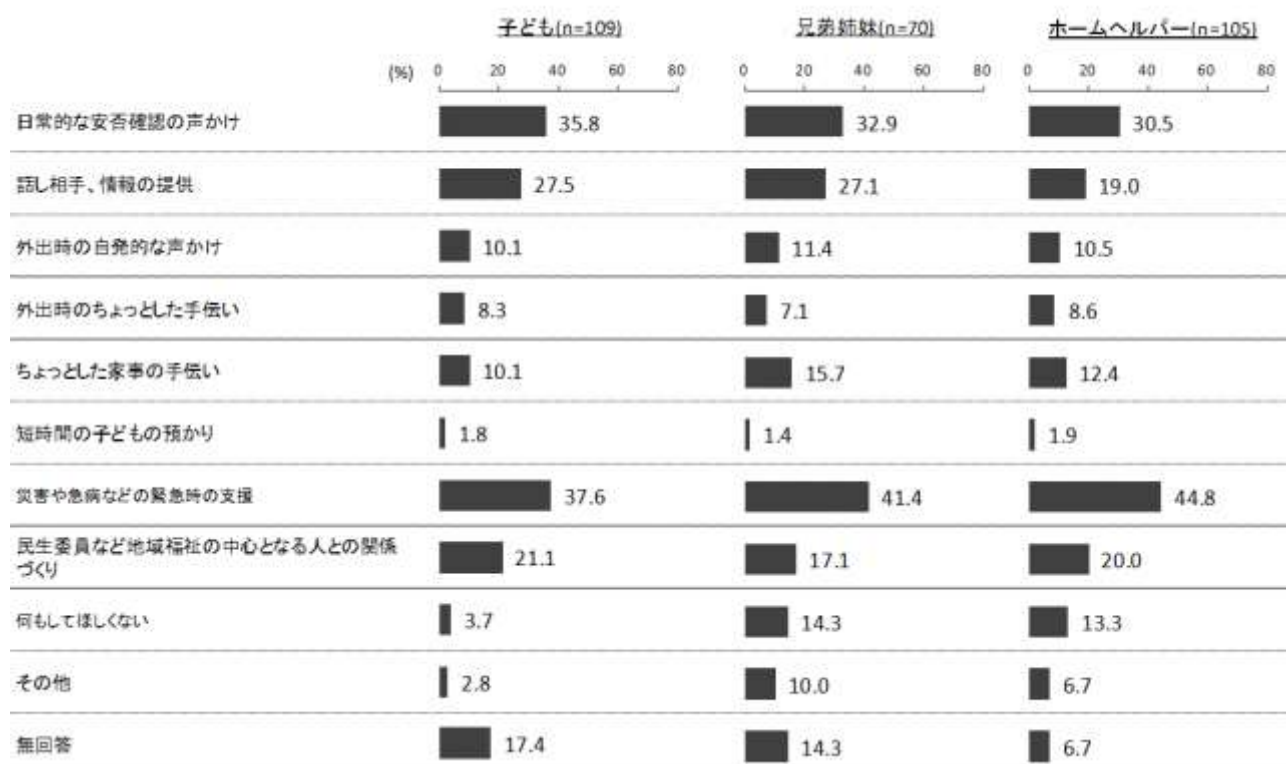
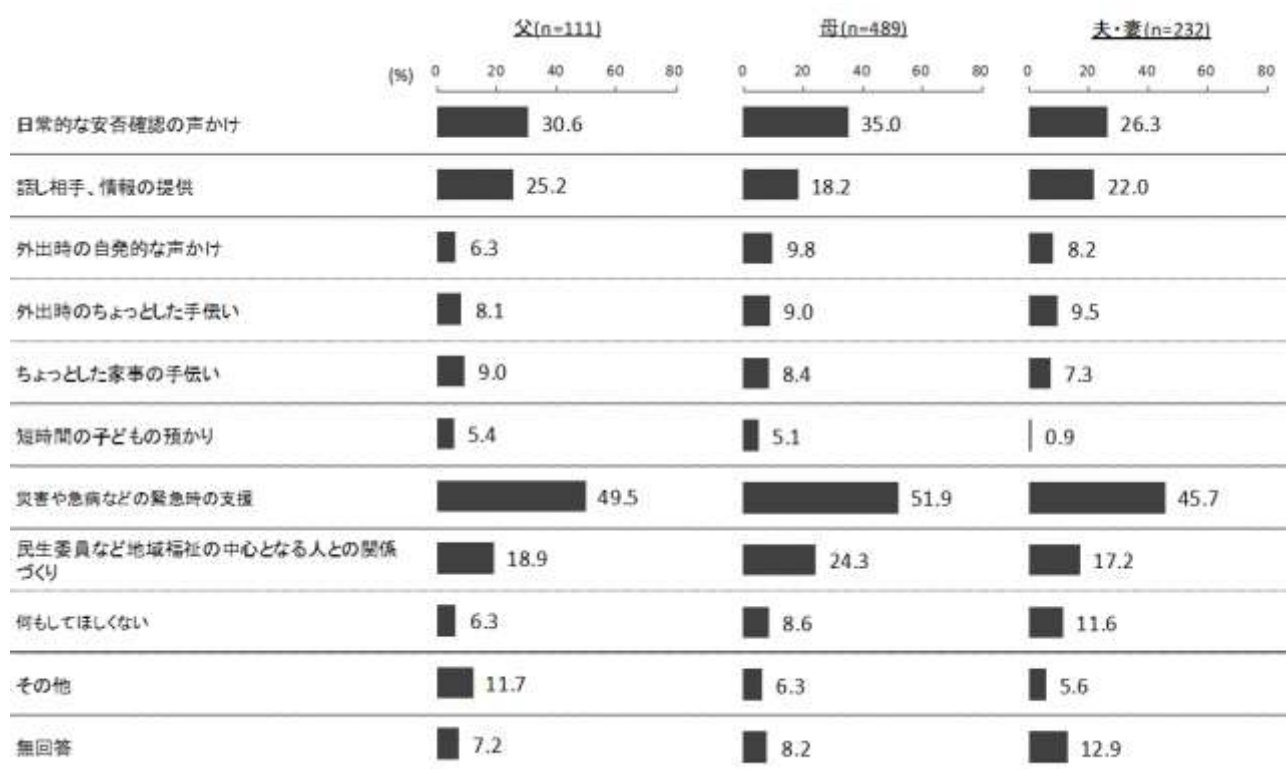
Ⅱ 調査結果

- ・ 近所、地域の方がどんな障がいがかかえているか知らないし私の事も知らないが何か助けてほしいと言われたら助けるし私も助けてほしい事があつたら助けてほしいと言いますが回りの方も皆さん忙しいし自分の事で精一杯だとも思うしあいさつ程度ですがそれが良い関係性だと思っています。あまり近所の人達にふみいて話たくありません、とても話せないむこうも困ると思います
- ・ 近所の人ではなく、タクシーが使える交通費助成を静岡市が実行してほしい
- ・ 近所の人に話した事が広まっているという事で、信頼出来る人かどうか見極める事が難しい
- ・ 近所の方は皆さん、高齢で、足の悪い持病がある等、支援していただくことは難しいので、自分の事はなるべく自分でやりたい
- ・ 近所の方々皆いい人ばかりで色々一人暮らしの自分に声をかけてくれます
- ・ 金銭の管理以外自分で出来るので近所づきあいは良く出来ている
- ・ 経済的な支援
- ・ 健常者がバスの座席をゆずらない
- ・ 言語障害があるためにコミュニケーションがとれない
- ・ 今は服薬で落ち着いていますが、症状が重くなったときが不明
- ・ 市の伝でん体操にかかしてもらってありがたく思っています
- ・ 自分からお付き合いすることが出来ないのが難しい
- ・ 自分で出来る事は自分でする努力していますが、これからの事はわからない。状態の変化がいつ来るか⇒眠、体、手、足
- ・ 趣味やボランティア活動のできる場
- ・ 重い障害のある人が大きな災害にあった時、どのように支援を受けることが出来るか、具体的なプランを作ること。要支援者向けの防災訓練を義務化する
- ・ 所有地の保全(除草)
- ・ 将来的には 1、2、3、4、5、7
- ・ 障害者を中心とした余暇活動の場を造って欲しい
- ・ 生保でひもじいので食料をほしい
- ・ 全介助が必要
- ・ 側溝掃除、草刈り等の免除
- ・ 地域の情報など知りたいと思うが、周囲の住人は年配者が多く支援はあまり期待できません
- ・ 地域の方が気軽に集える場所の運営
- ・ 日常会話の手話を覚えてほしい
- ・ 入院中
- ・ 農家で築 60 年の土間がある古屋だが広い。夫の兄弟や親戚から逆に奉仕しろと言われるのは困る。嫁(私)を奴隷だと思っている
- ・ 避難所での付き合いでカバーできるのでは
- ・ 聞こえないと言うことは人格も失った様な感じ。突発性難聴を 75 才で患い、24 時間 17 日入院したけれど病院通院時に県立の先生の診断を受け、検査をするも補聴器は役に立たない。無駄な出費はしない方がよい。令和元年にやっと手帳もらえた。その間 11 年言葉に出来ない事多々有り(屈辱の言葉、無視、行動)死にたくなつた
- ・ 防災訓練に参加しても何もできない。ただ見ているだけになってしまって悲しい。せっかく参加しているのだから役立てて欲しい
- ・ 民生委員さんご苦労さまです

＜同居の状況別＞



<主な介助者別>



6. 災害対策について

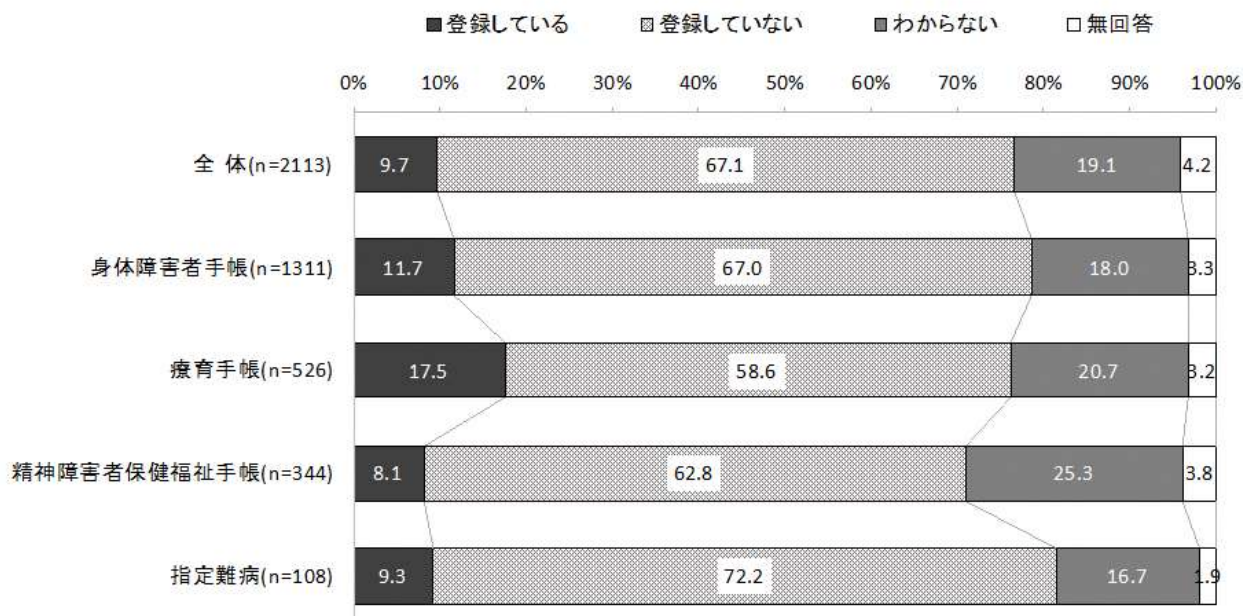
(1) 「静岡市避難行動要支援者避難支援制度」の登録状況

問 27 あなたは、市が実施している「静岡市避難行動要支援者避難支援制度(旧称:静岡市災害時要援護者避難支援制度)(36ページ参照)」に登録していますか。登録していない場合は、その理由もお答えください。

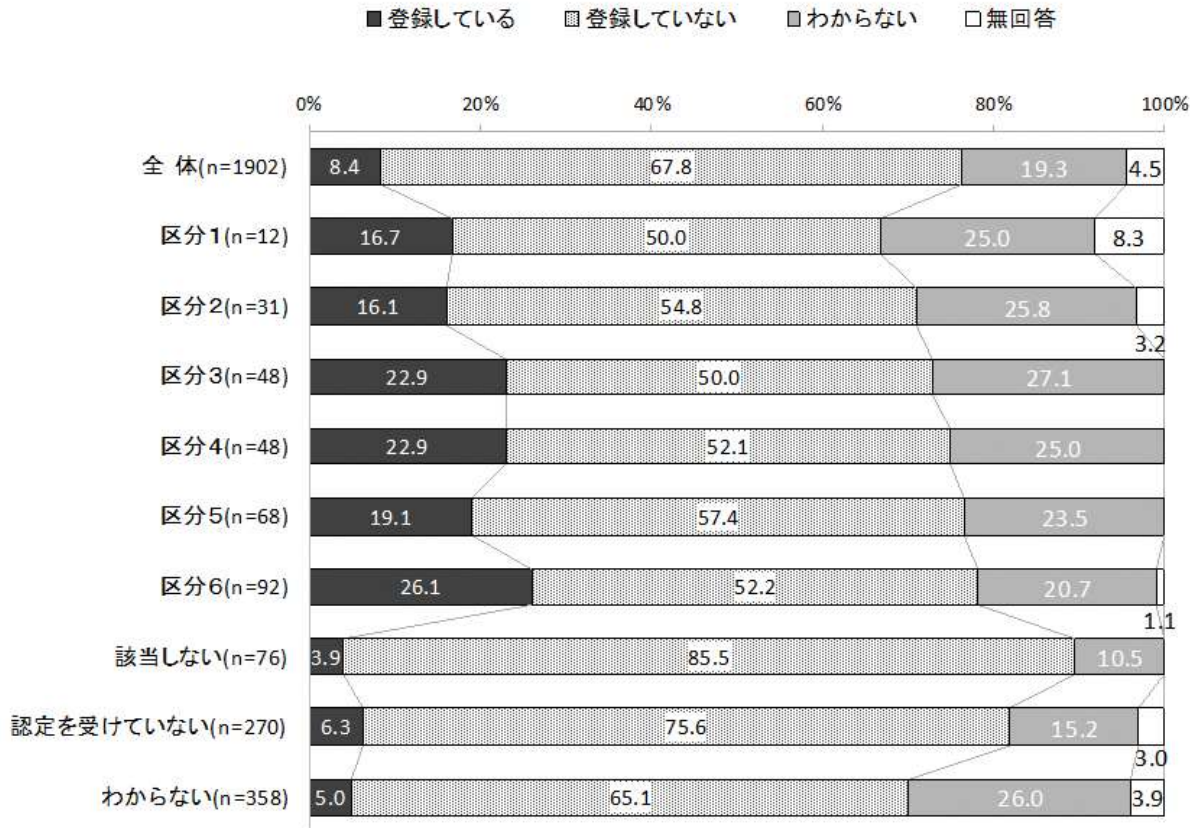
「静岡市避難行動要支援者非難支援制度」への登録者は、身体障害者手帳所有者で 11.7%、療育手帳所有者で 17.5%、精神障害者保健福祉手帳所有者で 8.1%、指定難病者で 9.3%となっている。

障害支援区分別で見ると、区分 1 から区分 6 までいずれかの認定を受けている人で、登録割合が高くなっている。

<登録状況>

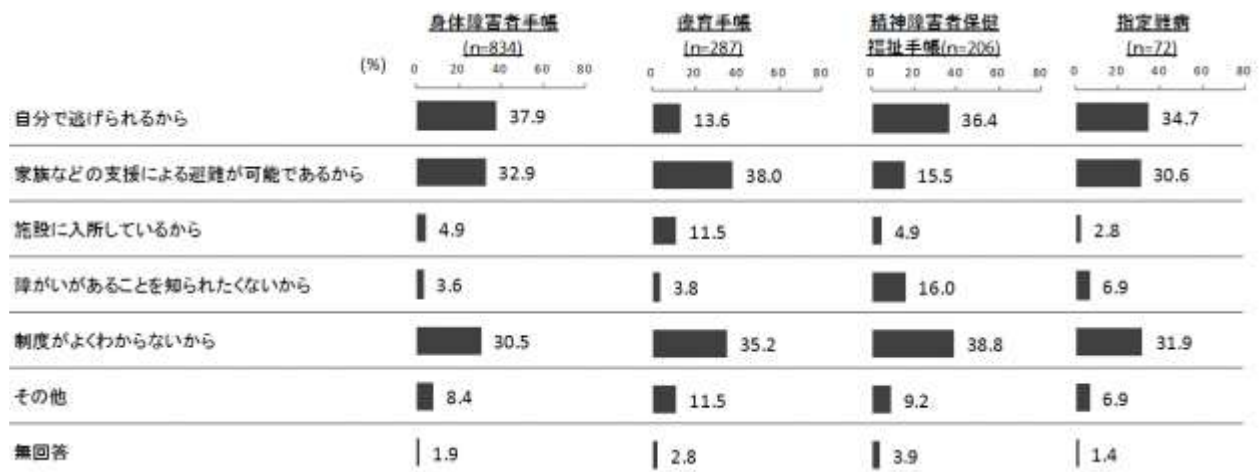


<障害支援区分別>



「2 登録していない」の理由(○はいくつでも)

未登録理由としては、「自分で逃げられるから」「家族などの支援による非難が可能であるから」の2項目が高い数値となっているほか、「制度がよくわからない」が高い。



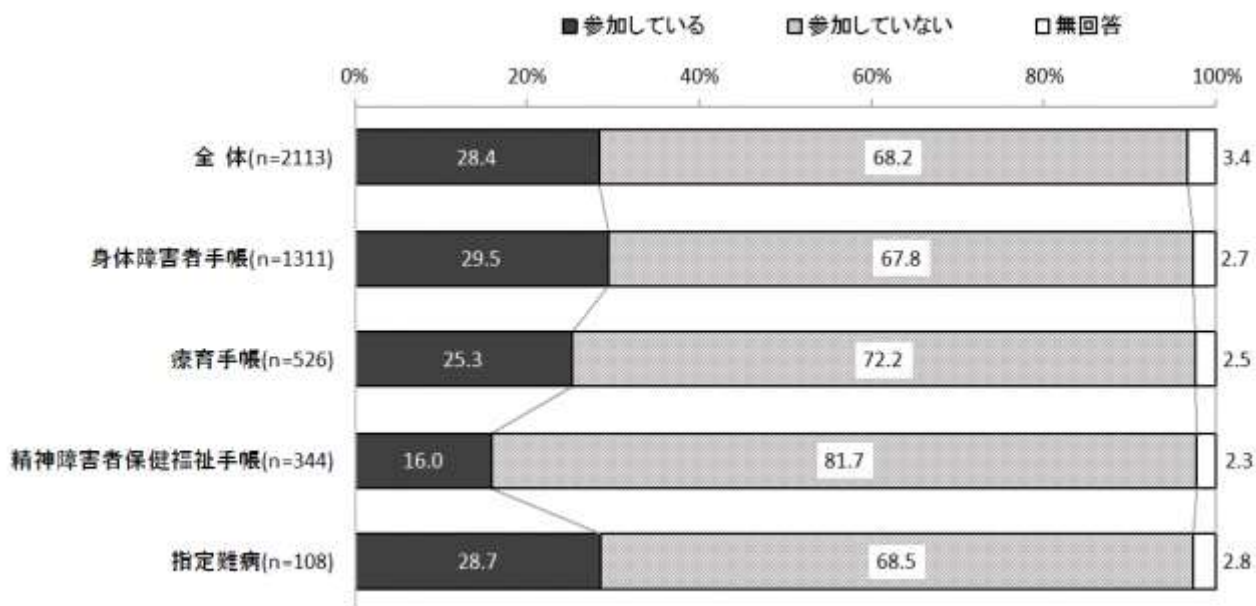
(その他)

- ・ 制度を知らない(24 件)/
- ・ 制度を知らなかった(8 件)/
- ・ 避難所での生活は無理(6 件)/
- ・ 入院中(3 件)/
- ・ 個人情報の管理の仕方にちょっと信用が出来なかったから(2 件)/
- ・ 差別意識を感じる為(2 件)/
- ・ 制度を知らないから(2 件)/
- ・ いずれ登録はしたいと思う
- ・ お母さんが書類をなくした
- ・ ケアハウスに入居
- ・ これから登録します
- ・ とりあえず
- ・ ペットがいる為
- ・ ほとんど家に居ない、眠るだけ
- ・ 葵区へ引越してきて間もないから
- ・ 以前はよく外出していたので
- ・ 育成会で登録しましたが、避難訓練の時、全く話は 1 回もない
- ・ 引越してして新しい住まいの登録をしている
- ・ 引越してして登録の手続きに言ったら「来年からの登録になる」と言われました。明日何か起きたらそんな感じで意味がありますか?見直して下さい
- ・ 何も考えられないから困る、困っている
- ・ 家での避難を考えている
- ・ 家族が検討中
- ・ 過去に一度これを申請したが、その後何の音沙汰もなかった。加えて、近隣住民が私が障害を持っている旨の個人情報を言いふらす嫌がらせを行なった。家族と話し合い、以後こうした個人情報を地域に提出しないことに決めた
- ・ 機会がなかった
- ・ 現在の時点では、自分で逃げられる為
- ・ 災害の時は諦める
- ・ 災害時には自分の家族しか当てに出来ないと思う。他人の事まで手がまわらないのが現実
- ・ 災害時に支援は受けられないと思うから
- ・ 災害時の避難場所が遠いから息子がいる時はいいけど 1 人の時は行けない
- ・ 災害時等支援者に負担をかけたくない
- ・ 災害対策の事を聞いたことが無い
- ・ 私の家に 3 階があり、そこに倉庫がある。トイレ、水道あります
- ・ 自分で逃げられない
- ・ 自分の家が一番安心だから
- ・ 自分よりも助けが必要な人はたくさんいると思うから、もしもの時には、こちらを助けてほしい
- ・ 手足不自由なのでこのまま家に居たい(今マンション)
- ・ 周りの目が冷たいから
- ・ 就労しているため
- ・ 住所が別になっている為
- ・ 将来年をとった時はわからない
- ・ 障がいの情報を不特定多数の人が知ることができ、知ってほしい人をえらばない
- ・ 障害者が複数人いるから
- ・ 寝たきりなので
- ・ 人はいつか死ぬ。死に時を見極めること
- ・ 精神障害なので、実際その時になってみないと、自分がどのような状態になるか分からないので、支援が必要なのかどうか判断できない
- ・ 相手に迷惑がかかるから
- ・ 他に用事があるため
- ・ 恥ずかしい
- ・ 町内(地域)で訓練をしているのかわからない
- ・ 長く住んでいますが避難支援は 1 回も無いです
- ・ 登録しても、いざという時、何もできないと言われたので(学校の先輩ママの話です)。自分の身は自分で守るしかないのです
- ・ 登録してもいいと思った
- ・ 登録しようと思っていたが、忘れていた
- ・ 登録しようと思って区役所に電話したら、災害が実際起きた時、現場で登録すればいいと言われ、登録できなかった
- ・ 登録することで誰にどの位伝わるのかが不安だったため、登録をした方が良いのかどうか悩んでいるうちに締め切りがきてしまった
- ・ 登録するにはどうしたら良いか?この様な制度も知らなかった
- ・ 登録を考えている
- ・ 登録を怠ってしまっている
- ・ 登録時、親の体調が悪く手続きが出来なかった
- ・ 登録方法を知らない
- ・ 逃げるが出来ないため
- ・ 逃げるつもりはないから
- ・ 入る様に連絡がない
- ・ 避難所へ逃げればよい
- ・ 夫と 2 人でいるから
- ・ 母が登録してくれているかもしれませんが
- ・ 母である私がまだ元気で健康だったので
- ・ 防災訓練に参加した時、自治会に話を聞いてもらえず、わからないと言われました
- ・ 迷っていて手続きしなかった
- ・ 老父を残して行けない

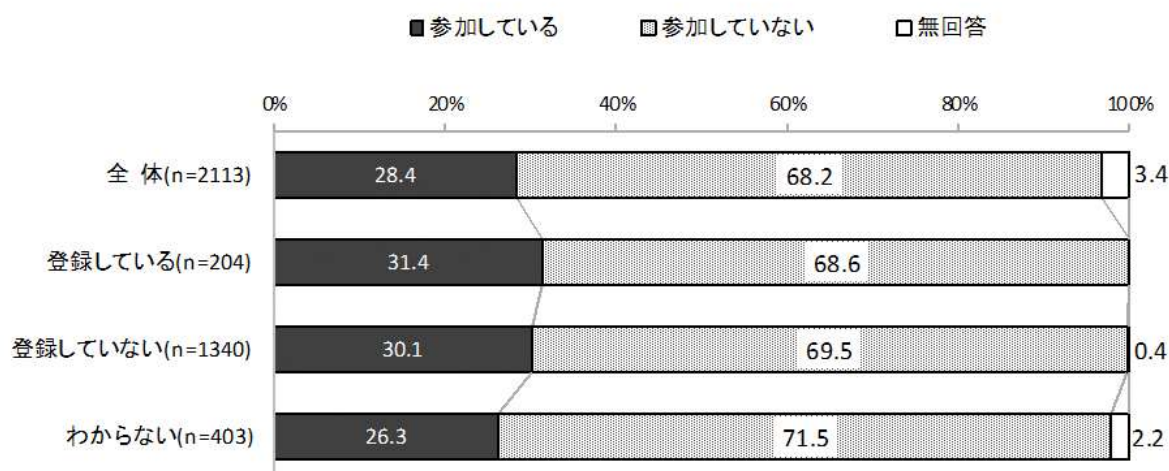
(2) 避難訓練の参加状況

問 28 あなたは、地域で実施している避難訓練に参加していますか。(○は1つ)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者においては、避難訓練に「参加している」のはおよそ3割となっている。精神障害者保健福祉手帳所有者は、16.0%に留まっている。「静岡市避難行動要支援者避難支援制度」の登録状況別による差は特にない。

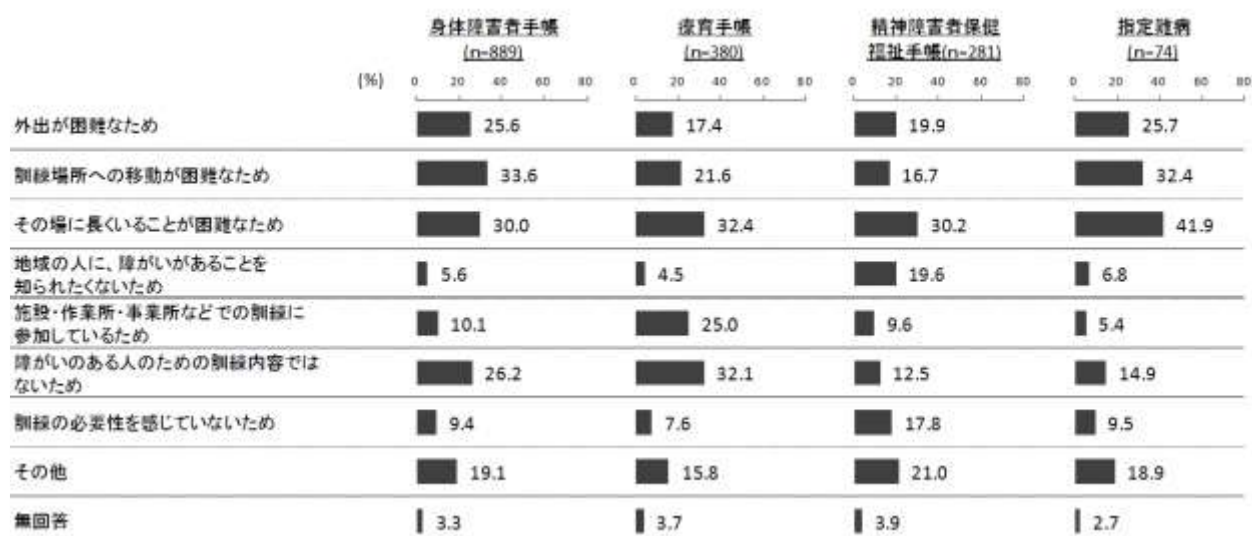


< 「静岡市避難行動要支援者避難支援制度」の登録状況別 >



付問① 「2 参加していない」と答えた方にお伺いします
参加していない理由は何ですか。(○は1つ)

療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者では、「その場に長くいることが困難なため」が最も高い。身体障害者手帳所有者では「訓練場所への移動が困難なため」が最も高く、次いで「その場に長くいることが困難なため」「障がいのある人のための訓練内容ではないため」と続く。療育手帳所有者は、「障がいのある人のための訓練内容ではないため」「施設・作業所・事業所などでの訓練に参加しているため」が高い。精神障害者保健福祉手帳所有者は、他と比べて「地域の人に、障がいがあることを知られたくないため」が高くなっている。



(その他)

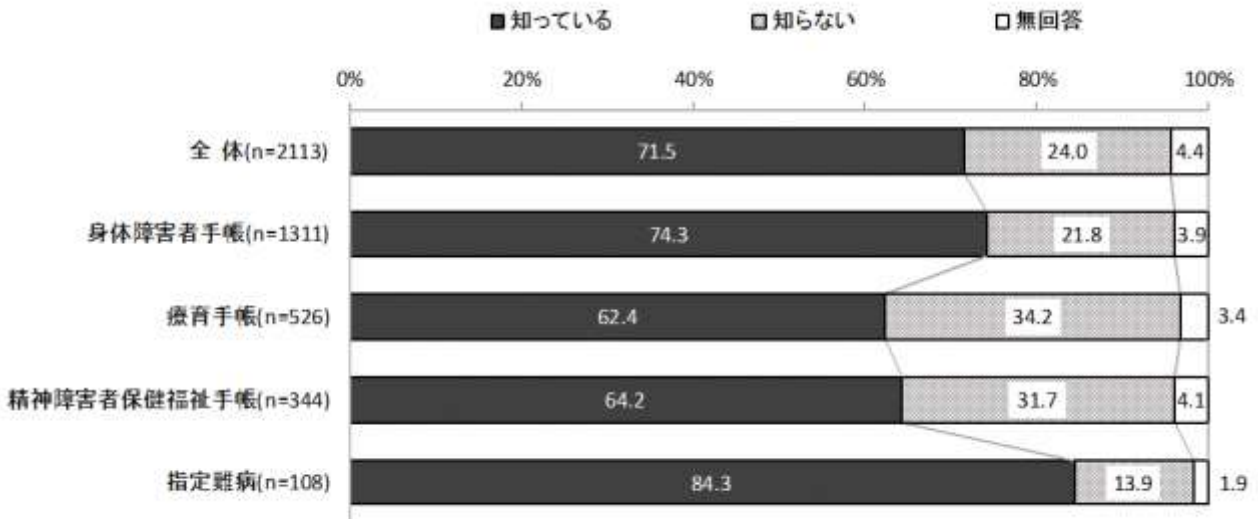
他に用事があった(日時が合わない)(39件)/仕事の為(36件)/避難訓練がいつあるのか知らない(27件)/両親、配偶者など他の人が参加(22件)/自治会・町内会に入っていない(11件)/面倒だから(10件)/体調不良(7件)/避難訓練していない(7件)/人に会いたくない(5件)/乳幼児の為(5件)/日時・場所がわからないため(4件)/外出が困難なため(2件)/施設入所中(2件)/避難地がわからない(2件)/アパートに住んでいるので/グループホームで避難訓練をやっているからです/その場には行きますが、すぐに(その場にいられず)離れたがため帰ることになってしまいます/なんとなく/ペットがいて、ペットと避難したい! 訓練を見ても、誰もペットを連れていない/マンション自体が隣組に参加から外されています。10年住っていますが、完全に蚊帳の外です/会社での訓練に参加しているため/外へ出る事が困難で逃げる事を選択はないため。家の出入りは大変。妻だけでは無理/学校でしているから/学生の時には学校からの支援もあり参加しやすかったが卒業後は参加しにくい/寒い季節、時間が早い。活動しやすい日時を選んで欲しい/機会がない/義両親と同居しているが連絡がない/近所と交流がないから/訓練のための訓練になってしまっているから/訓練は組長が参加/訓練は必要と思っている/訓練場所への移動は出来るが、町内の参加者が少ないので.../元気な時はいつも参加していた/現在は別にないため/行くのが嫌/行ってもよくわからない/差別を受けている為。村八分/座っていないと足腰の症状が悪化(痛み増す)から/参加するのは役員の人だけだから/参加する気がないです/参加者はほぼ役員、組長のため/施設にいるため/施設内の訓練には参加/自宅待機のため/自分の家の3階へ 父・母が元気なら/周りの人に異様な目で見られるから、外に出て歩いているだけでも洗ひ形相で見てくるから/集合するだけの訓練は意味がない/障がい者への認知も理解もしてくれない/身体が不自由だから自分の家から動きません/数年前までは参加していたが、最近では忘れていた/説明なども聞かえないし、ふらつき足腰痛があるため/地震の時は、家から海側に2km以上逃げなければいけないため、防災にはなっていない/土日は家でゆっくりしたいから/内縁の妻も障害者の為/難病認定される前は毎年参加していた/入院中の為/年齢の近い人とトラブルになると困るため/必要と思わない/本人が行きたがらない/毎年同じ内容であり、具体性が感じられない。毎回、ダラダラと終えている感じ。こなしているだけ。この地域での支援は期待できないし、共生も期待できないと感じる/老親の介護で目が離せない/話の内容を聞きとれない事が多いため/特に理由なし

(3) 避難所の認知状況

問 29 災害時の避難所についてそれぞれお答えください。(○は3つまで)

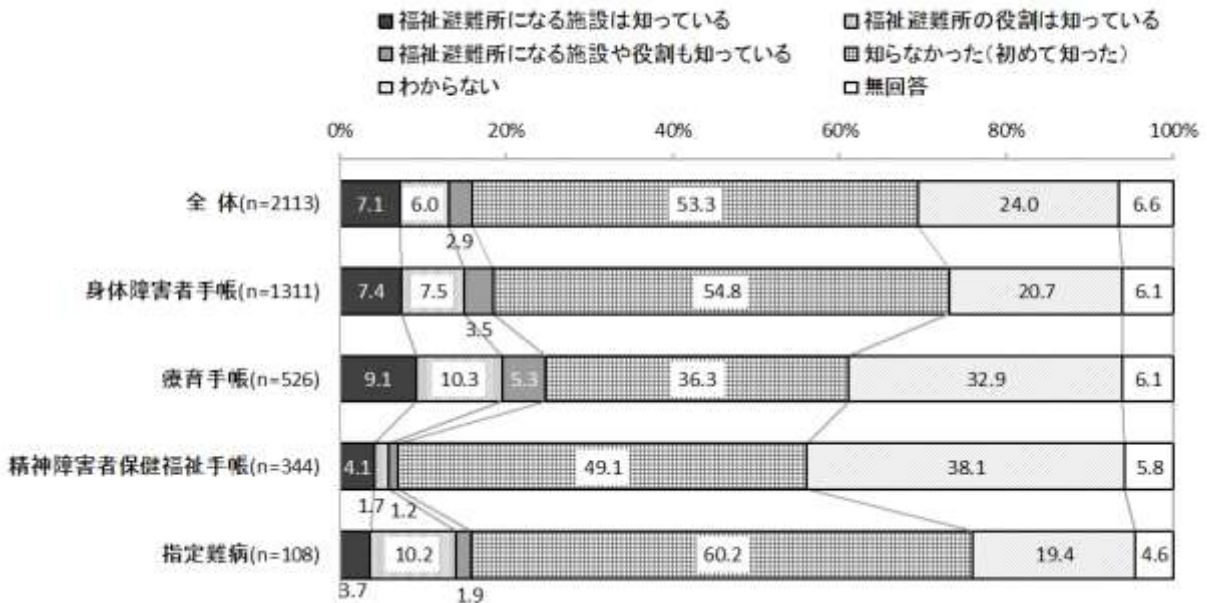
問 29-(1) あなたは自分の住んでいる地域の避難所の場所を知っていますか。(○は1つ)

身体障害者手帳所有者、指定難病者においては、避難所の場所を「知っている」は7～8割。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者は6割となっている。



問 29-(2) 「福祉避難所(36ページ参照)」がどのようなところか知っていますか。(○は1つ)

療育手帳所有者は、「福祉避難所になる施設は知っている」が9.1%となり、他と比べて若干高くなっているほか、精神障害者保健福祉手帳所有者は「知っている」が全般的に低い。

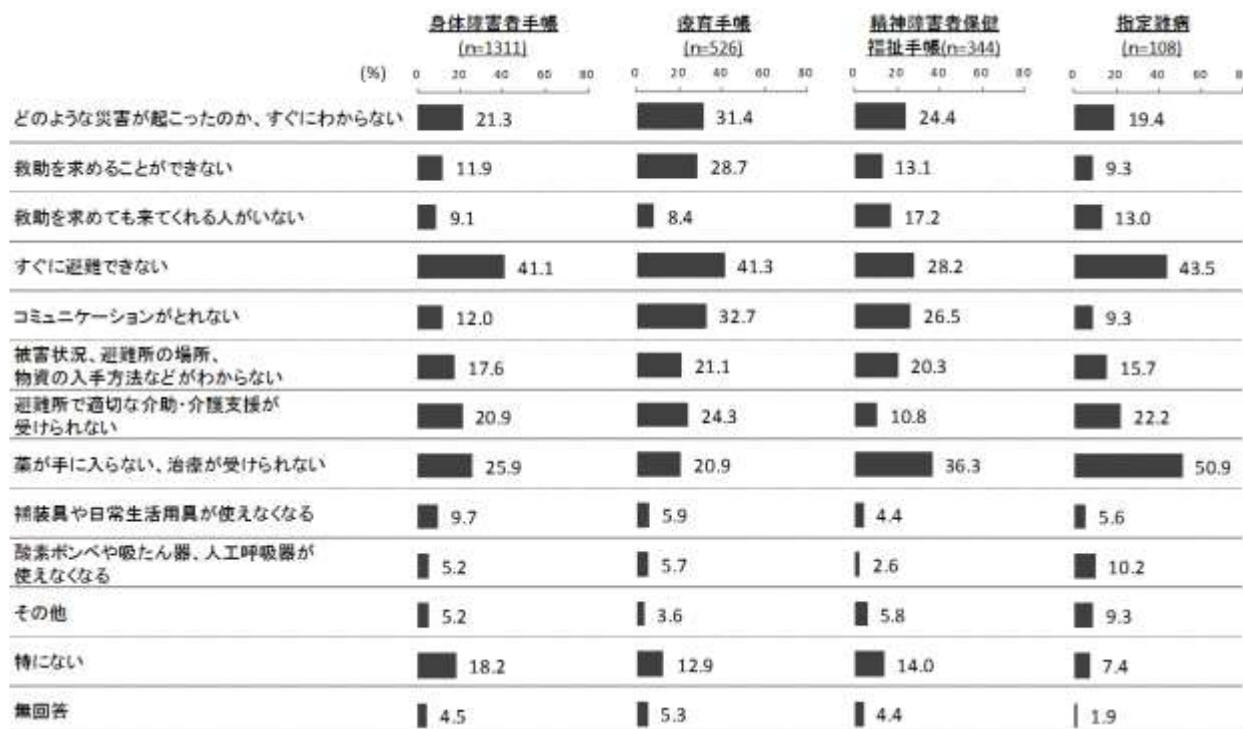


(4) 災害時に困ること

問 30 あなたが、地震や台風などの災害のときに特に困ることはなんですか。(〇は優先順位の高いものを3つ)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者は、「すぐに避難できない」が最も高い。精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者は、「薬が手に入らない、治療が受けられない」が最も高くなっている。

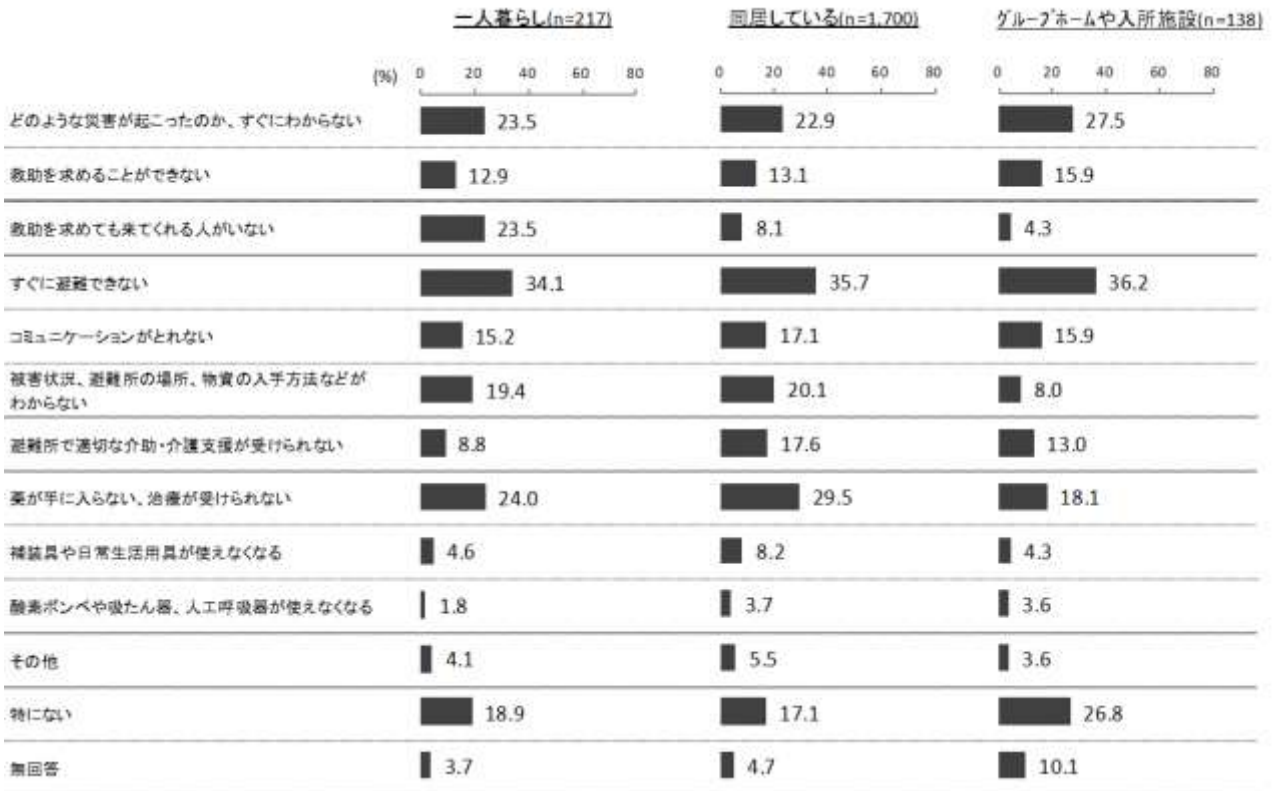
同居の状況別では、特に一人暮らしの人は「救助を求めても来てくれる人がいない」が23.5%と高くなっている。



(その他)

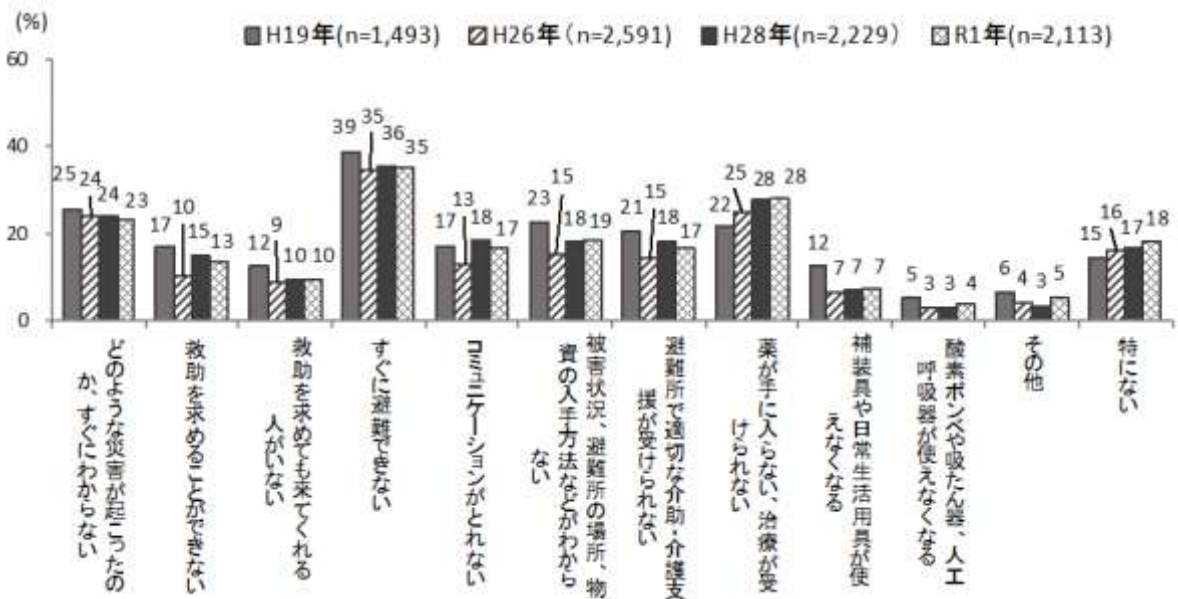
人工透析ができるか(11件)/トイレが困る(9件)/どのような事が起きるか予測できない(7件)/放送(広報などの音声)が聞こえない(7件)/周りの人に迷惑をかける(5件)/ペットがいる(4件)/避難所までの移動が困難(3件)/ミルク、食事(離乳食)、オムツが避難所で手に入るかわからない(2件)/全て(2件)/いつ避難するタイミングかわからない/てんかん発作が起きる可能性が高くなる/まだ子供なので、介護者(親や姉弟など)が1人くっついていないと、水や食料・物品の支給・炊き出しなどを受け取りに行けない/まわりに危険な所が多い(山間部居住)/ライフラインが使えなくなったら、日常生活ができなくなる/一人、妻と非難どうしたらよいかわかりません/音楽を聞いたりすることが出来なくなるかもしれない不安/家の被害、体調変化への対応がストレス/介護中の親/外見では障害がわかりにくいので、避難所での生活ができにくい/感覚過敏があるので避難所で行くのは避けたい(足音、振動、におい、光などが気になる)。体質に合わないものが配給されても食べられないので、食事をどうするか/危険がわからない or 過度に怖がる/義眼使用関連/近所に4家だけなので個人で避難する/近所の人に差別を受けている為、親に頼る他ない/決められた避難所が遠い。近い方へ行っているのかわからない/見た目では辛いことも分からない。だけど、災害の時はみんな大変だから、と我慢して無理をしてしまおう。そういった時に、一人で落ちつける所をみつけれられるか、そうなった時にどうなるか想像がつかないので、自分でも対策がとれない/現住まいが古いため、倒壊の恐れがあり、住めなくなる事/個室がほしい(仕切り・テント)台風19号の時、実際に福祉避難所に発達障害などの外から見てわかりにくい障害者は、個室を使わせてもらえなかったと聞きました(呼吸器や車いす優先)。他者とのかわりが難しい、聴覚過敏があるなど、普段から大勢の中にはいられない我が子が、どう災害時に避難するのか、不安しかありません。親の訴えを聞き入れ、見た目でもわかりにくくても、個人のスペースを(仕切りでもテントでも可)を作ってください/今は動けるので/困ることは一般の方と同じだと思う/子どもと自分の身の安全を確保できるか不安。避難所での生活が不安/子供が小さいため、荷物を持って移動が困難/支援物資などが届けにくい/施設の人に任せてしまっている/施設入所しているため、施設職員の誘導によって避難している/自宅に避難する場所がある/自宅近辺が水害に弱いエリア/周りに高齢者が多く、若者が少ない/周囲の被害状況をタイムリーで確認する事が出来ない/重い物が持てない/助かるときは助かる。助からないときは助からない/情報が入りにくい/人混みがダメだから、避難所に行けない/水災害による事/生活に必要な物資の入手困難(紙パンツなど)/体温管理が難しいため、エアコンが無い場所は、死と直結する。真夏は水かぶり続けるしかない/逃げる所がない。広い公園など/導尿・浣腸に必要な物品が不足する。内服が不足する。(持って避難するが、1週間分が限度)/道路の冠水により非難が困難/内縁の妻も障害者の為/日中は保育園、夜は家で過ごしており介護者と離れてしまう時間があること/避難訓練の重要性はもちろんわかっていますが生き残った人々のマニュアルなので常日頃から体力をきたえしっかり食事をとり睡眠もとりそなえたいと思います/避難所に個室がないので薬を注腸できない/必要な物資を取りに行くこともできないです/病院へ行く/普段使用している介護用品を持ち出しきれない/腹膜透析をしているので電気が止まるのが困る/補助装具の脱着、プライバシーの確保/薬の種類が多く、確保できなくなる/隣のせんだんの木、3年前の台風15号でこのせんだんの木で瓦を飛ばされた/入院中です/3歳なのでわからない/わからない

<同居の状況別>



<経年変化>

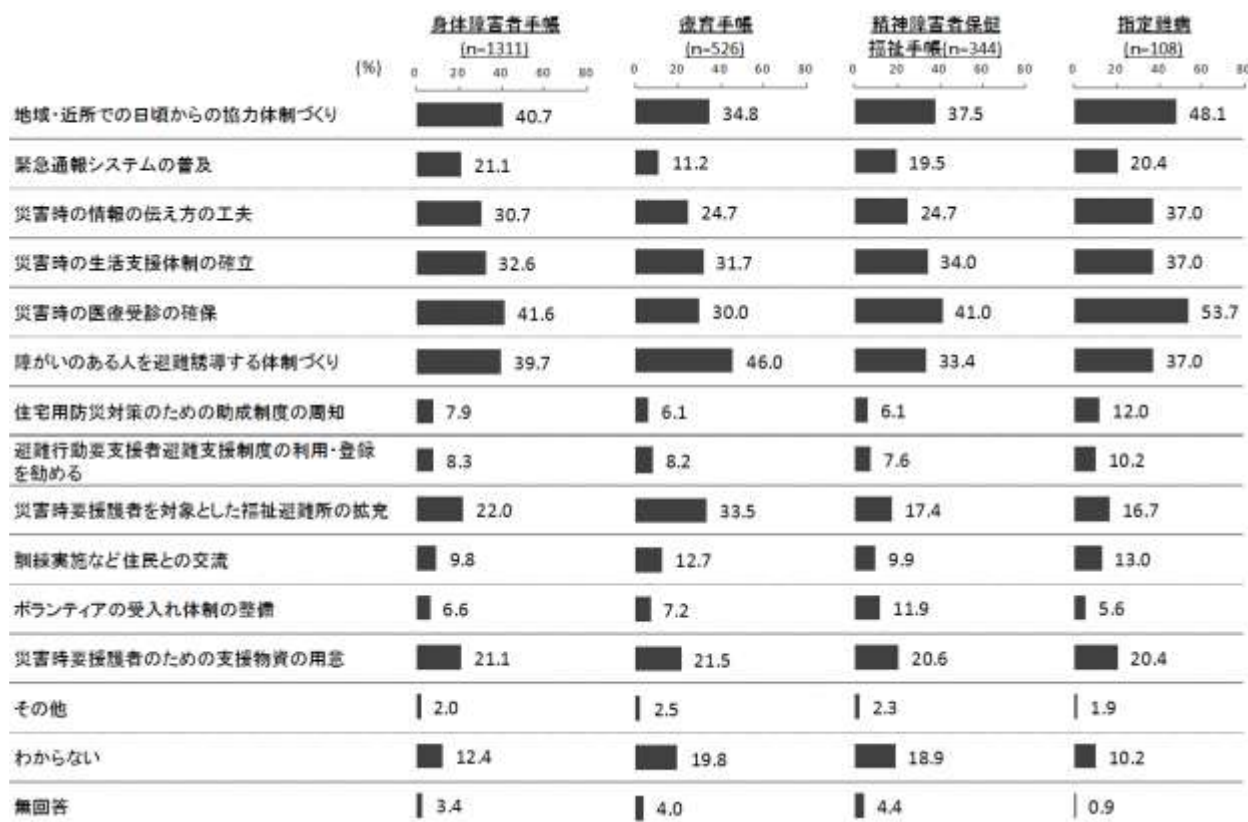
過去の調査結果と比較して、特に大きな変化はない。



(5) 災害時の備えとして取り組むべきこと

問 31 あなたは、地震や台風などの災害時に備え、高齢者、障がいのある人などの避難行動要支援者に対し、必要な取組はどれだと思いますか。(〇は優先順位の高いものを4つ)

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者は「災害時の医療受診の確保」の期待が最も高い。療育手帳所有者は「障がいのある人を避難誘導する体制づくり」が最も高い。また、手帳の種類にかかわらず「地域・近所での日頃からの協力体制づくり」は上位に挙げられている。



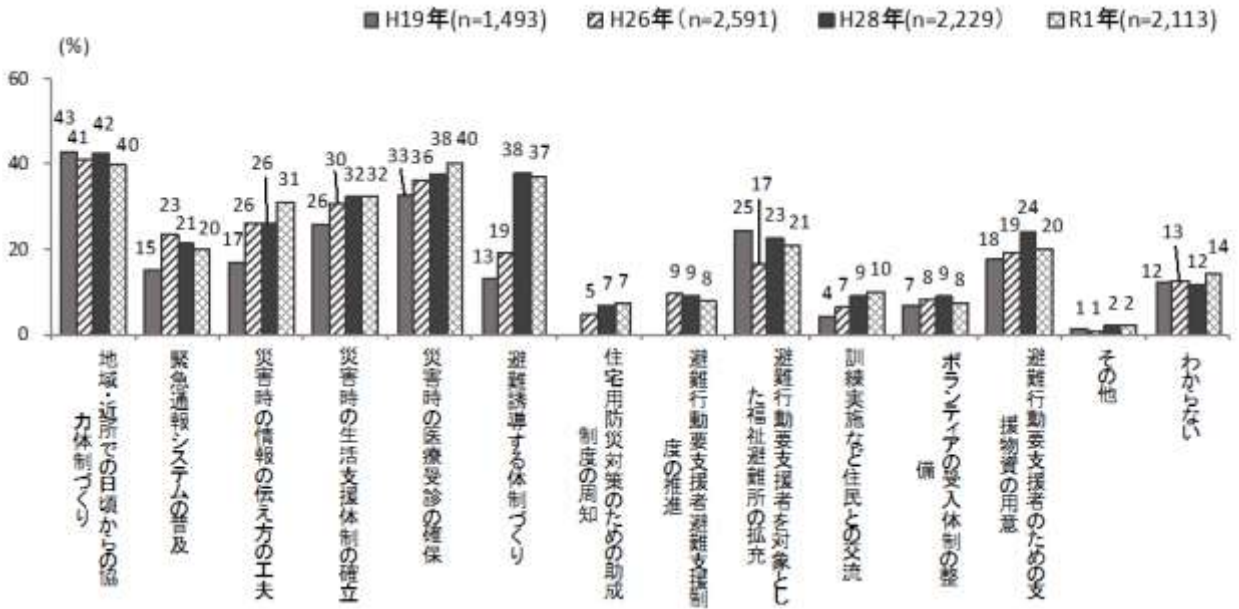
(その他)

障がいの特性を良く理解してもらい、その特性や個別の状況に応じた支援(8件)/避難場所に障害者の良き理解者が必要(2件)/アマチュア無線の活用/エリアメールの内容が分かりにくいので、分かりやすい言葉にしてほしいです/コミュニケーションがとれない/ライフラインが使えなくなる、そのための準備等、その代わりに使用する方法を知る/医療機関の受入体制の確立/一次避難所のバリアフリー化/夏の熱さをしのげる避難場所、発電機や太陽光なので空調や井戸水を使える場所が必要/緊急避難入院ができる病院の確保、ケアマネージャーによる避難体制の計画作り/健常者と一緒にはられない/高齢者・障害者と限らず、避難所そのものの質のレベルアップ→スフィア基準に近づけるように/高齢者一人暮らしの多いところだから/差別した人間を行政指導してほしい/災害直後から地域の要支援者を受け入れが出来る福祉避難所をつくること/支援者も大変だろうから、あてにできない。自分でどうするか考えないと(私の場合)/死に際を見極めること/自身の居住空間と災害の程度を常に意識しておくこと。どの様な災害規模の時に、どう対応するか常にシミュレーションしておく訓練/自分が障がい者であることを誰も知らない/親切な事ばかり並べても何もならない、障害者を見る目がまるで気持ちの悪いものを見ている健常者。どこにも出かけられない/人混みに行けない人達の避難スペースの確保/生活用具の備蓄/全て/台風など災害前に避難できる場所を用意して情報を流して欲しい。いつもどこへ避難したら良いかわからず、結局自宅にとどまってしまう。通常の避難所、体育館で過ごすのは無理/地域住民が要支援者を手助けするのは限界があります/地震台風の災害はどの人も大変です。ある意味自分の命が確保できてから動けることなのでどうなるかわからないです/町内会役員の人達への啓発。制度自体を理解していない/同一アウトラインの作成 1F 老人・障害:体育館手前 2F 子供連れ:中央 3F 健大人:奥 のようなイメージを決めておけばどの避難所でも/特別にどこかの福祉避難所を作るというよりも、それぞれの避難所で障害のある人達に配慮できるスペースを作ることが必要だと思う(例えば保健室は身体障害の方用に使うとか)→避難所の運営について、自治会や自主防のトップの人達の障害や個性に対する知識や理解が必要/入院中の為、医療機関にお願いするしかない/避難所でも医ケアが受けられる、出来る環境/避難場所での高齢者、障害者に対しての対応。椅子、ベッドの確保/便処理用品(トイレ、紙おむつ)の大量のたくわえ/薬が不安

<経年変化>

過去の調査結果と比較すると、「災害時の情報の伝え方の工夫」「災害時の生活支援体制の確立」「災害時の医療受診の確保」が高くなっている。

※平成19年は「住宅用防災対策のための助成制度の周知」「避難行動要支援者避難支援制度の推進」は選択肢に含まれていない。
 ※「避難行動要支援者避難支援制度」は平成19年・26年・28年では「災害時要援護者避難支援制度」と表現されている(旧制度)。



7. 療育・教育について

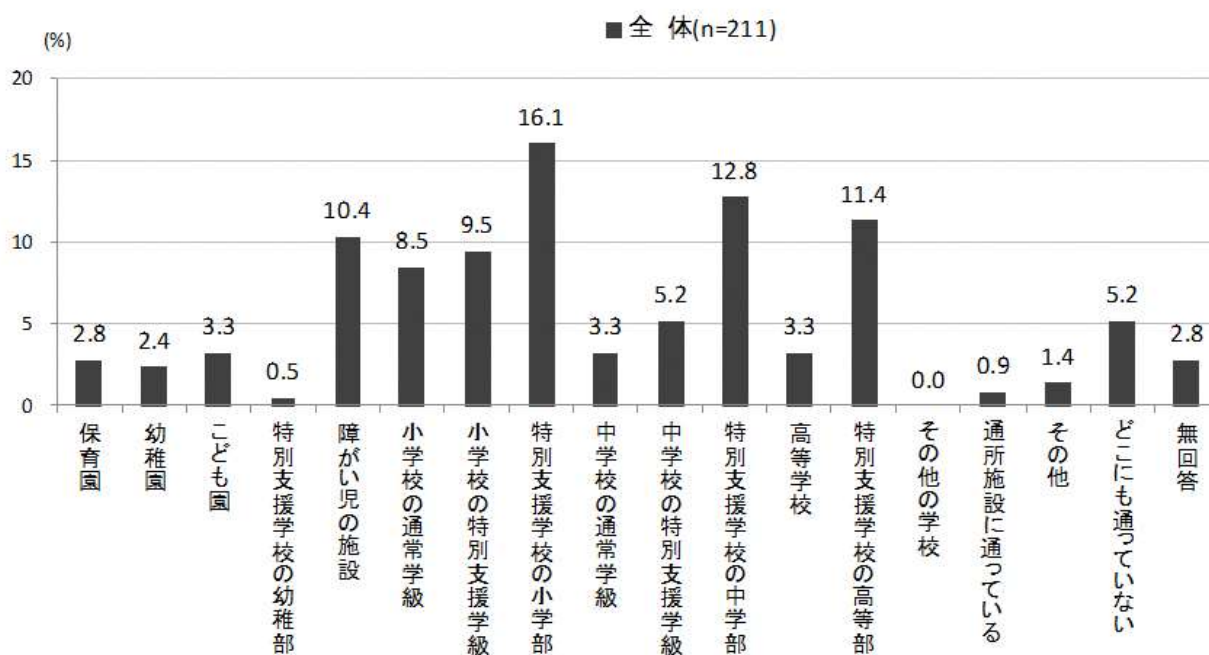
(1) 通っている学校・学級・施設

(あて名の方(本人)が18歳未満の方はお答えください。)

問 32 現在通っているところをお答えください。(○は1つ)

※複数通っている方は、主に通っているところをお答えください。

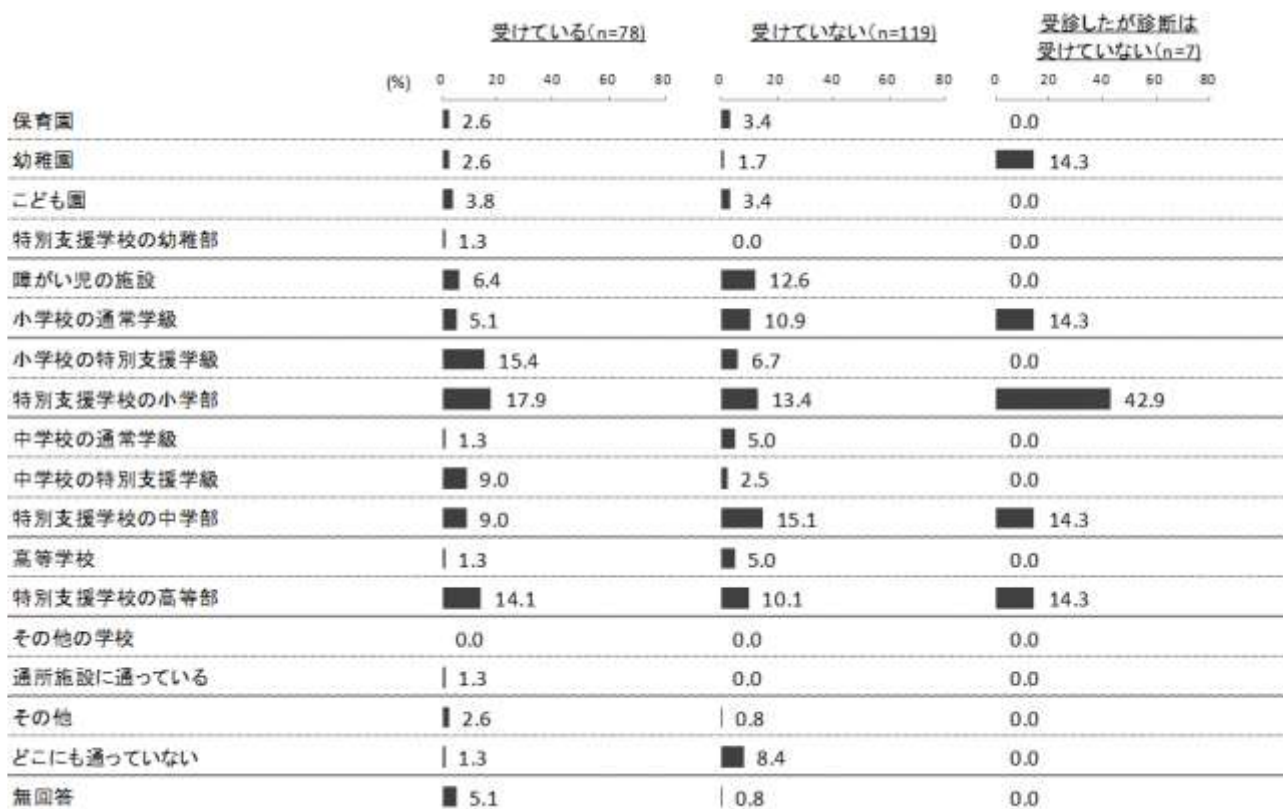
全体では、「特別支援学校の小学部」が16.1%と最も高く、次いで「特別支援学校の中等部」が12.8%となっている。発達障がい診断別でみると、「受けている」では「特別支援学校の小学部」と並んで「小学校の特別支援学級」が高く、「受診したが診断は受けていない」では「特別支援学校の小学部」が特に高くなっている。「受けていない」では「障がい児の施設」も高い。



(その他)

特別支援学校の乳幼児クラス/高校に在籍しているが実際は通っていない/どこに通えるかわからない/通信制大学/就労移行支援事業所/7 に在学しているが実質的には全く通っていない

<発達障がいの診断有無別>



※「受診を勧められているが未受診」は件数0のため省略

(2) 療育・教育で困っていること

(保護者の方にお聞きます)

問 33 お子様の療育・教育について困っていることはありますか。(〇は4つまで)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者は「今後の進学・進路選択で迷っている」、精神障害者保健福祉手帳所有者は「仕事ができない」が最も高くなっている。

通っている学校・学級別でみると、いずれも「今後の進学・進路選択で迷っている」がトップ。発達障がい診断の有無別でみると、「受けている」人は「療育・教育に関する情報が少ない」が30.6%と他と比べて高い。

居住区別でみると、葵区では「療育・教育に関する情報が少ない」が28.4%と他と比べて高くなっている。

※「精神障害者保健福祉手帳所有者」「指定難病」についてはサンプル数が少ないため注意。



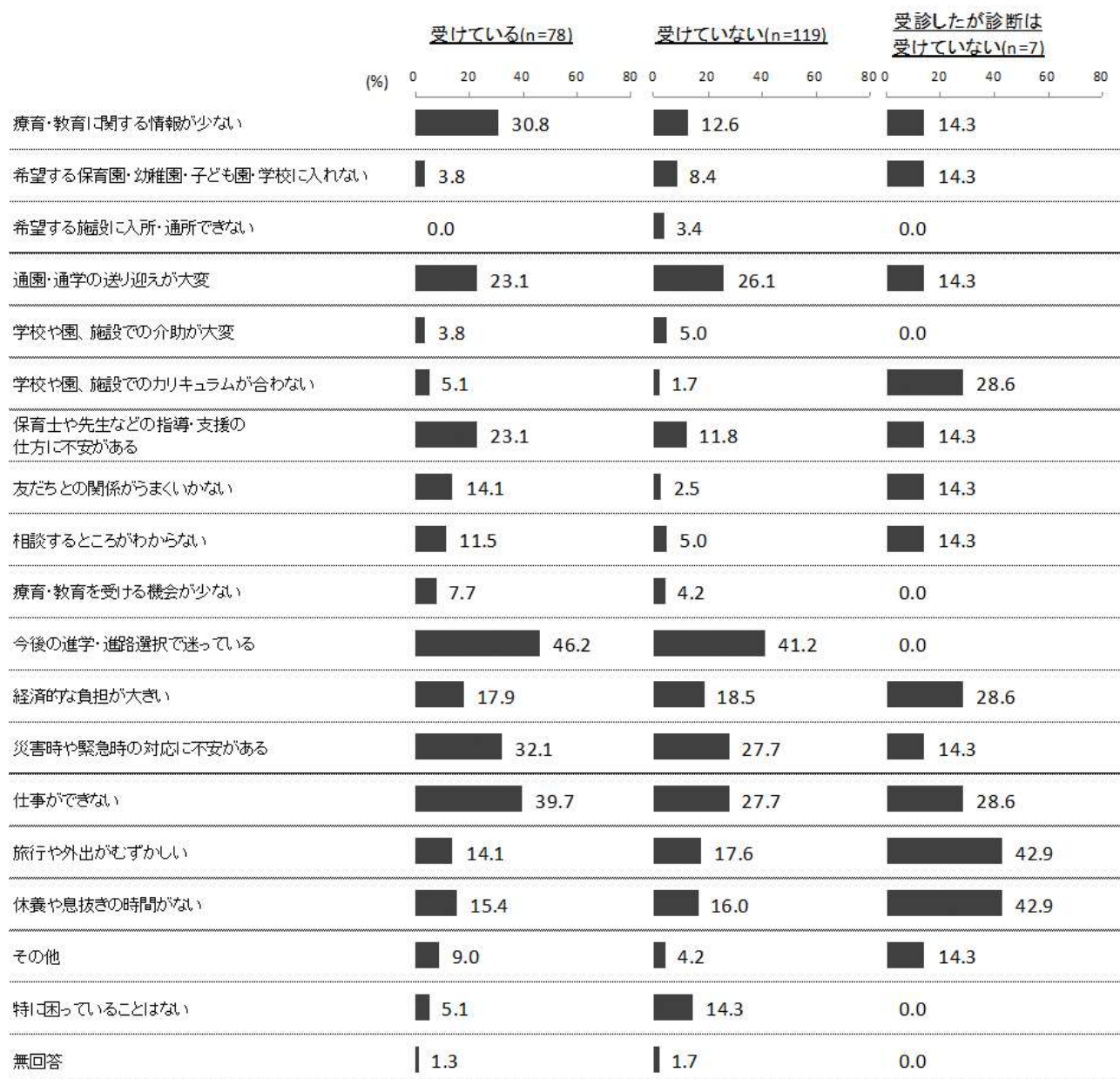
(その他)

兄弟の教育、行事に行けないなど影響あり(2件)/将来の不安(2件)/よく体調こわす/リハビリを受ける所が遠い(PT・OT)/学区の小学校に支援学級がなくすごく困っている/外出や通学することが難しい/親が障がいに気づけなかった、周りからも言われなかった/成人後の生活の練習(宿泊訓練、習い事)の障がい児向けのものが少ない/生活リズムが整わない。毎日ばらばらの生活/相談事業所がいつまで相談できない/特別支援学校はどこもパンクしているので、増やして欲しい/乳児院にいる/特別支援学校の水回り(トイレ、手洗い場)が古く、不衛生的である。全体リフォーム又は新しく建設すべきである。あと教室の数(受け入れ人数)が少ない

<通っている学校・学級別>

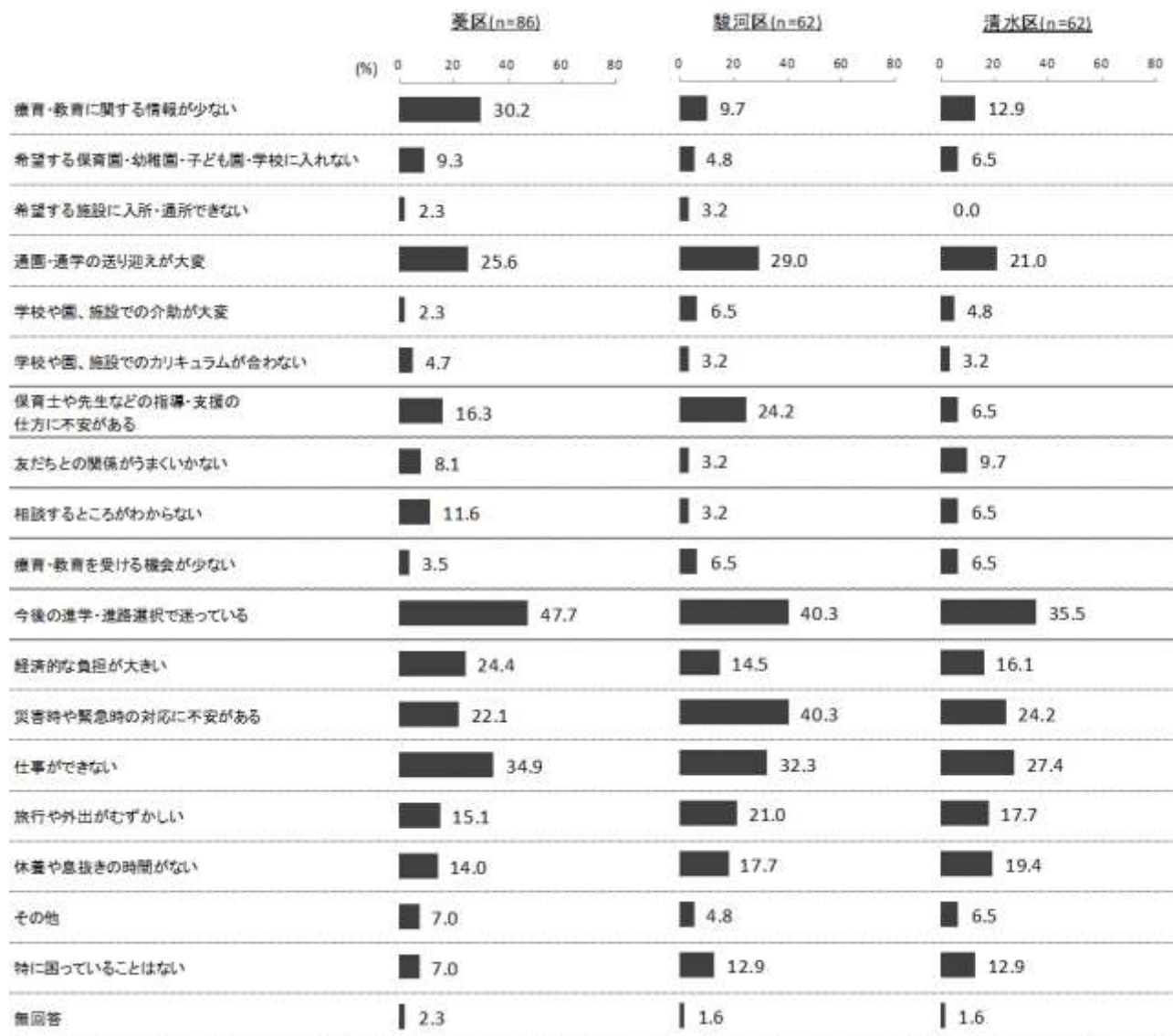


<発達障がいの診断有無別>



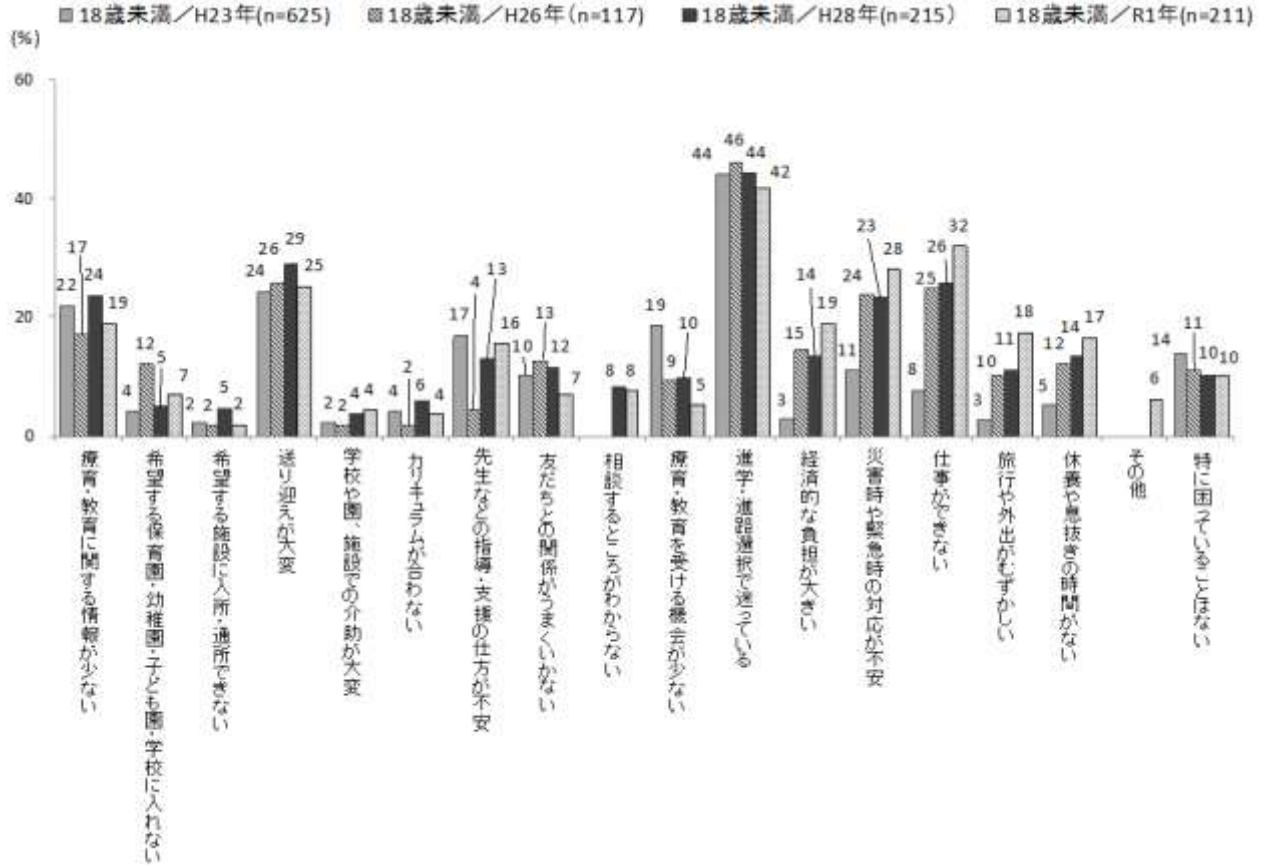
※「受診を勧められているが未受診」は件数0のため省略

＜居住区別＞



<経年変化>

過去の調査結果と比較すると、「進学・進路選択で迷っている」は低下傾向にあり、「仕事ができない」「旅行や外出がむずかしい」「休養や息抜きの時間がない」などは年々高くなっている。



8. 雇用・就労について

(1) 就労の有無

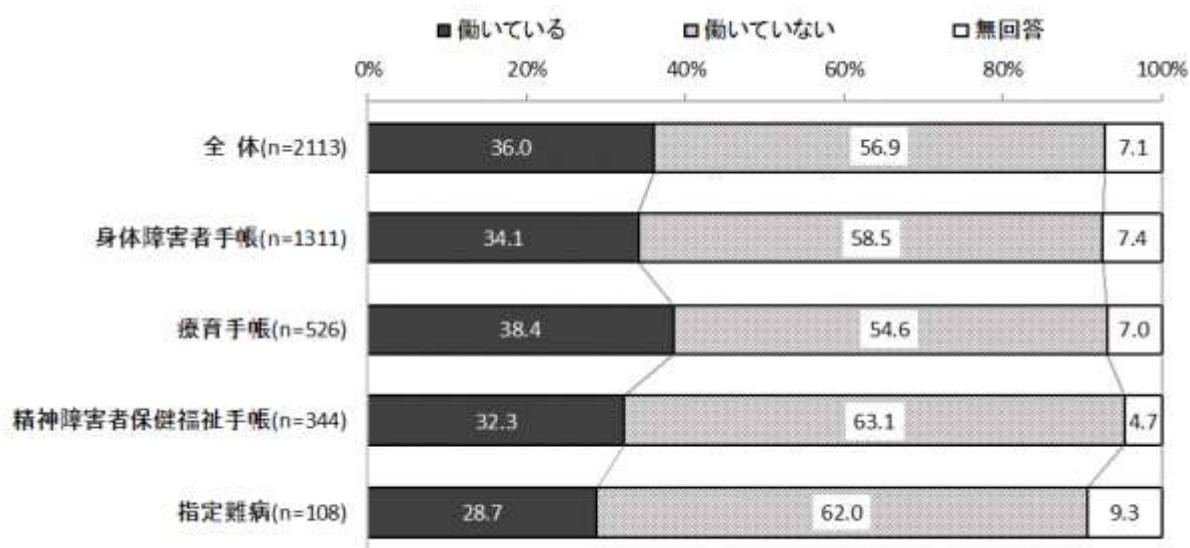
問 34 あなたは現在、働いていますか。通所施設（就労移行支援・就労継続支援A型、就労継続支援B型、生活介護事業所など）での就労も含まれます。（○は1つ）

働いている人の割合は、身体障害者手帳所有者は34.1%、療育手帳所有者は38.4%、精神障害者保健福祉手帳所有者は32.3%。指定難病者は28.7%となっている。

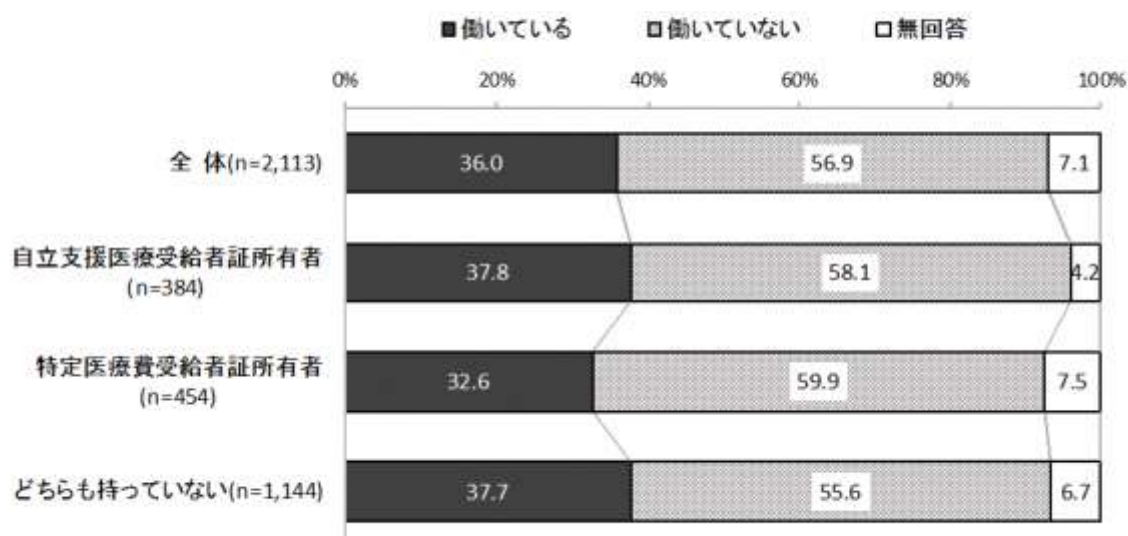
受給者証の有無別でみると、自立支援医療受給者証所有者は37.8%、特定医療費受給者証所有者は32.6%となっている。

高次脳機能障害診断別でみると、「診断されている」では34.6%。

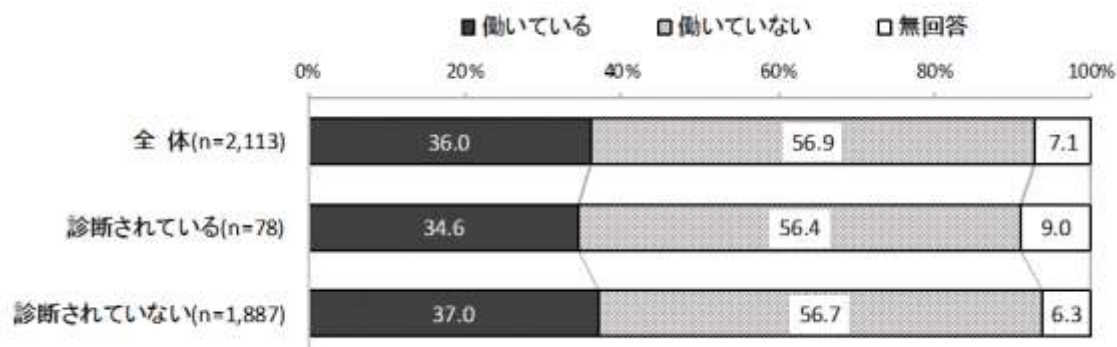
発達障がい診断別でみると、「受けている」では39.4%となっている。



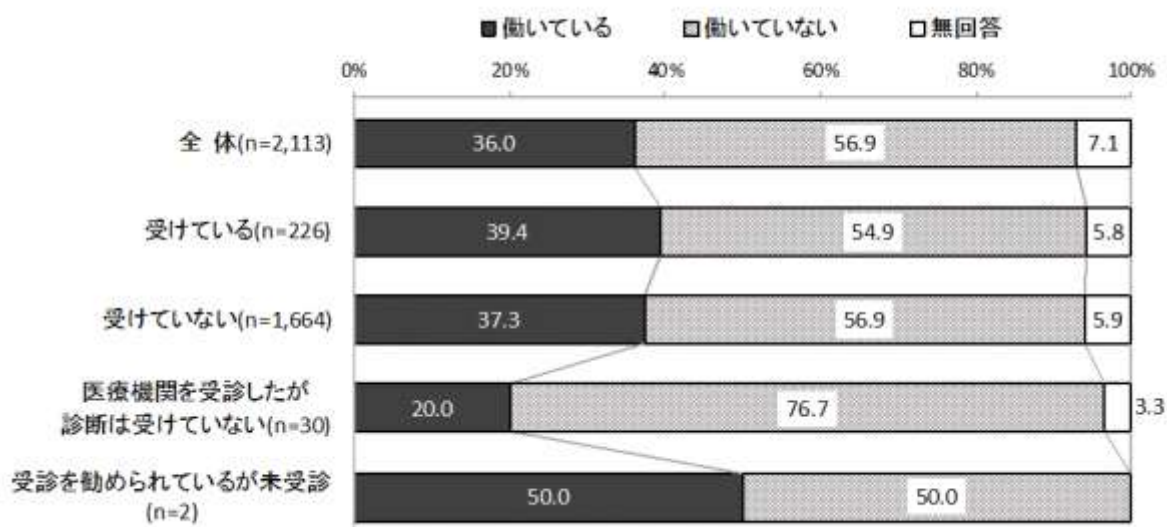
<受給者証有無別>



<「高次脳機能障害」診断別>

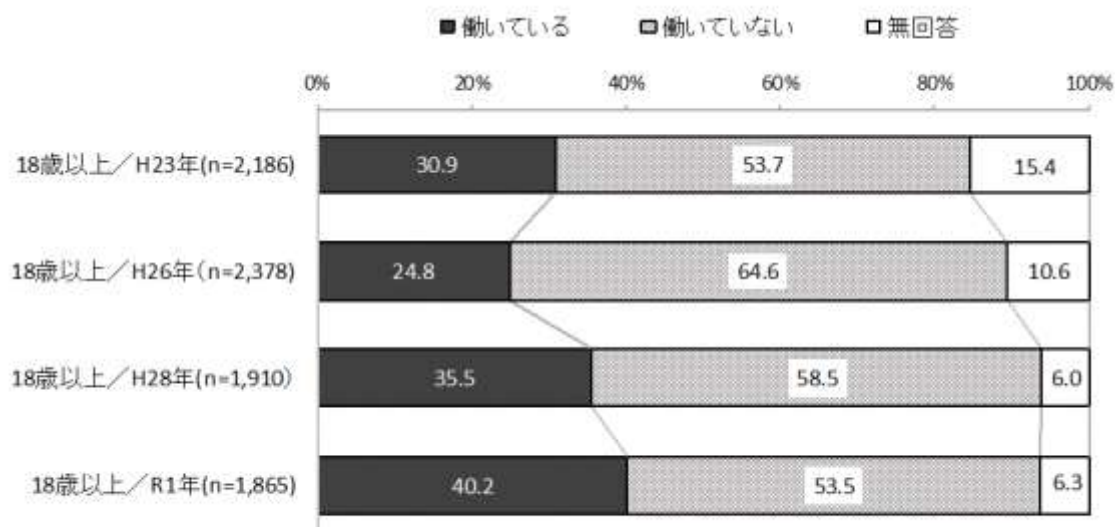


<発達障がい診断別>



<経年変化>

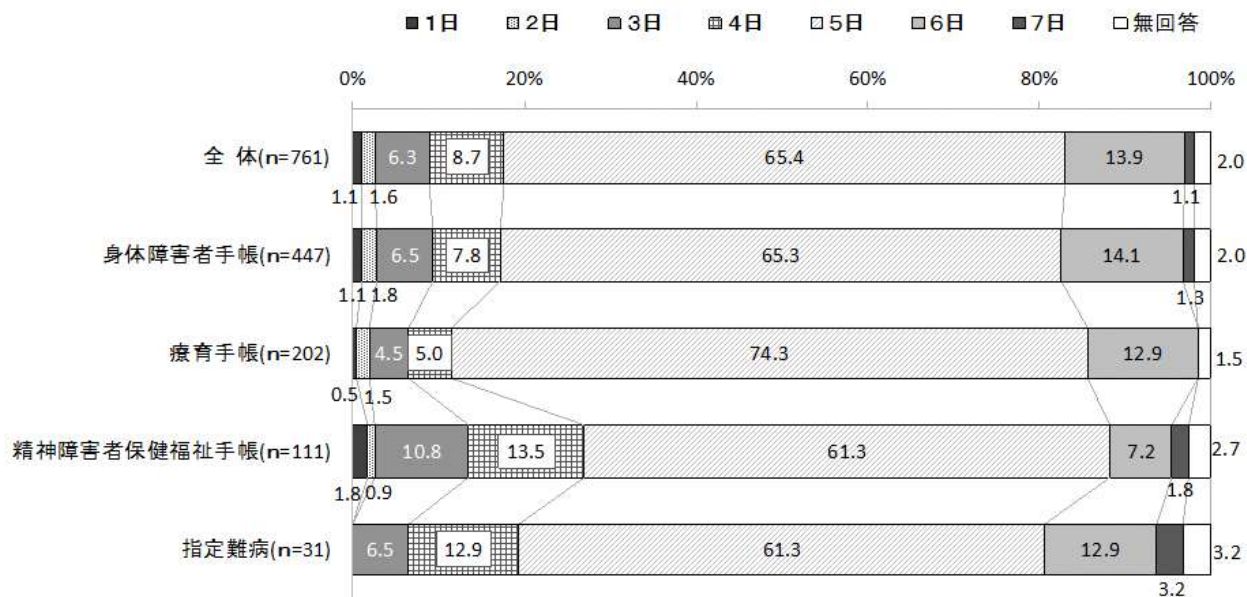
過去の調査結果と比較すると、「働いている」割合は高くなっている。



(2) 週あたりの就労日数

(問 34 で「1 働いている」と答えた方にお伺いします)
 問 35 週に何日働いていますか。

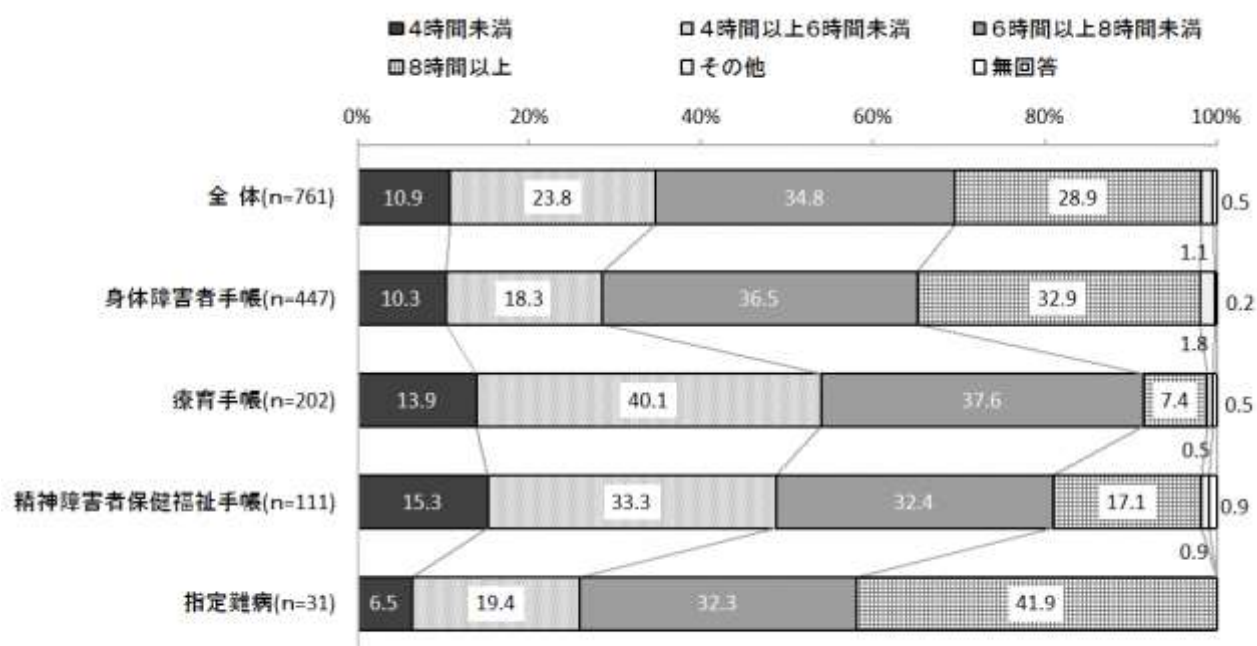
いずれの手帳所有者、指定難病者ともに、「5日」が6割以上を占めている。次いで高いのは精神障害者保健福祉手帳所有者では「4日」、それ以外は「6日」。



(3) 1日あたりの就労時間

(問 34 で「1 働いている」と答えた方にお伺いします)
 問 36 1日何時間くらい働いていますか。(○は1つ)

身体障害者手帳所有者では「6時間以上8時間未満」が36.5%と最も高い。次いで「8時間以上」が32.9%となっている。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者では「4時間以上6時間未満」が最も高く、次いで「6時間以上8時間未満」となっており、「8時間以上」働いている人は、身体障害者手帳所有者と比べて低い割合となっている。指定難病者では「8時間以上」が41.9%と高くなっている。



(その他)

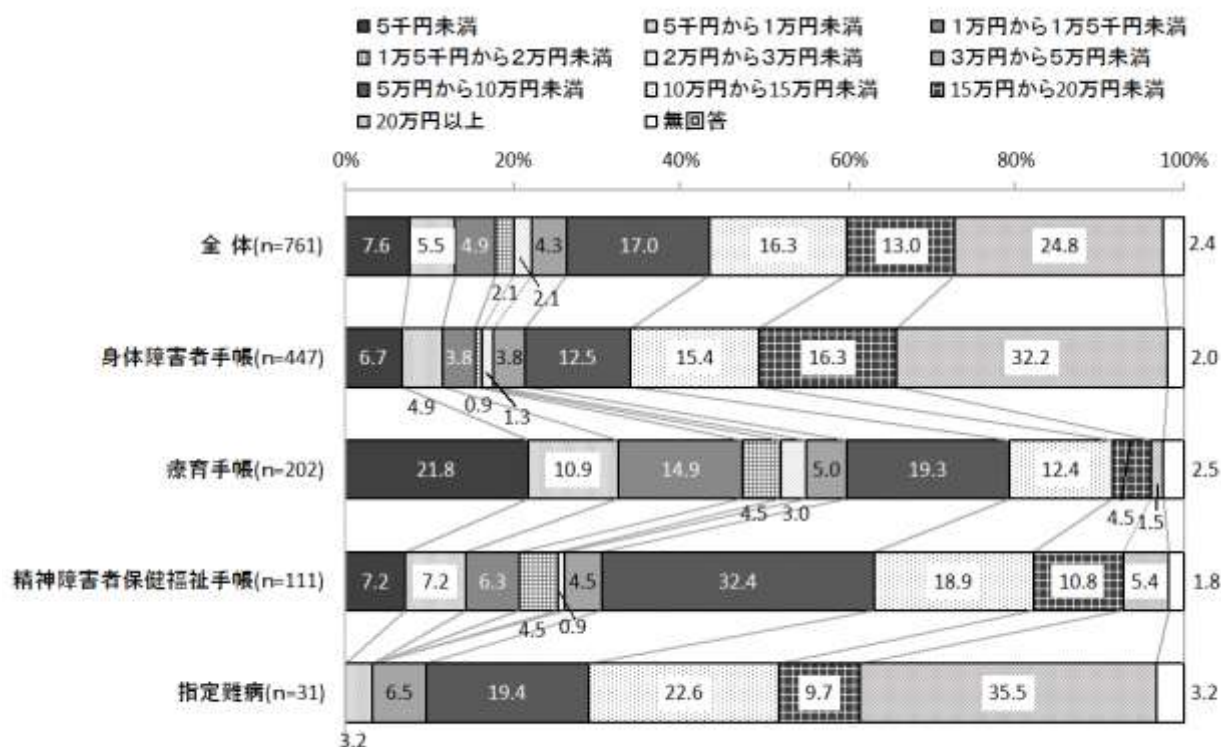
仕事の量や日によって違う(3件)/自営業/未定

(4) 1 か月あたりの平均給与額

(問 34 で「1 働いている」と答えた方にお伺いします)
 問 37 1 か月の平均給与・賃金・工賃はどのくらいですか。(○は1つ)

身体障害者手帳所有者、指定難病者は、「20 万円以上」が最も高い。療育手帳所有者は 1 万 5 千円未満が 5 割弱を占める。精神障害者保健福祉手帳所有者は、「5 万円から 10 万円未満」が 32.4% と最も高くなっている。

就労場所別でみると、通所施設においては 1 万 5 千円未満が 6 割を占める。



<就労場所別>

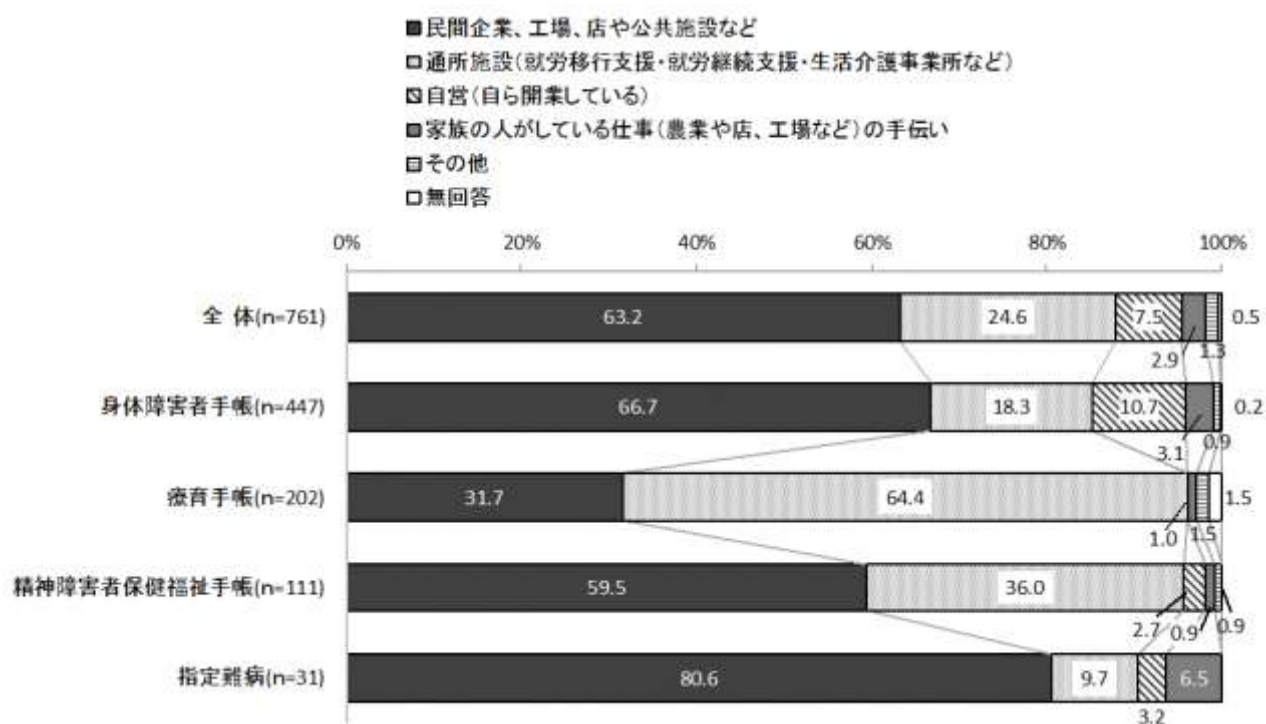
	内数	単位 %、()内数										
		5千円未満	5千円から1万円未満	1万円から1万5千円未満	1万5千円から2万円未満	2万円から3万円未満	3万円から5万円未満	5万円から10万円未満	10万円から15万円未満	15万円から20万円未満	20万円以上	無回答
全体	(761)	7.6	5.5	4.9	2.1	2.1	4.3	17.0	16.3	13.0	24.8	2.4
民間企業、工場、店や公共施設など	(481)	0.6	1.0	0.4	0.2	0.4	3.7	17.5	22.9	18.7	33.5	1.0
通所施設	(187)	26.7	17.6	18.2	7.5	5.3	5.9	15.5	0.5	0.5	0.5	1.6
自営(自ら開業している)	(57)	3.5	5.3	1.8	1.8	3.5	3.5	7.0	14.0	8.8	43.9	7.0
家族の人がしている仕事(農業や店、工場など)の手伝い	(22)	4.5	4.5	0.0	0.0	9.1	9.1	36.4	13.6	4.5	4.5	13.6
その他	(10)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	10.0	0.0

(5) 就労場所

(問 34 で「1 働いている」と答えた方にお伺いします)
 問 38 どんなところで働いていますか。(○は1つ)

「民間企業、工場、店や役所など」は身体障害者手帳所有者が 66.7%、指定難病者が 80.6%と高くなっている。精神障害者保健福祉手帳所有者では「民間企業、工場、店や役所など」が 59.5%、「通所施設」が 36.0%となっている。療育手帳所有者では、「通所施設」が 64.4%と高くなっている。

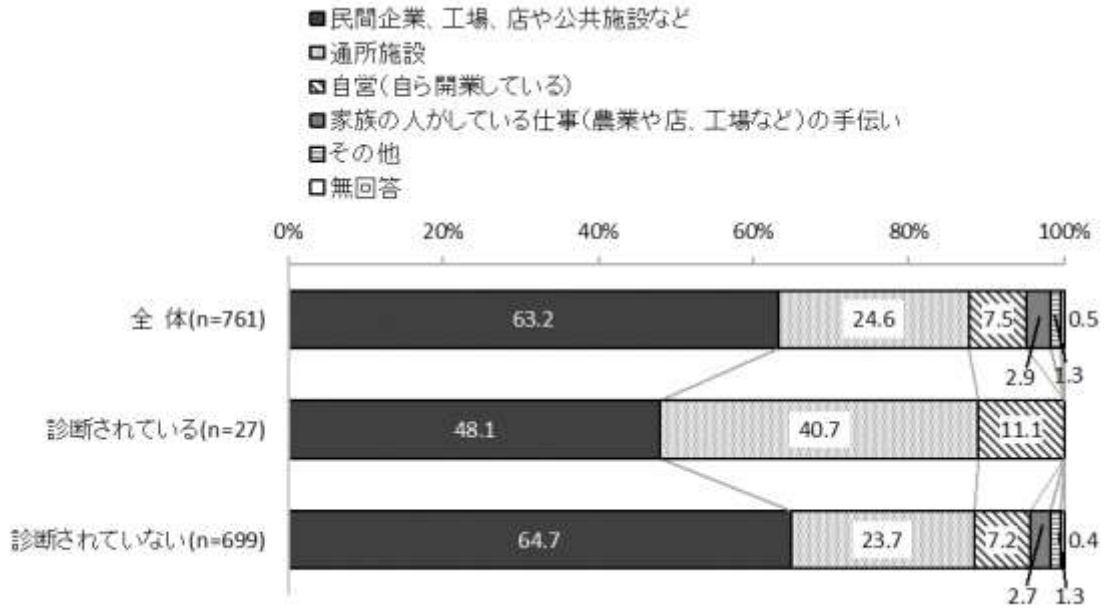
発達障がい診断を「受けている」人は、「通所施設」が 58.4%と特に高い。



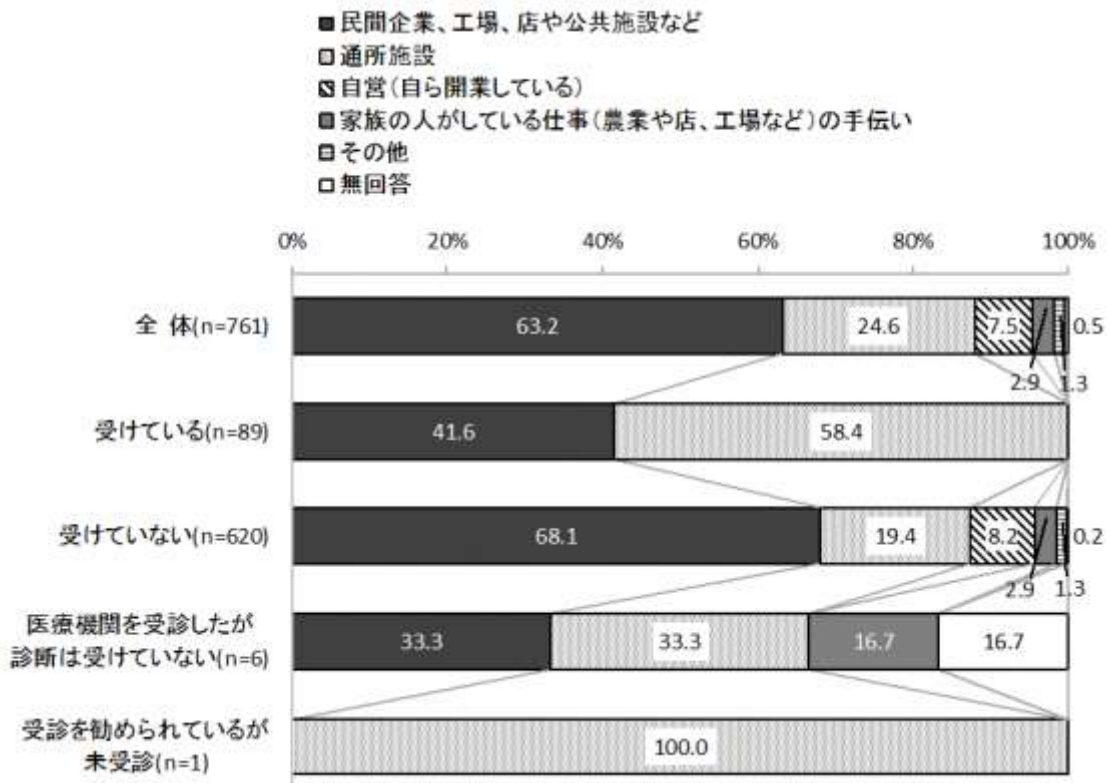
(その他)

コンサル/シニア団体指導/給食/準社員/準職員

<「高次脳機能障害」診断別>



<発達障がい診断の有無別>

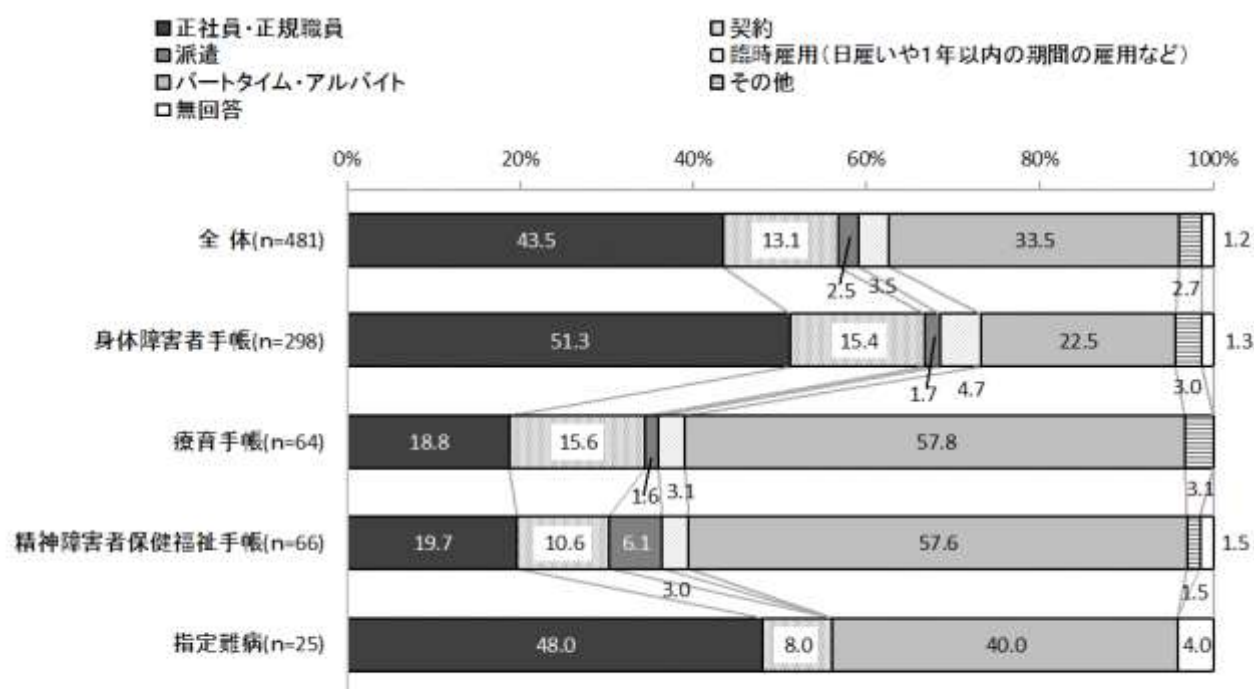


(問34で「1 働いている」と答えた方にお伺いします、
 問38で「1 民間企業、工場、店や公共施設など」と答えた方にお伺いします)
 付問① どのような雇用形態で働いていますか。(〇は1つ)

身体障害者手帳所有者では「正社員・正規職員」が51.3%と最も高く、次いで「パートタイム・アルバイト」が22.5%。療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者は「パートタイム・アルバイト」が6割、「正社員・正規職員」2割となっている。

高次脳機能障害の発達診断有無別では、「診断されている」人は「正社員・正規職員」が23.1%と低い。

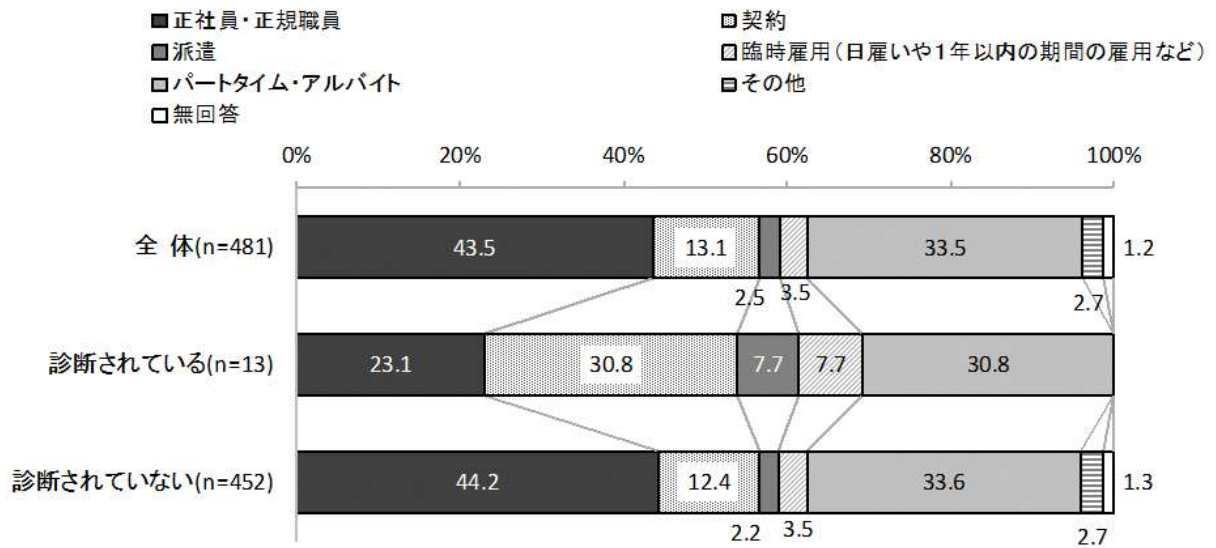
発達障がいの診断有無別では、「受けている」人は「正社員・正規職員」が16.2%にとどまる。



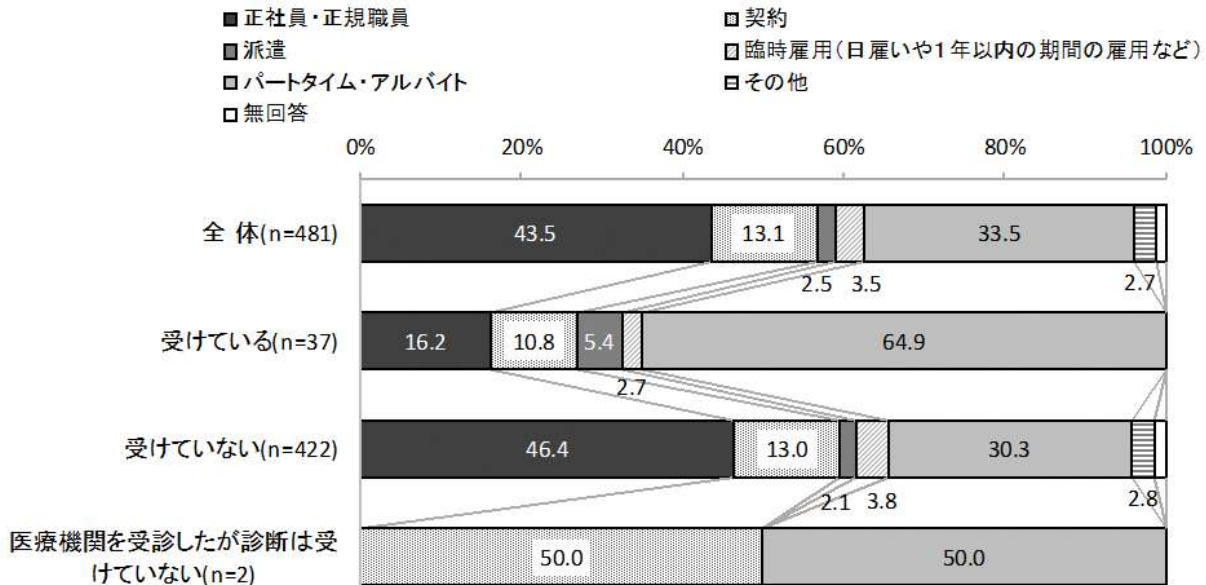
(その他)

自営(3件)/B型(就労支援)(2件)/障害者採用雇用(2件)/専従者(2件)/シルバー人材センター/スタッフ/メンバー/家族内経営/介護事業/軽作業/建設業で配管作業/事務嘱託/準社員/嘱託社員/長期スタッフ/通所(就労移行支援)/働くといっても家事/夫の農業手伝い/役員/有期職員

<「高次脳機能障害」診断別>



<発達障がいの診断有無別>



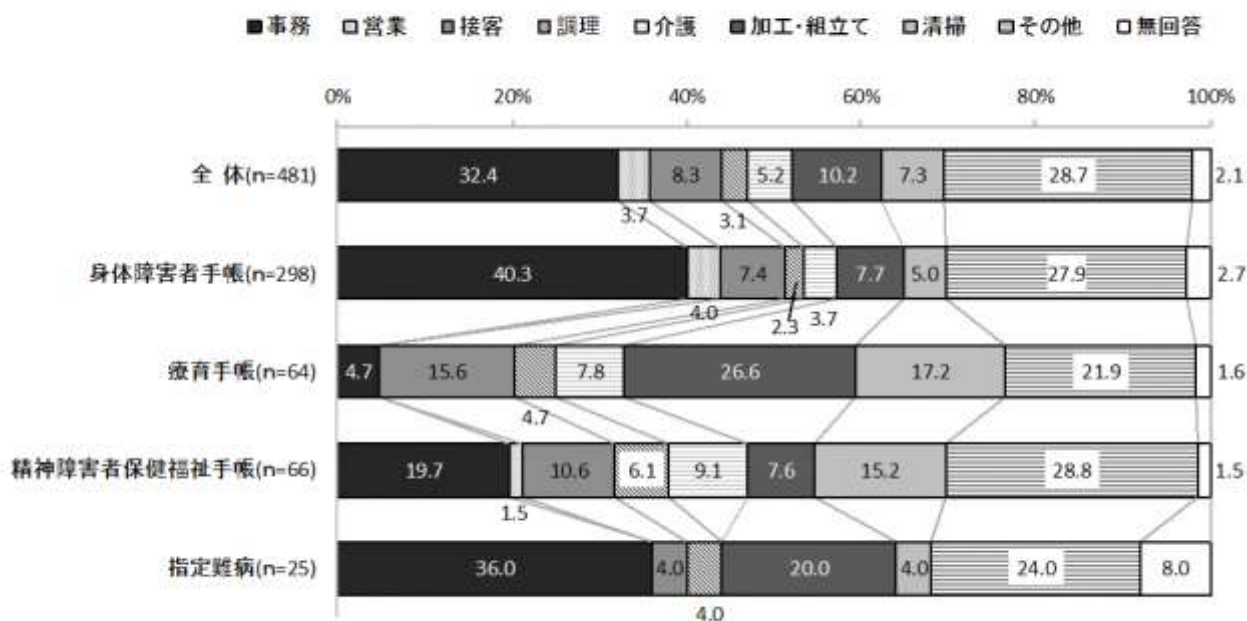
※「受診を勧められているが未受診」は件数0のため省略

(問 34 で「1 働いている」と答えた方にお伺いします、
 問 38 で「1 民間企業、工場、店や公共施設など」と答えた方にお伺いします)
 付問② どのような業務内容ですか。(○は1つ)

身体障害者手帳所有者、指定難病者では「事務」が4割と高い。療育手帳所有者では「加工・組立て」が26.6%と高い。精神障害者保健福祉手帳所有者では「事務」が19.7%と高い。

高次脳機能障害と「診断されている」人は、「加工・組立て」が23.1%と高く、「事務」は全体よりも低くなっている。

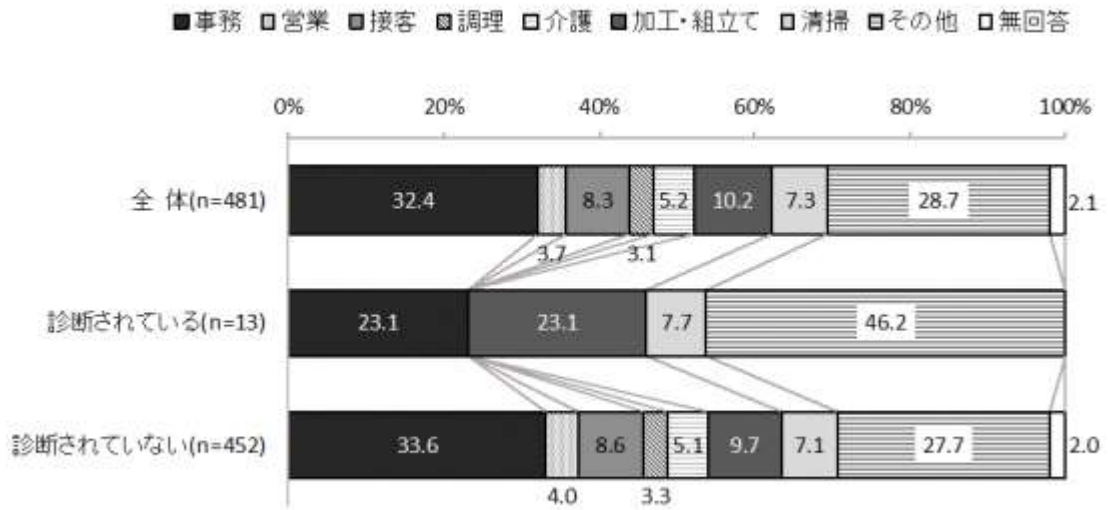
発達障がい診断を「受けている」人は、「加工・組立て」が21.6%と高く、「事務」が8.1%と低くなっている。



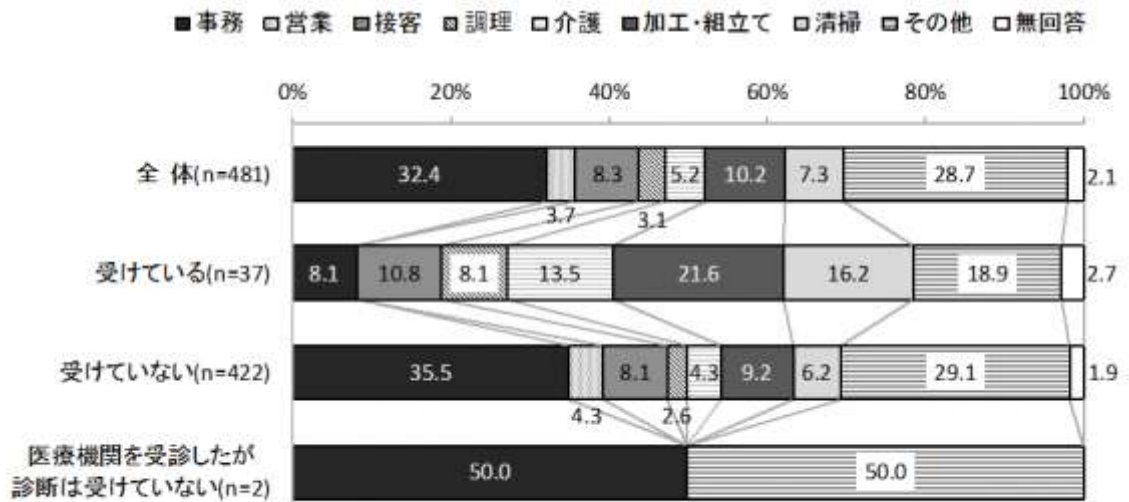
(その他)

ドライバー(8件)/看護師(6件)/教員(6件)/配達・配送(5件)/パソコンを使っのデスクワーク(4件)/教育関係(4件)/建築業(4件)/物流(4件)/ピッキング作業(3件)/検査作業(3件)/農作業(3件)/サービス業(2件)/運送業(2件)/荷物の仕分け(2件)/警備員(2件)/工場作業員(2件)/製造(2件)/土木(2件)/内職(2件)/1と7と両方/CP入力/IT/SE/お茶の手入れ、水替え、人工芝のそうじ/ガソリンスタンドで給油ボタンを押す仕事(スイッチャー)/クリーニングのアイロン掛け/ケアマネージャー/コールセンター/システムエンジニア/スーパー/スーパー・ドラッグストアの清掃員/スーパーマーケットで商品のダンボール箱を持つ/タオルの印刷デザイン/デザイン事務所/テレホンポインター、電話対応/トラックに積み込む為の乳製品の仕分け/ねじの袋入れ/ネットの販売/ネット販売の写真撮影/はり師・マッサージ師/フォークリフト作業、機械操作/プログラマ/ポスティング/ホテル、ルームメイク/ヤフオクへの物品出品/リサイクル/リハビリ職/ルームエアコン開発試験/委託員/医療/引き抜き/英語教師/園芸店で事務と接客をやります/下水処理場/家事 草刈り 草取り/荷受スタッフ/荷物の受付/会社役員/開業医/学校/学校給食の容器洗い/学校法人経営/看護助手/看守/缶つぶし、自主製品製作/機械整備/機械設計・製作/技術、品質管理/業務データのチェック/経営者/軽作業/軽作業(検査や梱包など)/軽作業(食品)/検品/元々働いていた/現場監督/古紙回収/午前中は手作業 ネジさし、午後は運動/工事管理/港湾関係/耕作、かたづけ、草取り/梱包/梱包、運搬/梱包、仕分け/梱包やカードのパック作り、値付けなど/雑用/指導/歯科衛生士/自営業/自主製品づくり/車の洗車/取締役/手洗い洗車/出荷作業/助手看護の補助/女子高の先生/商品管理(検品担当)/小糸製作所の通い箱の整理/食器・弁当箱の清掃/食器洗浄/新卒より同じ企業/人の送り/生産/製品の袋詰め箱詰め/製品開発/石けん工場での補助作業/石けん作り、農作業(野菜作り)/設計/設計・現場管理/設計開発/洗い場/組むも、ポスティング/倉庫業務/掃除、梱包/相談業務/測量業/他住宅の掃除、後片付け等、施設内での仕事色々/袋詰め/貸出した機械の清掃、整備/大工/段ボール箱の組み立て作業/調剤(薬剤師)/電話交換/塗装業/透析業務(臨床工学技士)/箱の組み立て/販売補助/病院での薬剤助手、薬剤師の手伝い/物品補充/物流管理/編物講師/保育士/野菜を切る仕事/幼稚園教諭/踊り指導/理学療法士・病院勤務/老人福祉施設でお年寄りにマッサージをしている。機能訓練指導員/鍼灸マッサージ/放課後の小学生と過ごす

<「高次脳機能障害」診断別>



<発達障がい診断の有無別>

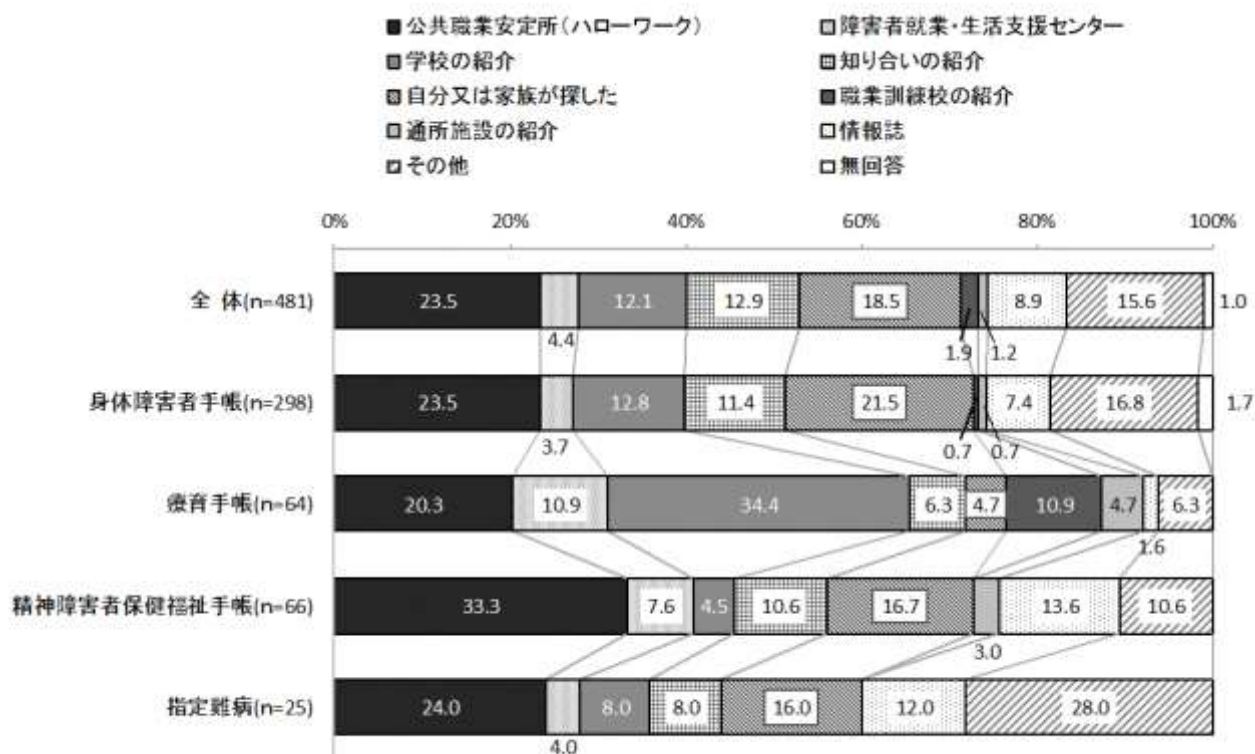


※「受診を勧められているが未受診」は件数0のため省略

(問 34 で「1 働いている」と答えた方にお伺いします、
 問 38 で「1 民間企業、工場、店や公共施設など」と答えた方にお伺いします)
 付問③ 今の仕事は、どのような方法で見つけましたか。(○は1つ)

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者は「公共職業安定所（ハローワーク）」が最も高くなっている。療育手帳所有者は「学校の紹介」が 34.4% と高い。

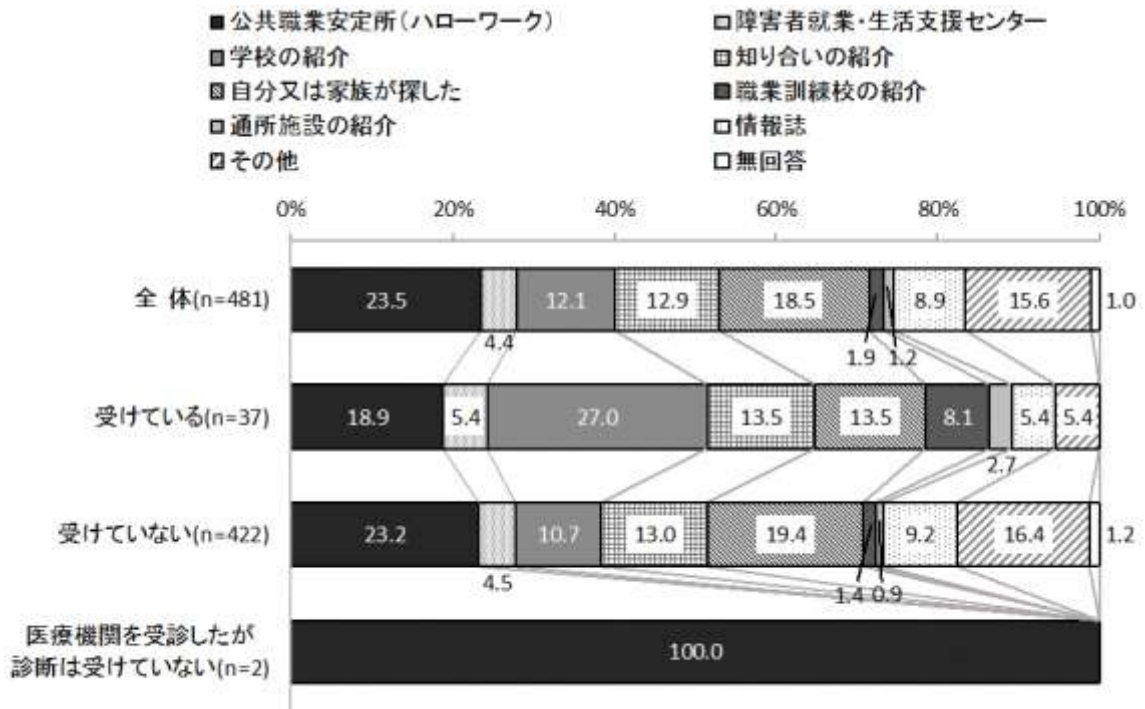
発達障がい診断の有無別でみると、「受けている」人は「学校の紹介」が 27.0% と高くなっている。



(その他)

元の職場(19件)/自営業(10件)/自分で(6件)/自分で設立(4件)/病院(4件)/家業(2件)/PC/インターネット/シルバー人材センター/チラシ/ネット/ホームページ/就労移行支援事業所/一般の就活/家族の手伝いで/家族の紹介/会社役員/区役所に相談/携帯電話/元自営/元自衛官でその紹介/高校卒業新卒で採用され継続して勤務/合同企業面接会/合同就職説明会/指定特定相談支援事業所/施設サービスの一環/施設内の作業/事業所の紹介/自営/就職ガイダンスイベント/就労移行支援事業所の紹介/障害者合同面接会 ハローワーク グランシップにて/心の医療センター/新聞/親が立ち上げた施設/水耕栽培型農園/正規→パートに変更/折込チラシ/前の職場でいじめられ、長い間引きこもりになっていた。父が認知症になり、心配した同じ障害者を持つ方が、区役所に連れて行ってくれた/前職場のOB紹介/前職場の紹介/祖母から紹介/相談員/大学時代の通常の就職活動/病院・行政/母が利用していた/友達

<発達障がいの診断有無別>

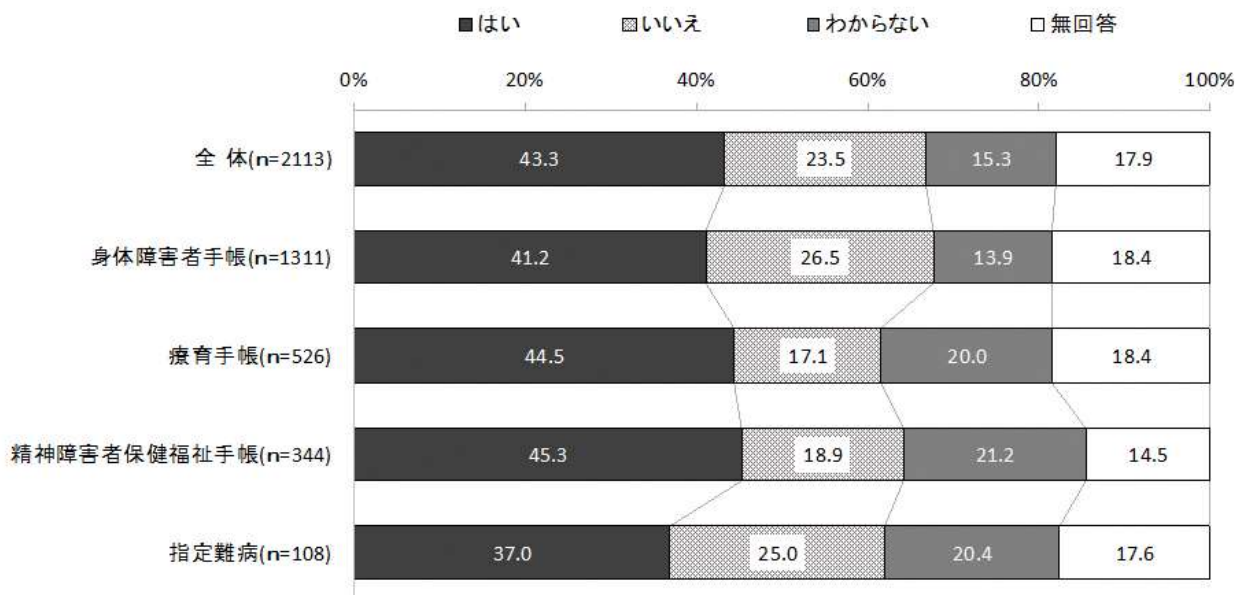


※「受診を勧められているが未受診」は件数0のため省略

(6) 今後の就労意向

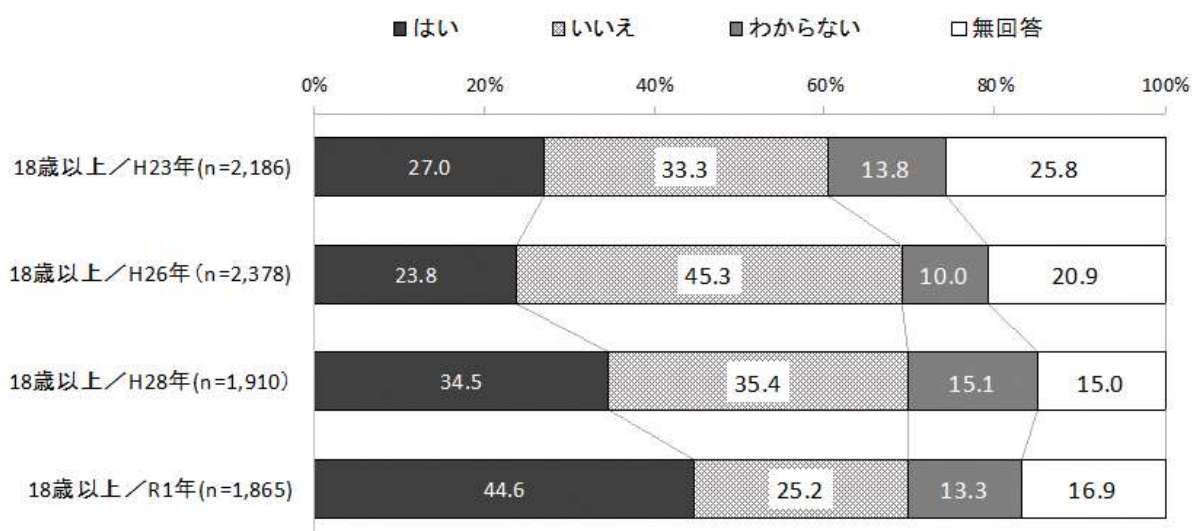
問 39 今後又は引き続き、働きたいと思えますか。(○は1つ)

引き続き就労を希望する人は、身体障害者手帳所有者で 41.2%、療育手帳所有者で 44.5%、精神障害者保健福祉手帳所有者で 45.3%、指定難病者で 37.0%となっている。



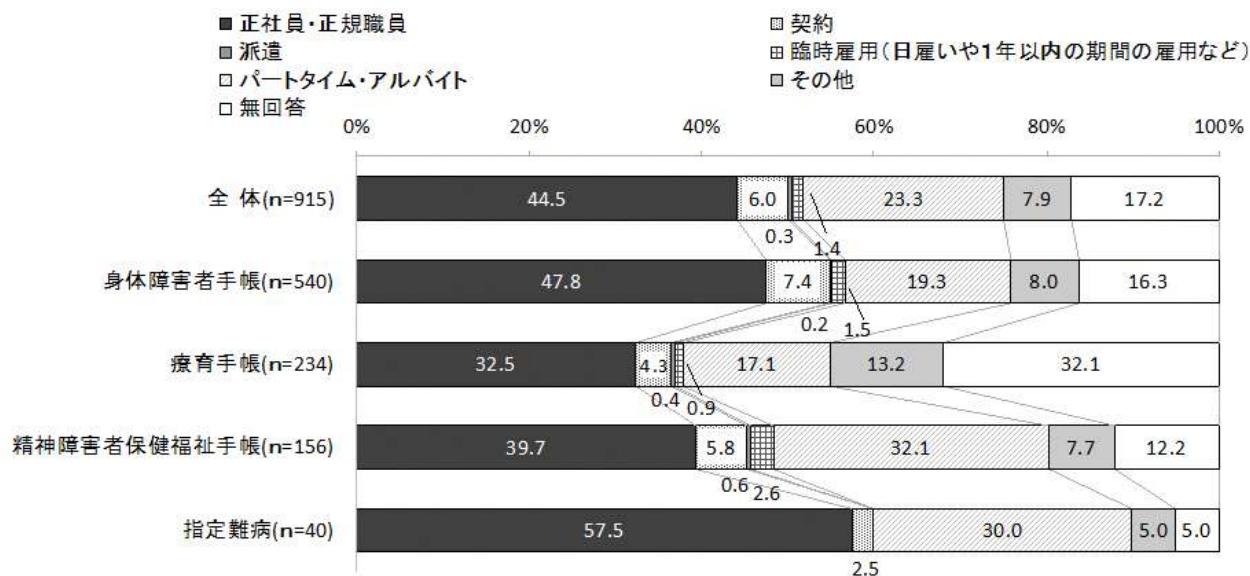
<経年変化>

過去の調査結果と比較すると、引き続き就労を希望する人の割合が 44.6%で最も高くなっている。



(問 39 で「1 はい」と答えた方にお伺いします)
付問① 今後どのような雇用形態で働きたいですか。(〇は1つ)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも「正社員・正規職員」が最も高く、3～6割を占めている。次いで「パートタイム・アルバイト」が高くなっている。

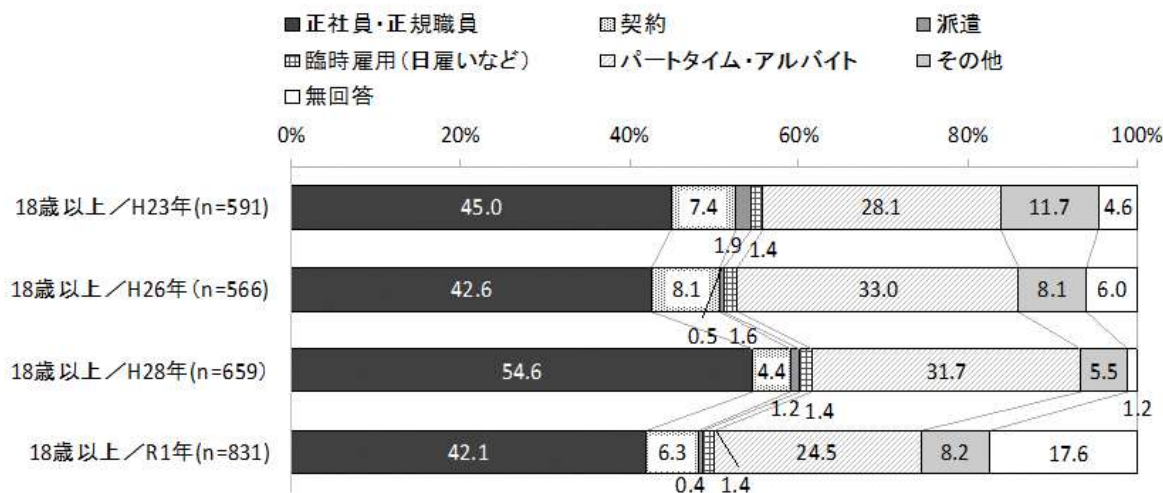


(その他)

現状のまま(6件)/自営業(6件)/就労継続支援B型事業所(4件)/身体と相談しながら(3件)/農業(3件)/生活介護(2件)/専従者(2件)/福祉的就労(2件)/60才までは嘱託として今のまま。それ以降はパート(時短)で今のところ働きたい/スタッフ/パート→正社員/フリーライター/フリーランス/プロパフォーマー/メンバー/一人でやっています/家の事情もある/形態問わず/個人営業/雇用してもらえるのならどの形態でもいい/差別を受けない所/作家・講師(教授)/自宅/自宅のできる仕事/準社員/人とあまり関わらない仕事/図書館で働くことを希望。障害者枠の求人(司書)がないので残念です/生活介護を受けながら内職的な仕事/生活介護事業所/生活保護/短時間の自宅出来るバイト/長期スタッフ/店番/動ける限り自由に/年に合った。あると思う。現90才でも…/本人は正規雇用を希望しているが/役に立つことがあれば/働くことができない

<経年変化>

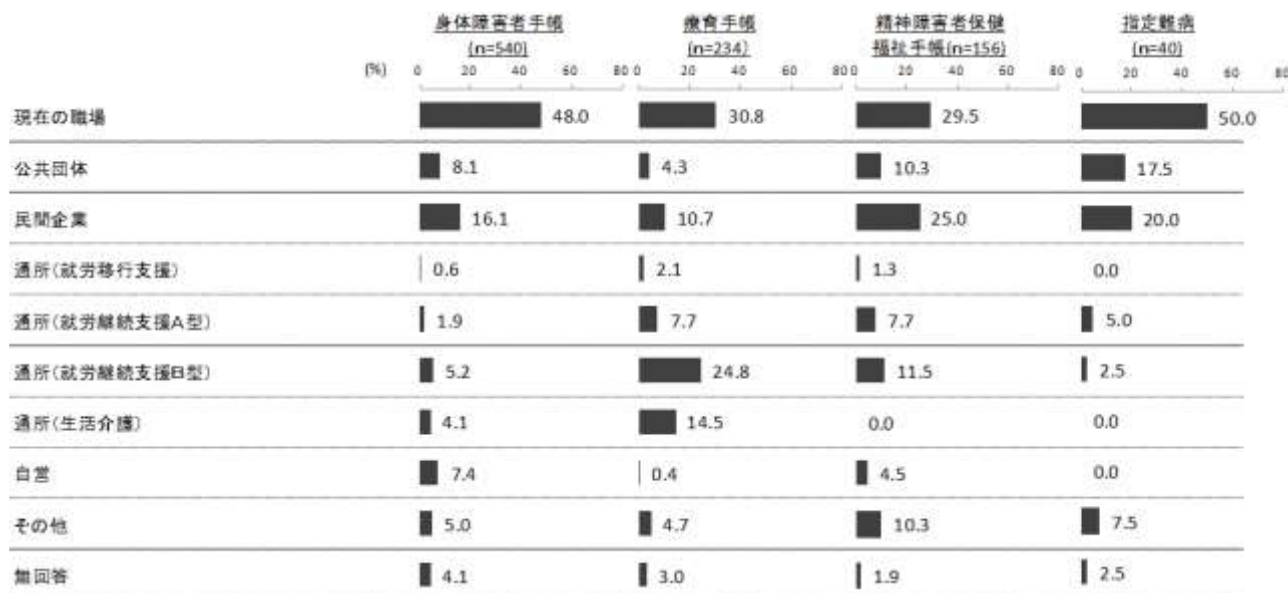
いずれの年も「正社員・正規職員」が最も高く、「パート・アルバイト」が続く。



※H28年までは「正社員・正規職員」を正規雇用、「契約」を「契約・嘱託」としていた

(問 39 で「1 はい」と答えた方にお伺いします)
付問② 今後、どのようなところで働きたいですか。(〇は1つ)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも「現在の職場」が最も高く、3～5割を占めている。療育手帳所有者では「通所（就労継続支援B型）も高い。



(その他)

自宅(5 件)/その時の体の状態に合う仕事(2 件)/どこでも(2 件)/わからない(2 件)/本人の適合する所(2 件)/1 から 8 にするために資金貯めています /ADHD を理解してもらえる所/サービス業、接客業など(本屋、アニメ専門店(アニメイト))/スーパー/ストレスの少ない日中働ける職場/よく分からないが精神障害者でも受け入れてくれる所/一般就労/現在の市民活動の事務所/現状で何ができ、働くことができるかわからない/個人事業主、フリーランス/公立図書館/差別を受けない所/在宅ライター/自宅・大学・テレビ局/自分でちゃんとした資格を取得して、ちゃんとした職場で働きたいと思いました/自分に何が出来るかわからない/人権を尊重し、生活基盤を維持できる職場/生活介護/全世界、パフォーマンス/足が不自由なので働けない/体に負担がかからない場所/短時間で/仲間と楽しく病気をやわらげて、だれもが安心できる場所/調理 or 医療機関/農業/病院/働きたいが不安が多く選べない

(7) 働くために必要な環境整備

問 40 あなたは、障がいのある人が働くためには、主にどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。
(○は4つまで)

身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者は「働く時間や日数を調整できること」が4割以上と最も高く、「障がい程度にあった仕事であること」「雇う側や同僚が障害を理解してくれること」が上位に挙がっている。療育手帳所有者では「障がいの程度にあった仕事であること」47.0%、「雇う側や同僚が障がいを理解してくれること」43.7%の順。

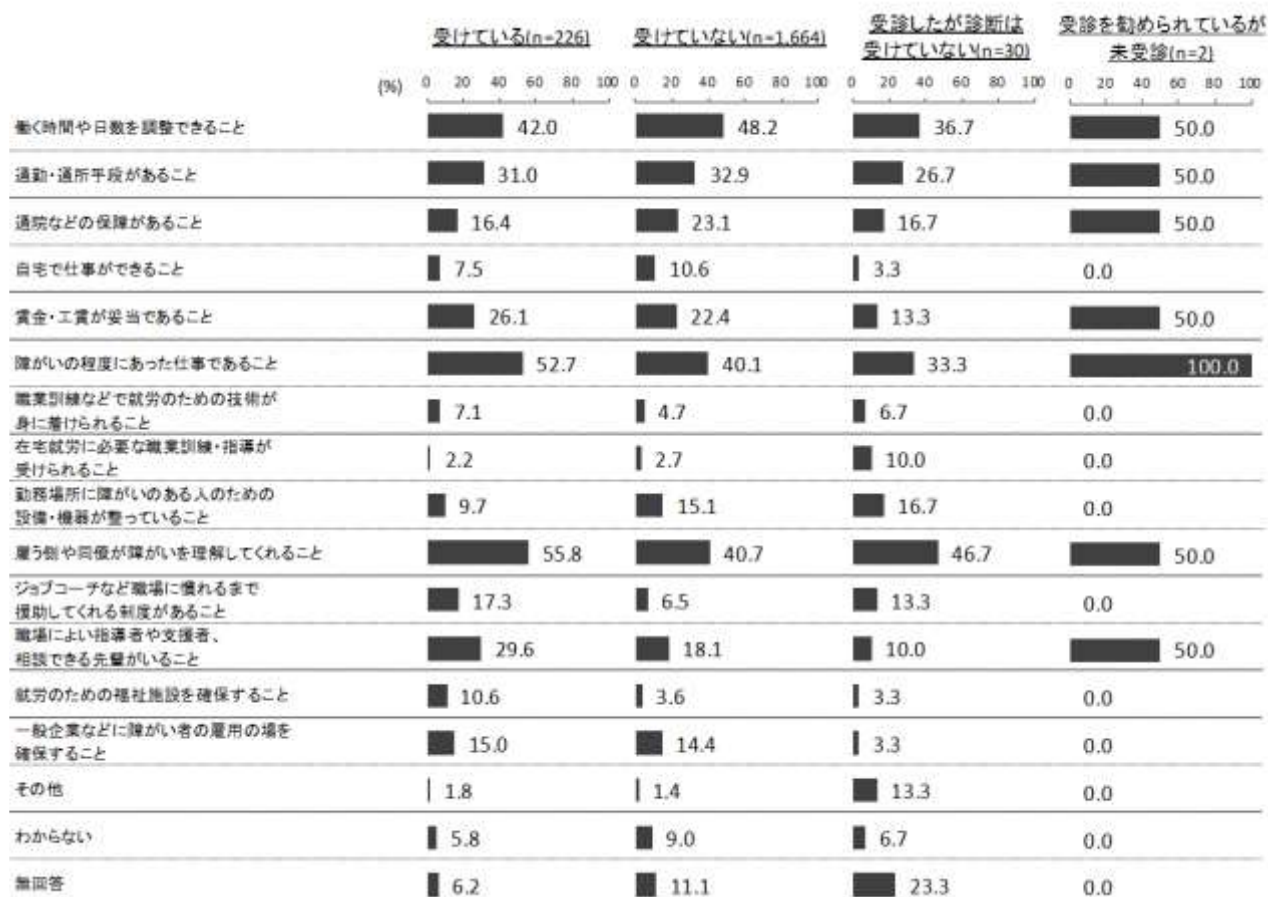
発達障がいの診断を「受けている」人についてみると、「雇う側や同僚が障がいを理解してくれること」が55.8%で最も高く、次いで「障がいの程度にあった仕事であること」52.7%。



(その他)

偏見や差別がないこと(5件)/1~14 全て(3件)/障害の理解(2件)/働けない(2件)/A型・B型で1000円以上の時給があること/スキルを身につけたいけど、長時間の訓練は体がもたないので、1時間単位でスキルを身につける施設が欲しい/ソフト面、障害の認知/テレワーク(在宅ワーク)の導入/バス利用が難しい(対応悪い)/まずは就労意欲、能力、希望とのマッチング(受け入れ側)/安心できる環境/意見をしても県が変わらなければ何も変わらない/家族の送迎が難しくなる為(年の為)、自宅までの送迎を希望する/会社での残業が多すぎるので、自分の体が心配であること/在宅勤務ができる仕事が受けられること/仕事でも重度訪問看護が使えること/自分が介護者でもある/親と子が一緒に働ける場所/体調などで突然休めるように対応できること/農業分野で働けるよう関係団体の障がい者への理解をお願いしたい/発症以来35年間働いた事はありません。就労に必要な環境は何なのか想像できません/本人障がい者/免疫不全に対する差別解消

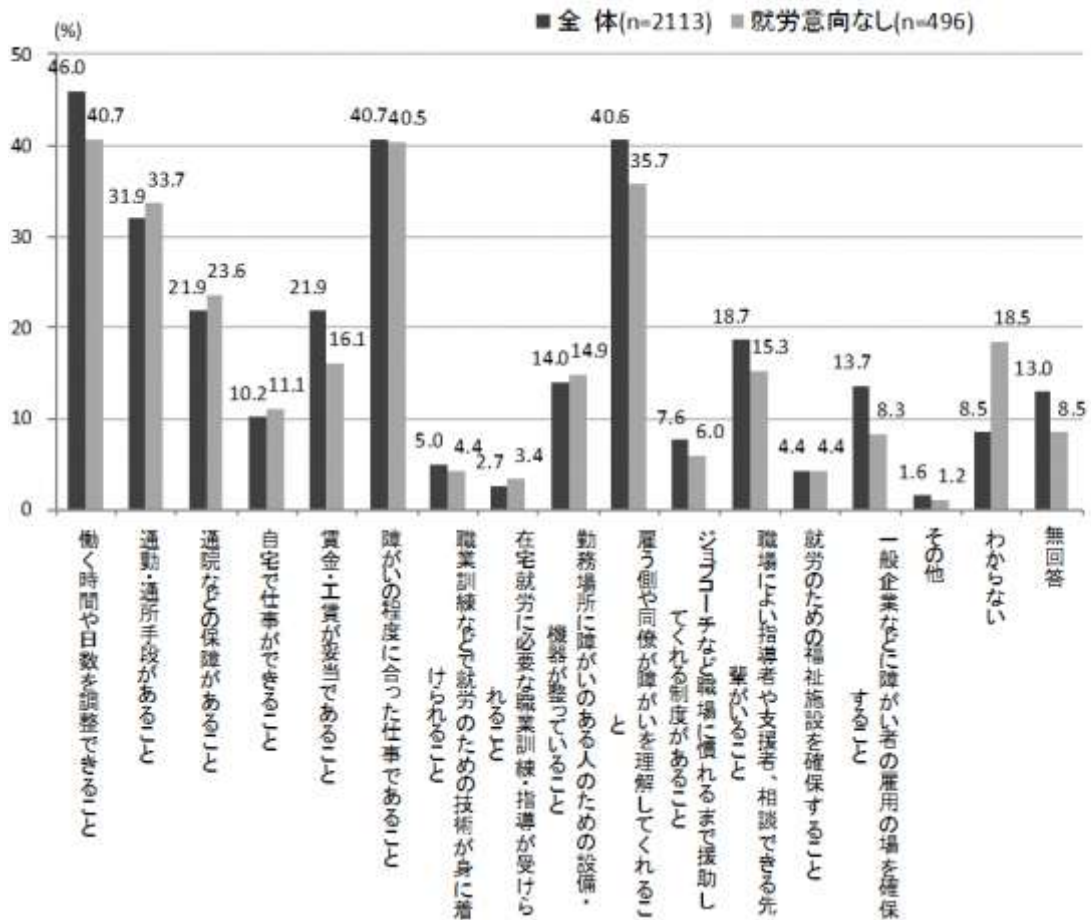
<発達障がいの診断有無別>



＜今後の就労意向の有無別＞

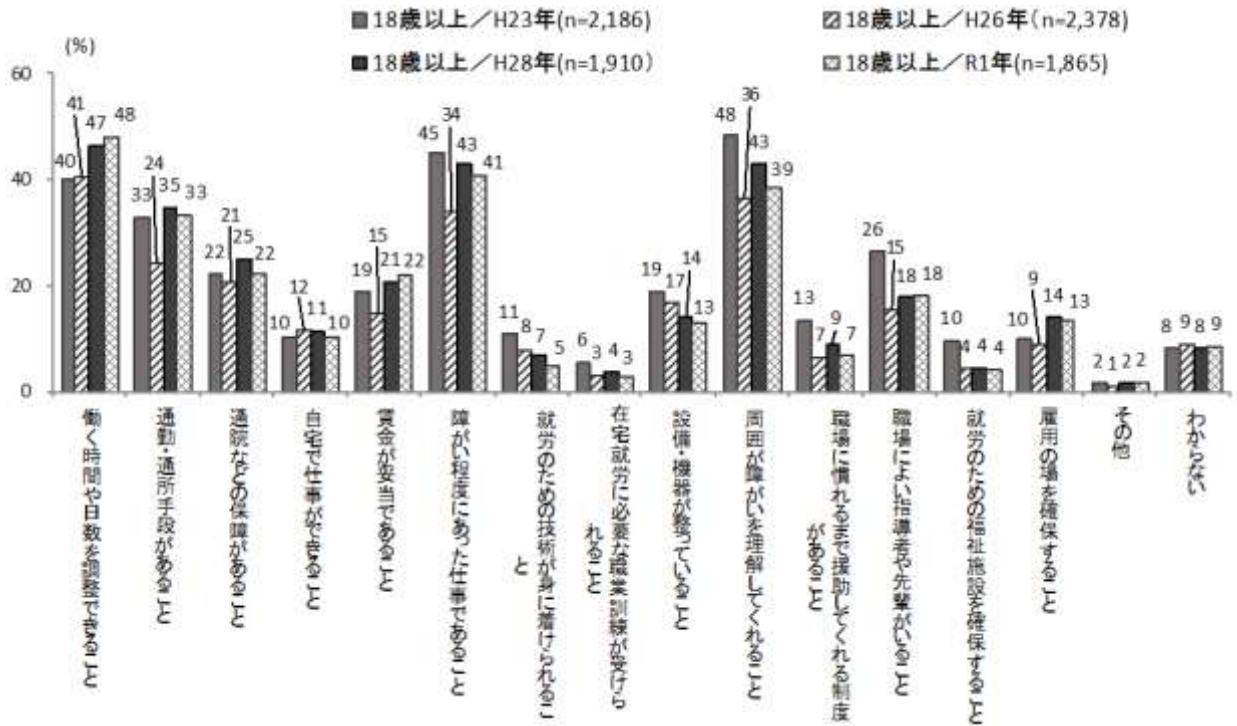
就労意向がない人では、「通勤・通所手段があること」「通院などの保証があること」「自宅で仕事ができること」「勤務場所に障がいのある人のための設備・機器が整っていること」などの希望が高い。

		単位 %、()内実数																
		働く時間や日数を調整できること	通勤・通所手段があること	通院などの保証があること	自宅で仕事ができること	資金・工賃が妥当であること	障がいの程度に合った仕事であること	職業訓練などで就労のための技術が身に着けられること	在宅就労に必要な職業訓練・指導が受けられること	勤務場所に障がいのある人のための設備・機器が整っていること	雇う側や同僚が障がいを理解してくれること	ジョブコーチなど職場に慣れるまで援助してくれる制度があること	職場により指導者や支援者、相談できる先輩がいること	就労のための福祉施設を確保すること	一般企業などに障がい者の雇用の場を確保すること	その他	わからない	無回答
全体	(2113)	46.0	31.9	21.9	10.2	21.9	40.7	5.0	2.7	14.0	40.6	7.6	18.7	4.4	13.7	1.6	8.5	13.0
就労意向あり	(907)	57.8	37.5	24.7	8.5	29.5	49.6	6.3	1.9	17.3	52.1	9.2	25.5	4.6	21.5	2.1	2.8	1.2
就労意向なし	(496)	40.7	33.7	23.6	11.1	16.1	40.5	4.4	3.4	14.9	35.7	6.0	15.3	4.4	8.3	1.2	18.5	8.5
わからない	(323)	48.6	31.9	26.0	17.0	23.5	41.2	4.0	3.7	13.6	44.3	11.1	19.2	5.3	9.6	1.5	12.7	2.2



<経年変化>

過去の調査結果と比較すると、「働く時間や日数を調整できること」「賃金が妥当であること」の割合が高くなっている。



9. 権利擁護について

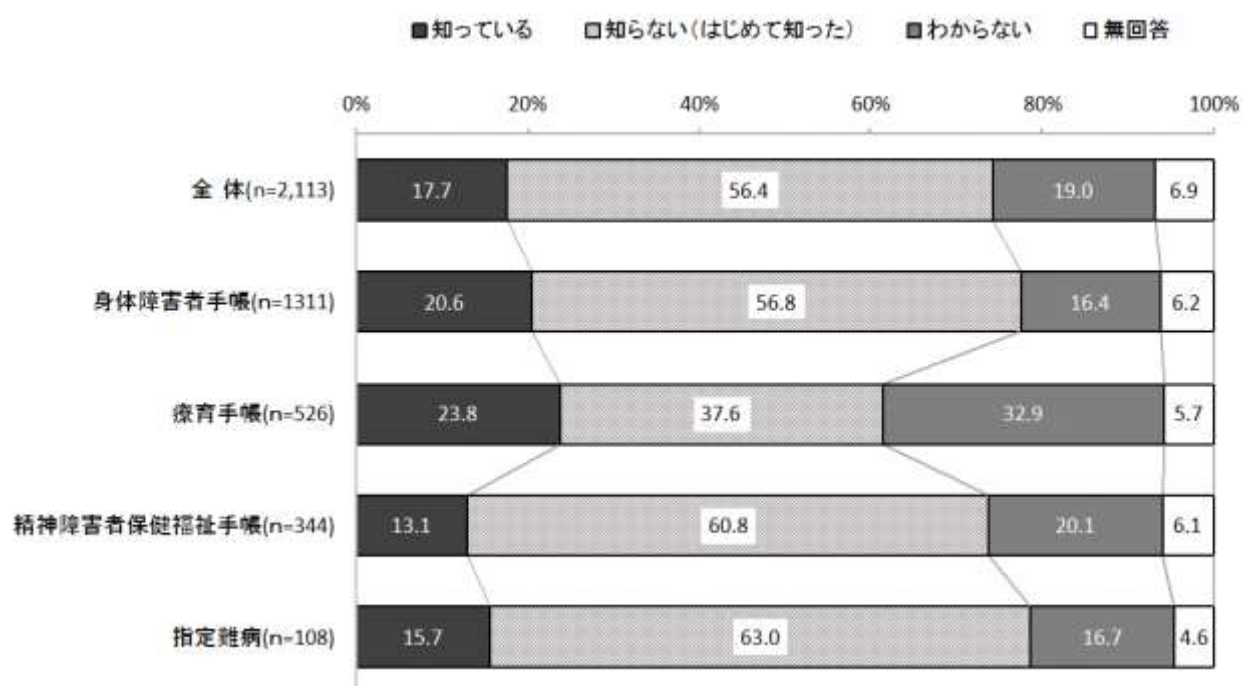
(1) 「障害者差別解消法」の認知状況

問 41 あなたは、平成 28 年4月1日から施行された「障害者差別解消法(37ページ参照)」を知っていますか。
(○は1つ)

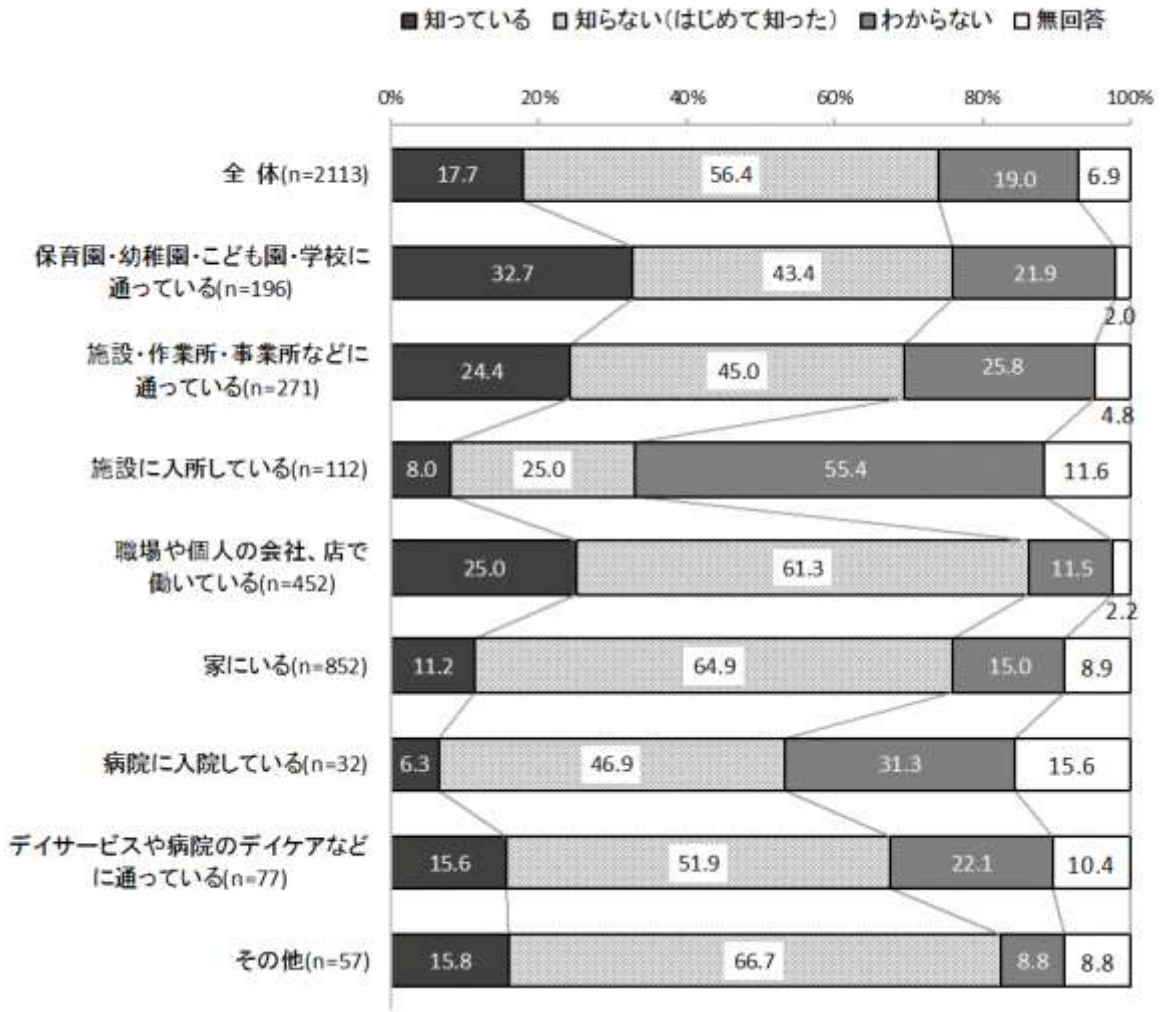
「障害者差別解消法」を認知している人は、全体の17.7%。

療育手帳所有者では認知している人が23.8%とやや高い。

日中、主に過ごす場所別で見ると、「保育園・幼稚園・こども園・学校に通っている」人で3割以上の認知、「職場や個人の会社、店で働いている」人、「施設・作業所・事業所などに通っている」人の認知は2割以上となっている。

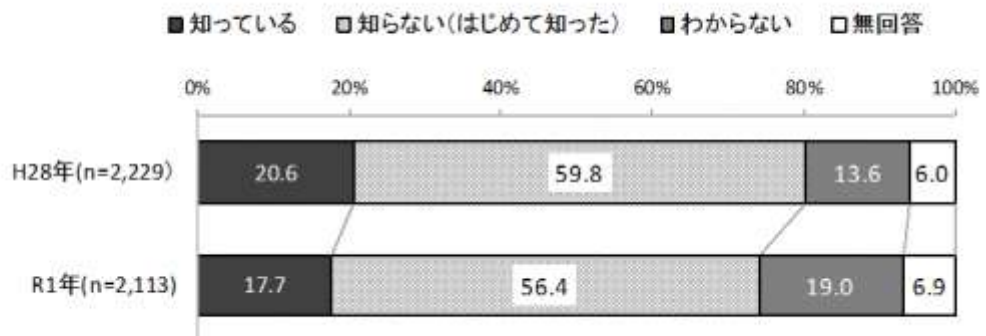


<日中、主に過ごす場所別>



<経年変化>

平成 28 年の調査結果と比較すると、認知度がやや低下している。



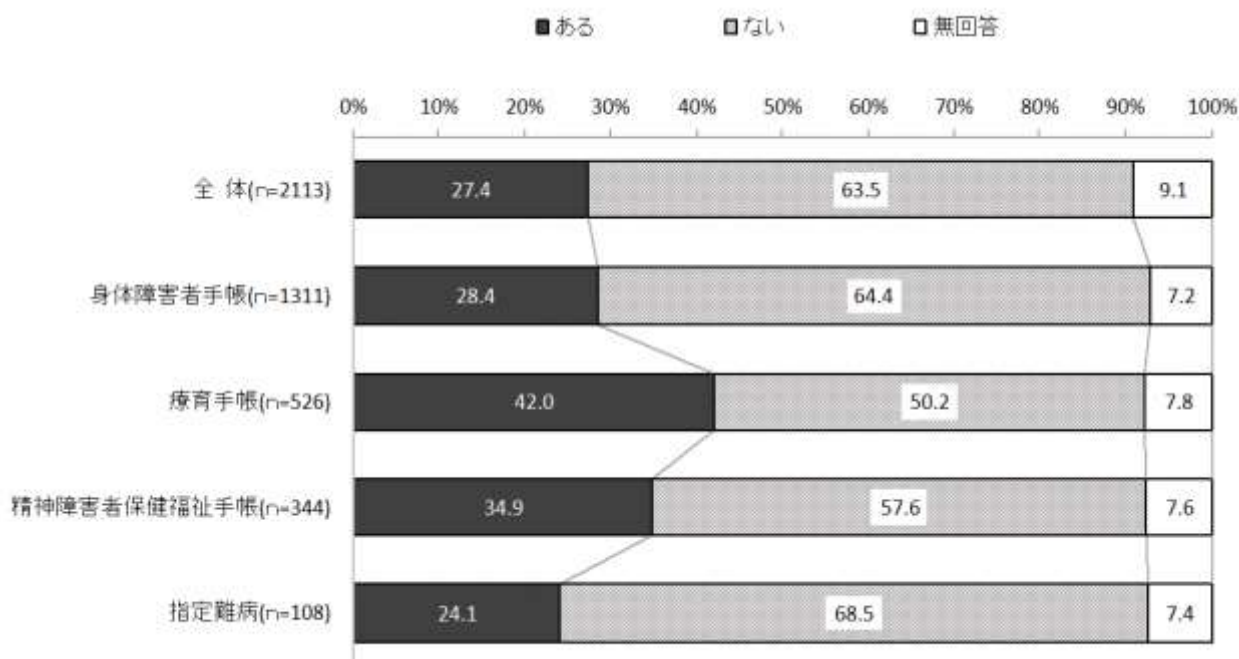
(2) 差別を受けた経験

問 42 あなたは、障がいを理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。(○は1つ)

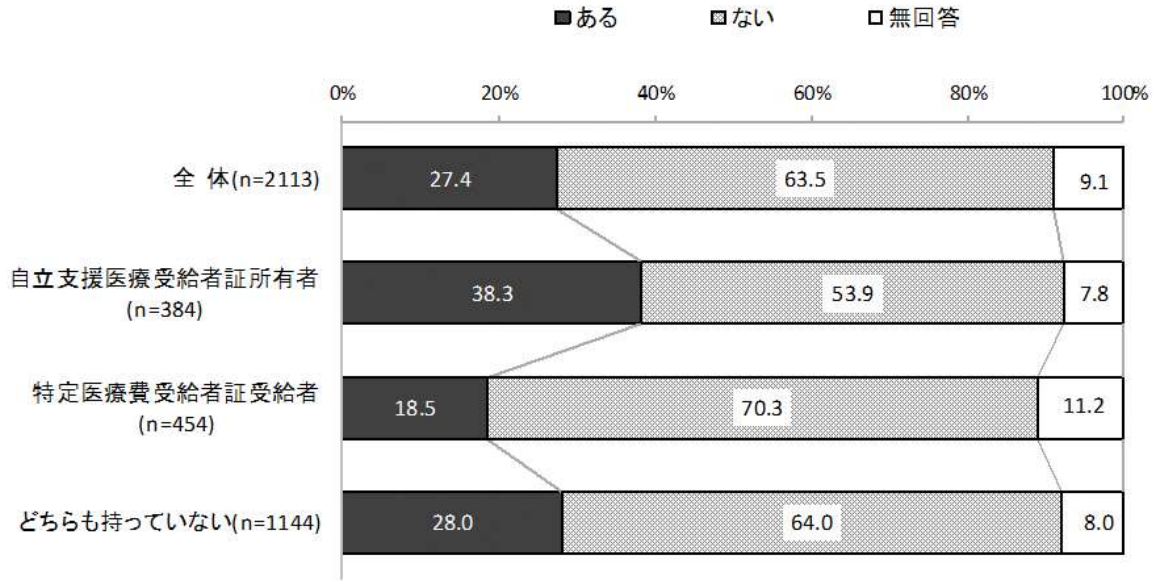
差別を受けた経験がある人は、身体障害者手帳所有者は 28.4%、療育手帳所有者は 42.0%、精神障害者保健福祉手帳所有者は 34.9%、指定難病者は 24.1%となっている。

受給者証有無別で見ると、自立支援医療受給者証所有者は 38.3%、特定医療費受給者証所有者は 18.5%となっている。

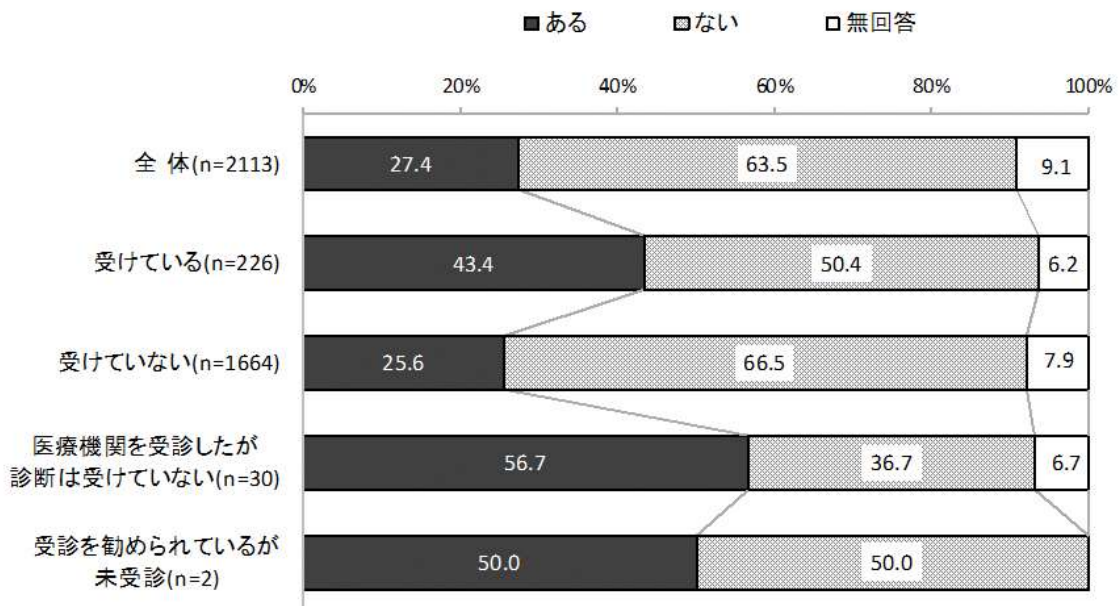
発達障がいの診断有無別で見ると、「受けている」人は 43.4%となり、診断を受けていない人に比べて高くなっている。



<受給者証有無別>

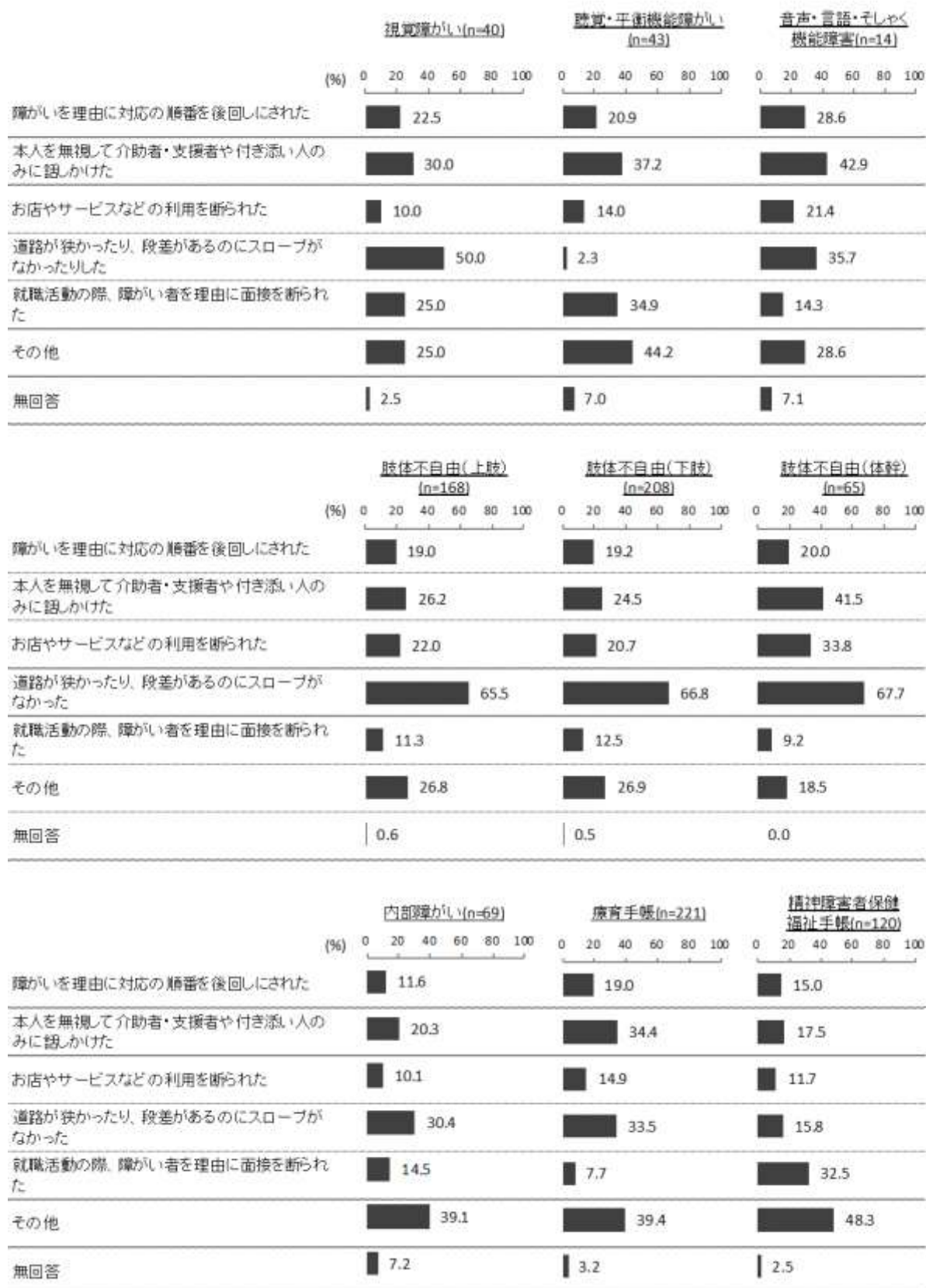


<発達障がいの診断有無別>

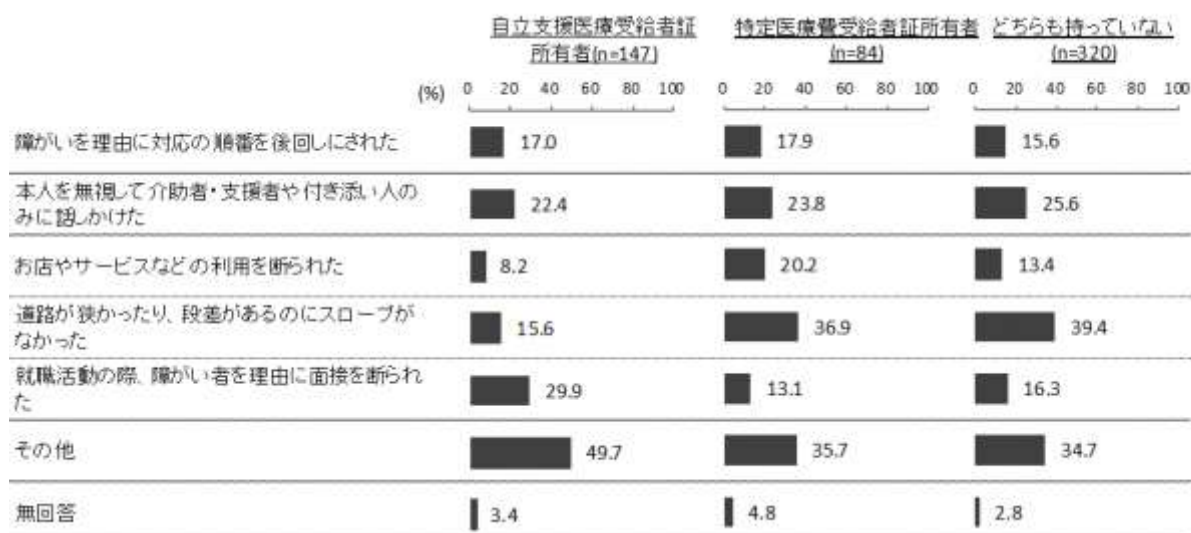


- ・ バス対応
- ・ タクシーで「車椅子をしまっで欲しい」と言ったら「分からない、やってくれ」と運転手に言われた
- ・ タクシーで割引を断られた
- ・ バスの中で運転手さんに叱られた
- ・ バスを降りるとき、障害のある自分だけ、「ありがとう」を言われなかった（料金が半額なので）
- ・ 駅でぶつかってきた
- ・ 駅で改札を通ろうとしたら、待つよう言われ電車に乗るのが遅くなった
- ・ 外出時スーパーで酸素ボンベをけられた、タクシー手帳を出そうとしたらメーターを切られたのが1回
- ・ 杖をけられたりする（駅など）
- ・ 電車の中で嫌がらせ
- ・ 電車内、学校で障害を理由に陰口をいわれた
- ・ 健常者の人と同じように働けない事に嫌味言われたり、なかなか理解されなかった
- ・ 他の人と同じ様な行動がとれない。動作が遅いので置いていかれる
- ・ これまでに2回転職している。すべて病気が原因。体調不良で休みが多くなってしまったため、仕方がないとは思う。差別ということではないかもしれないが、障がいがいなければそうはならなかった
- ・ 給料を下げられた
- ・ 仕事で難しい作業を与えて、会社を辞めさせた
- ・ 仕事の継続が困難な時に継続を強要された
- ・ 私に障害があるため、色々な人に迷惑をかけた、子供、主人が色眼鏡で見られたような気がする。被害妄想かもしれないが
- ・ 周りの見る目が変わった
- ・ 就労移行、B型職業訓練で障がい者より事業所側の立場を(都合を)押し通され、障がい者の支援になっていない
- ・ 障がいについて理解してもらえなかったり、無視をされたりします
- ・ 障がいを理解されない
- ・ 障害に気づかれず、普通に話され内容が分からない(聴力)
- ・ 職員からのパワハラ
- ・ 心理的に侮辱を受けたり理不尽な思いをした(ネグレクト等含む)
- ・ 身体的特徴
- ・ 静岡で視覚障害者の雇用が無い
- ・ 選挙の時3人も人が付き添い確認(4回位)をしていた
- ・ 体調不良の理解がされず、バカにされた
- ・ からかい
- ・ しゃべれない為に痴漢にあった
- ・ 下にみられる
- ・ 子どもが20才になった時病気の事を告げたら私を避けるようになった
- ・ 市役所で投票して役所の出入りの所で投票に関するアンケートを書くよう職員さんに声をかけられたので、耳が聞こえないことを伝え、その職員さんが「ごめんなさい」と後ずさりされて嫌な気分になりました。そういう似たようなことが店にもあります
- ・ 車椅子の為人の目が気になる
- ・ 若くてオシャレしていると障害者駐車場(車イス)に停めようとしたら、車を降りるまで見ている人が多い。停めないように立ちはだかる人もいる
- ・ 障害があるだけでバカにされ見下された<今も>
- ・ 白い目で見られたり、バカにされた
- ・ 筆談をしてもらえなかった
- ・ 聞こえたふりをしてよく間違えてなぐられた
- ・ 無視
- ・ 無視・ヒソヒソ話
- ・ 無視や暴言
- ・ 迷惑がられた
- ・ 親族間の会話
- ・ 態度が変わる
- ・ 大学のゼミで先生にばらされた
- ・ 医療を断られた
- ・ 園の入園を断られた
- ・ 何度も仕事をくびになった
- ・ 会社をクビ
- ・ 義務教育を断られた
- ・ 市立こども園を断られた
- ・ 受験を断られた
- ・ 就職先がない
- ・ 障がいでは話ができないと断られた
- ・ 障害の重さで断られる事がある
- ・ 乗車拒否、入店拒否など
- ・ 職・資格を断られた
- ・ 幼稚園(■)入園相談を断られた
- ・ ①診察を医師に拒否された②物損事件の申請をしたのに、事件の詳しい状況を話に行ったのに、警察に確認したら交番の担当の人がいい加減に扱い、事件として申請されていなかった
- ・ 知らない人間から嫌がらせを受けた
- ・ 知的障害の人、特に重度については、いろんなことで嫌なことが多いです
- ・ 中傷をうけた
- ・ 犯罪者扱いされる(病院の受付、近所の人々、家族)
- ・ 医者にバカにされるのが一番イヤ
- ・ 病院で気になる事やプライベートな事を言われた
- ・ 歯科で嫌味を言われた
- ・ 上に書かれている事は、外出できたり、ある程度自分の事が出来る人のこの様に思います。もっと何も出来ず、外出すらも考えてしまう人達には当てはまらないと思います。でも近頃、病院などはとても対応が変わってきて、安心してかかれる様になっていることはうれしく思います
- ・ 接骨院へ診察に行った時に、先生とあまりかみ合わなかったこと
- ・ 病院で病名を濁して伝えられた。恥ずかしいことではないので、濁さなくてよい
- ・ 病気だからと距離を置いた対応をされた
- ・ 病気入院の為仕事を辞める
- ・ 変な食べ物を人からもらった
- ・ 保育園の入園に時間がかかり、なかなか許可が出ず難航した
- ・ 友達づきあい
- ・ 理解がない

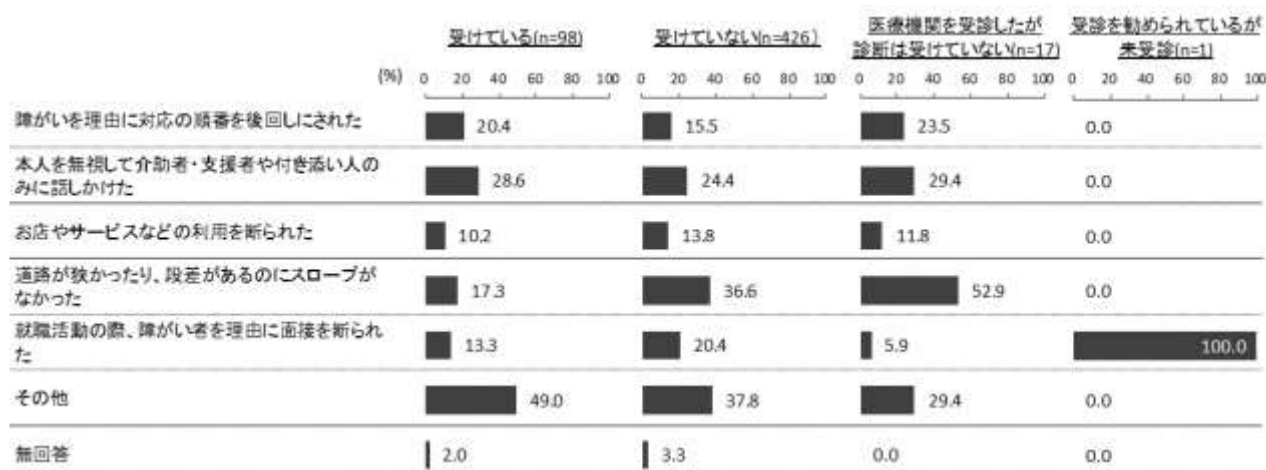
<手帳の種類（詳細）別>



<受給者証有無別>



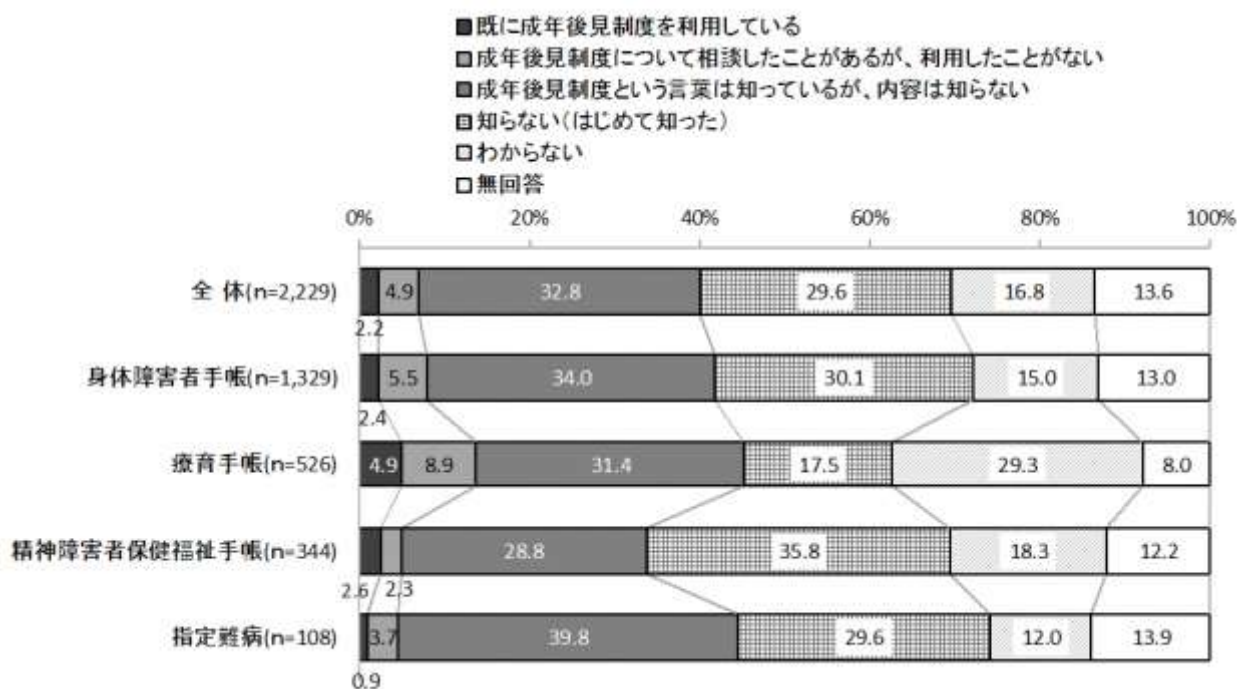
<発達障がいの診断有無別>



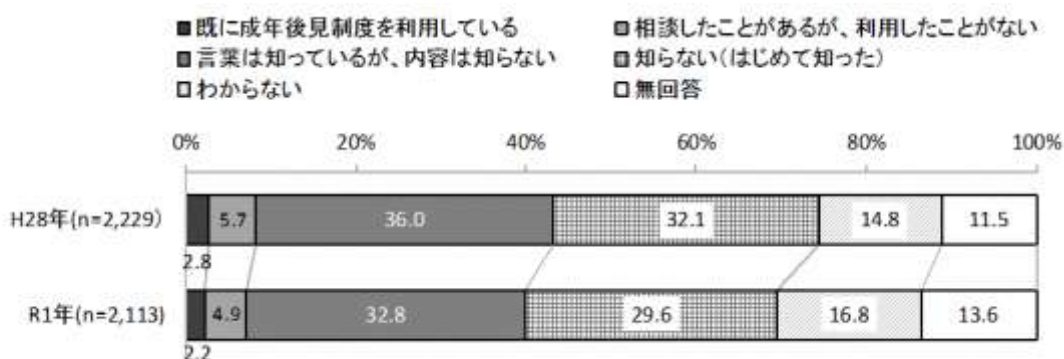
(3) 成年後見制度の認知状況

問 43 あなたは「成年後見制度(38ページ参照)」があることを知っていますか。(○は1つ)

「成年後見制度という言葉は知っているが、内容は知らない」が身体障害者手帳所有者で34.0%、療育手帳所有者で31.4%、指定難病者で39.8%と最も高い。精神障害者保健福祉手帳所有者は、「知らない(はじめて知った)」が35.8%と最も高くなっている。



<経年変化>

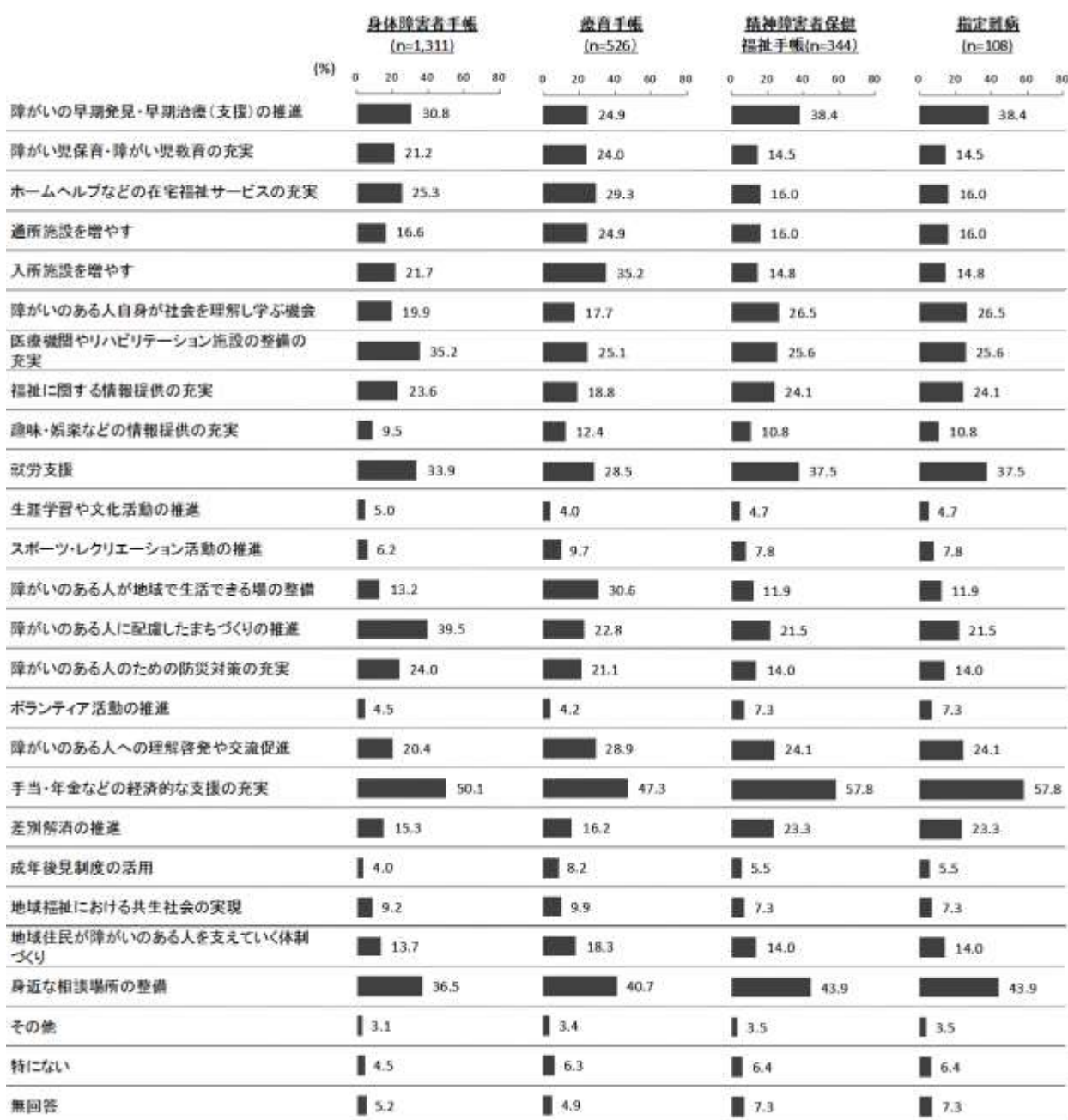


10. 障がい福祉に関する施策について

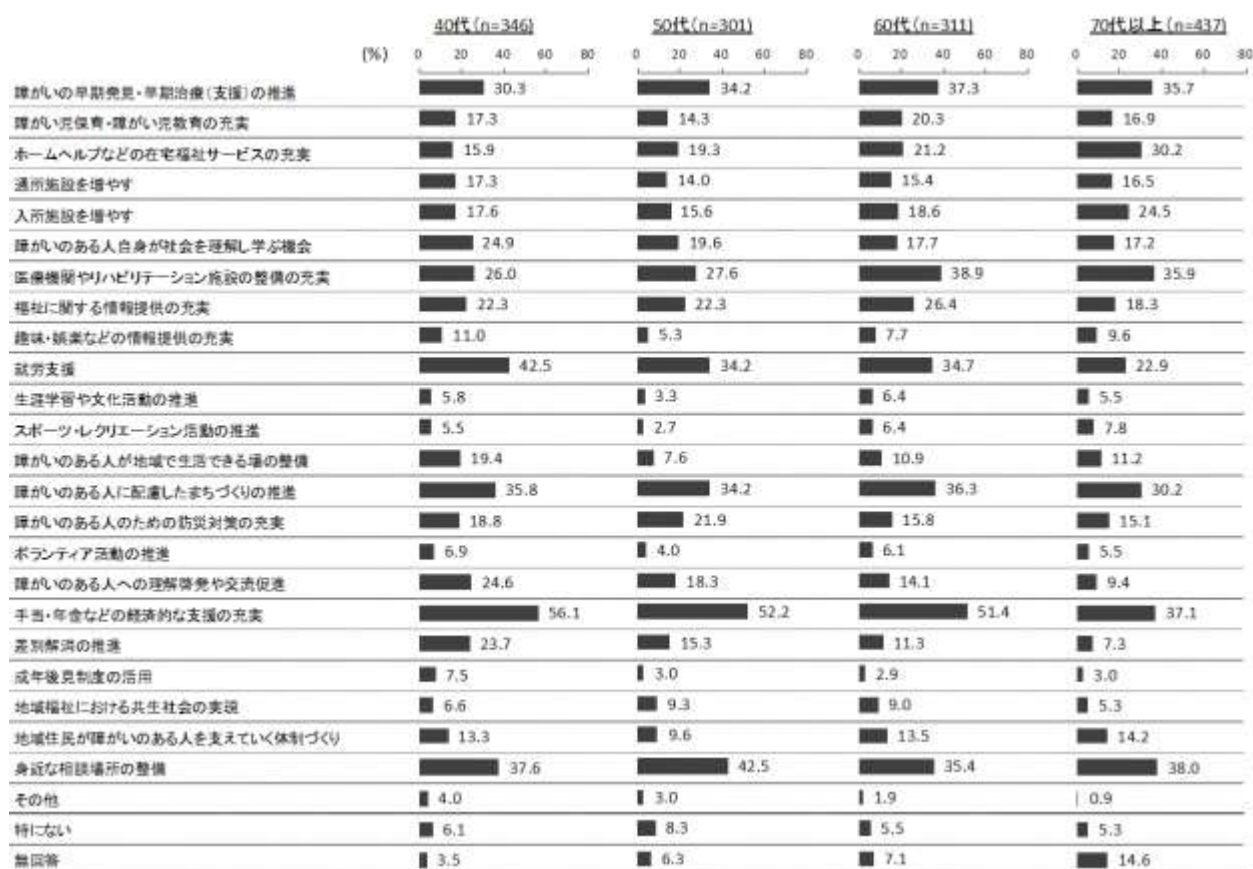
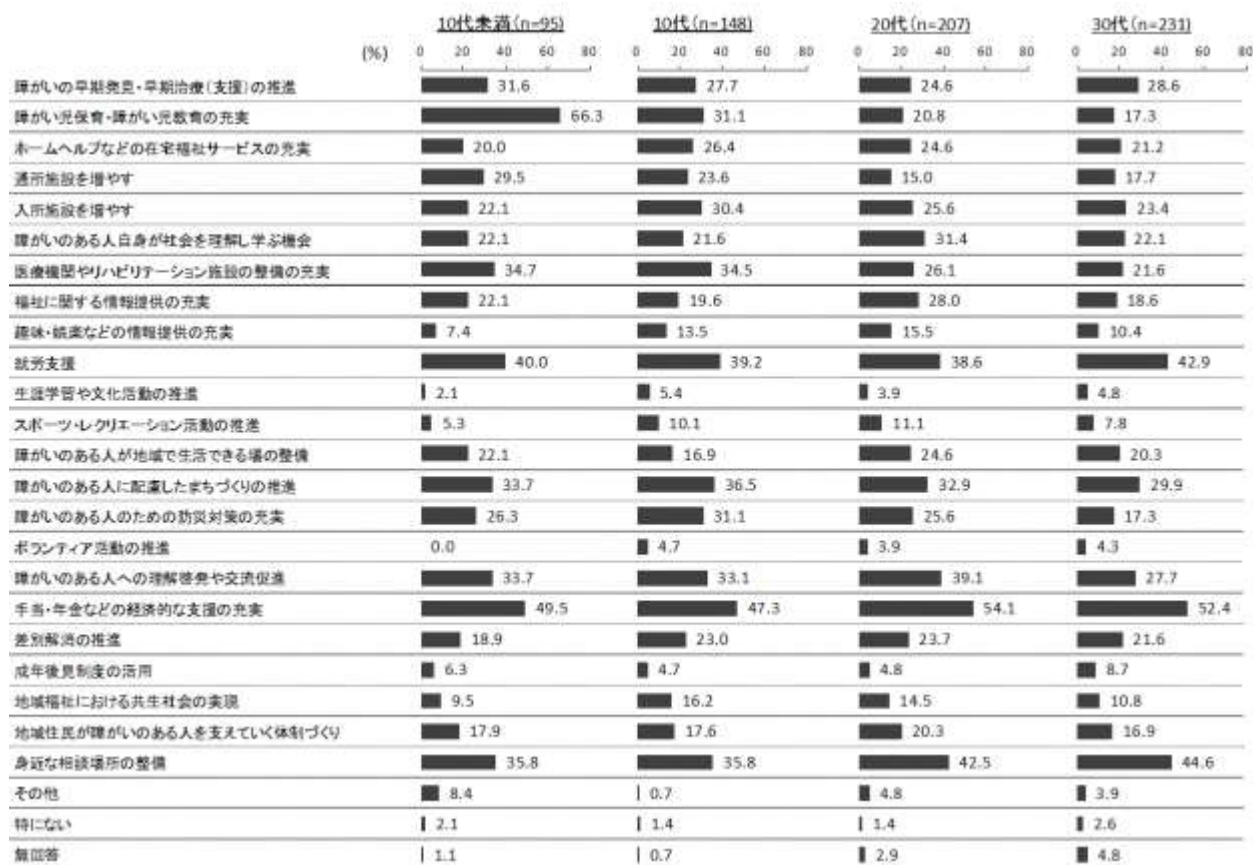
(1) 障がい福祉事業への要望

問 44 あなたは、障がいのある人が安心して暮らしていくために、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は7つまで)

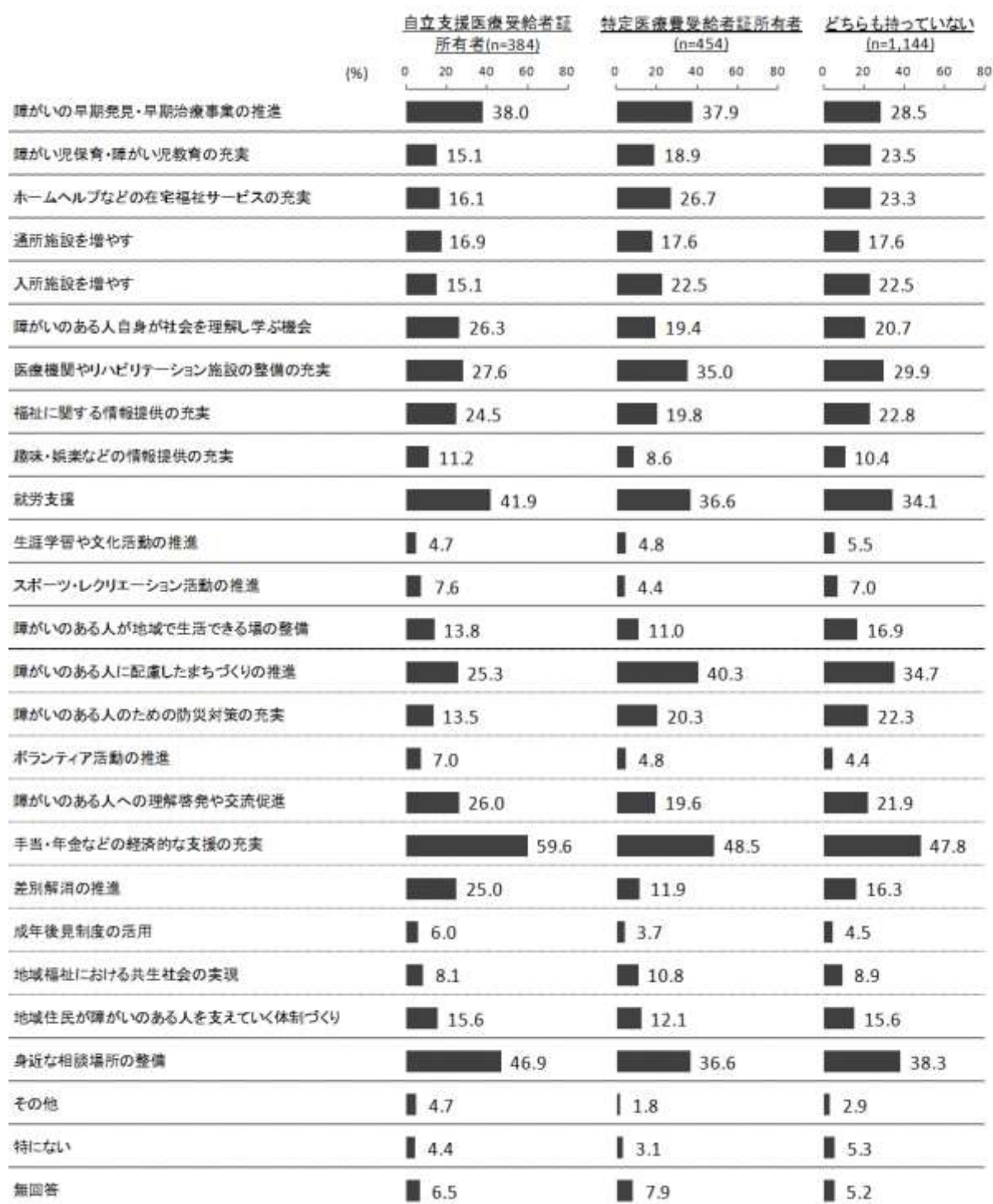
身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも「手当・年金などの経済的な支援の充実」がトップ。身体障害者手帳所有者では、「障がいのある人に配慮したまちづくりの推進」「身近な相談場所の整備」と続く。療育手帳所有者は、次いで「身近な相談場所の整備」「入所施設を増やす」が高い。精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者は次いで「身近な相談場所の整備」「障がいの早期発見・早期治療（支援）の推進」が高くなっている。



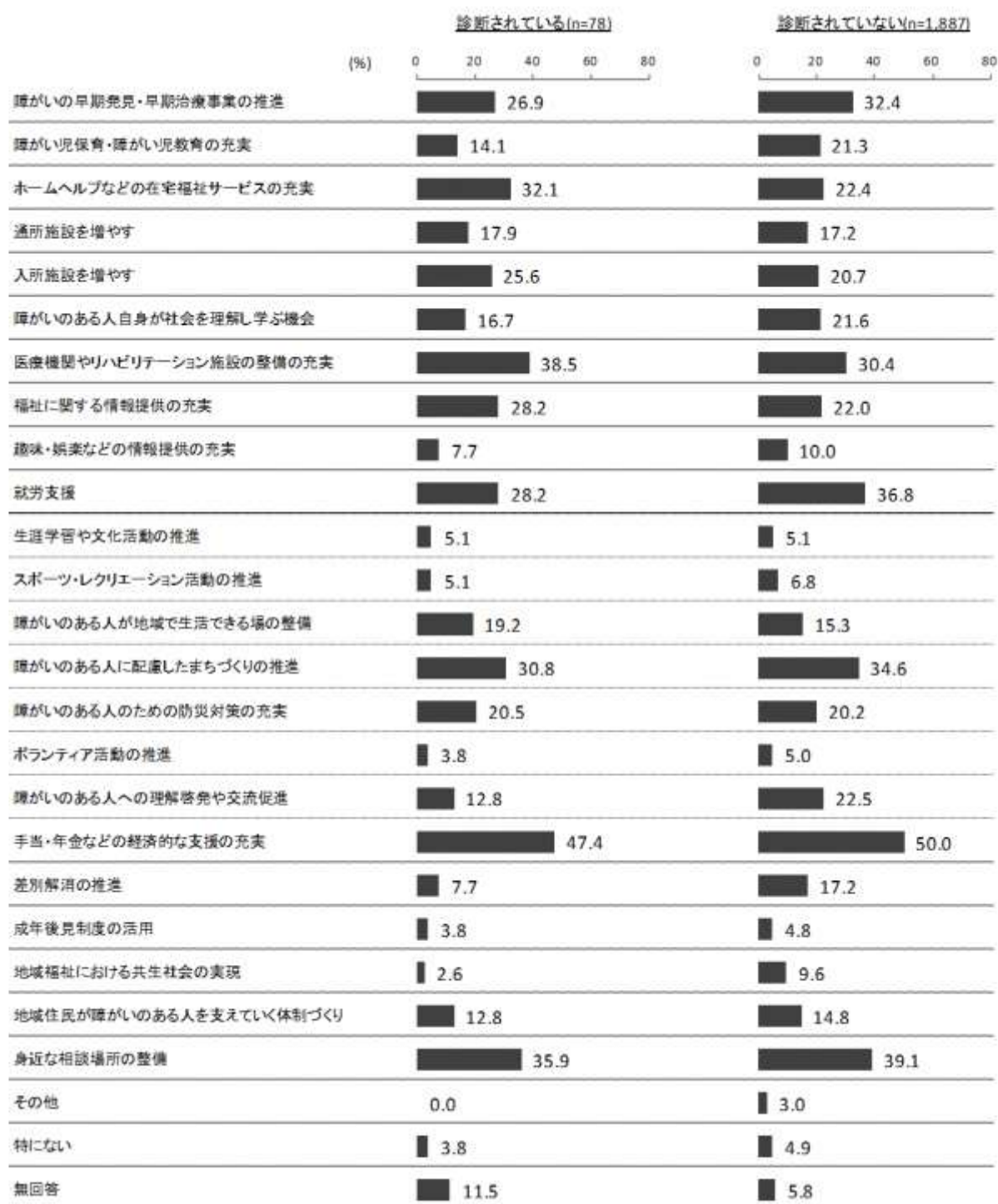
<年齢別>



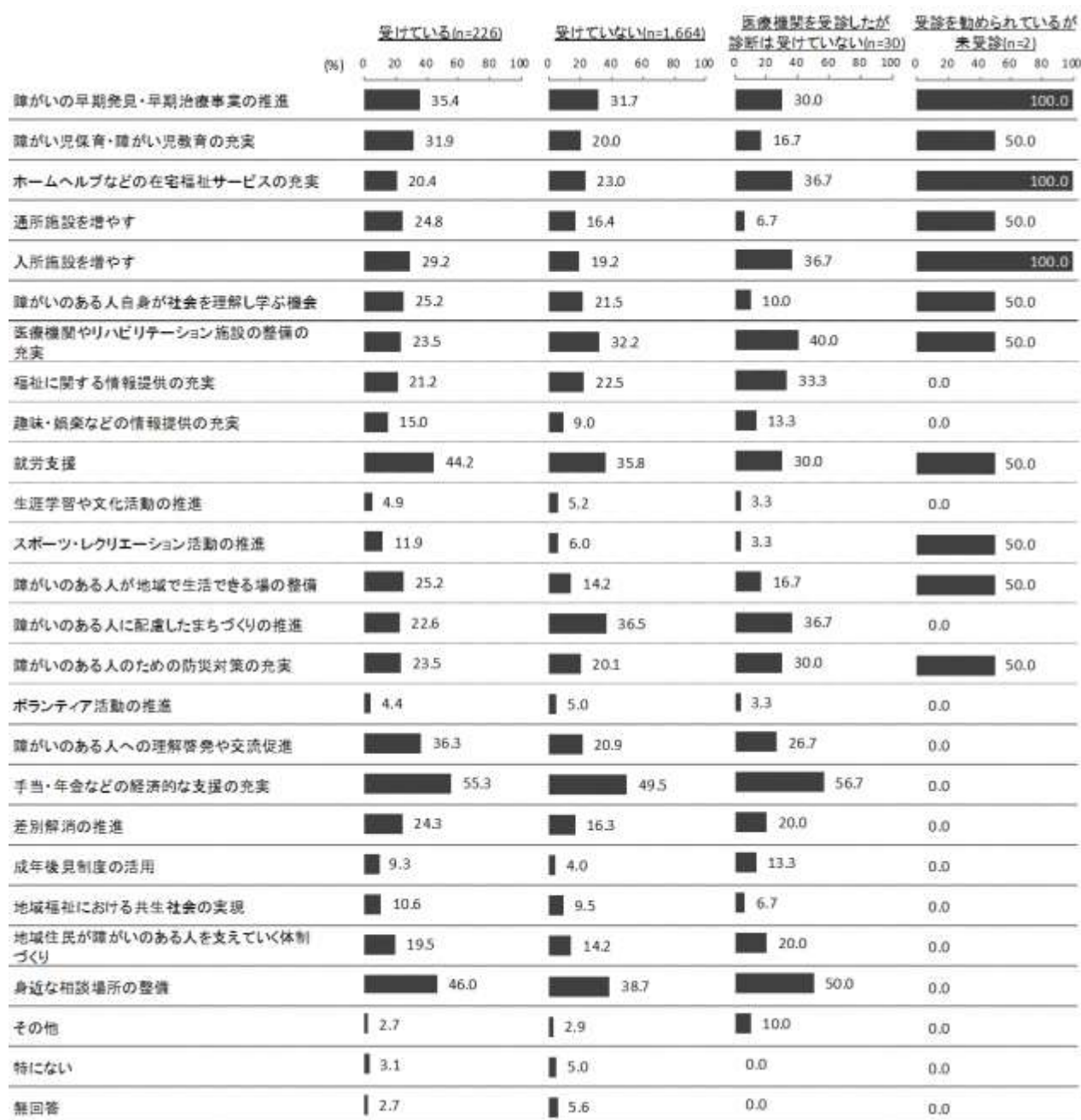
<受給者証有無別>



＜「高次脳機能障害」診断別＞



<発達障がいの診断有無別>



<経年変化>

過去の調査結果と比較すると、「障がい児保育・障がい児教育の充実」「建物や交通機関、道路など障がいのある人に配慮したまちづくりの推進」「医療機関やリハビリテーション施設の整備の充実」が高くなっている。18歳以上については、「就労支援」も増加傾向にある。

- ※平成28年調査・平成26年調査・23年調査では、「障がいの早期発見・早期治療（支援）の推進」は「障がいの早期発見・早期治療事業の推進」、「医療機関やリハビリテーション施設の整備の充実」は「医療機関やリハビリテーション整備の充実」という表現の選択肢になっている。
- ※平成26年調査・平成23年調査「障がいのある人自身が社会を理解し学ぶ機会」「趣味・娯楽などの情報提供の充実」「地域福祉における共生社会の実現」「差別解消の推進」「政権後見制度の活用」は選択肢に含まれていない。
- ※平成23年調査では、「地域に住む人が力を合わせて障がいのある人を支えていく体制づくり」「困ったときに、いつでも何でも相談できる身近な相談場所の整備」は選択肢に含まれていない。「グループホームなどの障がいのある人が地域で生活できる場の整備」は「障がい者が住みやすい住宅の確保や居住環境の改善・整備をはかってほしい」という表現の選択肢になっている。

単位%、()内実数

		障がいの早期発見・早期治療(支援)の推進	障がい児保育・障がい児教育の充実	ホームヘルプ・ショートステイなどの在宅福祉サービスの充実	通所施設を増やす	入所施設を増やす	障がいのある人自身が社会を理解し学ぶ機会	医療機関やリハビリテーション施設の整備の充実	福祉に関する情報提供の充実	趣味・娯楽などの情報提供の充実
18歳未満	H23年 (625)	20.5	39.4	17.4	29.4	18.4		18.7	28.5	
	H26年 (117)	29.9	45.3	22.2	32.5	23.1		24.8	20.5	
	H28年 (215)	27.0	46.0	21.9	24.7	21.4	27.0	33.0	27.0	9.8
	R1年 (211)	29.9	47.4	22.7	26.1	26.1	20.9	33.6	20.4	9.0
18歳以上	H23年 (2186)	16.3	8.6	20.5	16.0	22.6		16.0	21.2	
	H26年 (2378)	32.6	17.1	20.9	16.8	23.7		27.5	19.6	
	H28年 (1910)	28.4	18.7	23.4	19.1	22.4	19.4	34.1	23.8	10.2
	R1年 (1865)	32.4	17.8	22.6	16.2	21.0	21.4	30.5	22.2	9.9

		就労支援	生涯学習や文化活動の推進	スポーツ・レクリエーション活動の推進	グループホームなどの障がいのある人が地域で生活できる場の整備	建物や交通機関、道路など障がいのある人に配慮したまちづくりの推進	障がいのある人のための防災対策の充実	ボランティア活動の推進	障がいのある人への理解啓発や交流促進	手当・年金などの経済的な支援の充実
18歳未満	H23年 (625)	52.6	7.5	10.6	21.8	16.8	41.8	4.2	28.5	45.1
	H26年 (117)	52.1	4.3	5.1	23.9	17.9	18.8	3.4	29.9	55.6
	H28年 (215)	52.1	6.0	10.7	22.3	30.2	26.5	7.0	33.0	53.0
	R1年 (211)	38.4	4.3	8.5	19.0	35.5	29.4	3.3	33.2	47.4
18歳以上	H23年 (2186)	18.3	5.4	6.5	23.7	19.2	24.9	4.4	16.1	39.9
	H26年 (2378)	24.3	5.2	5.3	12.7	28.5	16.2	5.7	14.9	48.2
	H28年 (1910)	35.4	4.7	7.3	17.6	34.7	17.9	5.7	19.1	50.0
	R1年 (1865)	35.0	5.0	6.6	14.9	33.2	18.7	5.2	20.4	49.5

		差別解消の推進	成年後見制度の活用	地域福祉における共生社会の実現	地域に住む人が力を合わせて、障がいのある人を支えていく体制づくり	困った時に、いつでも何でも相談できる身近な相談場所の整備	その他	特になし	無回答
18歳未満	H23年 (625)				28.2	36.8	5.1	0.9	4.3
	H26年 (117)								
	H28年 (215)	21.9	9.3	11.2	25.1	42.8	4.2	0.9	1.4
	R1年 (211)	21.3	5.2	12.3	19.9	37.9	4.3	1.9	0.9
18歳以上	H23年 (2186)				16.1	42.4	1.7	3.8	10.5
	H26年 (2378)								
	H28年 (1910)	15.8	5.1	8.5	16.4	42.1	2.9	3.9	6.9
	R1年 (1865)	16.1	4.8	8.8	14.0	39.2	2.8	5.1	7.2

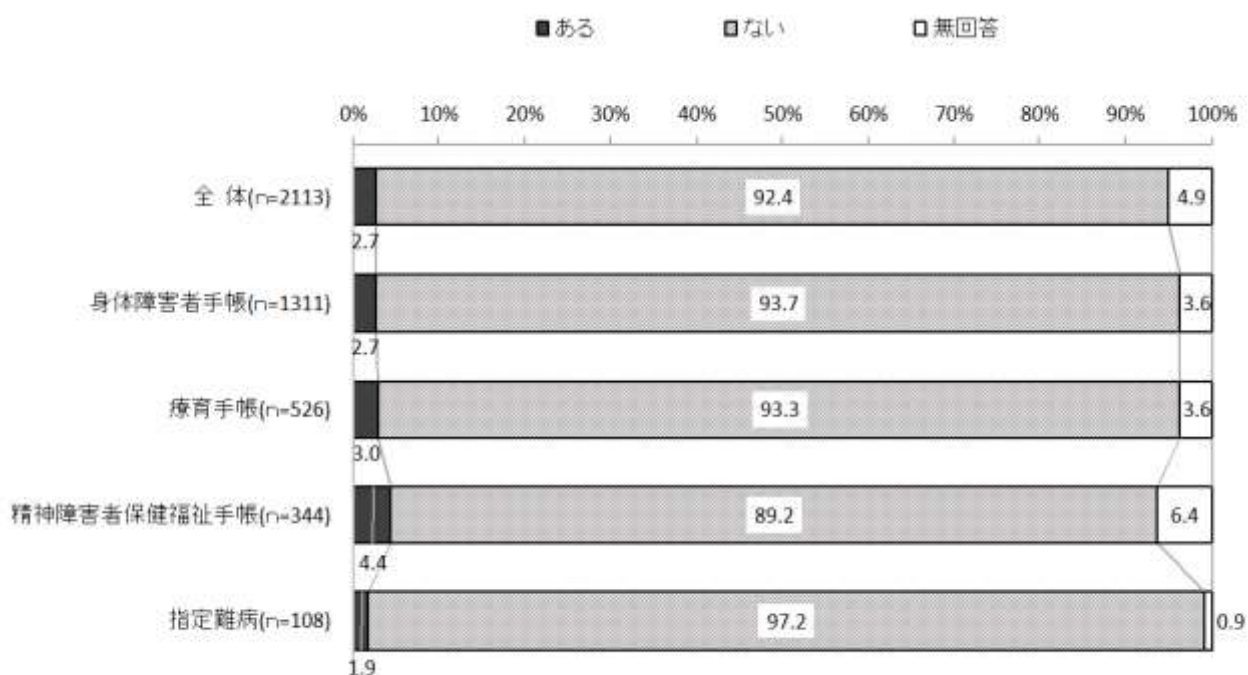
11. 静岡市立図書館の福祉サービスについて

(1) 静岡市立図書館の福祉サービスの利用有無

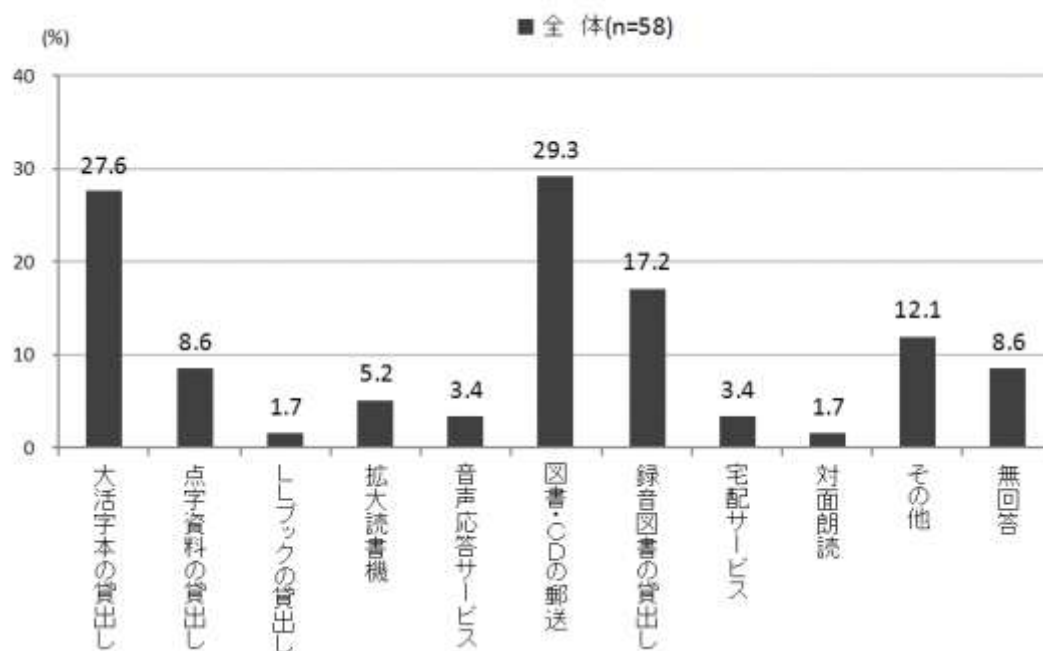
問 45 あなたは今までに静岡市立図書館の福祉サービス(40ページ参照)を利用したことがありますか。
(○は1つ)

身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも「ない」が9割を占める。

サンプル数が少ないので参考程度だが、利用したサービスは全体で「図書・CDの郵送」「大活字本の貸し出し」が2割台と特に高くなっている。

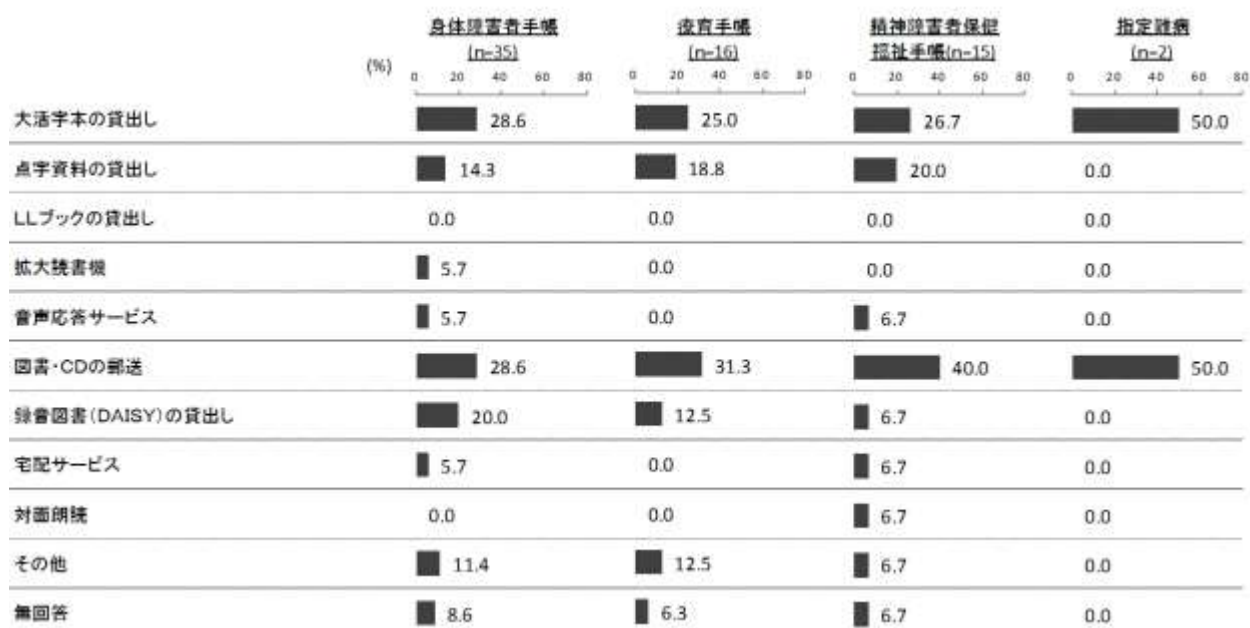


付問① (問45で「1 ある」と答えた方にお伺いします)
 利用したサービスをお答えください。(〇は2つまで)

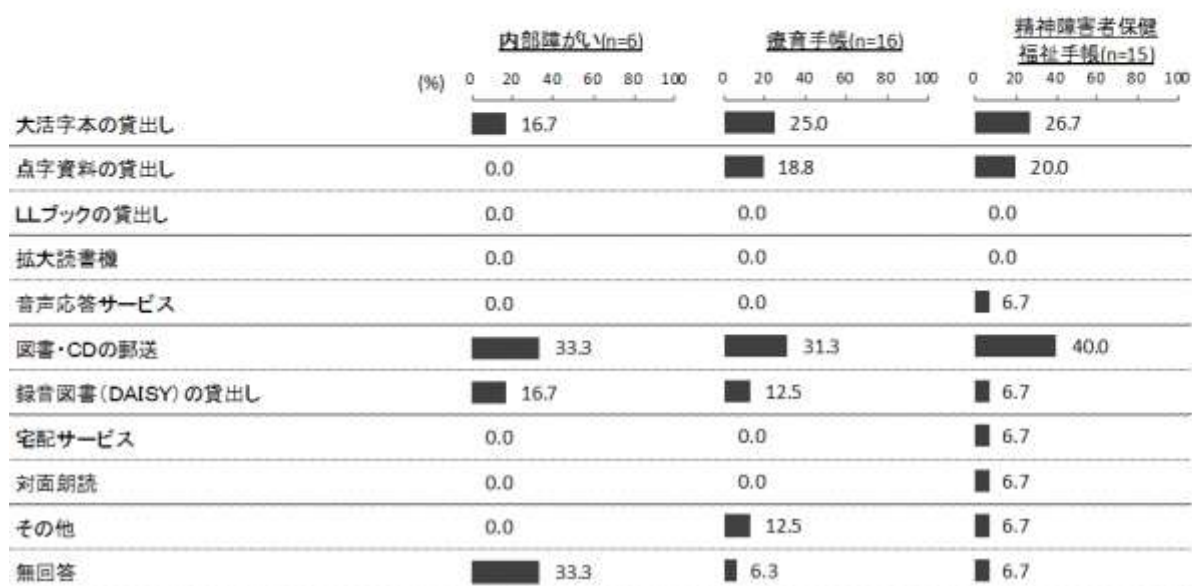
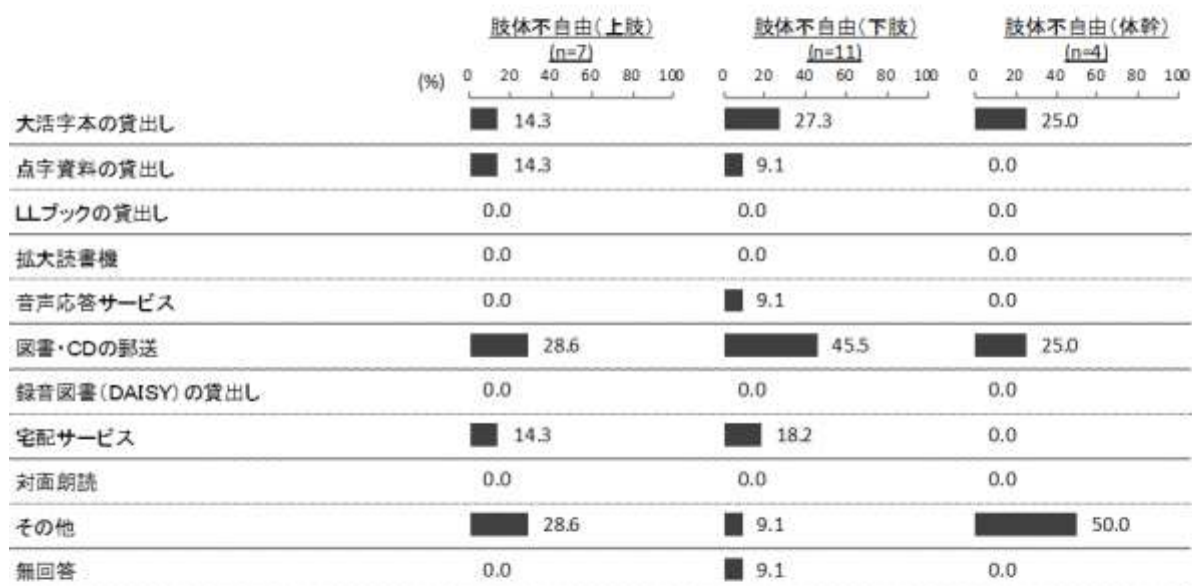
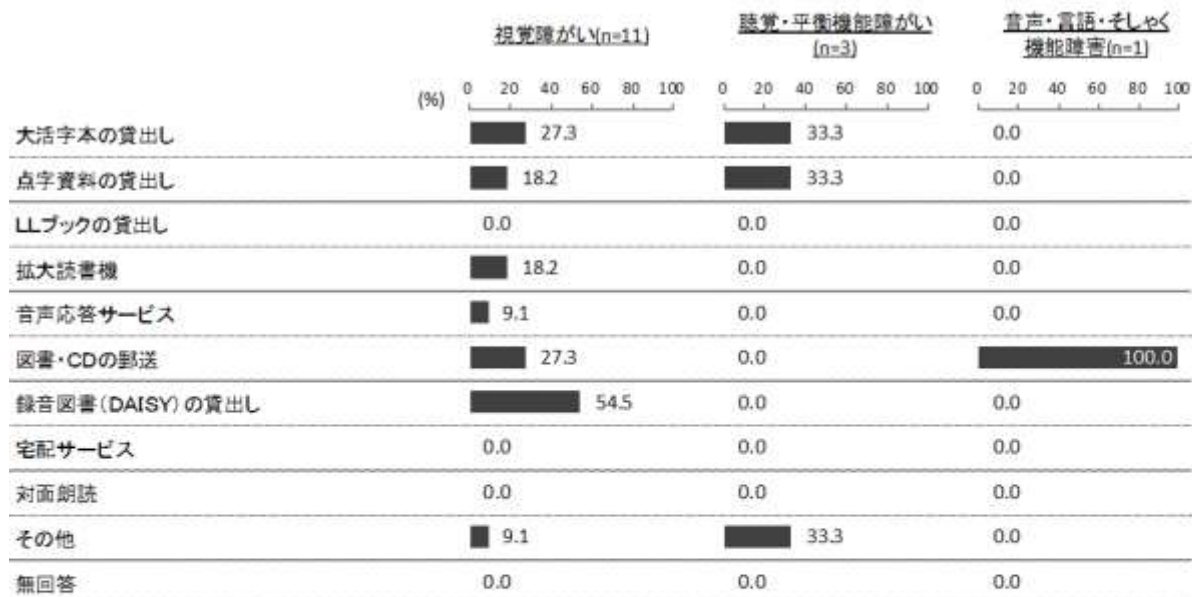


(その他)

本の音読/月1で幼児に読み聞かせをするボランティアに参加しています/絵本紙芝居/自分で借りに行く/直接CDを借りた/子供の頃の話/利用できない



<手帳の種類（詳細）別>



II 調査結果

単位%、()内実数

		大活字本の貸出し	点字資料の貸出し	LLブックの貸出し	拡大読書機	音声応答サービス	図書・CDの郵送	録音図書(DAISY)の貸出し	宅配サービス	対面朗読	その他	無回答	
全体	(58)	27.6	8.6	1.7	5.2	3.4	29.3	17.2	3.4	1.7	12.1	8.6	
身体障害者手帳	視覚障がい	(11)	27.3	18.2	0.0	18.2	9.1	27.3	54.5	0.0	0.0	9.1	0.0
	聴覚・平衡機能障がい	(3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	音声・言語・そしゃく機能障がい	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	肢体不自由(上肢)	(7)	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0
	肢体不自由(下肢)	(11)	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	45.5	0.0	18.2	0.0	9.1	9.1
	肢体不自由(体幹)	(4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	内部障がい	(6)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
療育手帳	(16)	29.0	18.8	0.0	0.0	0.0	31.3	12.5	0.0	0.0	12.5	6.3	
精神障害者保健福祉手帳	(15)	26.7	20.0	0.0	0.0	6.7	40.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	

<受給者証有無別>



単位%、()内実数

		大活字本の貸出し	点字資料の貸出し	LLブックの貸出し	拡大読書機	音声応答サービス	図書・CDの郵送	録音図書(DAISY)の貸出し	宅配サービス	対面朗読	その他	無回答
全体	(58)	27.6	8.6	1.7	5.2	3.4	29.3	17.2	3.4	1.7	12.1	8.6
自立支援医療受給者証所有者	(17)	35.3	11.8	0.0	0.0	0.0	35.3	0.0	0.0	5.9	11.8	5.9
特定医療費受給者証所有者	(13)	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	23.1	23.1	7.7	0.0	15.4	7.7
どちらも持っていない	(27)	29.6	7.4	0.0	7.4	3.7	22.2	25.9	3.7	0.0	11.1	11.1

<「高次脳機能障害」診断別>

単位%、()内実数

		大活字本の貸出し	点字資料の貸出し	LLブックの貸出し	拡大読書機	音声応答サービス	図書・CDの郵送	録音図書(DAISY)の貸出し	宅配サービス	対面朗読	その他	無回答
全体	(58)	27.6	8.6	1.7	5.2	3.4	29.3	17.2	3.4	1.7	12.1	8.6
診断されている	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
診断されていない	(54)	29.6	7.4	1.9	5.6	3.7	29.6	18.5	3.7	1.9	11.1	7.4

<発達障がいの診断有無別>

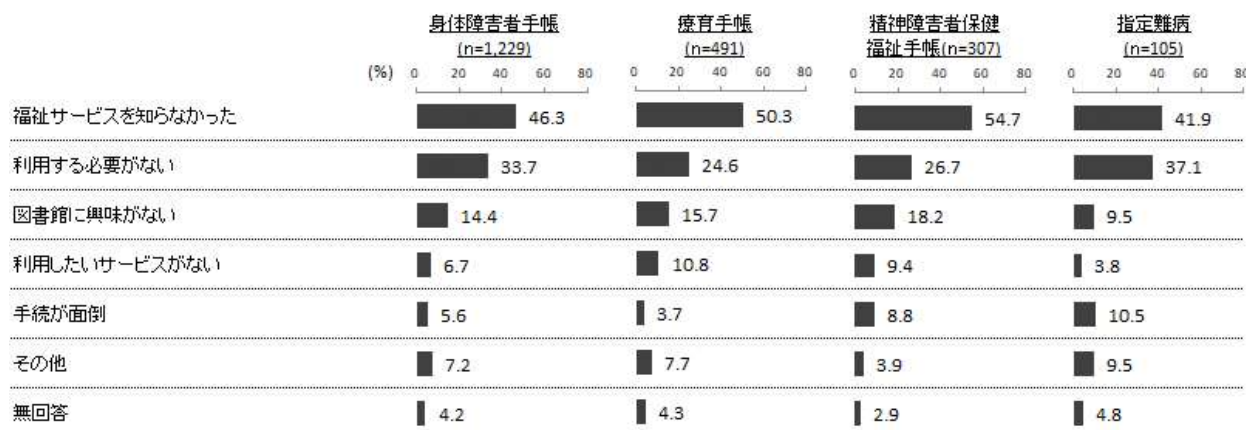
単位%、()内実数

		大活字本の貸出し	点字資料の貸出し	LLブックの貸出し	拡大読書機	音声応答サービス	図書・CDの郵送	録音図書(DAISY)の貸出し	宅配サービス	対面朗読	その他	無回答
全体	(58)	27.6	8.6	1.7	5.2	3.4	29.3	17.2	3.4	1.7	12.1	8.6
受けている	(11)	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3	18.2	0.0	0.0	18.2	0.0
受けていない	(43)	25.6	9.3	2.3	7.0	2.3	30.2	18.6	4.7	0.0	11.6	11.6
医療機関を受診したが診断は受けていない	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受診を勧められているが未受診	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 静岡市立図書館の福祉サービスを利用しなかった理由

問 46 (問 45 で「2 ない」と答えた方にお伺いします)
「ない」と答えた理由を教えてください。(○は1つ)

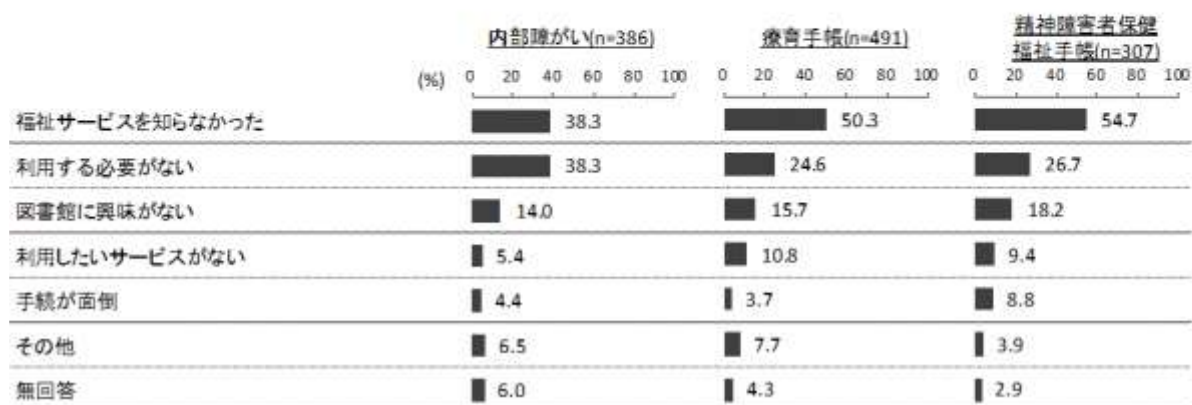
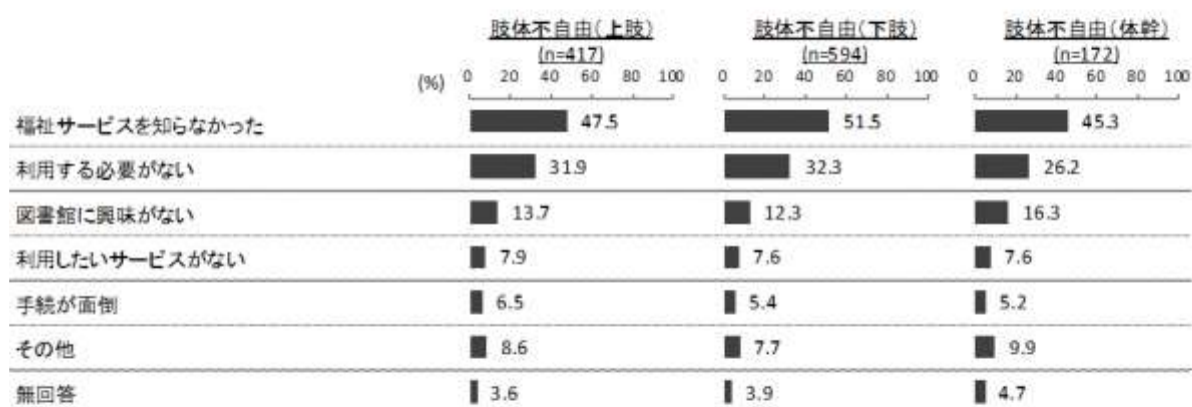
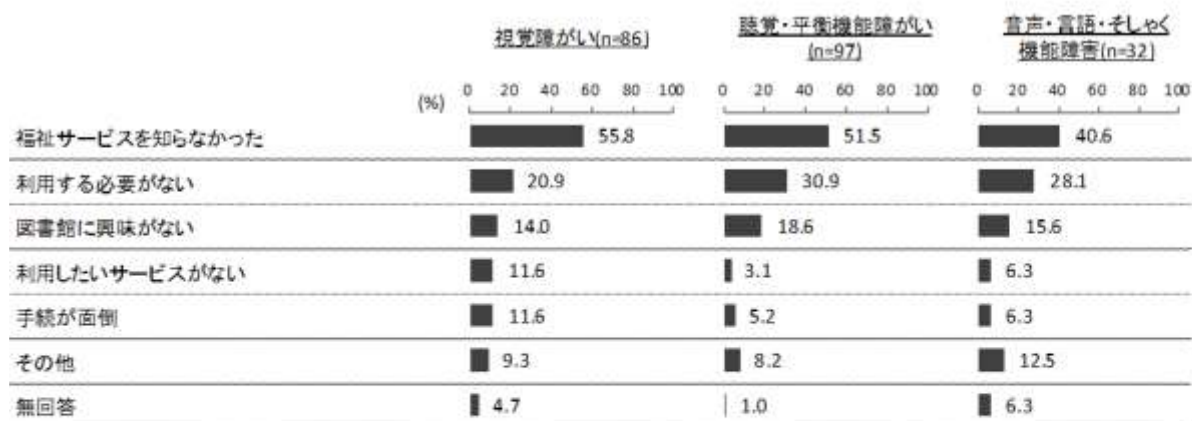
身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者、指定難病者のいずれも「福祉サービスを知らなかった」が最も高く、4～5割を占める。



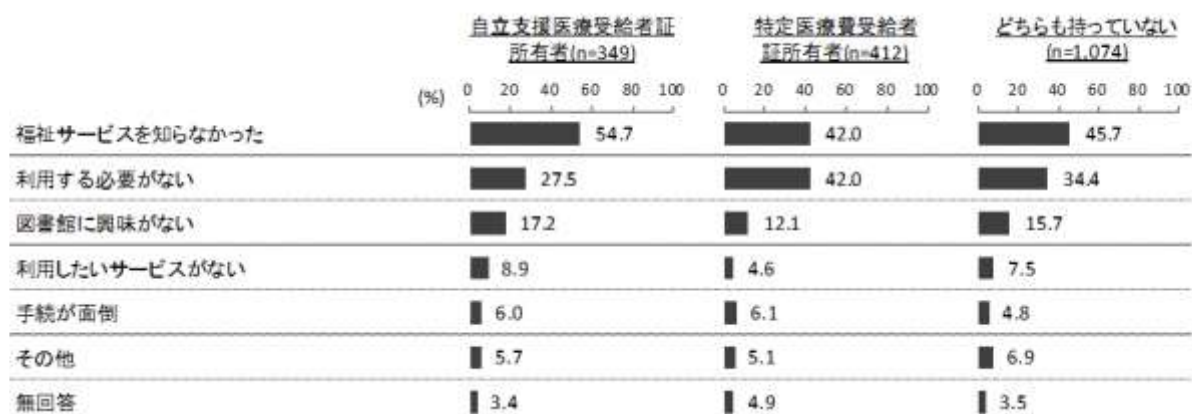
(その他)

図書館まで行けない(12件)/文字が読めない(5件)/遠いので行かない(3件)/利用できない(3件)/図書館の場所を知らない(2件)/あまり文字に目を通せにくい/これから利用したい/テレビが友達で情報は新聞とテレビ/どこにあるか(中央図書館)知らない。タクシーでしか行けないし、まずタクシー利用するお金がない/どこに施設があるかわからない。困っているそれを。交通費まで考えてしまい妻を家に1人にさせられないので通いたくても通えない/移動図書館を利用しているため/まだ2才/3歳の為まだ通えない/一人では行けない。字が読めない/壊れたりするので/機会がない/近くにない/県立中央図書館を利用することがあります/現在は自家用車で全て出ています/現在仕事をしている為、定年後は利用したい/交通の便が悪い/交通機関、バス等公共交通手段が無い/交通手段に困る/行くのが大変/行ったことがない/今のところサービスを利用する必要がないため/今は学生で学校の図書室を利用している/今現在は、発作が起きない様努力している。また他人に知られたくない/子供に頼んでいます。一緒に借りてきてもらいます/施設入所の為/肢体が不自由なため、体をあずける設備がない/視覚障害/字が小さくて読みにくい...そこまで行く交通手段がわからない/時間がない/自分が読みたい本は家族(主人)と買いにいきます/自分で行く・貸し借りのやり取りも理解がないため/自分で行けないし、読めない/自分で買う/自力で行けない。(歩行困難)/車椅子で排泄の不安がある/主人が求めた本があるし/障害による理解不能の為、ご本人が利用することは難しい。家族により利用されていたのかもしれないが不明/障害認定を受けたばかりだから/図書館があることを知らなかった/図書館にあまり読みたい本がない。古くて、今じゃ間違った事がかかかっている本もあるので、ネットで十分な知識を手にする事が出来るため通うのも大変なので/図書館にとどまることが難しいため/図書館に行きたくても駐車場が空いておらず行けない/図書館に行く事があまりない。時間が取れたら行きたい/図書館に行って、本をちょこちょこ借りて読んでいます。英語を、本を買ってレベルを落とさないようにしています。かなり落ちましたが.../図書館は普通に利用している。その場で読んだりとかする/図書館を利用したことがないのでどうして良いかわからない。図書館員の人に尋ねて図書館デビューしたいと思う/静かにできるか不安があり、図書館に入れない/足が悪い/宅配サービスを断られた(ネットで見たので依頼したら、今はやってないと断られた)/知的障害の為利用が難しい、児童書しか無理/通常利用で問題ない/同行必要/入院中の為、利用できない/年齢が若い頃は本も読みましたが最近目は衰えと色々意欲がなくなっている為、必要な時に家族に頼んで本やCDを貸し出ししてもらっている/病気になる前はよく図書館を利用しました。今は図書館に行く元気がないです/普通に利用している/福祉サービスの利用を必要としない/本は大好き。図書館は大いに利用している/本は読まない/本は読めないし理解できない、破るものだと思っている/本を読む、新聞を見る事は全く無いです/本を破ってしまう為、静かにしてられない為/名前だけ資料を送ってください/面倒臭い/利用する機会がなかった/知らなかった/理解不能

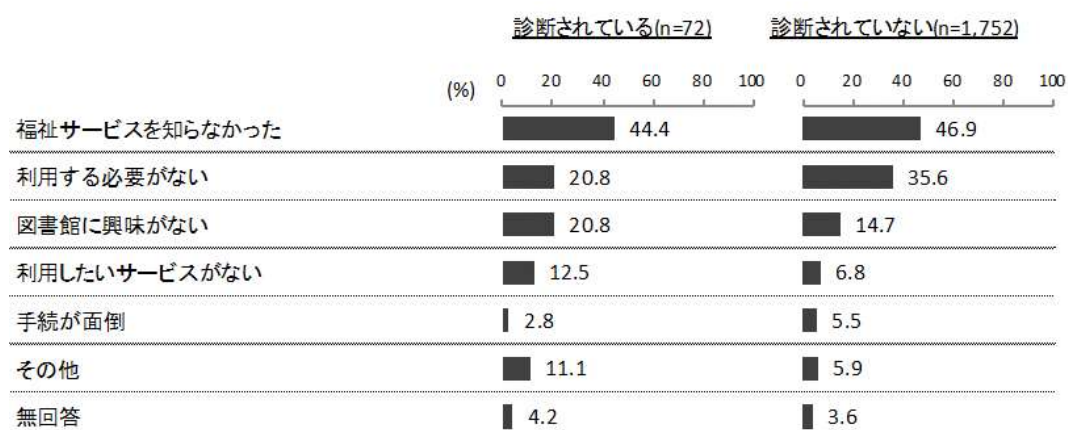
<手帳の種類（詳細）別>



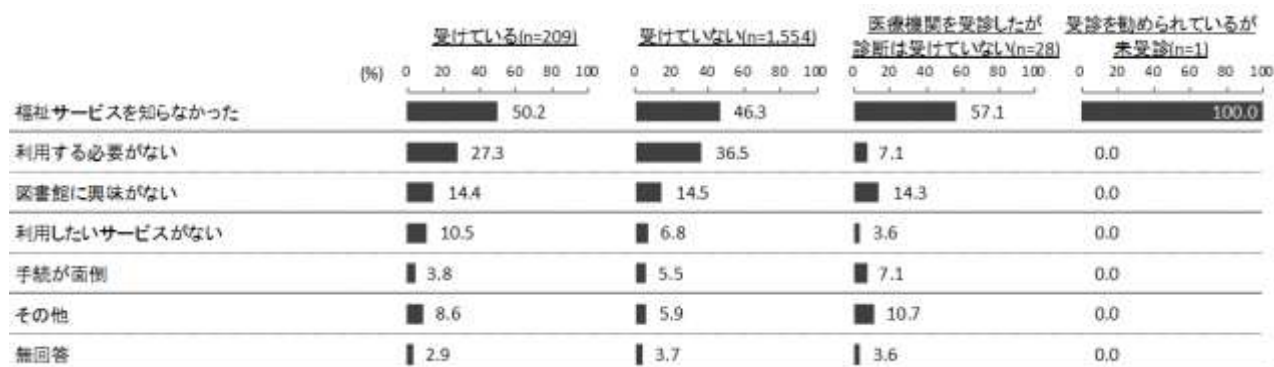
<受給者証有無別>



<「高次脳機能障害」診断別>



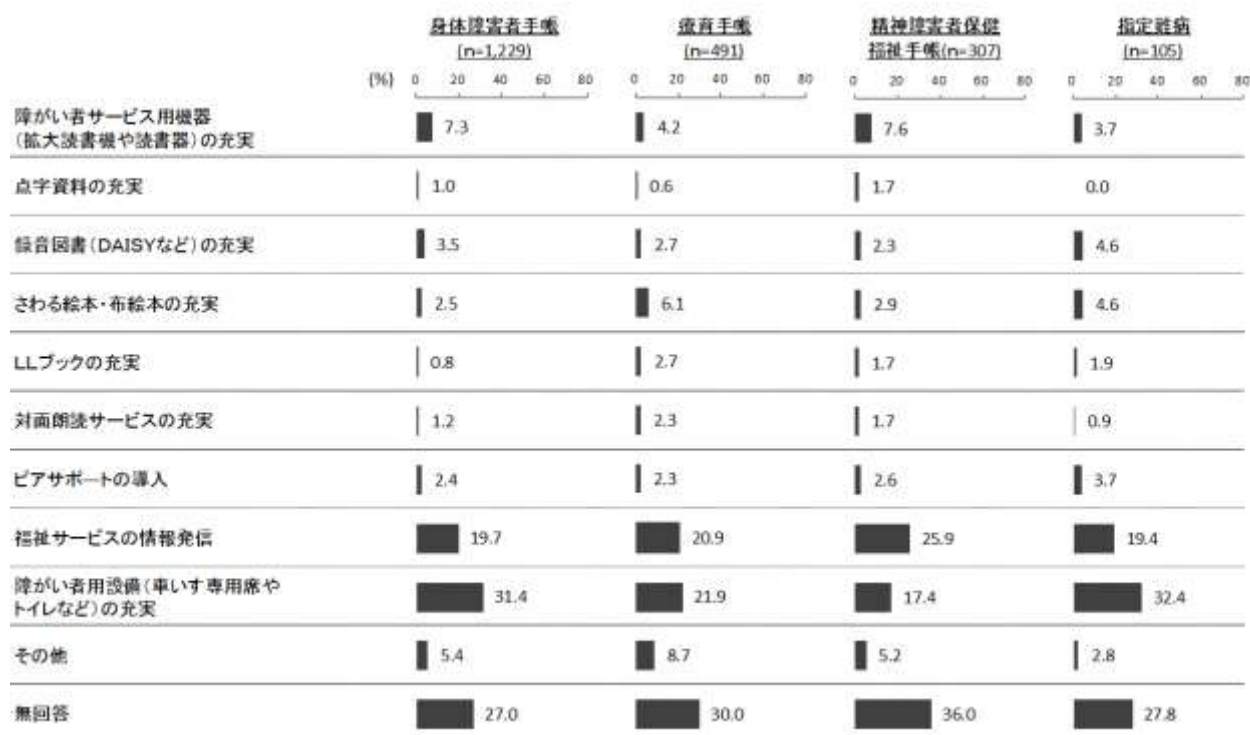
<発達障がいの診断有無別>



(3) 今後、静岡市立図書館に求める福祉サービス

問 47 今後、どのサービスの充実を求めますか。(○は1つ)

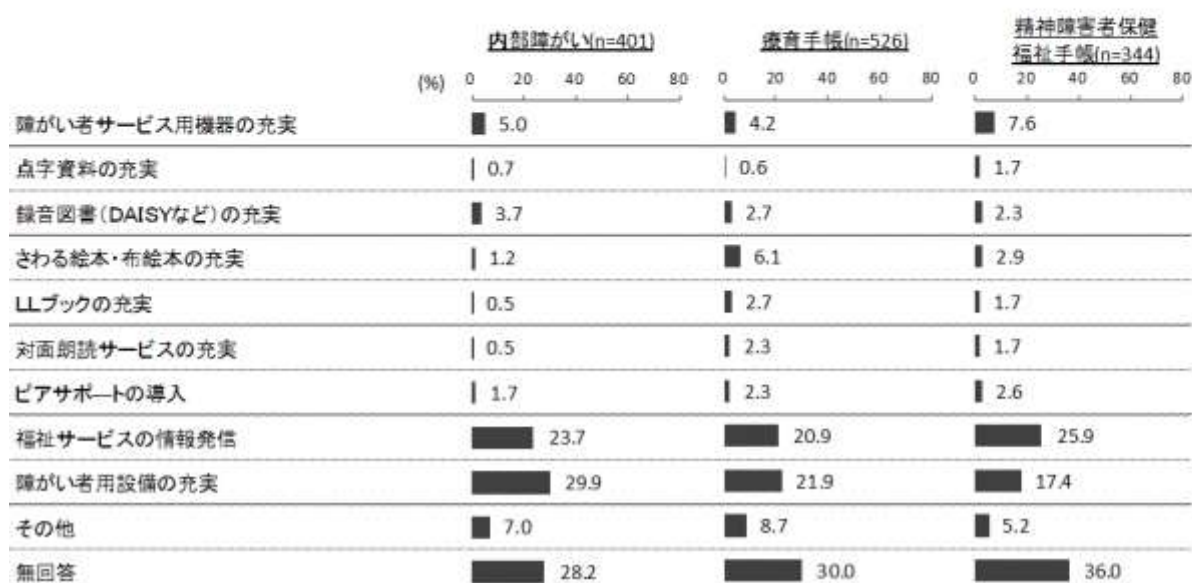
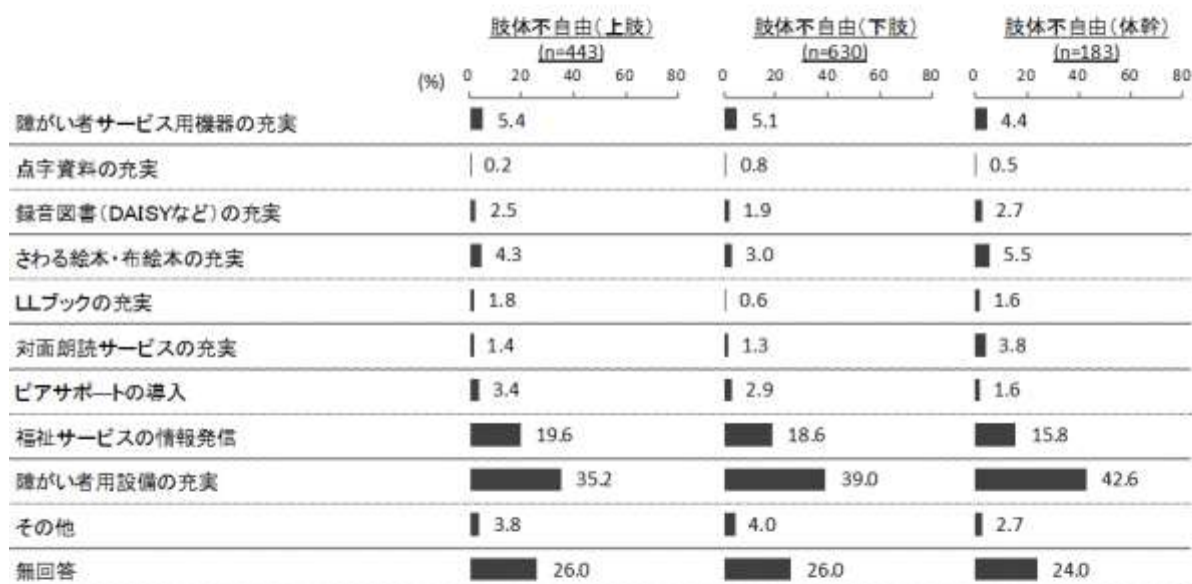
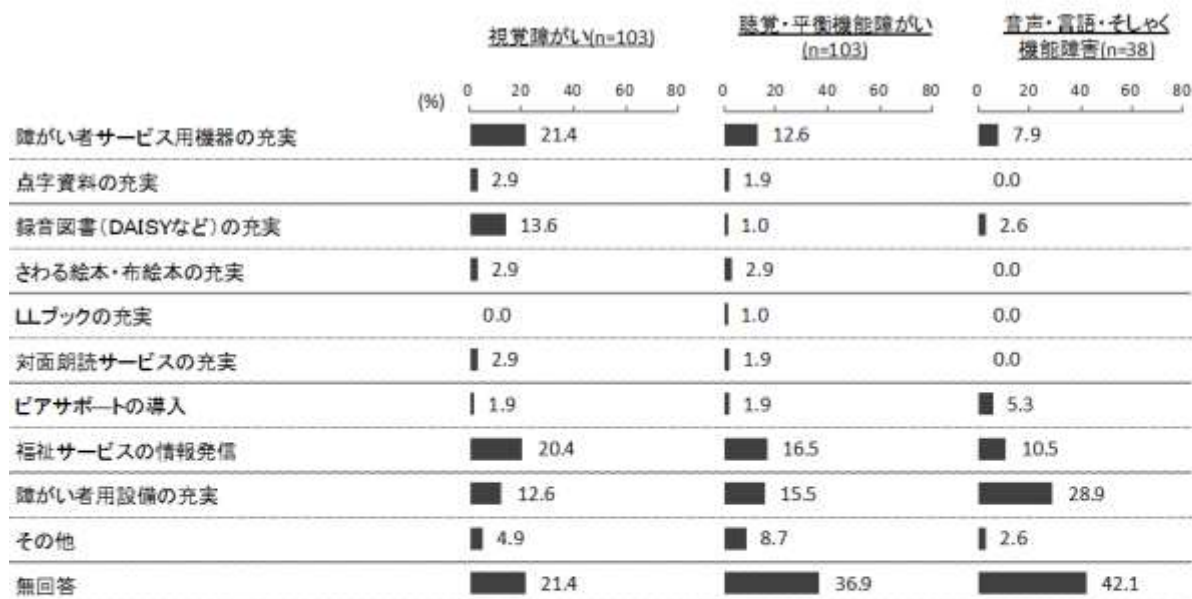
身体障害者手帳所有者、療育手帳所有者、指定難病者では「障がい者用設備の充実」が2～3割で最も高く、精神障害者保健福祉手帳所有者では「福祉サービスの情報発信」が25.9%で高い。



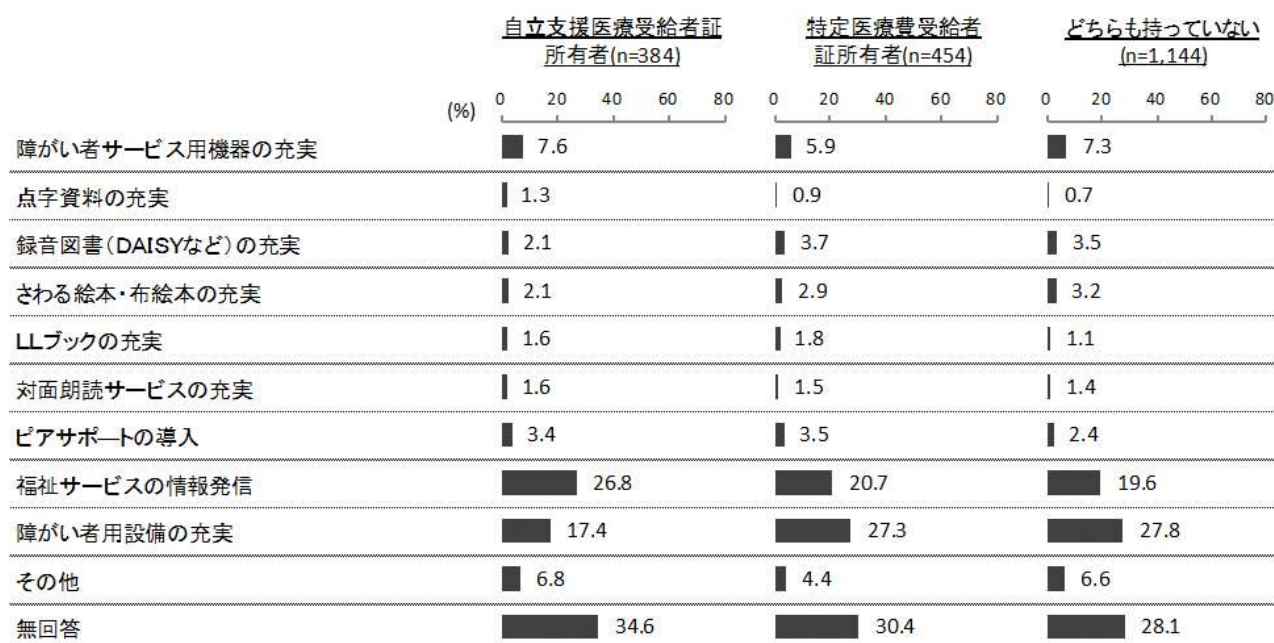
(その他)

わからない(5 件)/全部(3 件)/そこまで行く、交通手段のサービスの確保、送迎バス等(2 件)/CD/ETC を使えるゲートを増やして欲しいです/VD トーク音声認識/興味なし/データ→ipad で読む/とにかく通勤する方法を楽にしてほしい。1 時間に 1 本しかないバスに乗った事は、まだ日本に戻って来てから 1 回しかないし、なんだかドキドキする。慣れだと感じていますが、東静岡から静岡駅には JR を使えますが、なぜか帰りは乗りたくない。結局歩いて帰ってくる方が一人だけなので楽だという精神もある/ネットで自宅で本を読めるサービス/ふりがな/移動図書/一人では行けない。集中できない/一人で利用手続きが出来ない/遠いので行かない/温かい目で見て欲しい/確実な宅配サービス/求めない、使えないから/見た目障がい者とわかりづらい。内部障がい者の為相談窓口など/考えることが出来ない方へ酷な質問です/高い所にある本を気軽に取ってもらえるサービス/肢体不自由でなくても宅配サービス/字の大きな本、誰でも気兼ねなく手に取れる「普通」の形/出張サービス等/手話受付/充実を求めない/小学校・中学校へのタブレット持ち込み許可/障害への知識と理解のある職員の配置と、その方からの支援/障害をもっていても病気が重く 1 人でなにもできなく介護が常にほしい。何もできないから障害者だし、皆国民が国が障害者をバカにしすぎる。くやしい/障害者関係の本が少ない/新しい本を入れてほしい/図書館のインターネット利用できるように電子書籍化して下さい/図書館等に行くことができる交通網の整備(市営バスの運行等)/精神障害者を受け入れる施設を増やしてほしい/静岡市は何も変わらない。弱者にとってこれほどまでに“いじめ”にあっていることを知らなすぎる。何も出来ないなら“死ね”といわれているようでたまらなく苛立ちを感じる。支援してまずよ面はやめろ。現場を見て来い/多少声を出したり音を立てたりしても気にしないで欲しい/知的なので意味がない。わからない/知的に障害があっても読める本(言葉を覚えることのできる小学 1～3 年程度の学習本)/駐車場に長くとめられること/定期的に本人に訪問し話を聞く機会/働く所が見つかるまで年金の受給ができると良いです/読みたい本は購入している/入院中の為、利用不可能/費用がかかるなら何もなくていい/病院入院者への貸し出し。本人又は代理人が取りに行く/病気などの本/福祉サービス利用の宣伝/文字に興味がない/郵送貸出し/洋式トイレにしてほしい/利用したことがない/特になし

<手帳の種類（詳細）別>



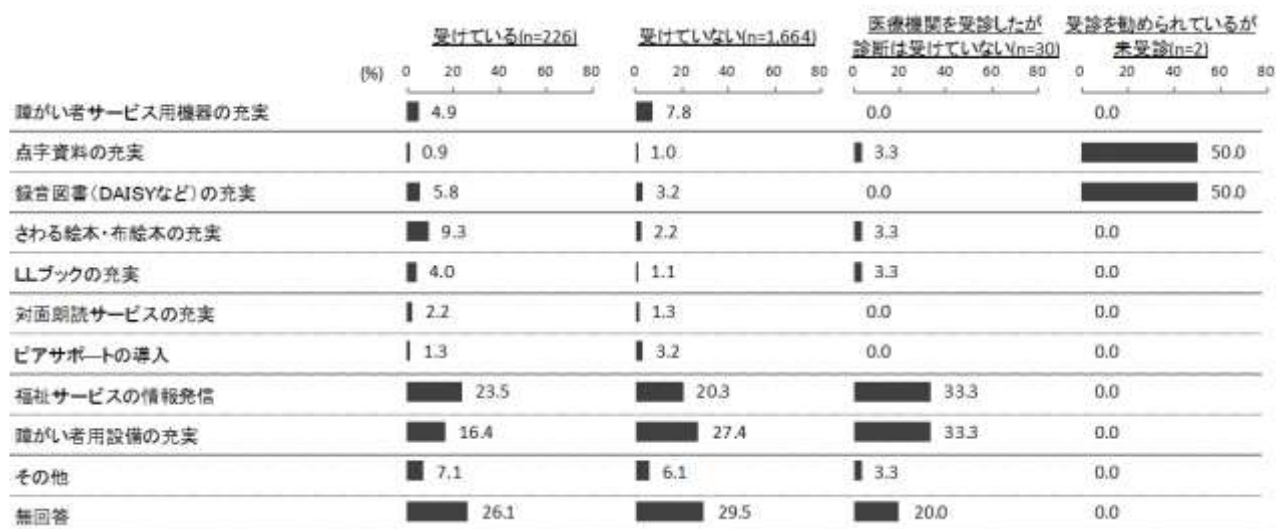
< 受給者証有無別 >



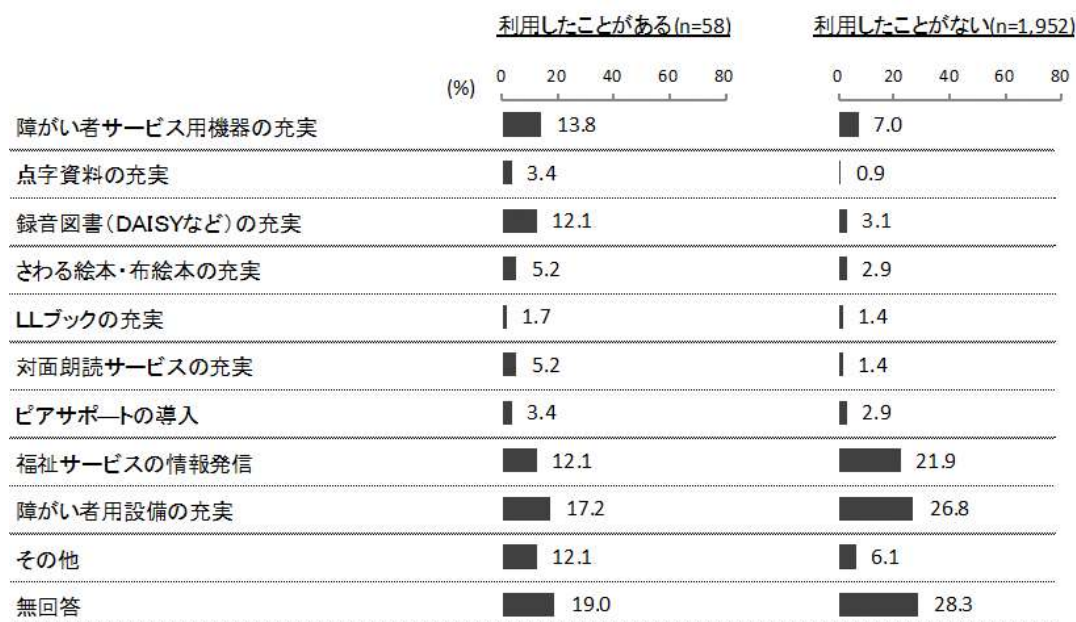
< 「高次脳機能障害」診断別 >



<発達障がいの診断有無別>



<静岡市立図書館の福祉サービスの利用有無別>



<利用したサービス別>

単位 %、()内実数

		障がい者サービス用 機器(拡大読書機や 読書器)の充実	点字資料の充実	録音図書(DAISY Yなど)の充実	さわる絵本・布絵本 の充実	LLブックの充実	対面朗読サービスの 充実	ピアサポートの導入	福祉サービスの情報 発信	障がい者用設備(車 いす専用席やトイレ など)の充実	その他	無回答
全 体	(58)	13.8	3.4	12.1	5.2	1.7	5.2	3.4	12.1	17.2	12.1	19.0
大活字本の貸出し	(16)	31.3	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	12.5	25.0
点字資料の貸出し	(5)	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
LLブックの貸出し	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
拡大読書機	(3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
音声応答サービス	(2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
図書・CDの郵送	(17)	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	41.2	17.6	11.8
録音図書(DAISY)の貸出し	(10)	20.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0
宅配サービス	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
対面朗読	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	(7)	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3